

bizhub PRO 1200/1051

ユーザーズガイド

コピー編



機械概要

第1章 設置・取扱いの注意
第2章 ご使用いただく前に

第3章 用紙・原稿について
第4章 補給・くず処理

第5章 トラブルの処置
第6章 日頃の管理
第7章 仕様

コピー操作

第8章 コピーしてみよう
第9章 基本設定
第10章 応用設定
第11章 出力設定
第12章 ジョブ管理
第13章 コピー操作補助機能
付録：文字入力のしかた

はじめに

このたびは、bizhub PRO 1200/1051(デジタル式電子写真複写機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

このユーザーズガイドは、bizhub PRO 1200/1051の性能を十分に発揮させるため、また、安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。最適な状態できれいなコピーをおとりいただくために、このユーザーズガイドを常時ご覧いただける場所に保管してください。

登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTAロゴ、The essentials of imagingは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub、bizhub PROは、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標です。

Copyright © 2009 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 製造会社および販売会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

もくじ

機械概要

国際エネルギー・スタートプログラム	i
機械・消耗品のリサイクル／リユース	ii
エコマーク	ii
マニュアル体系について	iii
本書の使い方	iv
コピー禁止事項	vii
こんな機能があります	viii

第 1 章 設置・取扱いの注意

安全にご使用いただくために	1-2
絵表示の意味	1-2
図記号の例	1-2
適合宣言文	1-10
電波障害について	1-10
LED 放射光の安全性	1-10
注意表記・注意ラベル	1-11
設置スペース	1-14
使用上のご注意	1-23
設置電源	1-23
使用環境	1-23
トナーボトルの取扱いについて	1-23
コピーの保存について	1-23
オゾン放出	1-23
折り機 / ステープルフィニッシャー FS-521 使用時のご注意	1-24

第 2 章 ご使用いただく前に

各部の名称とはたらき	2-2
本体外部	2-2
本体内部	2-4
操作パネル	2-6
コピー画面	2-8
機械状態画面	2-10
オプション構成	2-12
大容量給紙トレイ PF-702	2-22
サクション式大容量給紙トレイ PF-703	2-24
サクション式大容量給紙トレイ PI-PFU	2-26
中継搬送ユニット RU-506	2-28
ステープルフィニッシャー FS-521	2-30
折り機 FD-503	2-32
中とじ機 SD-506	2-34
くるみ製本機 PB-502	2-36
大容量スタッカー LS-505	2-38
リムーバブル HD 取付けキット	2-40

電源を入れる / 切る	2-41
電源を入れる	2-41
電源を切る	2-43
自動的に初期設定にもどる (オートリセット)	2-44
パワーセーブランプが点灯する	2-45
機械を使用するための操作	2-45
自動的に節電状態になる (オートローパワー)	2-46
自動的に節電状態になる (オートシャットオフ)	2-47
手動で節電状態にする	2-48
使用時間を制限する (ウィークリータイマー)	2-49
ユーザー認証 / 部門認証を求められたとき	2-51

第3章 用紙・原稿について

用紙について	3-2
使用できる用紙の質量	3-2
セット／排出できる用紙の枚数	3-4
セット／搬送／排出できる用紙サイズ	3-8
自動トレイ切換機能	3-15
用紙の保管	3-15
原稿について	3-16
原稿ガラスにセットする原稿について	3-16
ADFにセットする原稿について	3-17

第4章 補給・くず処理・出力紙処理

用紙を補給する	4-2
セットする用紙をチェックする	4-3
本体トレイ (トレイ1、2) に用紙を補給する	4-6
大容量給紙トレイ PF-702 (トレイ3～8) に用紙を補給する	4-8
サクション式大容量給紙トレイ PF-703 (トレイ3～8) に用紙を補給する	4-11
サクション式大容量給紙トレイ PF-703 の側面ガイドの間隔を微調整する	4-14
大容量給紙トレイ PF-702、サクション式大容量給紙トレイ PF-703 に小サイズ用紙を補給する	4-18
大容量ポストインサーテー PI-PFU に用紙をセットする	4-24
折り機ポストインサーテートレイに用紙をセットする	4-27
くるみ製本の表紙をセットする	4-28
くるみ製本機 PB-502 の表紙トレイに表紙をセットする	4-28
インデックス紙をセットする	4-31
本体トレイ (トレイ1～2) にインデックス紙をセットする	4-31
大容量給紙トレイ PF-702/ サクション式大容量給紙トレイ PF-703 (トレイ3～8) にインデックス紙をセットする	4-33
トナーを補給する	4-35
トナーリサイクル箱を交換する	4-39
ステープル針を補給する	4-42
ステープルフィニッシャー FS-521 にステープル針を補給する	4-42
中とじ機 SD-506 にステープル針を補給する	4-46
くるみ製本機に糊ペレットを補給する	4-48
パンチくずを処理する	4-50

断裁くずを処理する	4-52
中とじ機 SD-506 の断裁くずを処理する	4-52
くるみ製本機 PB-502 の断裁くずを処理する	4-54
大容量スタッカー LS-505 に積載された用紙を取り出す	4-56
スタッカーボトムの用紙を取り出す	4-56
スタッカーボトムの用紙崩れを防ぐ	4-58
ステープルフィニッシャー FS-521 への出力を一時停止 / 再開する	4-60
出力を一時停止する	4-60
一時停止した出力を中止する	4-61

第 5 章 トラブルの処置

「サービスに連絡して下さい C-####」と表示されたら：サービスコール	5-2
「紙づまりです」と表示されたら	5-4
紙づまり処理	5-6
ジャム番号とジャム位置	5-7
糊ペレットがつまつたら	5-9
〔機械状態〕タブがオレンジ色に点滅したら	5-11
紙づまり	5-11
用紙なし停止	5-12
用紙不一致停止	5-14
「メモリーオーバーフローです」と表示されたら	5-15
コピーでのメモリーオーバーフロー	5-15
「電源を入れ直して下さい」と表示されたら	5-16
「コントローラを認識できません」と表示されたら	5-17
簡単なトラブルの処置	5-18

第 6 章 日頃の管理

画像取り込み部分を清掃する	6-2
ADF 原稿読み込みガラスの清掃	6-2
原稿ガラスの清掃	6-2
ADF ガイドカバーの清掃	6-2
コピー枚数カウントを確認する	6-3
中とじ機折り／とじトレイの搬送ベルトを清掃する	6-5
「定期点検です」と表示されたら	6-7
「断裁受け木交換」と表示されたら	6-8
糊ペレット・くるみ製本機の管理	6-9
保守サービス	6-10
コピーチャージシステム	6-10
補修用性能部品の保有期間	6-10
主な同梱品	6-10

第 7 章 仕様

本体仕様	7-2
本体	7-2
自動原稿反転送り装置 DF-615	7-4
オプション仕様	7-5
大容量給紙トレイ PF-702 (追い刷りキット PP-701)	7-5
サクション式大容量給紙トレイ PF-703 (ヒーターファンユニット HT-505)	7-6
サクション式大容量給紙トレイ PI-PFU (PF-703 + PI-PFU キット FA-501) ..	7-7
中継搬送ユニット RU-506	7-8
ステープルフィニッシャー FS-521	7-9
折り機 FD-503	7-10
中とじ機 SD-506	7-12
くるみ製本機 PB-502	7-13
大容量スタッカー LS-505	7-14
リムーバブル HDD 取付けキット RH-101 (リムーバブル HDD インナーケースキット HD-511) .	
7-15	

コピー操作

第 8 章 基本的なコピーのしかた

基本的なコピーの流れ	8-2
原稿をセットする	8-6
ADF に原稿をセットする	8-6
原稿ガラスに原稿をセットする	8-9
コピー部数を設定する	8-10
コピー部数を設定する	8-10
設定したコピー部数を変更する	8-11
ウォームアップ中にコピーする	8-12
現在読み込中 / 出力中のジョブを停止する	8-15

第 9 章 基本設定

原稿設定	9-2
原稿セット方向を設定する：原稿セット方向	9-2
両面原稿のとじ方向を設定する：両面とじ方向	9-4
サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿	9-6
Z 折れ原稿をコピーする：Z 折れ原稿	9-8
ADF に原稿を 1 枚セットしてコピーする：1 枚送り	9-10
不定形サイズの原稿をコピーする：不定形サイズ	9-14
インデックス原稿をコピーする：インデックス紙サイズ	9-18
連続読み込み	9-20
画質設定	9-24
コピー濃度を調整する：濃度設定	9-24
下地を調整する：下地調整	9-26
原稿画質に合わせてコピーする：原稿画質	9-27
画像の輪郭を調整する：シャープネス	9-29
画像判別を調整する：文字 / 写真判別	9-30

倍率設定	9-31
等倍でコピーする	9-31
等倍を変更してコピーする	9-32
コピー画面の〔-〕〔+〕で倍率を変更する	9-34
自動的に倍率を選択させる：自動倍率	9-35
片面 /両面	9-36
ADFを使って両面コピーをとる	9-36
原稿ガラスを使って両面コピーをとる	9-39
両面原稿から片面コピーをとる	9-42
用紙設定	9-44
トレイに設定されていない用紙設定でコピーする：用紙予約設定	9-44
自動的に用紙サイズを選択させる：自動用紙	9-54
自動画像回転をオフ／オンする	9-56
コピー予約	9-58
基本設定と併用できないコピー条件	9-60

第 10 章 応用設定

応用機能を設定するには	10-2
コピー画面〔応用設定〕下の表示	10-3
コピー画面〔応用設定〕下のボタン	10-3
しおり機能	10-4
表紙・挿入紙をつける：インターシート	10-5
章の先頭ページを必ずオモテにコピーする：章分け	10-14
複数枚の原稿を1ページにコピーする：集約	10-18
製本仕立てにコピーする：小冊子	10-22
別の原稿を指定したページに差し込む：差込みページ	10-27
見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする：ブック連写	10-30
複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ	10-34
原稿以外の部分を消去してコピーする：原稿外消去	10-38
白黒を反転させてコピーする：ネガポジ反転	10-40
1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする：リピート	10-42
リピート回数を自動的に設定させる	10-42
リピート回数を指定する：定形リピート	10-45
本の周囲・綴じ部分の黒い影を消す：枠 / 折り目消し	10-48
画像を用紙の中央に配置してコピーする：センタリング	10-52
用紙いっぱいの大きさにコピーする：全面画像	10-54
コピー画像の位置を調整する：とじしろ>シフト	10-56
画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ>縮小シフト	10-61
原稿にない情報を印字してコピーする：スタンプ / オーバーレイ	10-65
定型のスタンプを印字する：定型スタンプ	10-67
管理用ナンバーリングを印字する：ナンバーリング	10-69
ページ数を印字する：ページ	10-71
日付や時刻を印字する：日付 / 時刻	10-73
定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク	10-75

ウォーターマークで管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング	10-77
全体に文字やパターンをプリントする：コピープロテクト	10-79
スタンプモードでの詳細設定	10-81
コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ	10-87
画像を重ねてコピーする：オーバーレイ	10-91
重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ	10-93
応用設定と併用できないコピー条件	10-99

第 11 章 出力設定

両面コピーのとじ方向を設定する	11-2
排紙トレイを選択する	11-4
用紙を仕分ける / ステープルする (ステープルフィニッシャー FS-521)	11-7
メイントレイへのソート / グループ / 仕分けソート / 仕分けグループ出力	11-9
メイントレイへのステープル出力	11-10
サブトレイへのソート / グループ出力	11-12
中とじ機 SD-506 を使用する	11-14
2つ折り小冊子をつくる	11-14
コピーを重ね折りにする	11-16
用紙に折りをつける / パンチ穴をあける：折り機 FD-503	11-19
用紙に折りをつける	11-20
用紙にパンチ穴をあける	11-22
カバー紙をつけて出力する：折り機 FD-503	11-24
カバー紙をセットする	11-25
カバー紙送りの曲がりを補正する	11-26
手動で折り機 FD-503/ ステープルフィニッシャー FS-521/ 中とじ機 SD-506 を使う	11-27
くるみ製本機 PB-502 を使用する	11-30
くるみ製本機ヒーターをオン / オフ	11-33
くるみ製本する	11-37
大量の用紙をスタッカする：大容量スタッカー LS-505	11-47
出力設定と併用できないコピー条件	11-49

第 12 章 ジョブリスト

ジョブリスト画面の概要	12-2
ジョブリスト画面の操作	12-3
動作中／保留中のジョブを確認／操作する	12-3
出力履歴を確認する	12-5
送信履歴を確認する	12-6
未出力履歴を確認する	12-7
展開中ジョブを操作する	12-8

第13章 コピー操作補助機能

1部出力して設定条件を確認する：確認コピー	13-2
コピーする前に設定内容を確認する：設定内容	13-6
割り込んでコピーする：割込み	13-10
設定を登録し、呼び出す：プログラム	13-12
設定を登録する	13-12
設定を呼び出す	13-14
ワンタッチでコピー条件を呼び出す：ファンクションキー	13-16
最後に出力したコピー条件でコピーする	13-18
操作方法解説の画面を表示させる：ヘルプ	13-20
キーやボタンの応答時間を調整する：キー応答	13-22
ブラウザで本機を操作・監視する	13-23
ブラウザで本機を操作する：リモートパネル	13-24
ブラウザで本機の状態を監視する：リモートモニター	13-25
ブラウザで本機の状態を監視する：マルチモニター	13-26

付録：文字入力のしかた

文字入力のしかた	付録 -1
文字入力画面（英記号）	付録 -2
文字入力画面（ローマ字）	付録 -3
文字入力画面（かな漢字）	付録 -4
文字入力画面（カタカナ）	付録 -5

索引

1 設置・取扱いの注意

2 ご使用前にだく前に

3 用紙・原稿について

4 補給ごと出力設定

5 プラブルの処置

6 日頃の管理

7 仕様

機械概要

国際エネルギー・スタープログラム



国際エネルギー・スタープログラムは、地球環境を守るために主に化石燃料をエネルギーとする電力を節約し、効率的なエネルギーの使用を目的とした制度です。本機は、以下の様な方法を推奨し、国際エネルギー・スタープログラムの基準に適合していると判断します。

オートローパワー機能

オートローパワー機能は、機器の消費電力を節約するための機能です。標準では、待機時間がbizhub PRO 1200は15分、bizhub PRO 1051は5分を超えると、自動的にパワーセーブ機能が働き消費電力を節約します。機能する時間は、5分、10分、15分、30分、60分、90分、120分、240分の中から設定できます。

オートシャットオフ機能

オートシャットオフ機能は、オートローパワー機能よりもさらに消費電力を節約するための機能です。通常は、オートローパワー機能が働いて、一定時間経過すると、オートシャットオフ機能が自動的に働きます。標準では待機時間が90分を超えると、自動的にオートシャットオフ機能が働き、消費電力を節約します。機能する時間は、30分、60分、90分、120分、240分の中から設定できます。

自動両面コピー機能

1枚の用紙のオモテ面／ウラ面にコピーする自動両面コピー機能により、用紙の省資源化が計られます。

集約機能

複数枚の原稿を1枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

オートローパワー機能、オートシャットオフ機能、自動両面コピー機能、集約機能をお使いになることをお勧めします。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

使用済みのトナー／ボトル、ドラム（感光体）について

お客様が交換したものにつきましては、サービス技術者が回収しますので、入っていた箱に入れて保管してください。サービス技術者が交換したものにつきましては、そのつど持ち帰ります。回収したトナー／ボトル、ドラムは、再資源化しています。

使用済みの機械の処理について

買い替え時は、新しい機械を購入する販売店にご相談ください。不要時は、その機械を購入した販売店にご相談ください。回収した機械は再資源化しています。

小型二次電池（リチウムイオン電池）について

本体およびオプションに小型二次電池（リチウムイオン電池）が使用されている場合は、製品として回収後に小型二次電池も含め再資源化いたします。



本機では2次電池（充電式バッテリー）は一切使用しておりません。

弊社の環境基準に従い回収された機械、ボトルなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み、人と環境に調和した活動を行ってまいります。

エコマーク



3R・省エネ設計

エコマーク認定番号 第05117011号

bizhub PRO 1200/1051は「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通じて環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

■ 物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマークNo117「複写機 Version2」の物質エミッション放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用の推奨純正品を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002の付録3～5に基づき試験を実施しました。)

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー編）<本書> [印刷物] [User's Guide CD]

機械の概要やコピー操作について記載しています。

設置・取扱いの注意事項、電源の入れ方/切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたや、機械のコピー操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（POD管理者編） [印刷物] [User's Guide CD]

日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（セキュリティー編） [印刷物] [User's Guide CD]

セキュリティー機能について記載しています。

セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編） [印刷物] [User's Guide CD]

ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。

保存、読み出し機能、スキャナー（Scan to HDD、Scan to E-mail、Scan to FTP、Scan to SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ 商標/ライセンス [User's Guide CD]

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

■ ユーザーズガイド（プリンター編） [User's Guide CD]

プリンター機能の操作について記載しています。

PCL ドライバー、Adobe PS ドライバー、PageScope Web Connection のユーザー モードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（プリンター(PostScript3_Plug-in ドライバー)編） [User's Guide CD]

プリンター機能の操作について記載しています。

PS Plug-in ドライバーのユーザー モードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ オペレーションクイックガイド [印刷物]

本機のよく使われる機能について操作手順を中心に記載しています。

本機の特長を理解したい場合は、このガイドをごらんください。

安全に正しくお使いになるため、操作の前に必ずユーザーズガイド コピー編

「第1章 設置・取扱いの注意」をお読みください。

本書の使い方



説明をお読みになる前にあらかじめ知っておくと理解しやすくなる事柄を記述します。

項目タイトルとイラストで、操作の目的と結果を確認します。

操作項目を太字で表記し、操作内容や操作結果を下記に説明します。

操作を行ったときの、タッチパネルの表示内容を確認します。



参照先を指示します。必要に応じて参照してください。

画像を用紙の中央に配置してコピーする：センタリング

原稿の画像を用紙の中央に配置します。



→

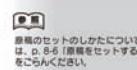
ABCD ABCD



原稿外消去が自動的に設定されます。ADFを使用する場合はこの機能を解除してください。

1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。



2 コピー画面を表示させ、【適用設定】を押します。

3 適用設定画面の【センタリング】を押します。

併用できないコピー条件のボタンに罫がかかり、選択できません。

このとき、原稿外消去が自動的に設定されます。ADFを使用するときは、このボタンを押して反転を解除します。

ブック連写と併用すると、ブック連写の原稿が用紙よりも小さい場合、その用紙の中央にコピーされます。



「紙つまり処理」と表示
■ 紙つまり処理

10-52

1 ジャム位置画面の【イラスト説明】を押します。

ジャム処理画面が表示されます。

詳しく述べします

2 画面表示の指示に従って、紙つまり処理します。

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

3 処理が終わると、機械状態画面にもどります。

紙つまり箇所が複数の場合は、ジャム位置画面にもどり、次に処理すべき箇所とメッセージが表示されます。
手順1~2を繰り返して、すべての処理を行います。
紙つまり処理がすべて完了すると、機械状態画面にもどります。

必ず守ってください

△ 注意：定着部の紙つまり処理

本体定着部は高温になっています！
触れるときは手袋をするのがあります。
→紙つまり処理時にはこの付近に手を触れないよう

にしてください。紙つまり処理時に定着部をユニック

トを引き出すときや、引き出した後の定着部に定着

部内に手を入れないようご注意ください。

操作上の注意事項です。指示内容をよく読んで、必ず守つてください。



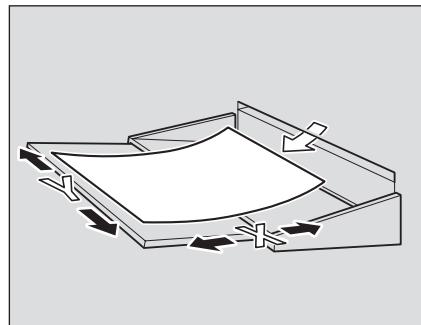
機械を安全に使用していた
だくための注意事項です。
必ずお読みください。

■ 原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

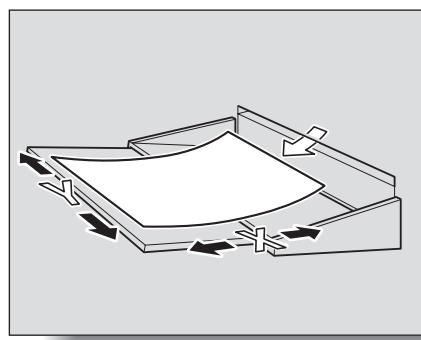
幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、Y辺を幅と呼び、X辺を長さと呼びます。

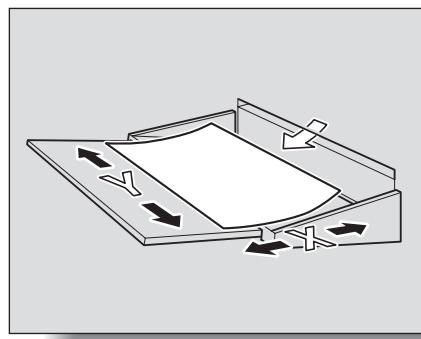


□と□

幅(Y)よりも長さ(X)のほうが大きい方向にセットすることを □ と表示します。



幅(Y)よりも長さ(X)のほうが小さい方向にセットすることを □ と表示します。



インデックス紙

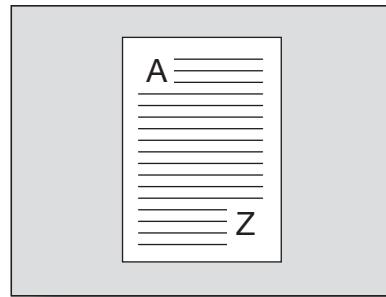
インデックス紙は、画面では原稿、コピー用紙とも（□）、（□）と表示されます
が、本文中は、T□、T□と表示します。

(例) A4 (□) → A4T□

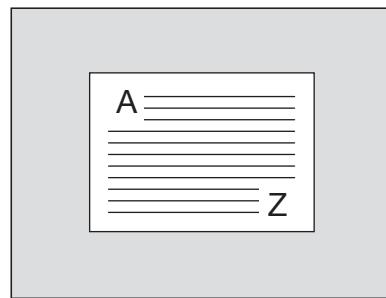
A4 (□) → A4T□

■ ポートレーント原稿とランドスケープ原稿

原稿の天を上にすると横送り□になる原稿をポートレーント原稿と表現します。



原稿の天を上にすると縦送り□になる原稿をランドスケープ原稿と表現します。



コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券、外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

<関係法律>

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■ 注意を必要とするもの

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。

民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

本機が搭載している部門管理機能でパスワードを設定すると、パスワードを入力しないと本機が使用できなくなるため、不正使用を防止できます。

また、部門管理機能でコピー / プリント / スキャンの許可、または禁止の設定により、部門によって機能に制限を加えることもできます。

こんな機能があります

画面をカスタマイズする

応用設定、出力設定、任意のコピー条件を登録してコピー画面にボタン表示させ、ワンタッチで設定画面に展開します。コピー画面のボタン配置を任意に変更できます。また、すべての画面の文字の太さを標準/太文字から選択表示できます。



コピー画面のボタン表示は設定メニューで行います。詳しくは、POD 管理者編をごらんください。

コピー画面のボタン配置変更、表示文字の太さの変更は、設定メニューの管理者設定で行います。

ボックスデータを外付けHDDに保存する

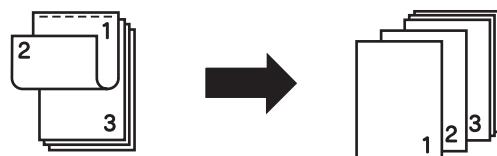
ボックスデータをオプションの外付けHDDに保存し、外付けHDDを管理することでセキュリティーを確保します。



オプションの外付けHDD HD-511で保存管理します。詳細は、p. 2-40をごらんください。

上とじの両面原稿を左右とじのコピーにする

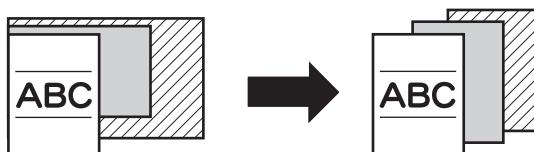
オモテとウラの天地が逆の両面原稿を、天地を同じにしてコピーします。



「両面とじ方向」です。詳細は、p. 9-4をごらんください。

違うサイズの原稿と一緒にコピーする

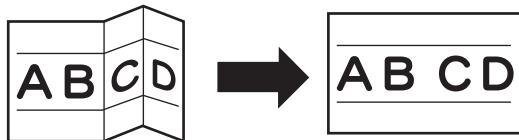
サイズの異なる原稿を、一度に読み取ってコピーします。



「混載原稿」です。詳細は、p. 9-6をごらんください。

Z折れ原稿をコピーする

原稿セット時にサイズ検知できない折れ原稿サイズをスキャン時に確実に検知します。



「Z折れ原稿」です。詳細は、p. 9-8をごらんください。

ADFで原稿を1枚送り確実にコピーする

通常モードではトラブルの恐れのある原稿をADFで確実に送ります。



「1枚送り」です。詳細は、p. 9-10をごらんください。

定形サイズ以外の原稿をコピーする

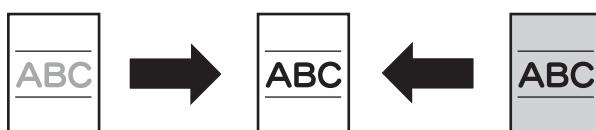
検知異常と判断される規格外サイズの原稿をコピーできるようにします。



「不定形サイズ」です。詳細は、p. 9-14をごらんください。

適正な濃度でコピーする

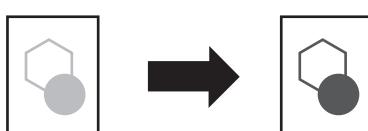
きめの細かなコピー濃度や下地の濃度を調整します。



「濃度調整」です。詳細は、p. 9-24をごらんください。

原稿画質に合わせてコピーする

原稿画質（文字／写真、地図、写真、文字）にあった画像でコピーします。



「原稿画質」です。詳細は、p. 9-27をごらんください。

文字/写真の判別を調整する

文字と写真がいっしょのページのコピー画像を文字がくっきりするように、または写真がきれいになるように調整します。



「文字/写真判別」です。詳細は、p. 9-30をごらんください。

コピー画像の輪郭を調整する

コピー画像の輪郭をくっきりするかどうか、なめらかにするかを調整します。



「シャープネス」です。詳細は、p. 9-29をごらんください。

倍率を変更してコピーする

倍率を変更してコピーします。タテヨコの倍率を変えてタテ長／ヨコ長のコピーが作れます。



詳細は、p. 9-32をごらんください。

自動的に用紙サイズを選択する

倍率を指定すると、原稿サイズに合わせて適正なサイズの用紙を自動的に選択します。



「自動用紙」です。詳細は、p. 9-54をごらんください。

自動的に倍率を選択する

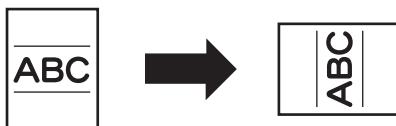
用紙サイズを指定すると、原稿サイズに合わせて適正な倍率を自動的に選択します。



「自動倍率」です。詳細は、p. 9-35をごらんください。

用紙の向きに合わせて画像を回転する

機械が自動的に選択した用紙サイズのタテヨコ方向が逆にトレイにセットされている場合、画像を90度回転させてコピーします。



「自動画像回転」です。詳細は、p. 9-56をごらんください。

トレイ設定外の用紙にコピーする

トレイに設定されている以外の用紙にコピーします。



「用紙予約設定」です。詳細は、p. 9-44をごらんください。

出力中に次のコピーの準備をする

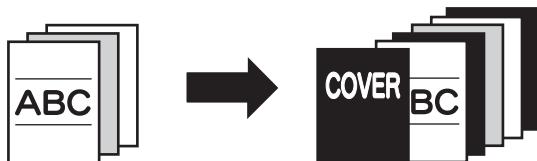
出力している間に次のコピーの出力ができるように準備します。



「コピー予約」です。詳細は、p. 9-58をごらんください。

表紙・挿入紙をつける

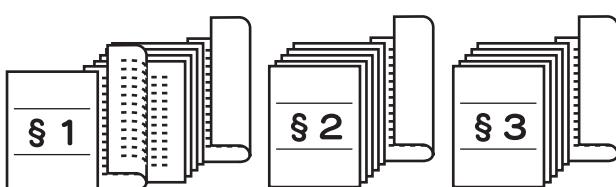
コピーに表紙や挿入紙をつけることができます。



「インターフォント」です。詳細は、p. 10-5をごらんください。

章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーする

両面コピーをとるとき、章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーします。

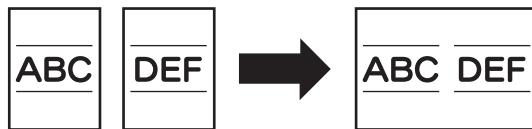


「章分け」です。詳細は、p. 10-14をごらんください。

こんな機能があります(つづき)

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする

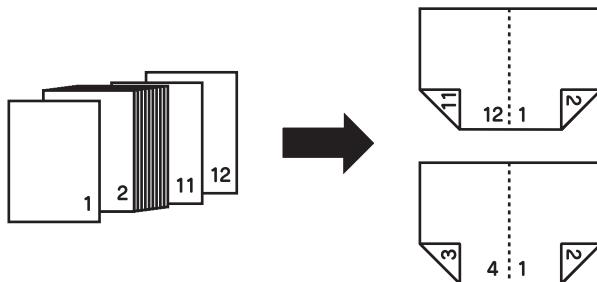
複数枚の原稿画像を1枚の用紙にまとめてコピーします。



「集約」です。詳細は、p. 10-18をごらんください。

週刊誌とじのページ立てにコピーする

コピーのできあがりが週刊誌とじのページ立てになるようにページを入れ替えてコピーします。



「小冊子」です。詳細は、p. 10-22をごらんください。

別原稿のコピーを指定したページに差し込む

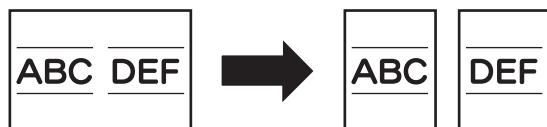
ADFで読み取った原稿ページの間に、原稿ガラスで読み取った原稿ページを差し込んでまとめて出力します。



「差込みページ」です。詳細は、p. 10-27をごらんください。

見開き原稿を別々にコピーする

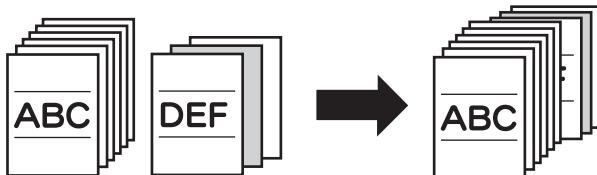
本など、見開き原稿の左右ページを別々にコピーします。



「ブック連写」です。詳細は、p. 10-30をごらんください。

複数のジョブを一括出力する

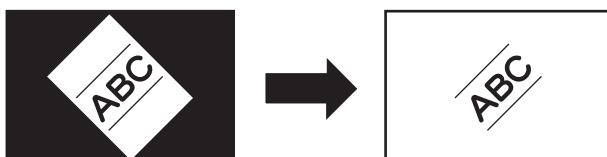
分割して読込んだジョブを1つのジョブとして出力します。



「プログラムジョブ」です。詳細は、p. 10-34をごらんください。

原稿以外の部分を消す

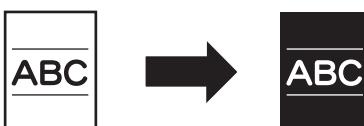
原稿ガラスにセットした原稿の大きさを検知し、それ以外の部分を消してコピーします。



「原稿外消去」です。詳細は、p. 10-38をごらんください。

画像のネガポジを反転させる

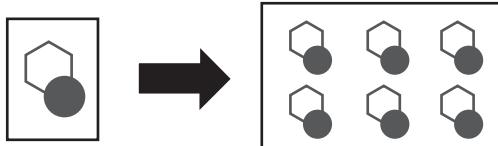
画像のネガポジを反転させてコピーします。



「ネガポジ反転」です。詳細は、p. 10-40をごらんください。

画像を繰り返してコピーする

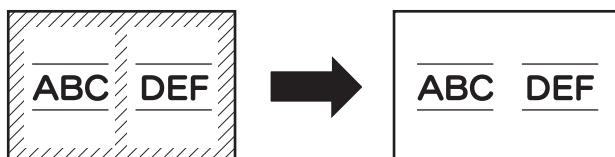
原稿の画像を1枚の用紙に繰り返してコピーします。



「リピート」です。詳細は、p. 10-42をごらんください。

黒い影を消す

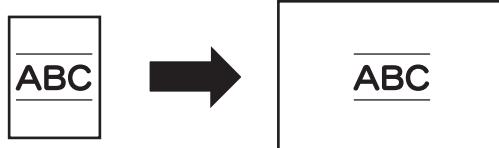
本などをコピーしたときにできる周囲やとじ部の黒い影を消してコピーします。



「枠／折り目消し」です。詳細は、p. 10-48をごらんください。

画像を用紙の中央に配置する

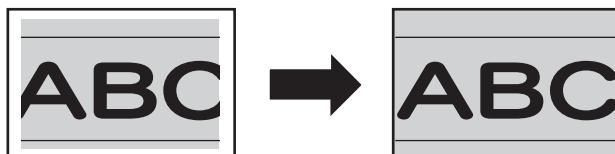
原稿の画像を自動的に中央に配置してコピーします。



「センタリング」です。詳細は、p. 10-52をごらんください。

用紙いっぱいの大きさにコピーする

用紙ぎりぎりまで画像をコピーします。



「全面画像」です。詳細は、p. 10-54をごらんください。

コピー画像位置を調整する

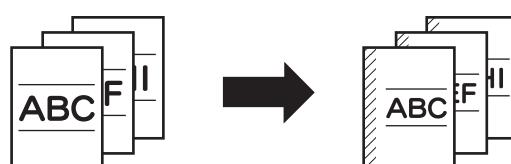
コピー画像の用紙上の位置を動かします。



「とじしろ>シフト」です。詳細は、p. 10-56をごらんください。

縮小してとじしろ（余白）をつくる

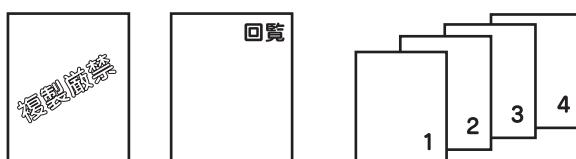
画像を縮小しながら動かして、コピーにとじしろをつくります。



「とじしろ>縮小シフト」です。詳細は、p. 10-61をごらんください。

コピーにスタンプやウォーターマークを印字する

コピーに特定の文字やページ番号、日付などを印字します。



「スタンプ／オーバーレイ」です。詳細は、p. 10-65をごらんください。

不正コピー防止の隠し画像をプリントする

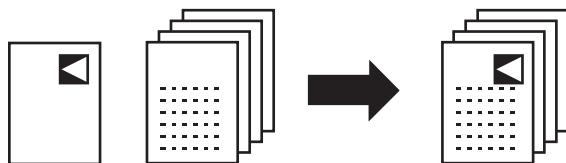
不正コピー防止のために隠しパターンや文字をプリントします。



「コピー・プロジェクト」です。詳細は、p. 10-79をごらんください。

画像を重ねてコピーする

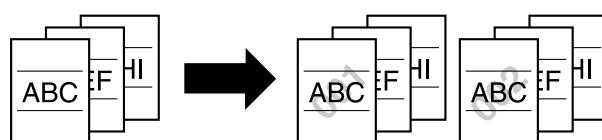
1枚の画像を、その後にスキャンしたり、保存されている画像に重ねてコピーします。



「オーバーレイ」です。詳細は、p. 10-91をごらんください。

タイトル、日時、通し番号をプリントする

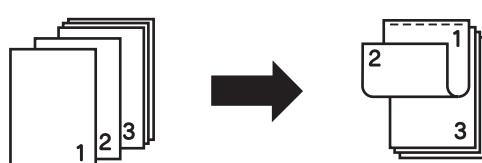
原稿にないタイトル、日時、通し番号を任意の位置にプリントします。



「任意スタンプ」です。詳細は、p. 10-87をごらんください。

通常の原稿から上とじの両面コピーをつくる

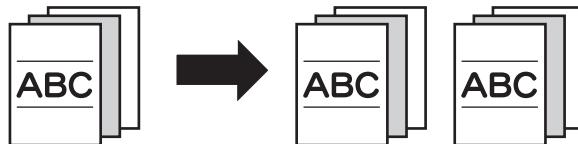
オモテとウラの天地が同じ原稿からオモテとウラの天地が逆の両面コピーをつくります。



「両面とじ方向」です。詳細は、p. 9-4をごらんください。

仕分け／ステープルして出力する

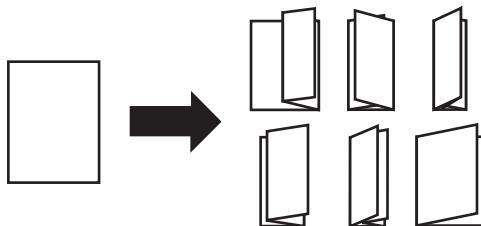
用紙を仕分けたり、ステープルして出力します。



オプションのフィニッシャ FS-521 の機能です。詳細は、p. 11-7 をごらんください。

パンチ穴をあける／折りをつける

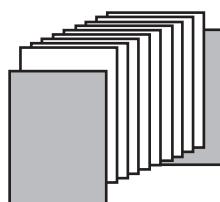
用紙にパンチ穴をあけたり、いろいろな折りがつけられます。



オプションの折り機 FD-503 の機能です。詳細は、p. 11-19 をごらんください。

カバー紙をつける

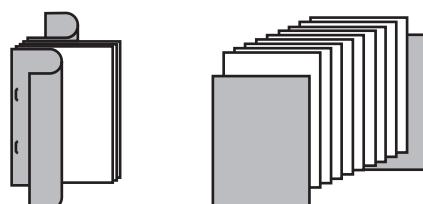
用紙に別の厚紙の表紙や中扉がつけられます。



オプションの PI-PFU および、折り機 FD-503 のポストインスターの機能です。詳細は、p. 11-24 をごらんください。

手動でステープル／パンチ穴／折り／中とじをする

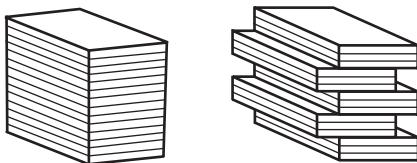
コピーせずに手動で用紙にステープル／パンチ穴／折り（じ）／中とじをして出力します。



オプションの折り機 FD-503 のポストインスターの機能です。詳細は、p. 11-27 をごらんください。

大量の用紙を積載／仕分ける

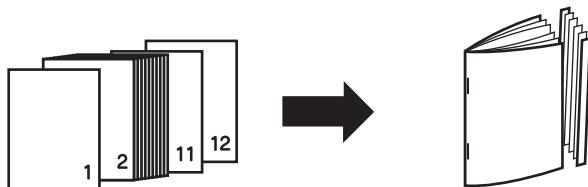
一度の大量出力に対応し、用紙を仕分けます。



オプションの大容量スタッカーライン LS-505 の機能です。詳細は、p. 11-47をごらんください。

中とじ／中折り小冊子をつくる／断裁する

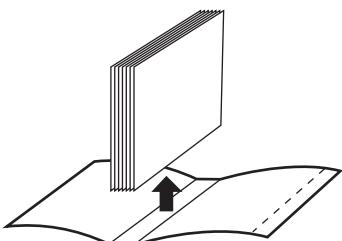
2つ折りにして小冊子をつくります。また中央にステープルしたり、小口断裁をします。



オプションの中とじ機 SD-506 の機能です。詳細は、p. 11-14をごらんください。

くるみ製本をする

表紙をくるんだ糊付け製本をします。



オプションのくるみ製本機 PB-502 の機能です。詳細は、p. 11-30をごらんください。

過去、現在、予約のジョブの管理をする

出力・送信履歴、未出力や保留ジョブの確認、現在展開中のジョブや予約ジョブの管理をします。



「ジョブリスト」です。詳細は、p. 12-2をごらんください。

1部出力してコピー条件を確認する

多部数出力する前に1部出力して、設定したコピー条件が間違っていないか確認します。



「確認コピー」です。詳細は、p. 13-2をごらんください。

出力する前に画面でコピー条件を確認する

出力する前に設定したコピー条件を画面に表示させ、間違つていなか確認します。



「設定内容」です。詳細は、p. 13-6をごらんください。

割り込んでコピーする

機械動作中に一時的に違うコピー条件でコピーすることができます。



「割込み」です。詳細は、p. 13-10をごらんください。

コピー条件を登録／呼び出す

よく使うコピー条件を登録し、必要なときに呼び出してコピーすることができます。



「プログラム」です。詳細は、p. 13-12をごらんください。

直前のコピー条件を呼び出す

直前のコピーのコピー条件を呼び出してコピーすることができます。



「プログラム」です。詳細は、p. 13-18をごらんください。

機能や操作方法解説の画面を表示させる

機械の機能や操作方法を画面表示させます。



「ヘルプ」です。詳細は、p. 13-20をごらんください。

キーの応答時間を調整する

タッチパネルのキーを押して応答する時間を調整します。



「キー応答」です。詳細は、p. 13-22をごらんください。

設置・取扱いの注意

第1章

設置・取扱いの注意について説明します。

安全にご使用いただくために	1-2
■ 絵表示の意味	1-2
■ 図記号の例	1-2
適合宣言文	1-10
■ 電波障害について	1-10
■ LED放射光の安全性	1-10
注意表記・注意ラベル	1-11
設置スペース	1-14
使用上のご注意	1-23
■ 設置電源	1-23
■ 使用環境	1-23
■ トナーボトルの取扱いについて	1-23
■ コピーの保存について	1-23
■ オゾン放出	1-23
■ 折り機/ステープルフィニッシャー FS-521使用時のご注意	1-24

安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
- ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

※ ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

■ 絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例



この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。

例) 「高温注意」を示す図記号



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

例) 「分解禁止」を表わす図記号



この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。

例) 「電源プラグを抜く」を表わす図記号

分解・改造について

⚠ 警告

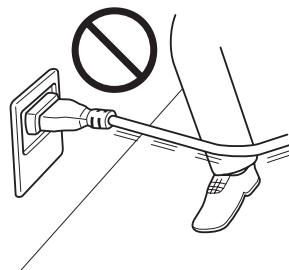
- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。
- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



電源コードについて

⚠ 警告

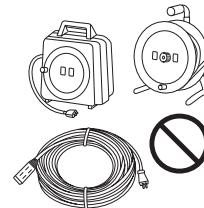
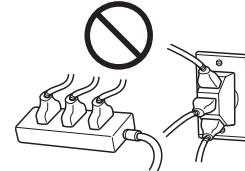
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



電源について

⚠ 警告

- 製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。
- 同じ室内で他電気製品を使う場合や2口以上あるコンセントを使う場合は、事前にサービス担当技術者にご相談ください。漏電ブレーカーが頻繁に落ちたり、コンセントの容量を超えて使用すると、火災の原因になります。電源プラグを差し込む前に、コンセントがアース接続されていることを確認してください。
- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



⚠ 注意

- コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源プラグについて

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



アース接続について

⚠ 警告

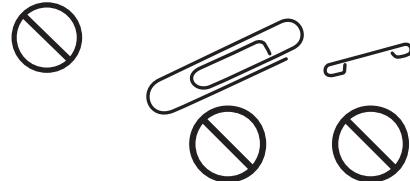
- 必ずアース接続されたコンセントに接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。



設置について

⚠ 警告

- 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



⚠ 注意

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。(床置き型製品の場合)
- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 本製品の周囲で引火性のスプレー液や液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。



換気について

⚠ 注意

- 換気の悪い部屋で、長時間にわたる使用や大量にコピー／プリントをする場合には、排気臭が気になることがありますので、十分に換気を行ってください。



異常が見られたら**!
警告**

- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。
- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。

**!
注意**

- 本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙つまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。

**消耗品について****!
警告**

- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

**!
注意**

- トナーボトルや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



製品を移動させるときは

⚠ 注意

- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。
本体に付属のオプションが接続されている場合は、むやみに移動させると危険です。移動の際は、必ずサービス実施店にお問い合わせください



長期間使用しないときは

⚠ 注意

- 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



糊ペレットについて

⚠ 注意

- 糊ペレットを火気に近づけないでください。糊ペレットは可燃物なので、発火のおそれがあります。
- 糊ペレットを飲み込まないでください。本品を万一飲み込んだ場合は、大量の水または牛乳を飲ませて吐かせた後、速やかに医師の診断を受けてください。
- 幼児や子供の手の届かないところに保管してください。思わぬ事故になることがあります。



くるみ製本機について

！ 注意

- 換気せずに使用し続けず、定期的に部屋の換気をしてください。くるみ製本機は、局所排気装置のある場所に設置することをおすすめします。換気の悪い部屋で、長時間にわたる使用や大量にコピー／プリントをする場合には、排気臭が気になることがありますので、十分に換気を行ってください。



- 加熱溶解した糊の扱いには十分ご注意ください。万一目に入った場合は、眼をこすったり、無理に開けたりしないで直ちに水で冷やし、医師の手当を受けてください。



- 加熱溶解した糊に触れないでください。やけどの恐れがあります。付着した場合は、直ちに付着箇所を水で冷やし、医師の診断を受けてください。



- 電源を切ってもすぐに糊タンクユニットに触れないでください。やけどの恐れがあります。触れる場合は十分温度が下がるまで待ってください。



- 糊ホッパー や 糊タンクユニットに火気を近づけないでください。糊は可燃物なので火災の恐れがあります。



- 加熱溶解時に出る蒸気に近づかないでください。眼・鼻・喉の粘膜を刺激することがあります。異常を感じた場合は、新鮮な空気の場所に移動してください。



- くるみ製本機背面のファン排出口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因になることがあります。



- 糊タンクユニットの温度設定をむやみに変更しないでください。火災・故障の原因になることがあります。



適合宣言文

■ 電波障害について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルおよびネットワークケーブルを使用して下さい。ノンシールドケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあります。

■ LED放射光の安全性

本機は、LED（発光ダイオード）露光方式による製品です。

運転、保守、サービスおよび故障のすべての条件下で、LED 光放射レベルがクラス 1 の被ばく放射限界を超えないでの、LED 光放射の危険にさらされることはできません。

注意表記・注意ラベル

本機には以下に示す位置に安全に関する注意ラベルがあります。
紙づまり処理時などに事故のないようご注意ください。

<反転排紙ユニット入口>



<定着ユニット右側面>



<定着ユニット上面>



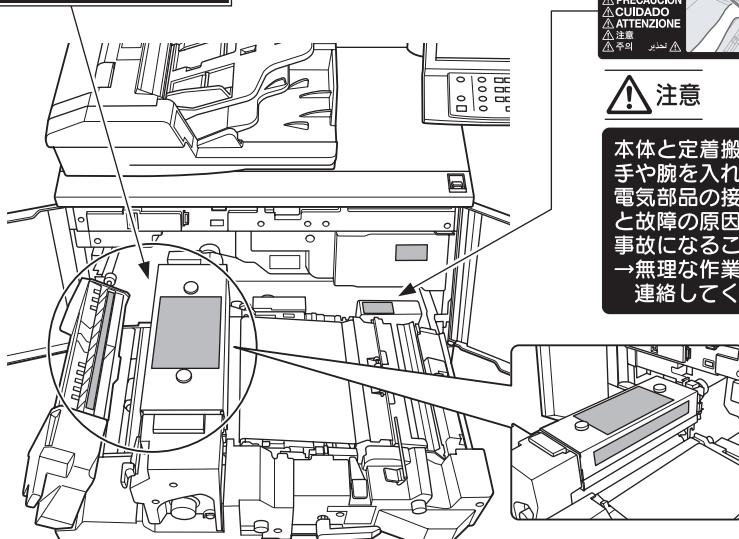
注意
本体と定着搬送ユニットの間に手や腕を入れないでください！
思わぬ事故になることがあります。
→無理はせず、サービスに連絡してください。



注意
定着部に手を触れないでください！
火傷をする恐れがあります。
→定着搬送ユニットを引き出したときは、特にご注意ください。



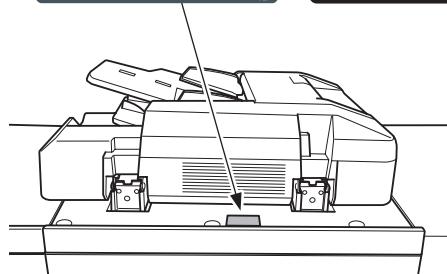
注意
本体と定着搬送ユニットの隙間に手や腕を入れないでください！
電気部品の接続端子などに触ると故障の原因になったり、思わぬ事故になることがあります。
→無理な作業はせず、サービスに連絡してください。



⚠ 注意



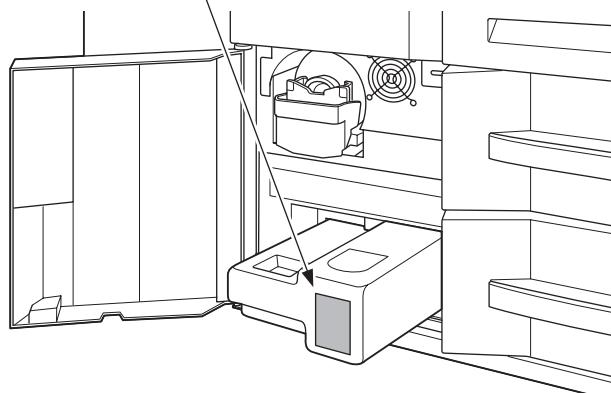
ADFヒンジ部(2ヵ所)に
指を入れないでください！
はさまれてけがをするこ
とがあります。
→ADFを開け閉めする
ときはご注意ください。



⚠ 警告



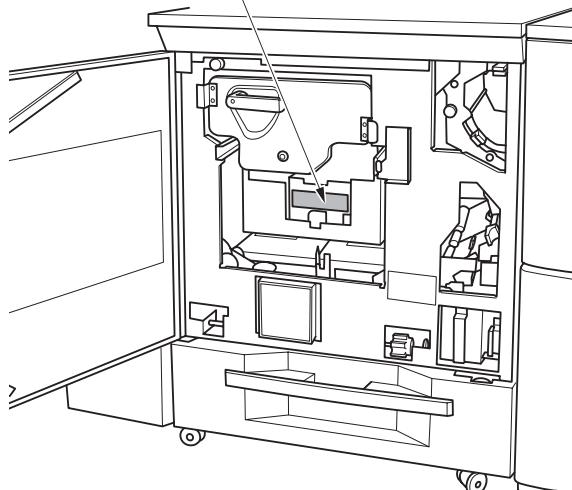
廃トナーの入ったトナー
回収箱は、絶対火中に投
入しないでください！
粉塵爆発を起こすなど、
思わぬ事故になる恐れが
あります。
→トナー回収箱の処理に
ついては、サービス実
施店にお問い合わせく
ださい。





注意

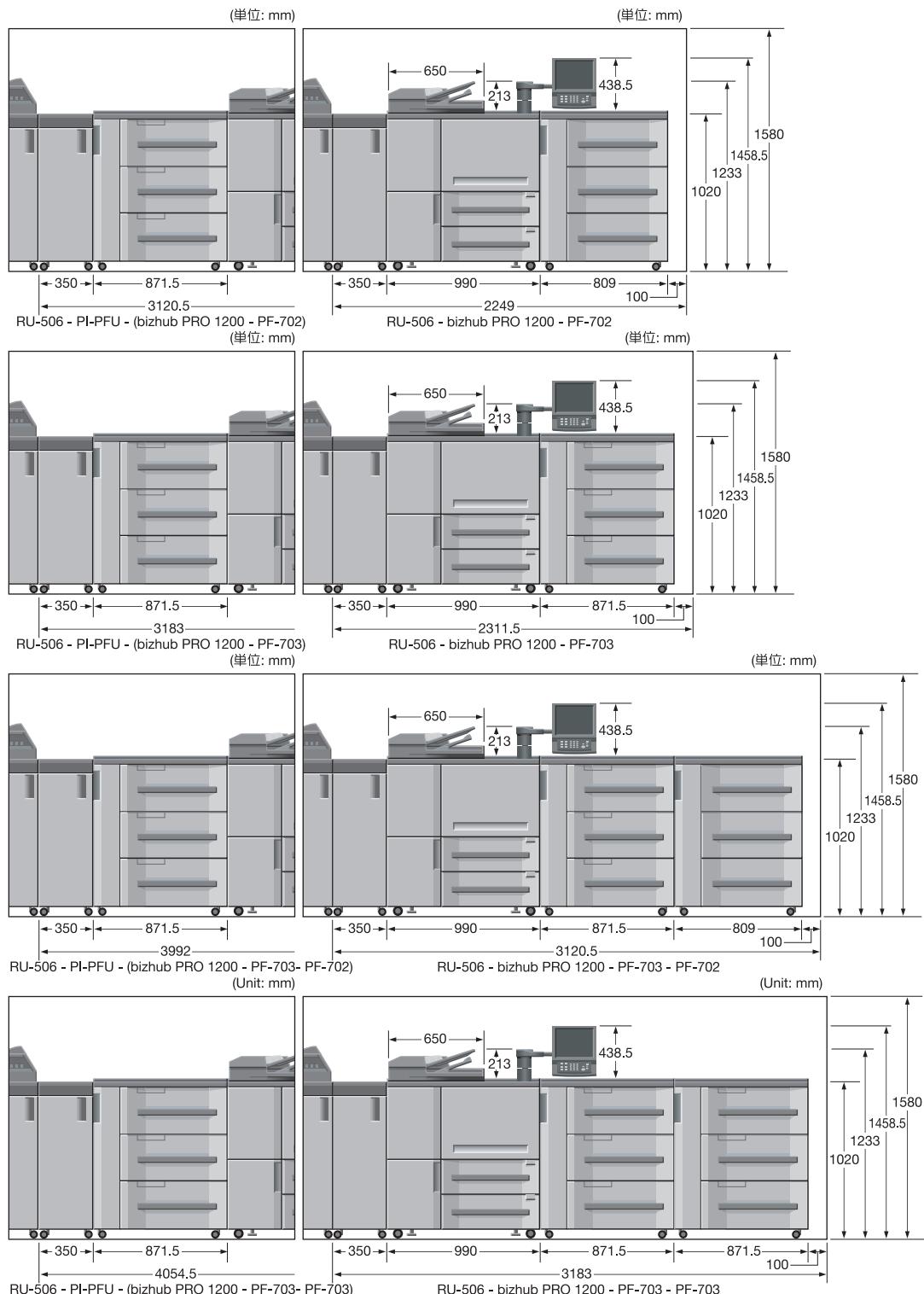
糊タンクユニットに手を触
れないでください！
火傷をする恐れがあります。
→糊タンクユニットが前に
出ている状態で、ユニッ
トを押し込むときは、特
にご注意ください。



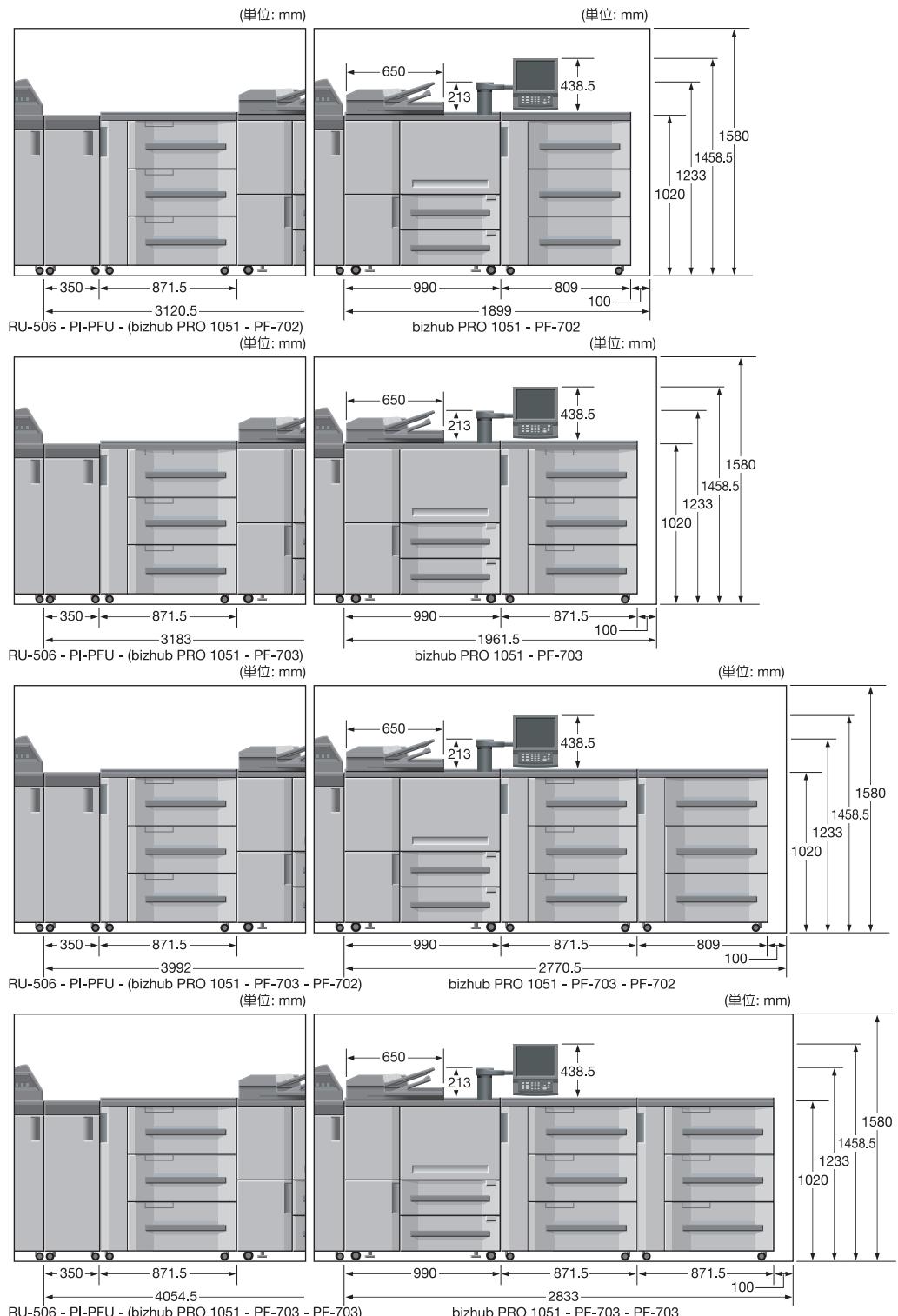
設置スペース

プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるよう、十分な設置スペースをお取りください。

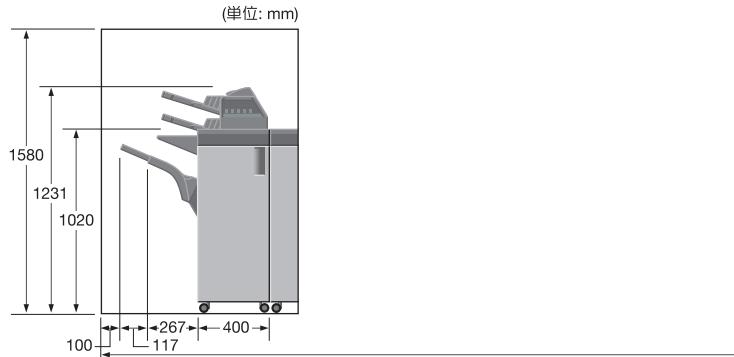
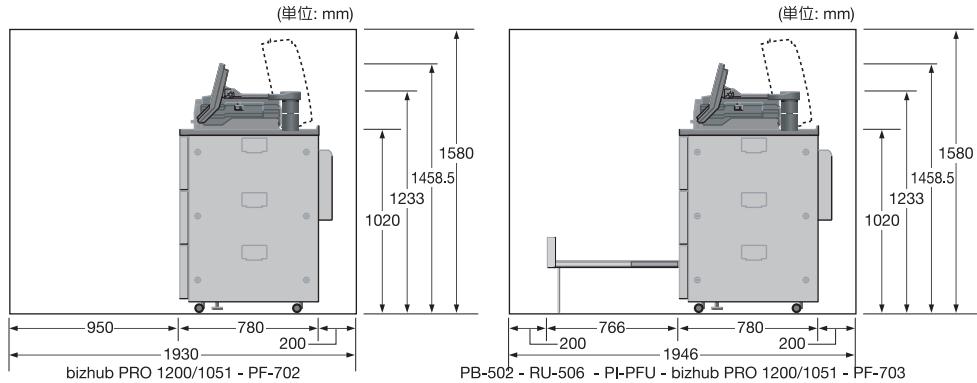
機械の質量は、オプションの組み合わせにより最大約 1,618kg になります。設置場所は、質量に耐えられる丈夫で水平な場所をお選びください。



設置スペース(つづき)

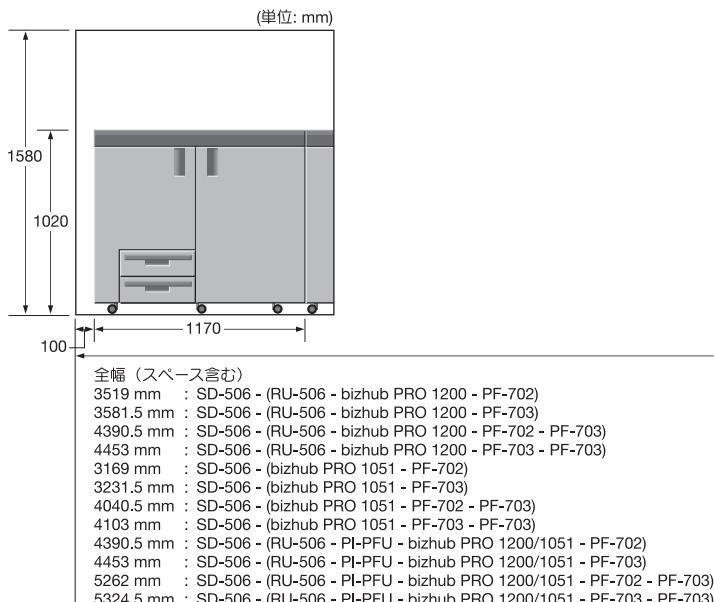
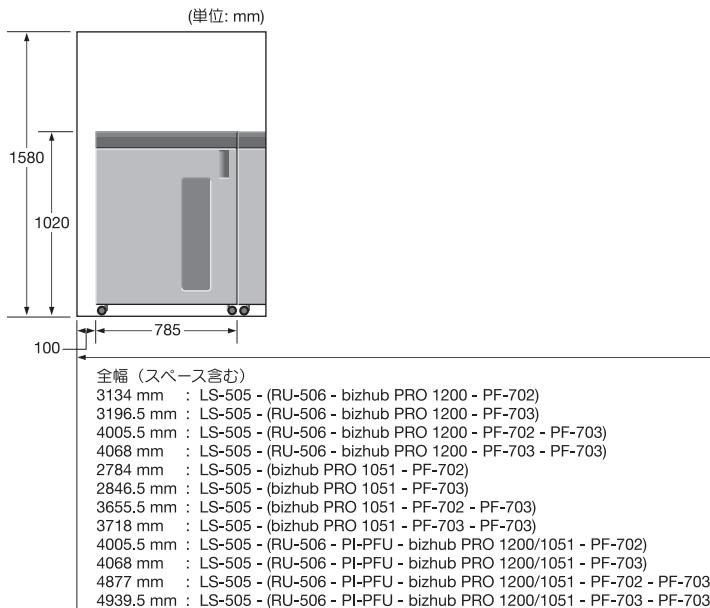


設置スペース(つづき)

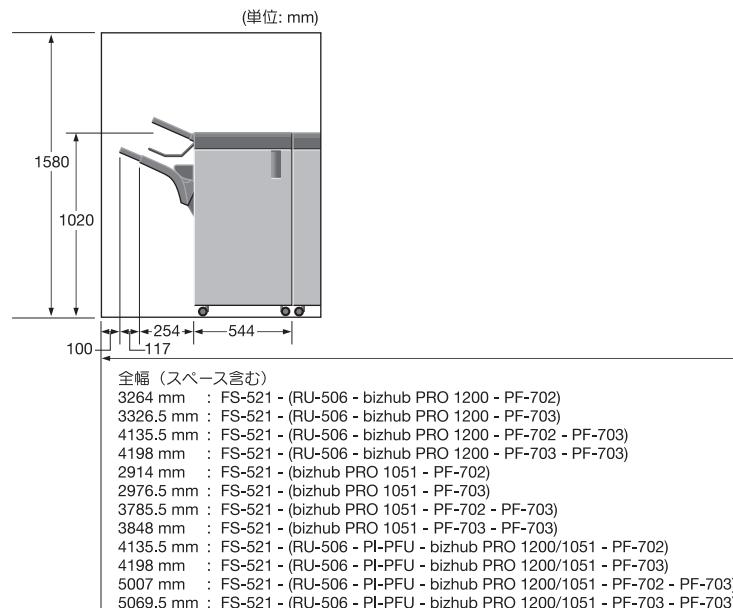
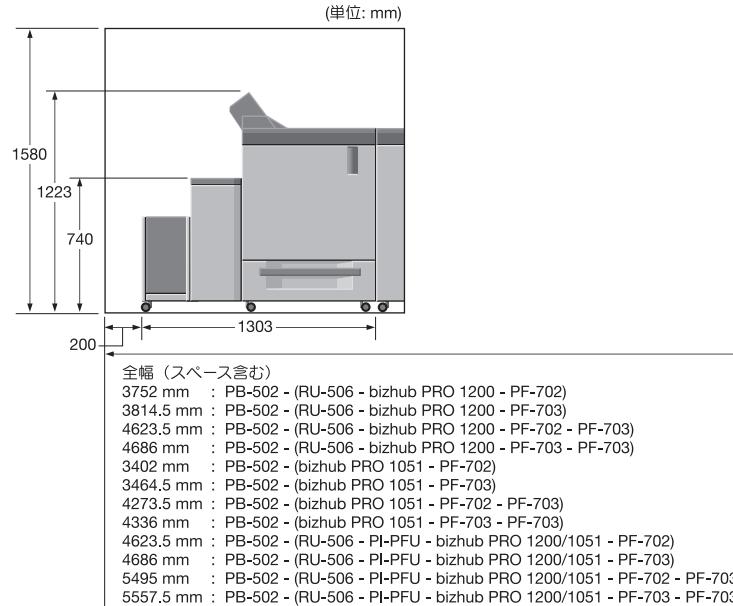


全幅（スペース含む）

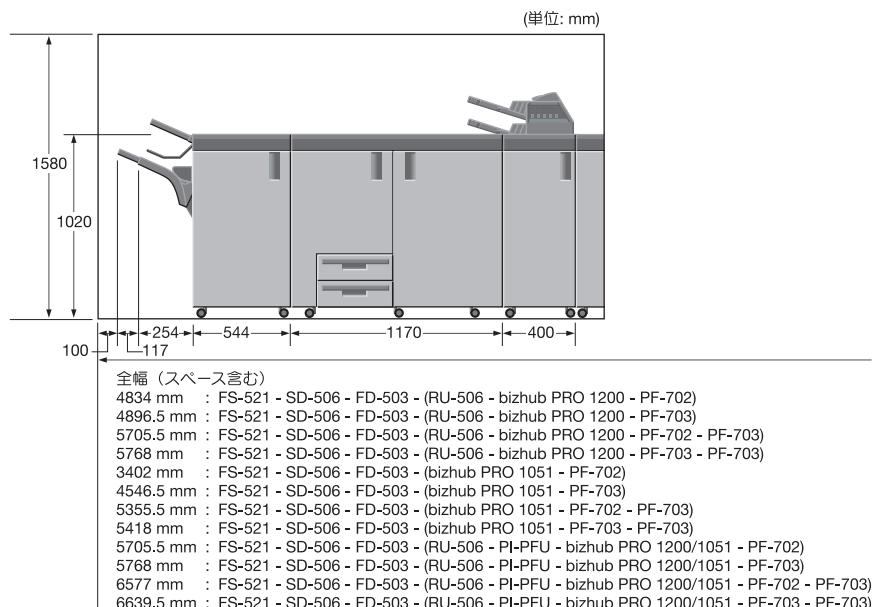
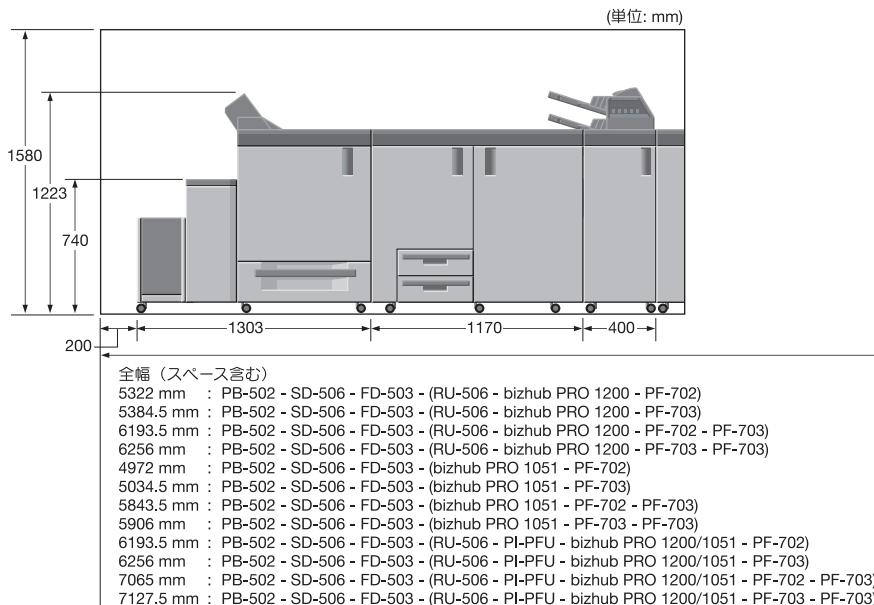
3133 mm : FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-702)
 3195.5 mm : FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-703)
 4004.5 mm : FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-702 - PF-703)
 4067 mm : FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-703 - PF-703)
 2783 mm : FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-702)
 2845.5 mm : FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-703)
 3654.5 mm : FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-702 - PF-703)
 3717 mm : FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-703 - PF-703)
 4004.5 mm : FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-702)
 4067 mm : FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-703)
 4876 mm : FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-702 - PF-703)
 4938.5 mm : FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-703 - PF-703)



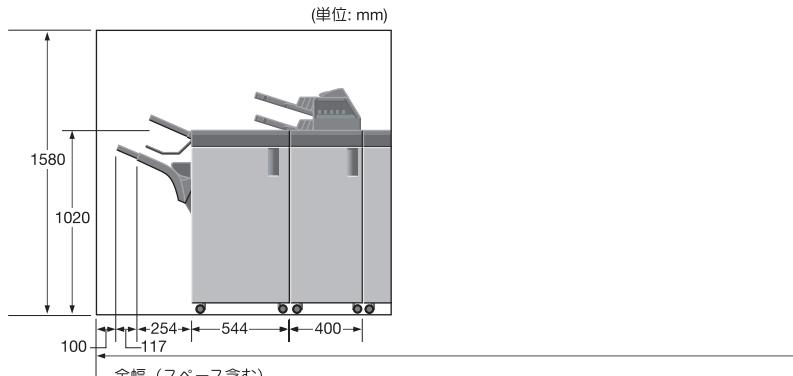
設置スペース(つづき)



設置スペース(つづき)

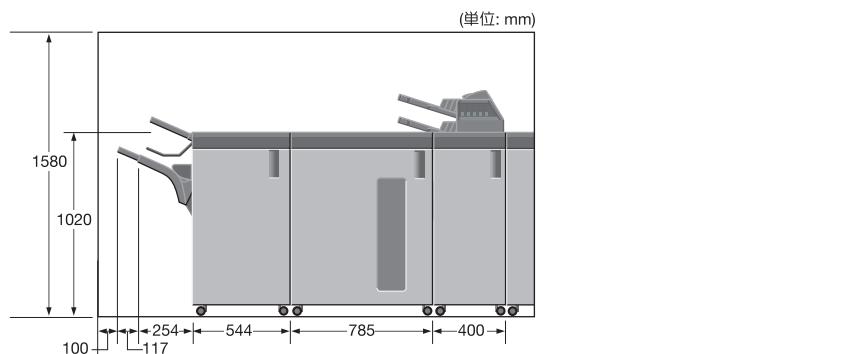


設置スペース(つづき)



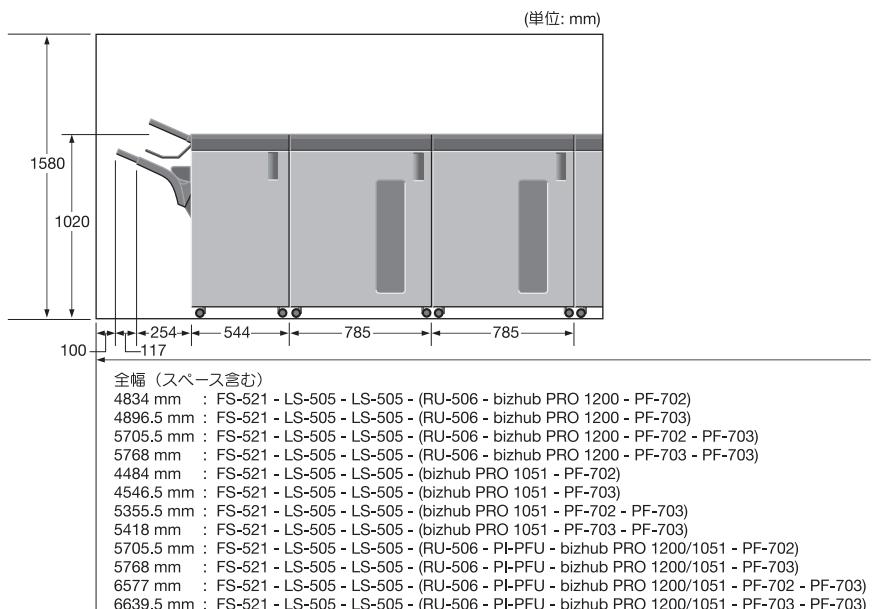
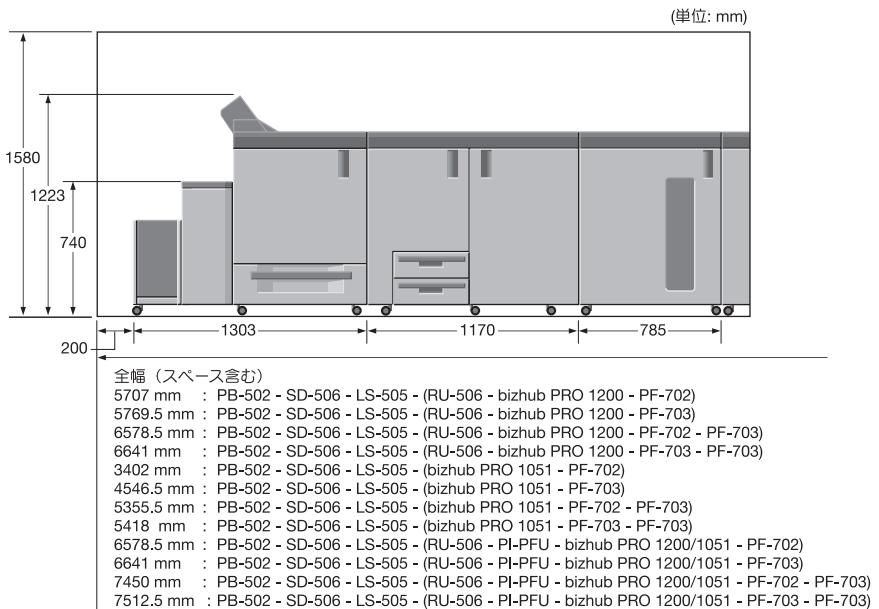
全幅(スペース含む)

- 3664 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-702)
- 3726.5 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-703)
- 4535.5 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-702 - PF-703)
- 4598 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-703 - PF-703)
- 3314 mm : FS-521 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-702)
- 3376.5 mm : FS-521 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-703)
- 4185.5 mm : FS-521 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-702 - PF-703)
- 4248 mm : FS-521 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-703 - PF-703)
- 4353.5 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-702)
- 4598 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-703)
- 5407 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-702 - PF-703)
- 5469.5 mm : FS-521 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-703 - PF-703)

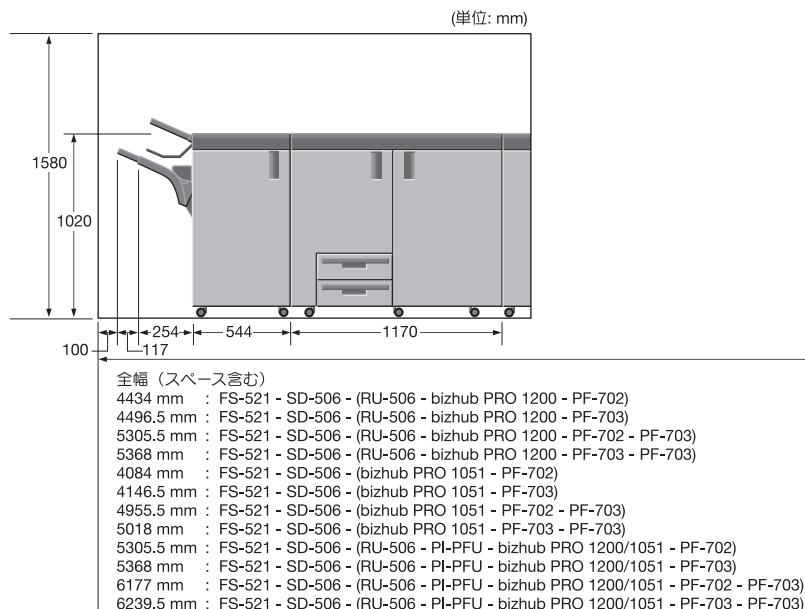
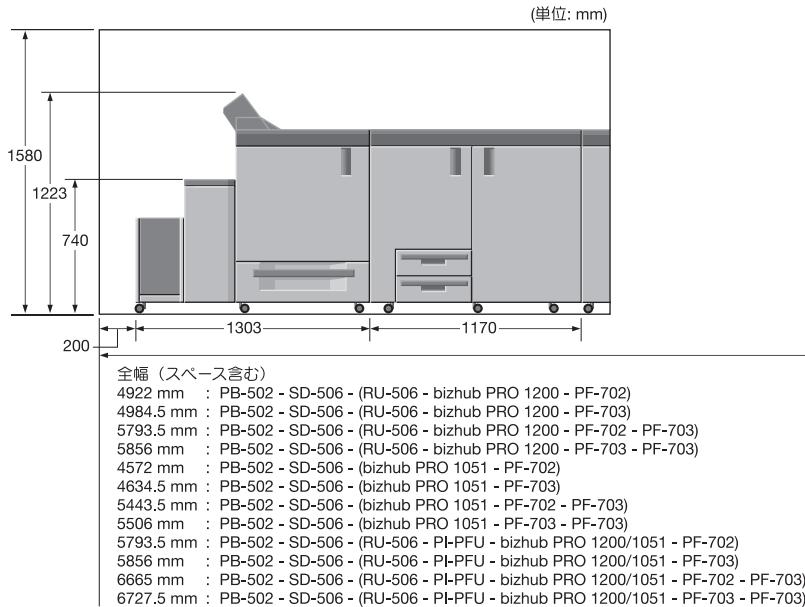


全幅(スペース含む)

- 4449 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-702)
- 4511.5 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-703)
- 5320.5 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-702 - PF-703)
- 5383 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - bizhub PRO 1200 - PF-703 - PF-703)
- 4099 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-702)
- 4161.5 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-703)
- 4970.5 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-702 - PF-703)
- 5033 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (bizhub PRO 1051 - PF-703 - PF-703)
- 5320.5 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-702)
- 5383 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-703)
- 6192 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-702 - PF-703)
- 6254.5 mm : FS-521 - LS-505 - FD-503 - (RU-506 - PI-PFU - bizhub PRO 1200/1051 - PF-703 - PF-703)



設置スペース(つづき)



使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。

電圧：AC 200 V

周波数：50 Hz/60 Hz

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

使用温度 10 °C ~ 30 °C

湿度 10% ~ 80%

■ トナーボトルの取扱いについて

トナーボトルを取り扱う場合、以下の項目をよく読み、取扱いには十分に注意してください。

- トナーボトルは、無理に開けたりしないでください。
トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手についた場合には、石鹼を使って水でよく洗い流してください。
- トナーを吸入した場合には、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
咳などの症状がでるようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合には、ただちに流水で 15 分以上洗い流してください。
刺激が残るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合には、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。
必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーボトルは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

■ コピーの保存について

長期間保存される場合は、光や高温による退色、コピー面同士の吸着を防ぐため光の当たらない冷暗所に保管してください。また、一時的に保存する場合も光や高温を避けて保管してください。

コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けことがあります。

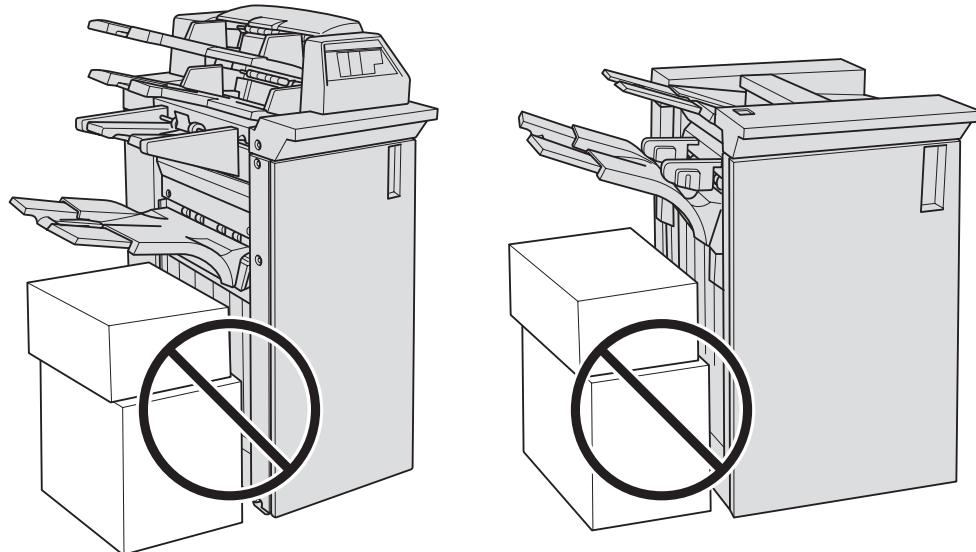
■ オゾン放出

本機使用中は少量のオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。

ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量に印刷を行ったりする場合には、臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために定期的な部屋の換気をお勧めします。

■ 折り機/ステープルフィニッシャー FS-521 使用時のご注意

折り機 FD-503 やフィニッシャーメイントレイの下に物を置かないでください。機械故障の原因になることがあります。



ご使用いただく前に

第2章

ご使用いただく前に知っておきたいことがらについて説明します。

各部の名称とはたらき	2-2
■ 本体外部	2-2
■ 本体内部	2-4
■ 操作パネル	2-6
■ コピー画面	2-8
■ 機械状態画面	2-10
■ オプション構成	2-12
■ 大容量給紙トレイPF-702	2-22
■ サクション式大容量給紙トレイPF-703	2-24
■ サクション式大容量給紙トレイPI-PFU	2-26
■ 中継搬送ユニットRU-506	2-28
■ ステープルフィニッシャーFS-521	2-30
■ 折り機FD-503	2-32
■ 中とじ機SD-506	2-34
■ くるみ製本機PB-502	2-36
■ 大容量スタッカーLS-505	2-38
■ リムーバブルHD取付けキット	2-40
 電源を入れる/切る	2-41
■ 電源を入れる	2-41
■ 電源を切る	2-43
 自動的に初期設定にもどる（オートリセット）	2-44
 パワーセーブランプが点灯する	2-45
■ 機械を使用するための操作	2-45
■ 自動的に節電状態になる（オートローパワー）	2-46
■ 自動的に節電状態になる（オートシャットオフ）	2-47
■ 手動で節電状態にする	2-48
■ 使用時間を制限する（ウィークリータイマー）	2-49
 ユーザー認証/部門認証を求められたとき	2-51

各部の名称とはたらき

電源を入れる/切る

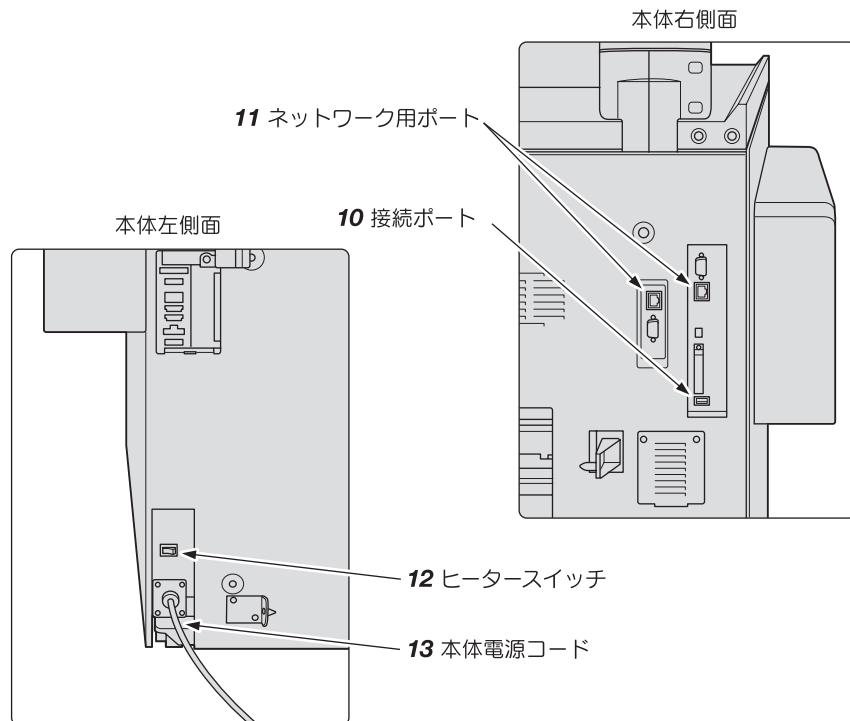
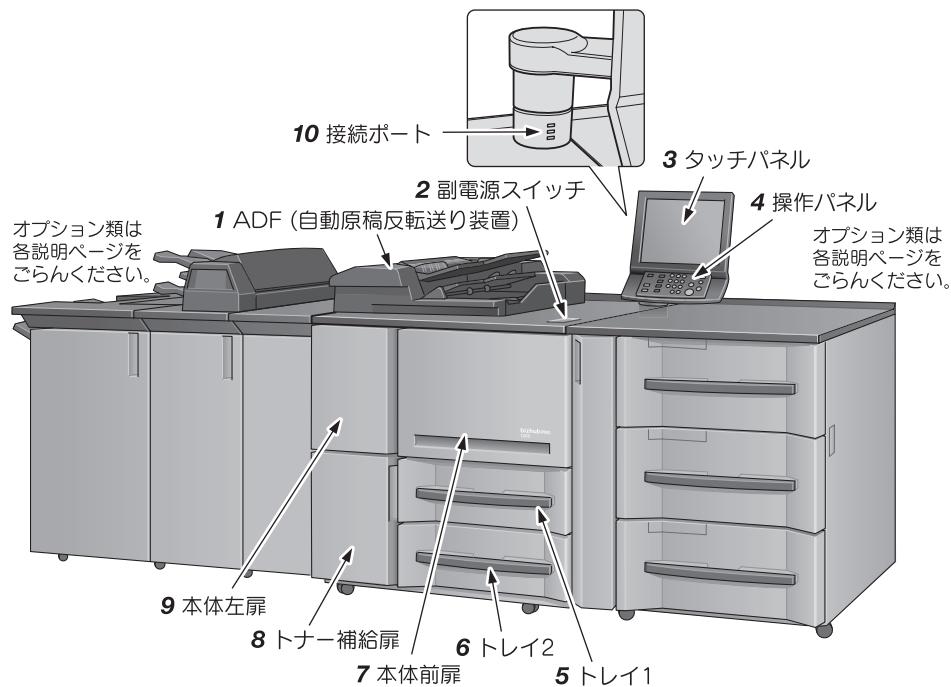
オートリセット

パワーセーブランプ

ユーザー認証/部門認証

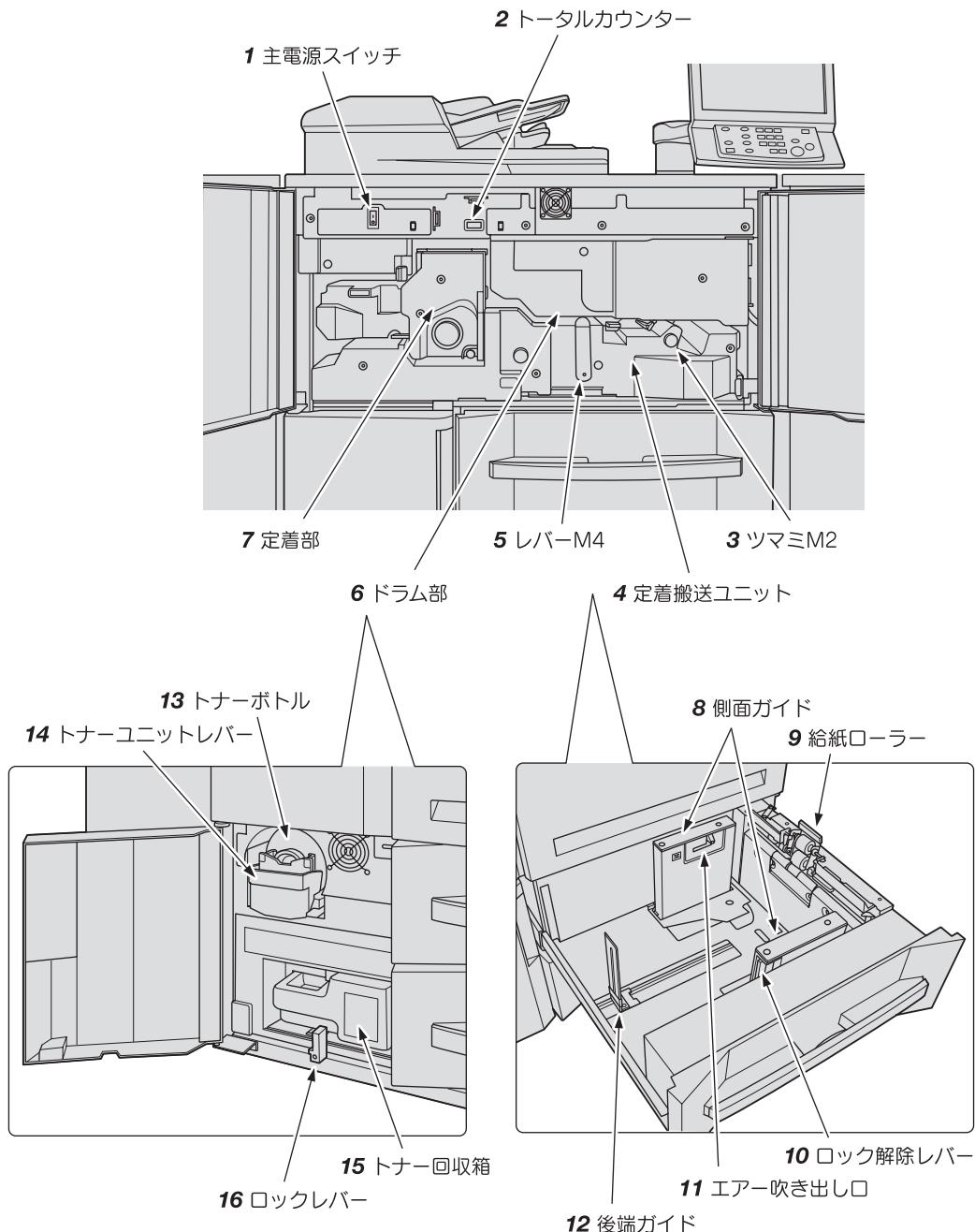
各部の名称とはたらき

■ 本体外部



番号	名 称	説 明
1	ADF (自動原稿反転送り装置)	複数の原稿を自動的に1枚ずつ送り、原稿の画像をスリットガラス上でスキャンします。
2	副電源スイッチ	本体の電源をオン／オフします。
3	タッチパネル	コピー条件の表示および設定をします。詳しくは、p. 8-2をごらんください。
4	操作パネル	コピー諸条件を設定します。詳しくは、p. 2-6をごらんください。
5	トレイ1	A3～A5までの用紙を1,600枚 (64g/m ² 紙) 収納します。
6	トレイ2	A3～A5までの用紙を1,600枚 (64g/m ² 紙) 収納します。
7	本体前扉	紙づまりのとき開けて処理します。
8	トナー補給扉	トナー補給や廃トナーボックスを交換するとき開いて処理します。
9	本体左扉	紙づまりのときや主電源スイッチをオフ／オンするとき、本体前扉といっしょに開けます。
10	接続ポート (タイプA) USB 2.0/1.1相当	バックアップ用ドライバー、操作用キーボード、マウスなどを接続するときに使用します。
11	ネットワーク用ポート (10 Base-T/100 Base-T/ 1000 Base-T)	イーサネットケーブルを接続し、本機を操作したり、ネットワークプリンター／スキャナーとして使用します。
12	ヒータースイッチ	本機のヒーターのオン／オフをします。
13	本体電源コード	本体の電源を供給します。

■ 本体内部



番号	名 称	説 明
1	主電源スイッチ	オフ／オンの切り替えはサービス技術者が行います。通常オフにしないでください。
2	トータルカウンター	出力された総画像枚数を表示します。
3	ツマミM2	紙つまりのとき左に回して処理します。
4	定着搬送ユニット	紙つまりのとき、引き出して処理します。定着搬送ユニットの各レバーやツマミに関しては、紙つまり時に表示される画面をごらんください。
5	レバー M4	紙つまりのとき、右に倒して定着搬送ユニットを引き出します。
6	ドラム部	コピー画像に形成される部分です。
7	定着部	形成された画像を用紙に定着させる部分です。
8	側面ガイド	セットした用紙の両側面に沿われます。
9	給紙ローラー	用紙を1枚ずつプリント装置に送り込みます。
10	ロック解除レバー	側面ガイドを動かすとき、奥側に押してロックを解除します。
11	エアー吹き出し口	用紙の重送を防ぐためのエアーを吹き出します。
12	後端ガイド	セットした用紙の後端面に沿われます。
13	トナーボトル	本体にトナーを供給します。
14	トナーユニットレバー	トナーボトルを交換するため、トナーユニットを引き出すときに手前に引きます。
15	トナー回収箱	廃トナーが回収されます。
16	ロックレバー	トナー回収箱を交換するとき、トナー回収箱を押しながら左に倒してロックを解除します。

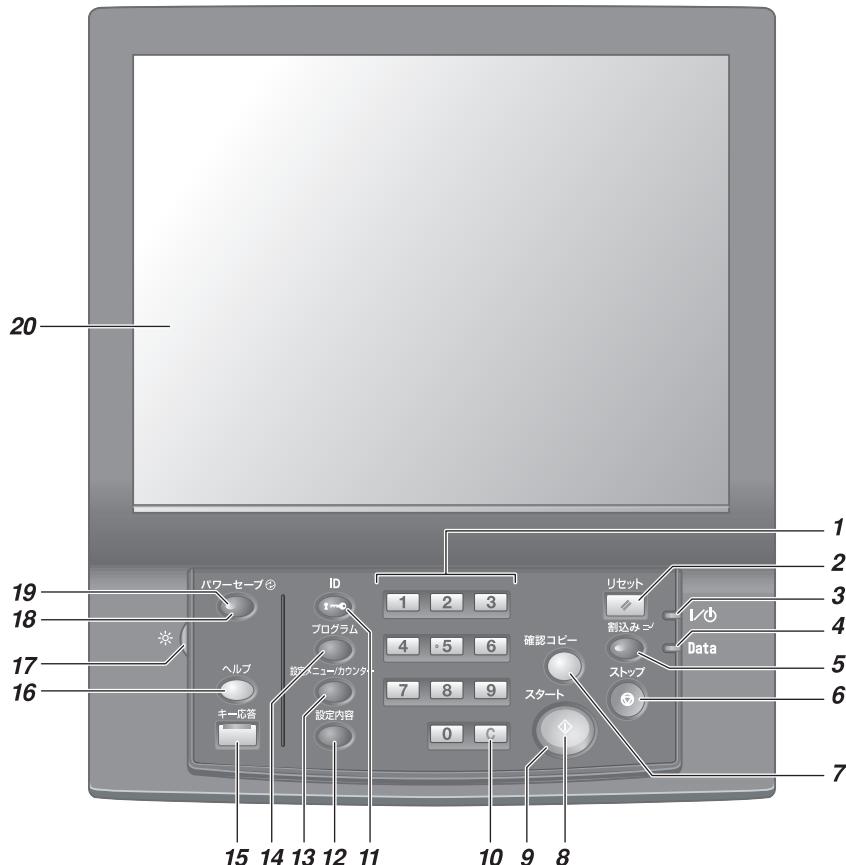
⚠ 注意

定着部は高温になっています。火傷をする恐れがありますので、この付近に手を触れないでください。

⚠ 警告

使用済みのトナー回収ボックスを絶対に火中に投じないでください！
廃トナーでいっぱいになったトナー回収箱を火中に投じると、粉塵爆発の恐れがあり、とても危険です。
→使用済みのトナー回収箱は、サービス実施店が回収します。

■ 操作パネル



番号	名 称	説 明	参照ページ
1	テンキー	コピー部数の設定、パスワードの入力などのときに押します。	p. 8-2
2	【リセット】	コピー条件を初期状態にもどすときに押します。	p. 10-2
3	電源ランプ	主電源スイッチを入れるとオレンジ色に点灯し、副電源スイッチを入れると緑色に変わります。	p. 2-41
4	データランプ	プリントデータ受信中に点滅します。	
5	【割込み】	コピー、プリンター、スキャナー作業中、他のコピー条件でコピーしたいときに押します。	p. 13-10
6	【ストップ】	コピー動作を中断するとき、スキャンした画像データを消去するときに押します。	p. 8-15
7	【確認コピー】	設定したコピー条件確認のため、1部出力するときに押します。	p. 13-2
8	【スタート】	各機能を開始するときに押します。	p. 8-4
9	【スタート】ランプ	動作開始が可能なとき、青色になります。 動作開始ができないときは赤色になります。	p. 2-46

番号	名 称	説 明	参照ページ
10	【C】(枚数クリア)	設定したコピー部数を変更するときに押します。	p. 8-11
11	【ID】	ユーザー認証／部門認証設定で機械を使用している場合、ふたたびユーザー認証／部門認証しないと機械を使用できないようにするときに押します。	p. 2-52
12	【設定内容】	任意のコピー条件の書込み／読み出し、直前のコピー条件を呼び出すときに押します。	p. 13-6
13	【設定メニュー／カウンター】	設定メニュー画面やカウンターを表示させる時に押します。	p. 6-3
14	【プログラム】	現在設定されているコピー条件を確認する設定内容画面を表示させるときに押します。	p. 13-12
15	【キー応答】	タッチパネルのキー／操作パネルのボタンを押したときの応答時間を調整するときに押します。	p. 13-22
16	【ヘルプ】	現在タッチパネルに表示されている画面の操作方法を説明するヘルプ画面を表示させるときに押します。	p. 13-20
17	輝度調整つまみ	タッチパネルの輝度調整を行うときに回します。	
18	【パワーセーブ】	パワーセーブランプが点灯しているとき、機械を使用できるようにするときに押します。また手動でパワーセーブモードにするとき押します。	p. 2-45
19	【パワーセーブ】ランプ	シャットオフ／ローパワーなどのパワーセーブモードが働いているとき、Wi-Fiクリータイマーが働いて機械がオフになっているときに点灯します。	p. 2-45
20	タッチパネル	各種画面が表示され、機能の設定をします。	p. 2-8

⚠ 注意

操作部の液晶表示部は、堅いものをぶつけたりすると、傷がついたり割れてケガをすることがあります。ご注意ください。

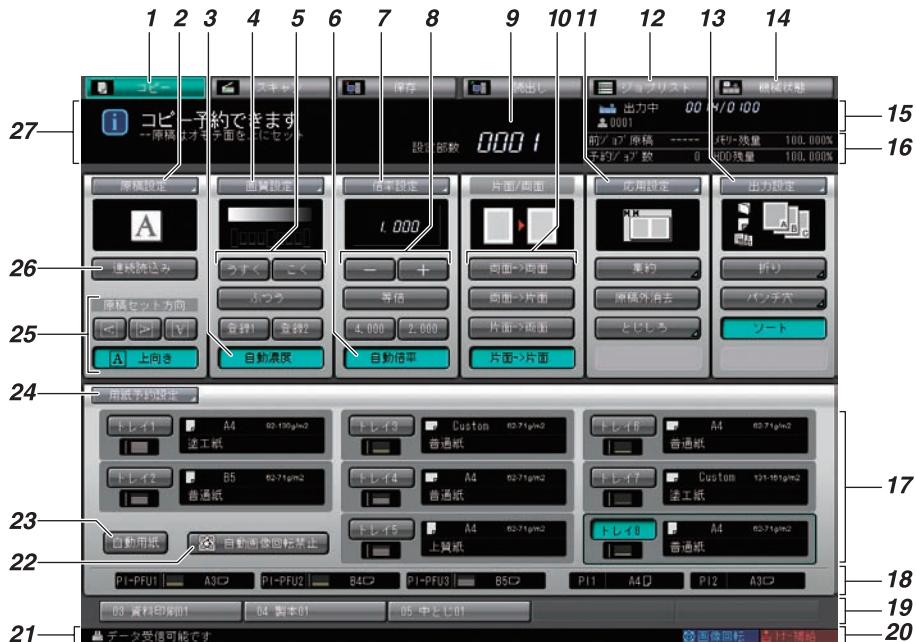
⚠ 注意

サービスコール画面が表示されコピーできなくなったときは、思わぬ事故になる恐れがありますので、メッセージ2行目のレポートコード番号を書き留め、直ちに本体電源プラグを抜いてサービス実施店にご連絡ください。そのとき、書き留めたレポートコード番号をお知らせください。

■ コピー画面

コピー画面は、コピーをするときに表示させます。コピー条件の設定、実行、また動作中のコピー予約をします。

(「スキャン」、「保存」、「読み出し」タブの説明は、p. 2-10をごらんください。)



番号	名 称	説 明	参照ページ
1	[コピー] タブ	コピー画面を表示させるときに押します。	p. 8-2
2	[原稿設定]	原稿設定画面を表示させるときに押します。原稿設定画面ではコピー・スキャンする原稿の条件を設定します。原稿設定画面で設定する機能のうち原稿セット方向は下のボタンで設定することができます。	p. 9-2
3	[自動濃度]	自動濃度の機能を使用するときに押します。	p. 9-24
4	[画質設定]	画質設定画面を表示させるときに押します。画質設定画面ではコピー画質を設定します。画質設定画面で設定する機能のうちコピー濃度は下のボタンで設定することができます。	p. 9-24
5	[濃度調整ボタン]	コピーを濃くしたいときは〔こく〕、淡くしたいときは〔うすく〕、通常の濃度にしたいときは〔ふつう〕を押します。登録した濃度を呼び出すときは、〔登録1〕または〔登録2〕を押します。	p. 9-24
6	[自動倍率]	自動倍率機能がオンのとき反転しています。また、自動倍率機能を使用するときは押して反転させます。	p. 9-35
7	[倍率設定]	倍率設定画面を表示させ、固定倍率、登録倍率、タテ/ヨコズーム、タテズーム、ヨコズームの設定をするときに押します。タテ/ヨコズーム、登録倍率のうちの2つ、等倍の設定は下のボタンでもできます。	p. 9-31
8	[倍率設定ボタン]	[−] [+] ボタンを押してタテ/ヨコズームの倍率を設定します。等倍コピーをするときは〔等倍〕を押します。登録倍率でコピーする場合は、倍率が表示されているボタンを押します。	p. 9-31

番号	名 称	説 明	参照ページ
9	設定部数表示	操作パネルのテンキーで入力したコピー部数を表示します。	p. 8-2
10	片面/両面操作部	原稿およびコピーの片面、両面の設定をします。	p. 9-36
11	〔応用設定〕	応用設定画面を表示させ、応用設定をするときに押します。下に4つまでの応用設定機能を表示させ、ワンタッチで設定画面を表示させることができます。	p. 10-2
12	〔ジョブリスト〕タブ	ジョブリスト画面を表示させ、ジョブ管理をするときに押します。	p. 12-2
13	〔出力設定〕	出力設定画面を表示させ、出力設定をするときに押します。下に4つまでの出力設定機能を表示させ、ワンタッチで設定画面を表示させることができます。	p. 11-2
14	〔機械状態〕タブ	機械状態画面を表示させるときに押します。	p. 2-10
15	出力中情報表示部	現在出力中の出力部数と設定部数および出力中のジョブ番号が表示されます。	p. 8-4
16	機械管理情報表示部	前ジョブ原稿の枚数、予約ジョブ数、メモリー残量、HDD容量残量が表示されます。	
17	トレイ情報表示部・トレイボタン	トレイ情報表示部： トレイに設定されている用紙サイズ、セット方向、坪量、用紙種類、用紙残量を表示します（トレイ設定）。用紙予約設定で設定を変更すると、その用紙情報が表示されます（用紙予約設定）。リセット機能がはたらくと、トレイ設定の表示にもどります。 トレイボタン： 自動用紙の機能によって自動選択されたトレイのボタンは反転します。任意のトレイにセットされた用紙にコピーする場合は、そのトレイボタンを押して反転させます。	p. 9-44
18	ポストインサーテーサイズ表示部	PI-PFUIにセットされている用紙サイズ、セット方向、用紙残量を表示します。また、折り機のポストインサーテートレイにセットされている用紙サイズ、セット方向を表示します。	p. 4-24、p. 4-27
19	ファンクションキー表示部	登録されているプログラムを5つまでファンクションキーとして表示させ、ワンタッチで設定することができます。	
20	機械状態表示右	〔トナー補給〕、〔定期点検〕、〔トナーリサイクル〕、〔モデル異常〕、〔資材〕、定着ウェブ交換アイコン、高カバレッジアイコン、〔画像回転〕が表示されます。5つまでは全て大きく表示されますが、6つ以上になると、〔資材〕以下は小アイコン表示にかわります。	
21	機械状態表示左	ウイークリータイマーオフトайム予告、またはIPコントローラーの状態を表示します。ウイークリータイマーオフトайム予告が優先表示されます。	
22	〔自動画像回転禁止〕	自動画像回転機能をオン/オフするときに押します。	p. 9-56
23	〔自動用紙〕	自動用紙機能がオンとき反転しています。また、自動用紙機能を使用するときは押して反転させます。	
24	〔用紙予約設定〕	トレイ設定で設定されていない用紙設定でコピーするときに押して設定します。	p. 9-44
25	原稿セット方向ボタン	セットした原稿のセット方向のボタンを押します。	p. 9-2
26	〔連続読み込み〕	コピースキャンした画像をメモリーに一時的に保存するときに押します。	p. 9-20
27	メッセージ表示部	機械の状態やそのときにしなければならない操作を表示します。	

■ 機械状態画面

電源をオンになると表示されます。



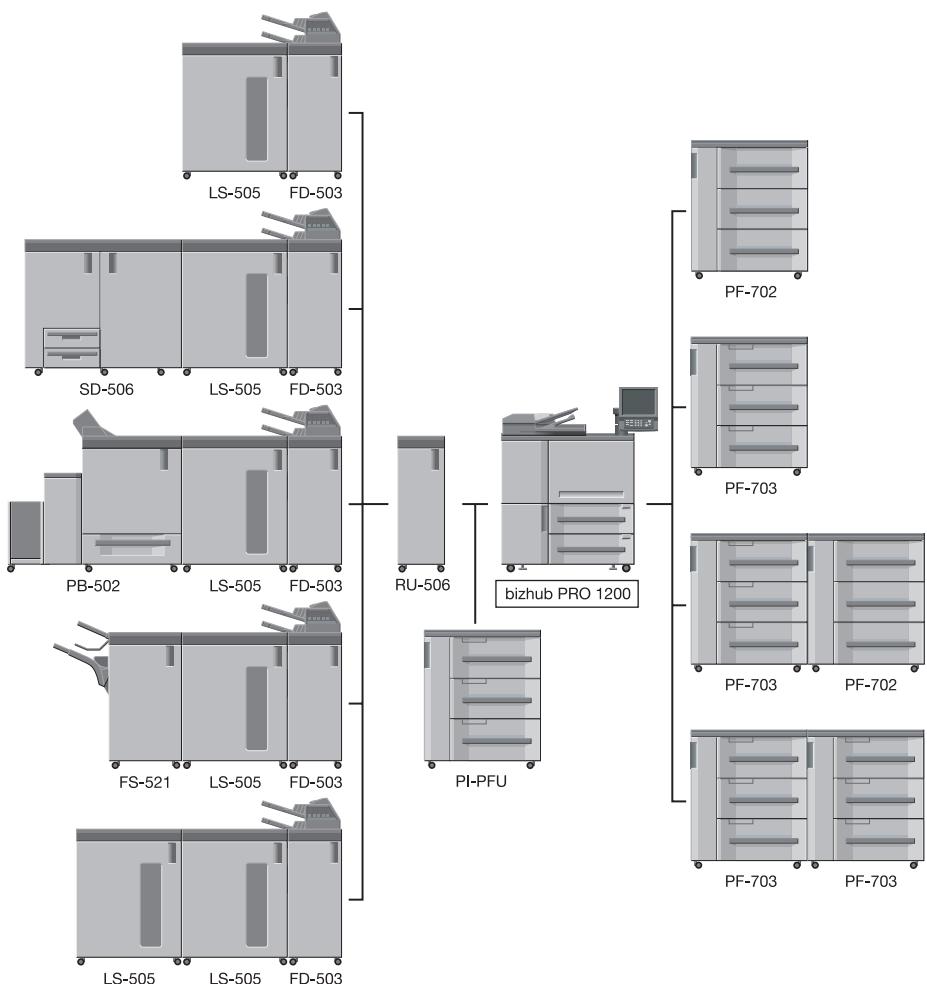
番号	名 称	説 明	参照ページ
1	[コピー] タブ	コピー画面を表示させるときに押します。	p. 8-2
2	[スキャン] タブ	スキャン操作の画面を表示させるときに押します。詳しくは、ユーザーズガイドネットワークスキャナー編をごらんください。	
3	[保存] タブ	スキャンデータの保存先を指定するときに押します。詳しくは、ユーザーズガイドネットワークスキャナー編をごらんください。	
4	[読み出し] タブ	スキャンデータを読出すときに押します。詳しくは、ユーザーズガイドネットワークスキャナー編をごらんください。	
5	[ジョブリスト] タブ	ジョブリスト画面を表示させ、ジョブ管理をするときに押します。	p. 12-2
6	[機械状態] タブ	機械状態画面を表示させるときに押します。	p. 5-11
7	出力中情報表示部	現在出力中の出力部数と設定部数および出力中のジョブ番号が表示されます。	
8	機械管理情報表示部	前ジョブ原稿の枚数、予約ジョブ数、メモリー残量、HDD容量残量が表示されます。	
9	スキャナーメッセージ	ADF/原稿ガラスの原稿スキャンの状態を表示します。	

番号	名 称	説 明	参照ページ
10	機械構成表示部	本体およびオプションの構成図が表示されます。	
11	用紙トレイ情報表示部	トレイに設定されている用紙サイズ、セット方向、坪量、用紙種類、用紙残量を表示します(トレイ設定)。用紙予約設定で変更した設定内容は表示されません。	p. 4-2
12	ポストインサーティーサイズ表示部	PI-PFUにセットされている用紙サイズ、セット方向、坪量、用紙種類、用紙残量を表示します。また、折り機のポストインサーティートレイにセットされている用紙サイズ、セット方向を表示します。 くるみ製本機PB-502を装着している場合、通常のトレイ設定とくるみ製本表紙のトレイ設定の切替え表示ができます。	
13	くるみ製本機表紙トレイ情報表示部	くるみ製本機が装着されているとき、くるみ製本機表紙トレイにセットされている用紙サイズ、用紙種類、坪量を表示します。	
14	機械状態表示右	〔トナー補給〕、〔定期点検〕、〔トナーリサイクル〕、〔モデム異常〕、〔資材〕、定着ウェブ交換アイコン、高力バレッジアイコン、〔画像回転〕が表示されます。5つまで表示されますが、6つ以上になると〔資材〕以下は小アイコン表示にかわります。	p. 4-35 p. 4-39 p. 6-5 p. 9-56
15	〔コントローラー設定〕	コントローラーの設定をするときに押します。	
16	〔調整〕	本体やオプションの調整をするときに押します。	
17	〔不定形サイズ登録/削除〕	不定形サイズを登録/削除するときに押します。	
18	用紙条件登録/削除	用紙条件を登録/削除するときに押します。	
19	〔トレイ設定〕	本体トレイ、PFU、PI-PFUの各トレイに用紙条件を設定するときに押します。	
20	機械状態表示左	ウィークリータイマーオフタイム予告、またはIPコントローラーの状態を表示します。ウィークリータイマーオフタイム予告が優先表示されます。	
21	補給/廃棄部材表示部	トナーの状態を表示します。また、トナーリサイクル、装着されているオプションの針補給、くず処理を赤く点灯して知らせます。	
22	〔現ジョブの原稿カウンター数〕	現在コピーしている原稿のカウント枚数を表示します。	
23	ジョブリスト	機械に設定されているジョブリストをリアルタイムに表示します。	
24	くるみ製本機状態表示部	くるみ製本機が装着されているとき、くるみ製本機ヒーター(PBヒーター)のオン/オフスイッチおよび、ウォームアップ状態を表示します。	p. 11-33
25	メッセージ表示部	機械の状態やそのときにしなければならない操作を表示します。	

■ オプション構成



各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称と
はたらき

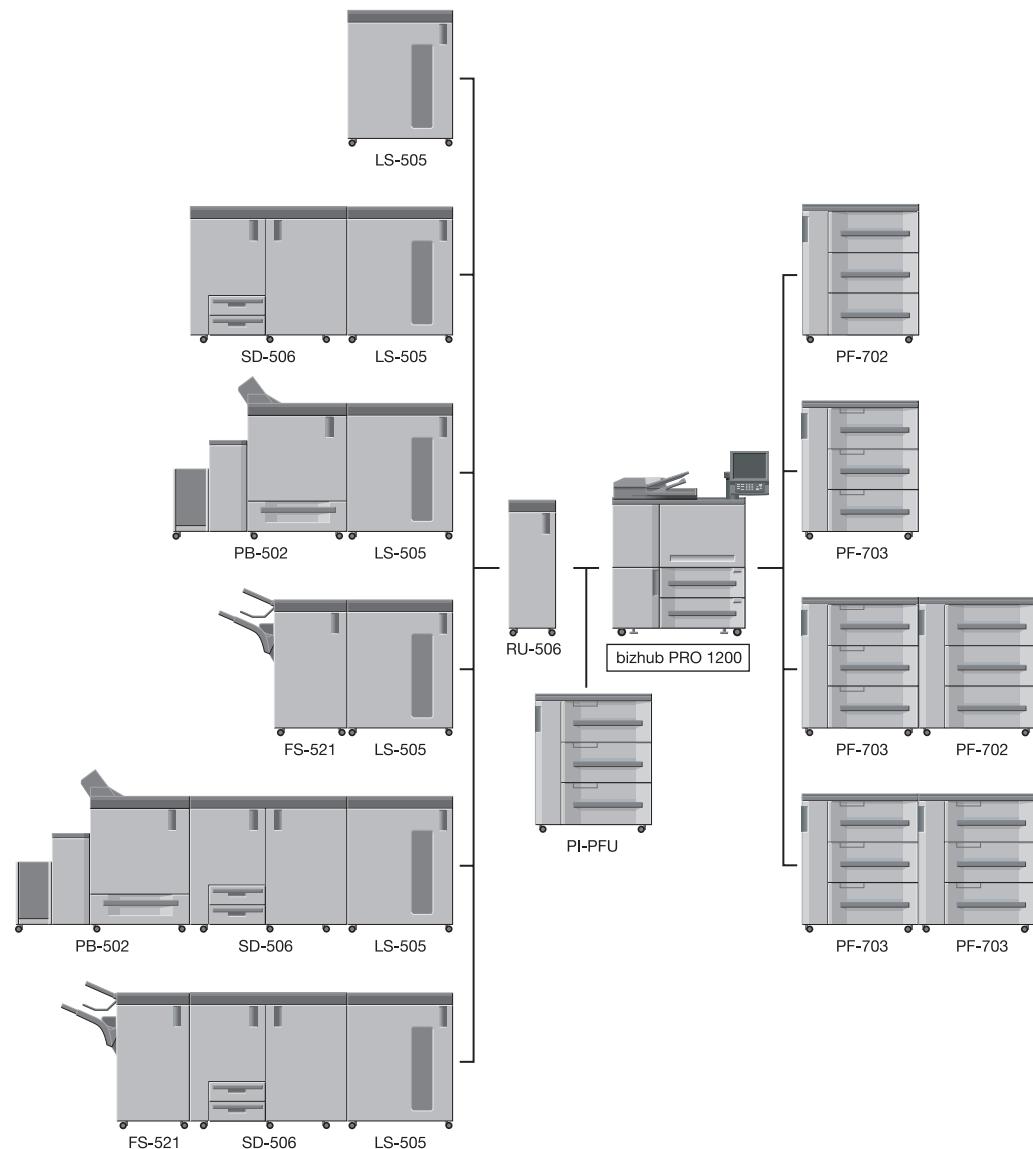
電源を入れる
／切る

オート
リセット

パワーセーブ
ランプ

ユーザ認証
／部門認証

各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称と
はたらき

電源を入れる
／切る

オート
リセット

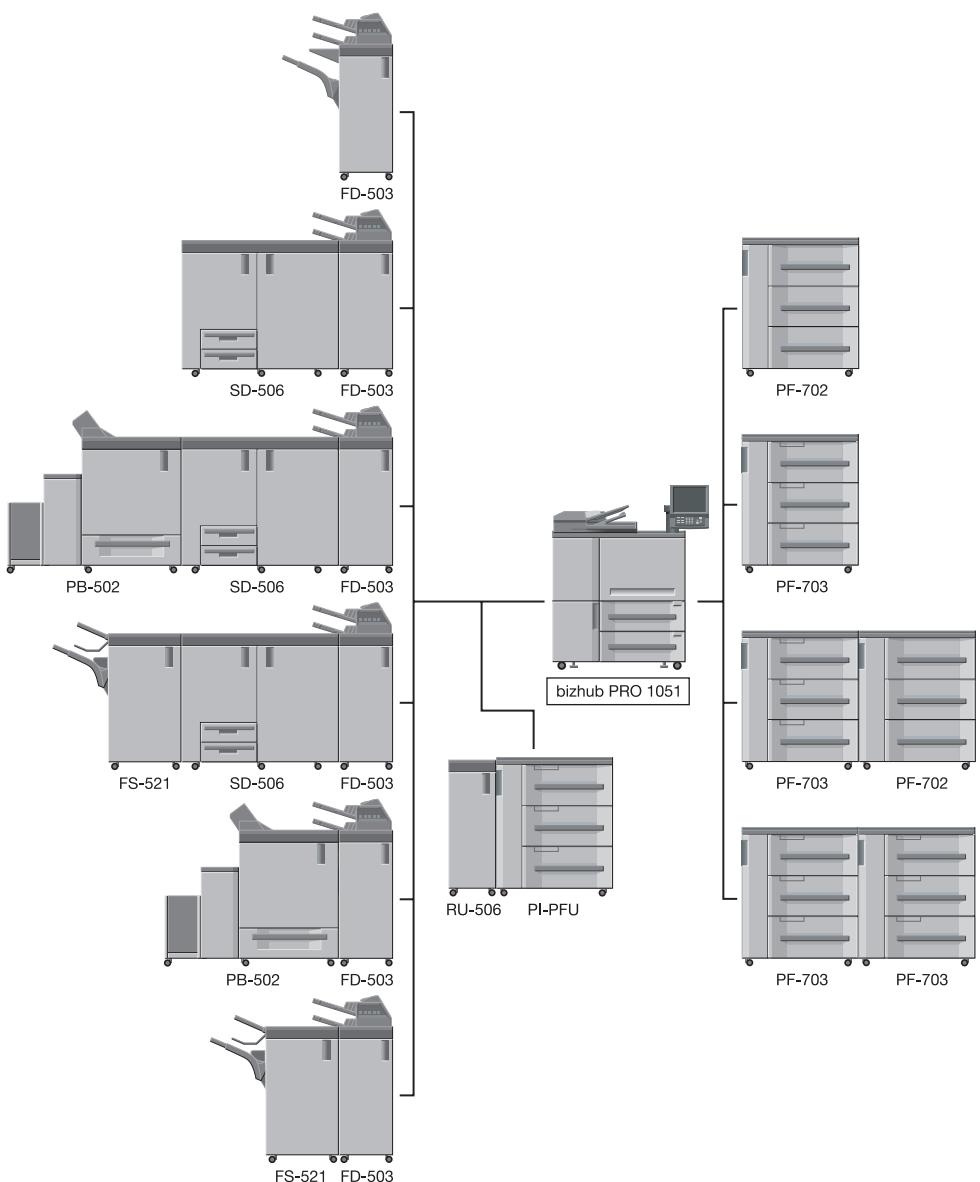
パワーセーブ
ランプ

ユーザ認証
／部門認証

各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称とはたらき(つづき)

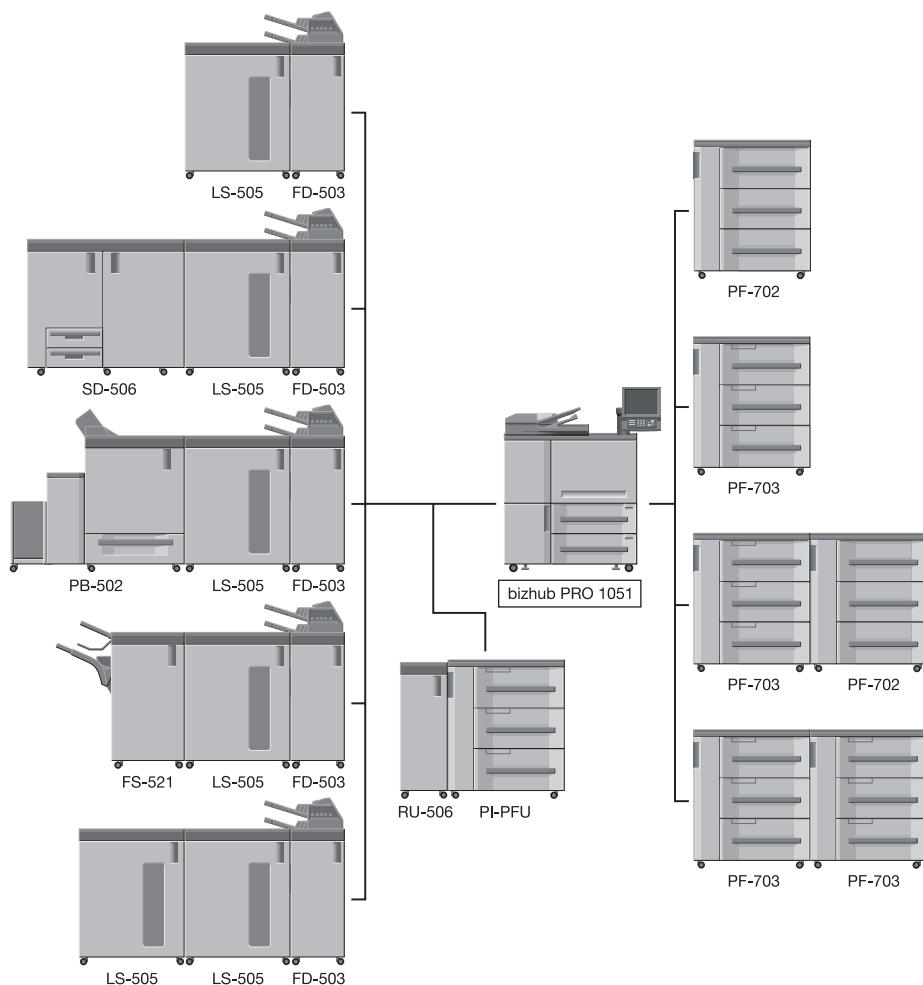
電源を入れる／切る

オートリセット

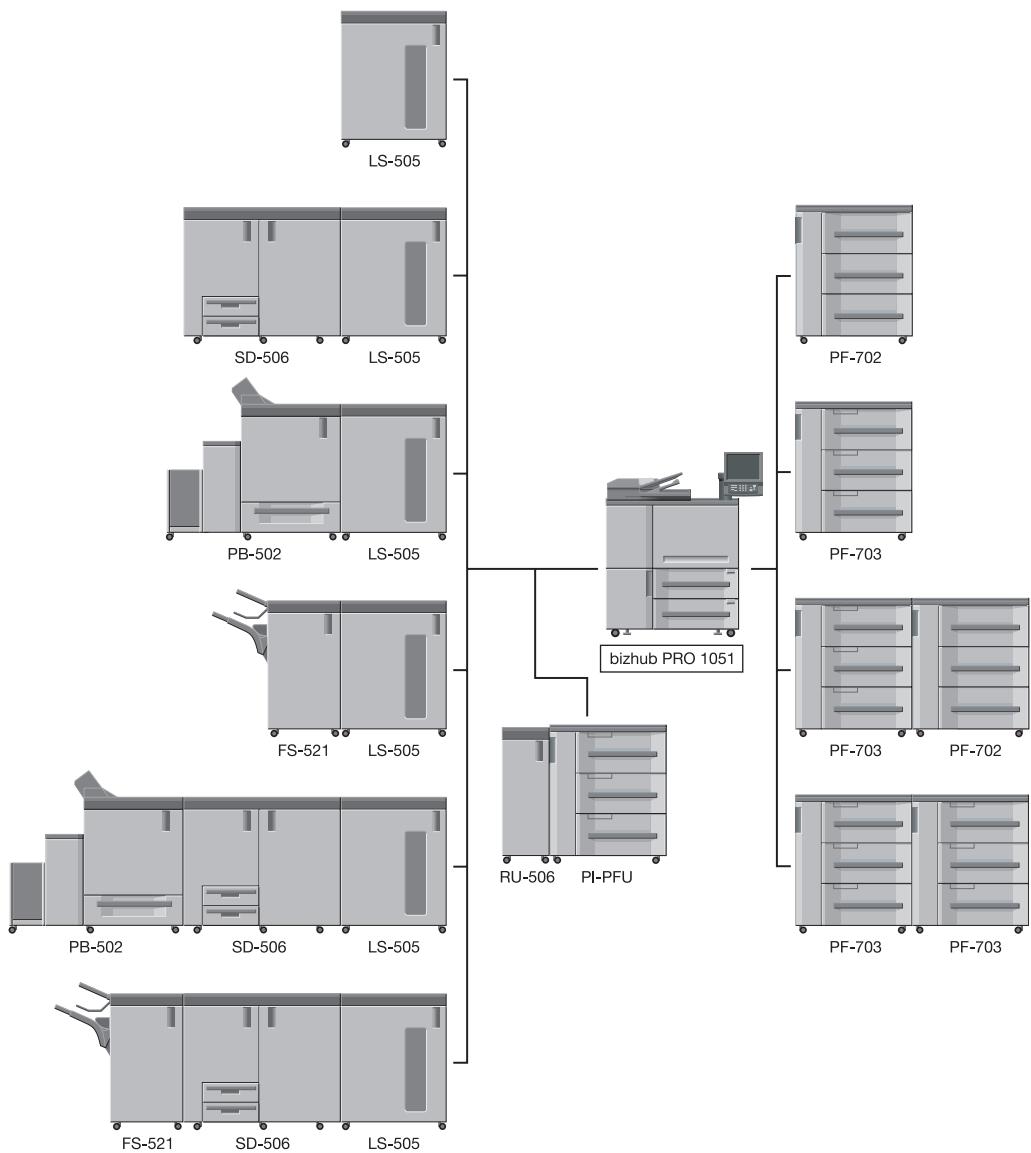
パワーセーブランプ

ユーザ認証／部門認証

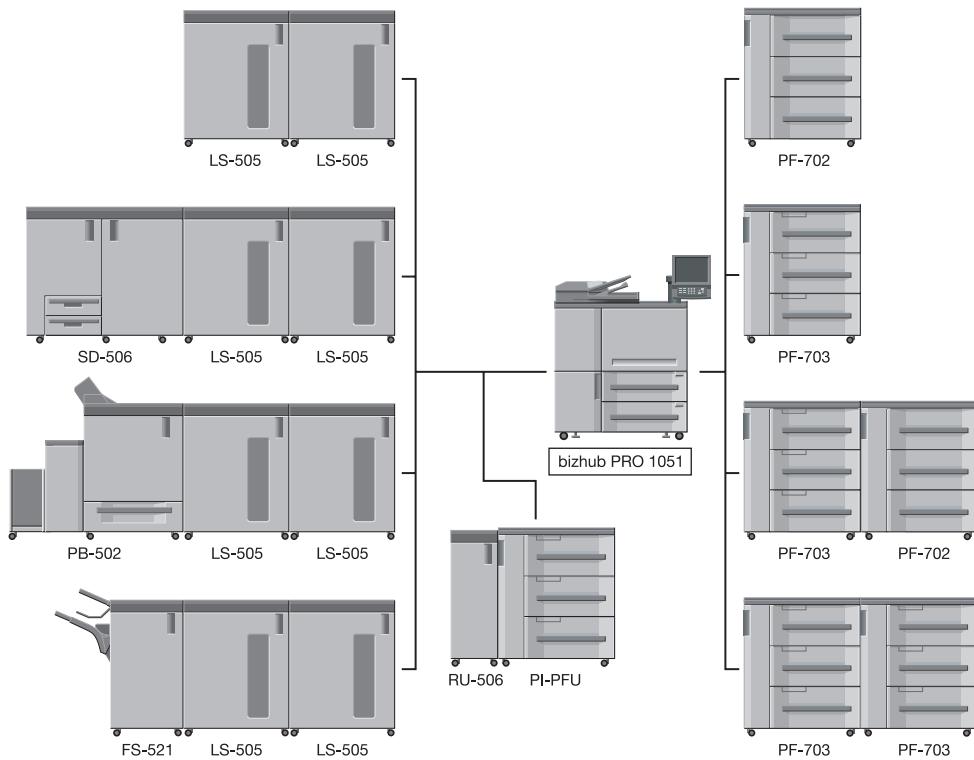
各部の名称とはたらき(つづき)



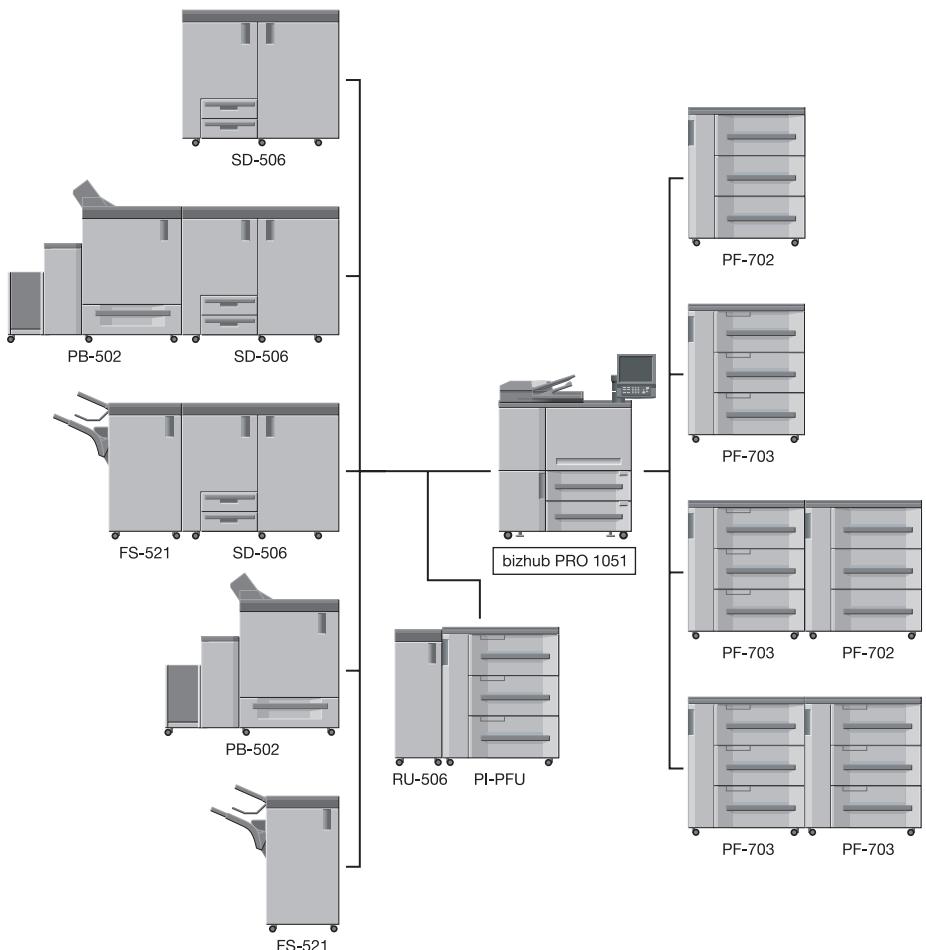
各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称とはたらき(つづき)



各部の名称と
はたらき

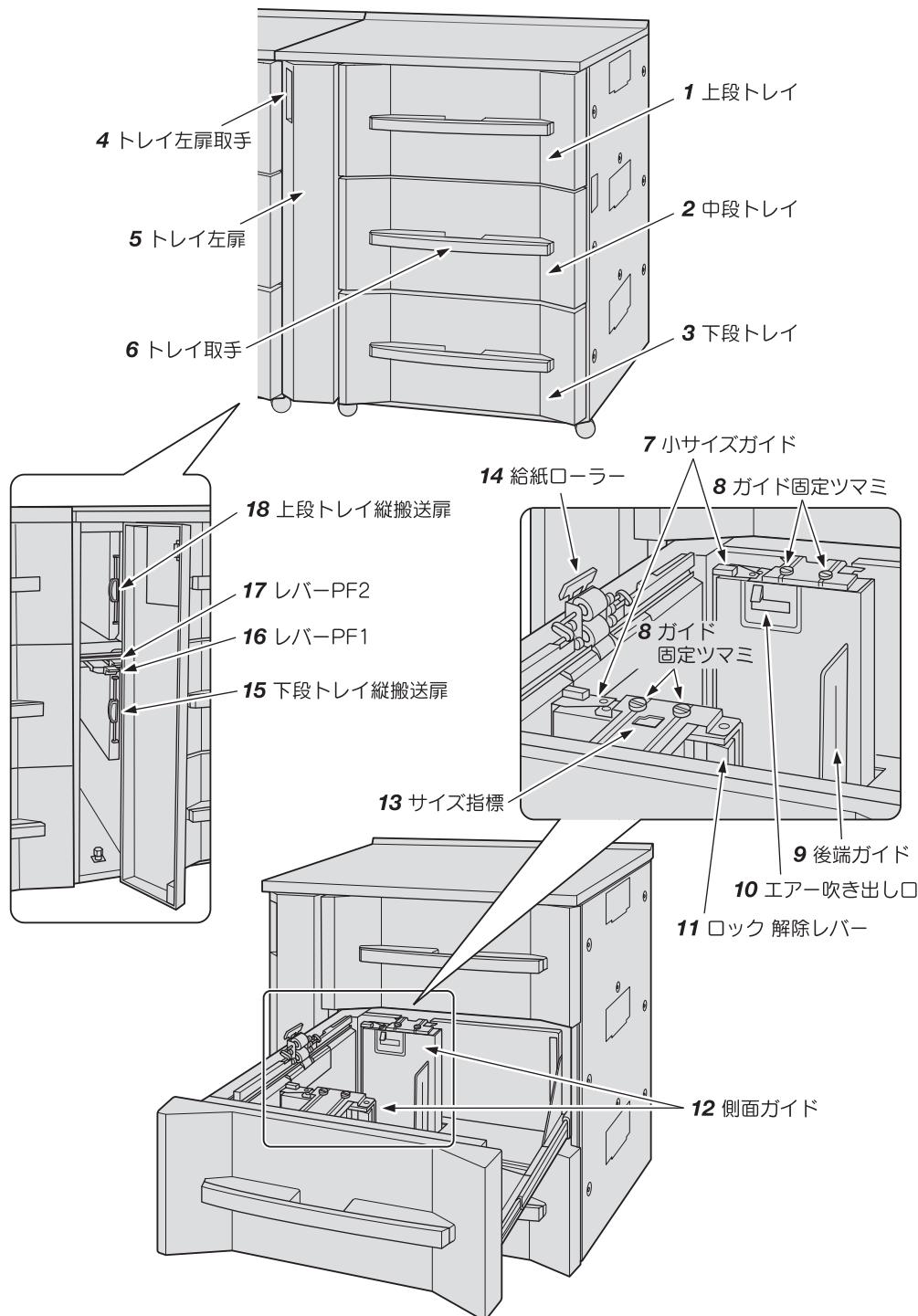
電源を入れる
／切る

オート
リセット

パワーセーブ
ランプ

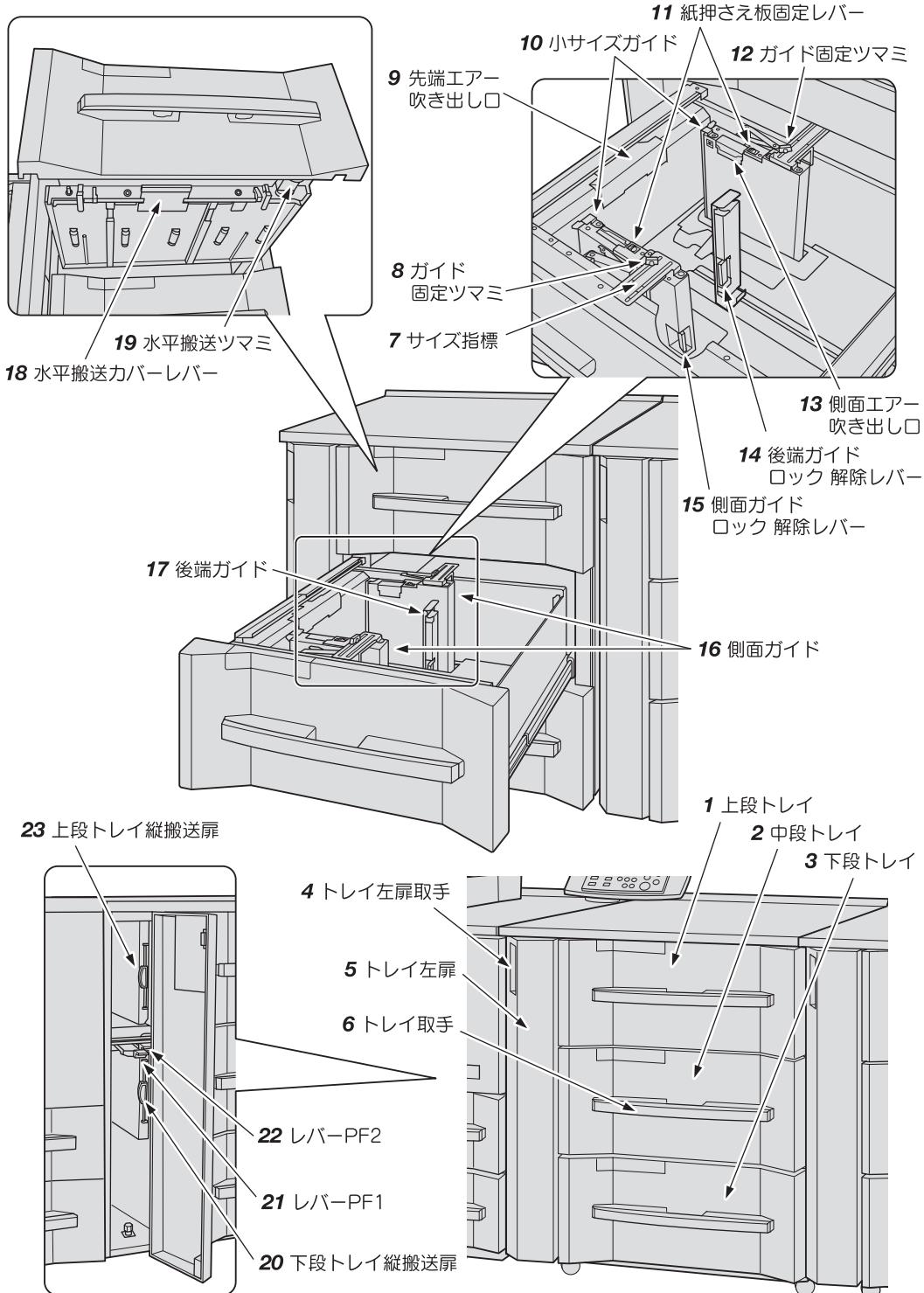
ユーザ認証
／部門認証

■ 大容量給紙トレイ PF-702



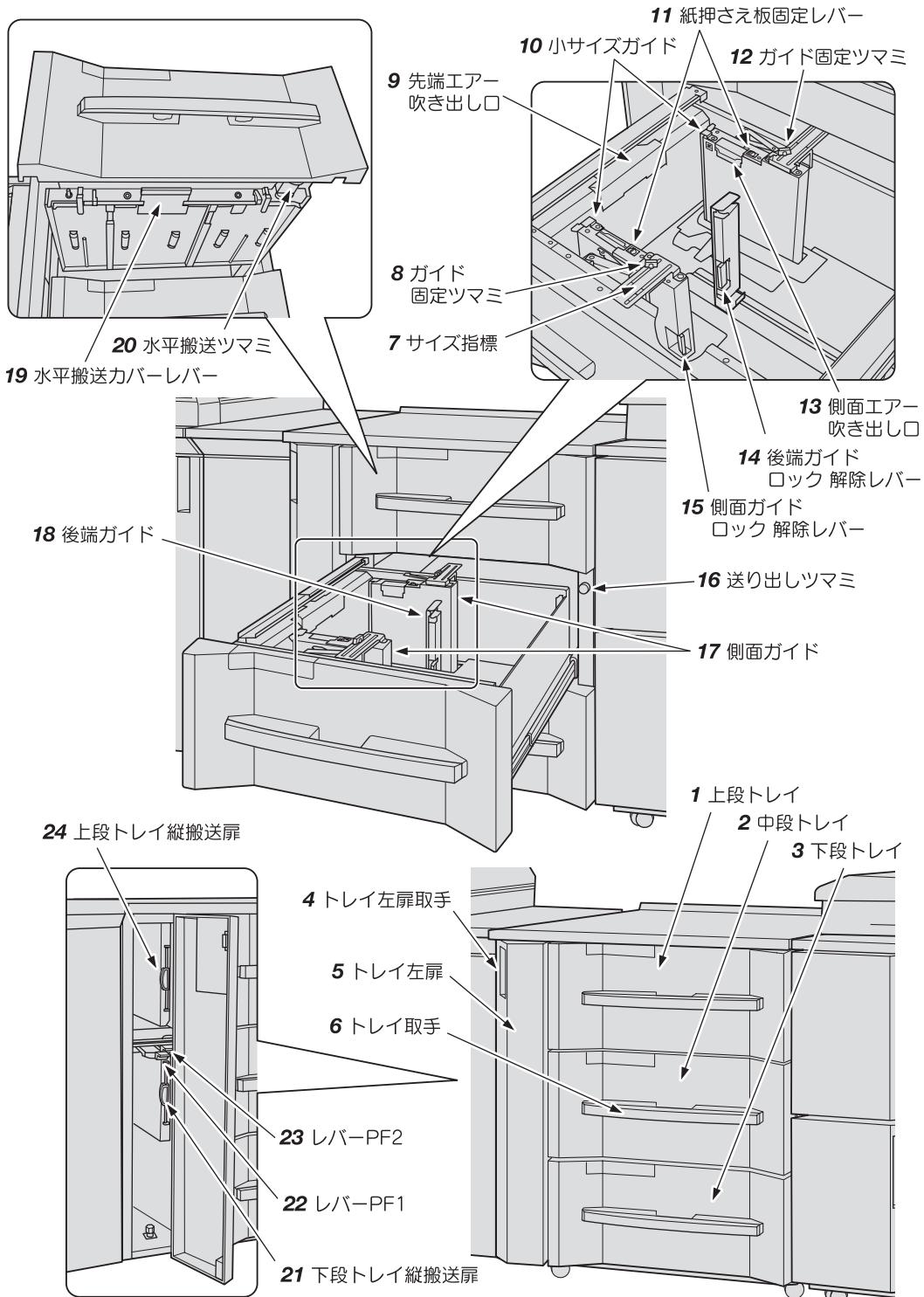
番号	名 称	説 明
1	上段トレイ（トレイ3） (2連目の場合はトレイ6)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を2,000枚（80 g/m ² 紙）収納します。坪量40 g/m ² ～244 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙以外の紙種をセットできます。
2	中段トレイ（トレイ4） (2連目の場合はトレイ7)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を2,000枚（80 g/m ² 紙）収納します。坪量40 g/m ² ～350 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙以外の紙種をセットできます。
3	下段トレイ（トレイ5） (2連目の場合はトレイ8)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を2,000枚（80 g/m ² 紙）収納します。坪量40 g/m ² ～244 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙以外の紙種をセットできます。
4	トレイ左扉取手	トレイ左扉を開くとき、持って開きます。
5	トレイ左扉	本体左扉を開いて紙づまり処理をするときや、本トレイの紙づまりのとき、開いて処理します。
6	トレイ取手	トレイを引き出すとき、持って引き出します。
7	小サイズガイド（2カ所）	用紙幅が182 mm未満の用紙をセットするとき、両側を内側に開きます。
8	ガイド固定ツマミ（4カ所）	側面ガイドを動かしたり、固定するときに回します。
9	後端ガイド	セットした用紙の後端側に沿わせます。
10	エアー吹き出し口	用紙の重送を防ぐためのエアーを吹き出します。
11	ロック解除レバー	側面ガイドを動かすとき、奥側に押してロックを解除します。
12	側面ガイド（2カ所）	セットした用紙の両側面に沿わせます。
13	サイズ指標	定形サイズの側面ガイドの位置を表示しています。
14	給紙ローラー	用紙を1枚ずつ本体のプリント装置に送り込みます。
15	下段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
16	レバー PF1	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
17	レバー PF2	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
18	上段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。

■ サクション式大容量給紙トレイ PF-703



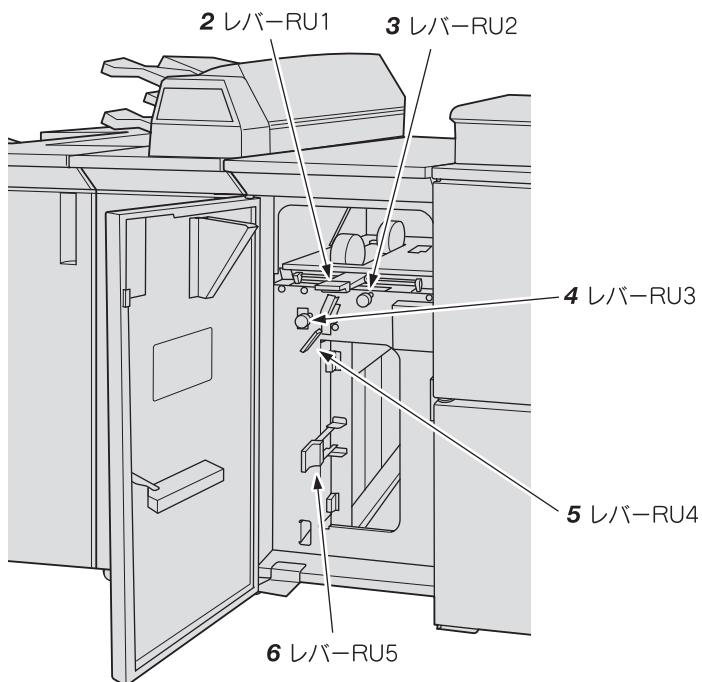
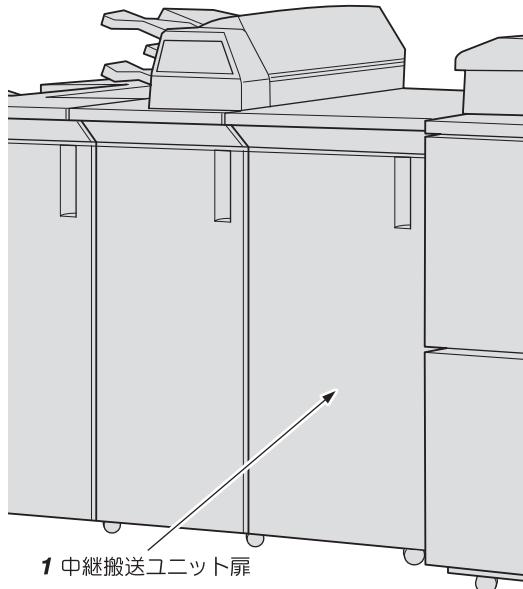
番号	名 称	説 明
1	上段トレイ（トレイ3） (2連目の場合はトレイ6)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を1,300枚(80 g/m ² 紙)収納します。坪量40 g/m ² ～244 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙を含め、設定する全ての紙種をセットできます。
2	中段トレイ（トレイ4） (2連目の場合はトレイ7)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を1,850枚(80 g/m ² 紙)収納します。坪量40 g/m ² ～350 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙を含め、設定する全ての紙種をセットできます。
3	下段トレイ（トレイ5） (2連目の場合はトレイ8)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を1,850枚(80 g/m ² 紙)収納します。坪量40 g/m ² ～244 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙を含め、設定する全ての紙種をセットできます。
4	トレイ左扉取手	トレイ左扉を開くとき、持って開きます。
5	トレイ左扉	本体左扉を開いて紙づまり処理をするときや、本トレイの紙づまりのとき、開いて処理します。
6	トレイ取手	トレイを引き出すとき、持って引き出します。
7	サイズ指標	定形サイズの側面ガイドの位置を表示しています。
8	ガイド固定ツマミ（2カ所）	側面ガイドを動かしたり、固定するときに回します。
9	先端工アー吹き出し口	用紙を分離するためのエアーを吹き出します。
10	小サイズガイド（2カ所）	用紙幅が150 mm未満の用紙をセットするとき、両側を内側に開きます。
11	紙押さえ板固定レバー（2カ所）	小サイズガイドを使用する場合、左側にスライドさせ、紙押さえ板をロックします。
12	ガイド固定ツマミ	側面ガイドを動かしたり、固定するときに回します。
13	側面工アー吹き出し口	用紙を浮上させるためのエアーを吹き出します。
14	後端ガイドロック解除レバー	後端ガイドを動かすとき、左側に押してロックを解除します。
15	側面ガイドロック解除レバー	側面ガイドを動かすとき、奥側に押してロックを解除します。
16	側面ガイド（2カ所）	セットした用紙の両側面に沿わせます。
17	後端ガイド	セットした用紙の後端側に沿わせます。
18	水平搬送力バーレバー	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
19	水平搬送ツマミ	つまった紙を横搬送側に送り出すために回します。
20	下段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
21	レバー PF1	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
22	レバー PF2	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
23	上段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。

■ サクション式大容量給紙トレイ PI-PFU



番号	名 称	説 明
1	上段トレイ (PI-PFU1)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を1,300枚 (80 g/m ² 紙) 収納します。坪量40 g/m ² ～244 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙を含め、設定する全ての紙種をセットできます。
2	中段トレイ (PI-PFU2)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を1,850枚 (80 g/m ² 紙) 収納します。坪量40 g/m ² ～350 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙を含め、設定する全ての紙種をセットできます。
3	下段トレイ (PI-PFU3)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を1,850枚 (80 g/m ² 紙) 収納します。坪量40 g/m ² ～244 g/m ² の用紙をセットします。追い刷り紙を含め、設定する全ての紙種をセットできます。
4	トレイ左扉取手	トレイ左扉を開くとき、持って開きます。
5	トレイ左扉	本体左扉を開いて紙づまり処理をするときや、本トレイの紙づまりのとき、開いて処理します。
6	トレイ取手	トレイを引き出すとき、持って引き出します。
7	サイズ指標	定形サイズの側面ガイドの位置を表示しています。
8	ガイド固定ツマミ (2ヵ所)	側面ガイドを動かしたり、固定するときに回します。
9	先端工アー吹き出し口	用紙を分離するためのエアーを吹き出します。
10	小サイズガイド (2ヵ所)	用紙幅が150 mm未満の用紙をセットするとき、両側を内側に開きます。
11	紙押さえ板固定レバー (2ヵ所)	小サイズガイドを使用する場合、左側にスライドさせ、紙押さえ板をロックします。
12	ガイド固定ツマミ	側面ガイドを動かしたり、固定するときに回します。
13	側面工アー吹き出し口	用紙の重送を防ぐためのエアーを吹き出します。
14	後端ガイドロック解除レバー	後端ガイドを動かすとき、左側に押してロックを解除します。
15	側面ガイドロック解除レバー	側面ガイドを動かすとき、奥側に押してロックを解除します。
16	送り出しツマミ	つまった紙を横搬送側に送り出すために回します。
17	側面ガイド (2ヵ所)	セットした用紙の両側面に沿わせます。
18	後端ガイド	セットした用紙の後端側に沿わせます。
19	水平搬送カバーレバー	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
20	水平搬送ツマミ	つまった紙を横搬送側に送り出すために回します。
21	下段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
22	レバー PF1	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
23	レバー PF2	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
24	上段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。

■ 中継搬送ユニットRU-506



番号	名 称	説 明
1	中継搬送ユニット扉	紙づまりのとき、開けて処理します。
2	レバー RU1	紙づまりのとき、上に開いて処理します。
3	レバー RU2	紙づまりのとき、回して処理します。
4	レバー RU3	紙づまりのとき、右に回して処理します。
5	レバー RU4	紙づまりのとき、右に回して処理します。
6	レバー RU5	紙づまりのとき、右に開いて処理します。

各部の名称とはたらき

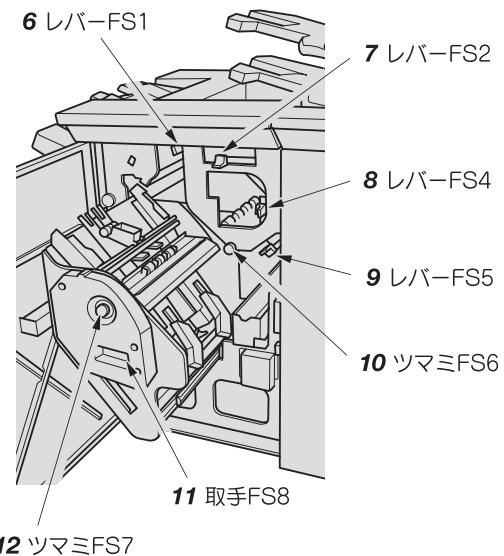
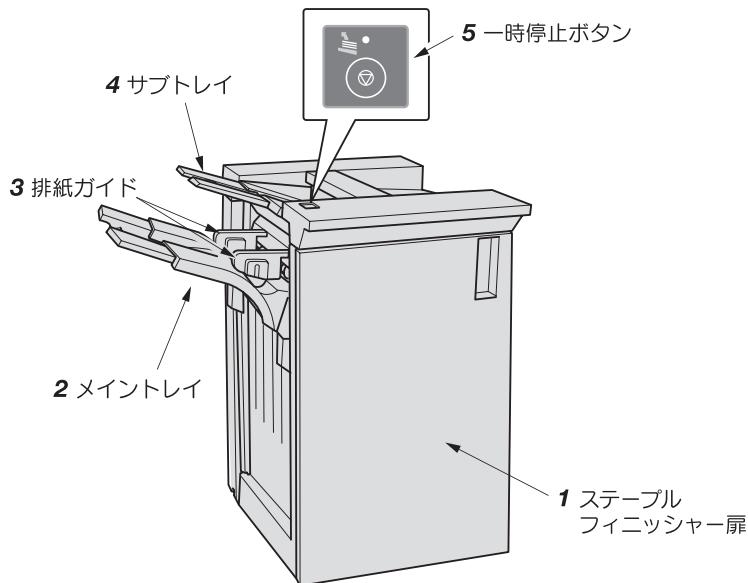
電源を入れる／切る

オートリセット

パワーセーブランプ

ユーザ認証／部門認証

■ ステープルフィニッシャー FS-521



番号	名 称	説 明
1	ステープルフィニッシャー扉	ステープル針を補給するときや、針づまり/紙づまりを処理するときに開きます。
2	メイントレイ	用紙を、仕分け処理なし／シフト処理／平とじステープルで排紙します。
3	排紙ガイド板	シフト処理や折り機FD-503の機能を使用したときのパンチ／折りなどの処理をされた用紙の排紙位置を整えます。
4	サブトレイ	用紙を仕分け処理なしで排紙します。
5	一時停止ボタン	出力中、トレイに出力された用紙を取り除くとき、押して一時停止します。出力を再開するときは、操作パネルの【スタート】を押します。
6	レバー FS1	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
7	レバー FS2	紙づまりのとき、上に開いて処理します。
8	レバー FS4	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
9	レバー FS5	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
10	ツマミFS6	つまった紙を平とじユニットに送り出すときに、時計方向に回します。
11	取手FS8	平とじユニット部の紙づまりのとき、持って引き出します。
12	ツマミFS7	平とじユニット部の紙づまりのとき、反時計方向に回してつまった紙を送り出します。

各部の名称とはたらき

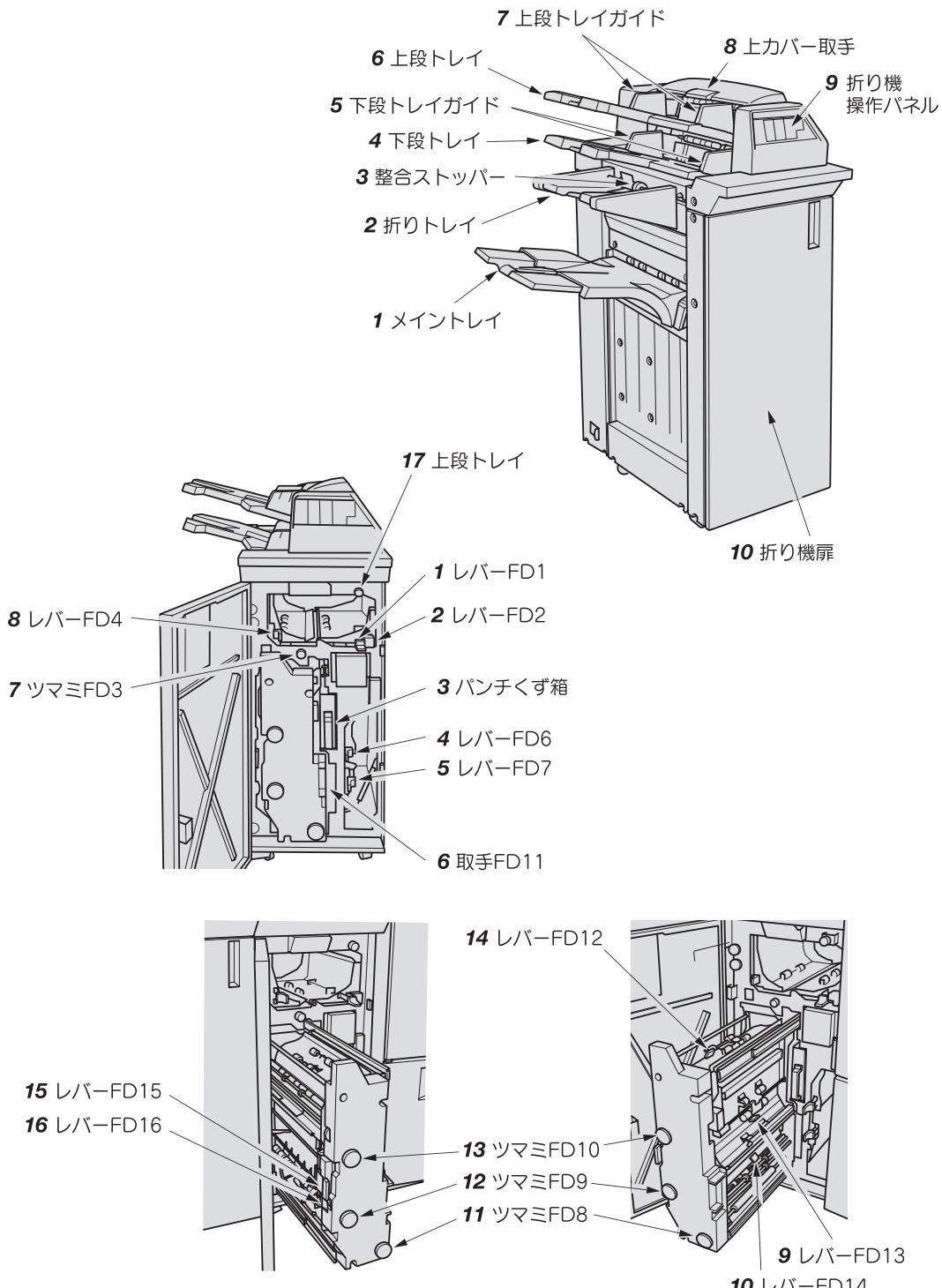
電源を入れる／切る

オートリセット

パワーセーブランプ

ユーザ認証／部門認証

■ 折り機FD-503



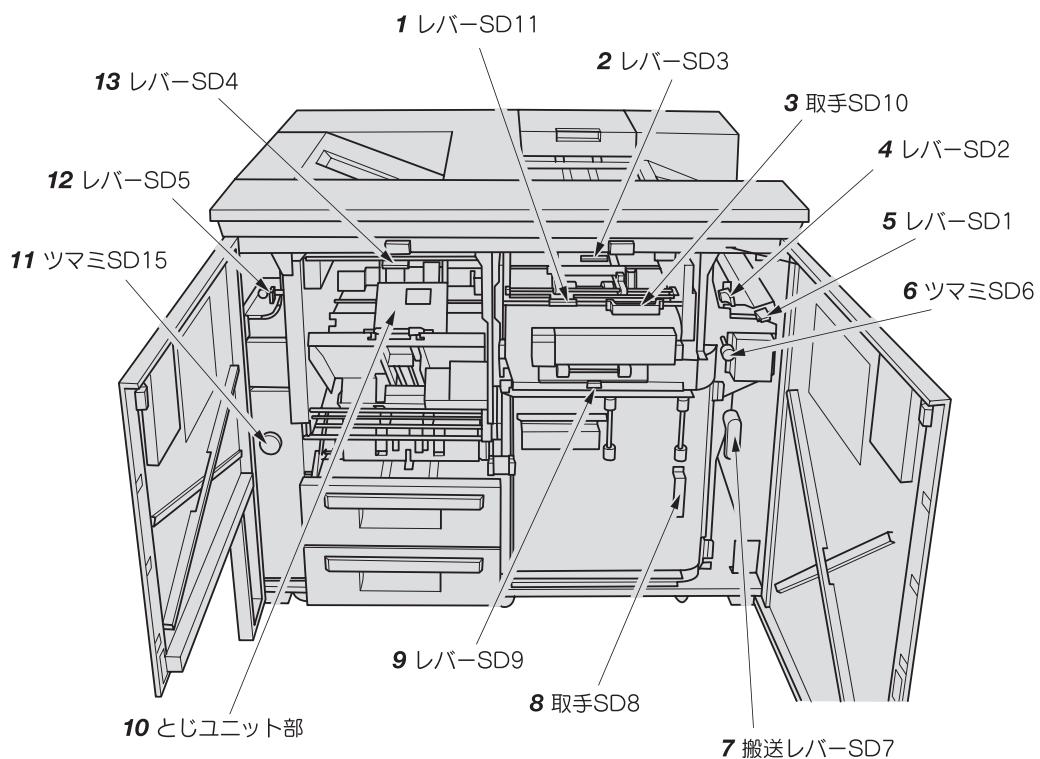
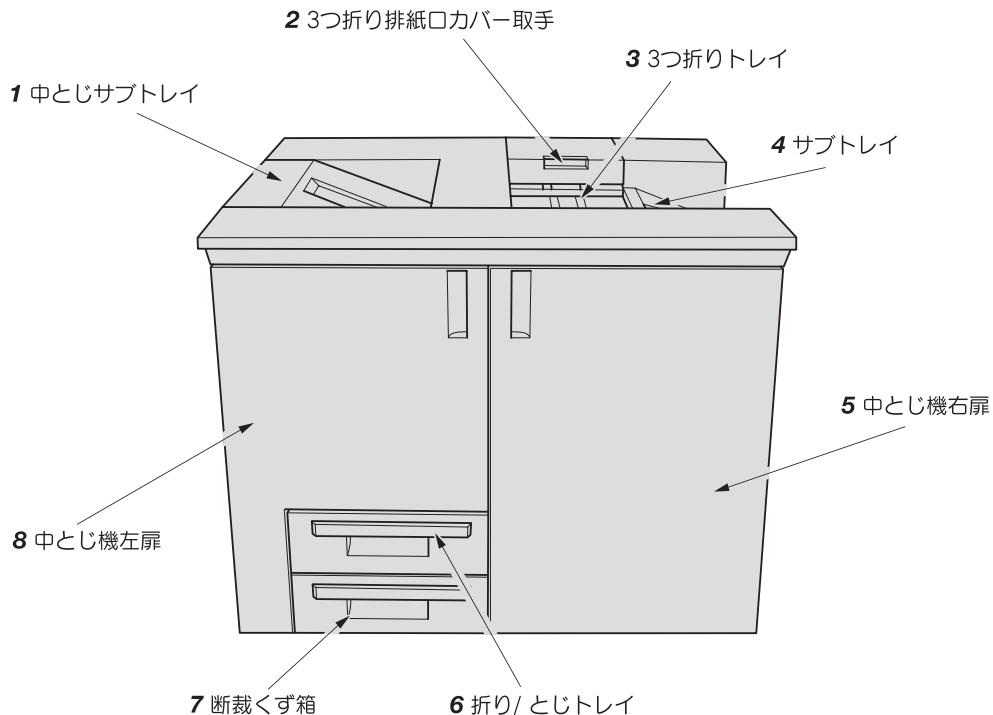
折り機FD-503外部

番号	名 称	説 明
1	メイントレイ	用紙を折り処理、パンチ処理して排紙します。
2	折りトレイ	内3つ折り、外3つ折り、ダブルパラレル折り、観音折りされた用紙が排紙されます。
3	整合ストッパー	排紙されたダブルパラレル、観音折りの用紙崩れを防ぎます。
4	下段トレイ	カバー紙をセットします。
5	下段トレイガイド	カバー紙をセットしたとき、そわせます。
6	上段トレイ	カバー紙をセットします。
7	上段トレイガイド	カバー紙をセットしたとき、そわせます。
8	上カバー取手	紙づまりのとき、この取手を持って開いて処理します。
9	折り機操作パネル	マニュアルで折り機、ステーブルファニッシャー、中とじ機を使用するときに操作します。
10	折り機扉	パンチくずを処理するときや、紙づまりを処理するときに開きます。

折り機FD-503内部

番号	名 称	説 明
1	レバー FD1	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
2	レバー FD2	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
3	パンチくず箱	パンチくずを処理するとき、引き出します。
4	レバー FD6	紙づまりのとき、右に開いて処理します。
5	レバー FD7	紙づまりのとき、右に開いて処理します。
6	取手FD11	折りユニット部の紙づまりのとき、持って引き出します。
7	ツマミFD3	紙づまりのとき、反時計方向に回して折りユニットからつまつた紙を送り出します。
8	レバー FD4	紙づまりのとき、右に開いて処理します。
9	レバー FD13	折りユニット部の紙づまりのとき、上に開いて処理します。
10	レバー FD14	折りユニット部の紙づまりのとき、上に開いて処理します。
11	ツマミFD8	折りユニット部の紙づまりのとき、時計方向に回してつまつた紙を送り出します。
12	ツマミFD9	折りユニット部の紙づまりのとき、時計方向に回してつまつた紙を送り出します。
13	ツマミFD10	折りユニット部の紙づまりのとき、時計方向に回してつまつた紙を送り出します。
14	レバー FD12	折りユニット部の紙づまりのとき、上に開いて処理します。
15	レバー FD15	折りユニット部の紙づまりのとき、左に開いて処理します。
16	レバー FD16	折りユニット部の紙づまりのとき、左に開いて処理します。
17	ツマミFD5	紙づまりのとき、時計方向に回してカバー紙を送り出します。

■ 中とじ機 SD-506



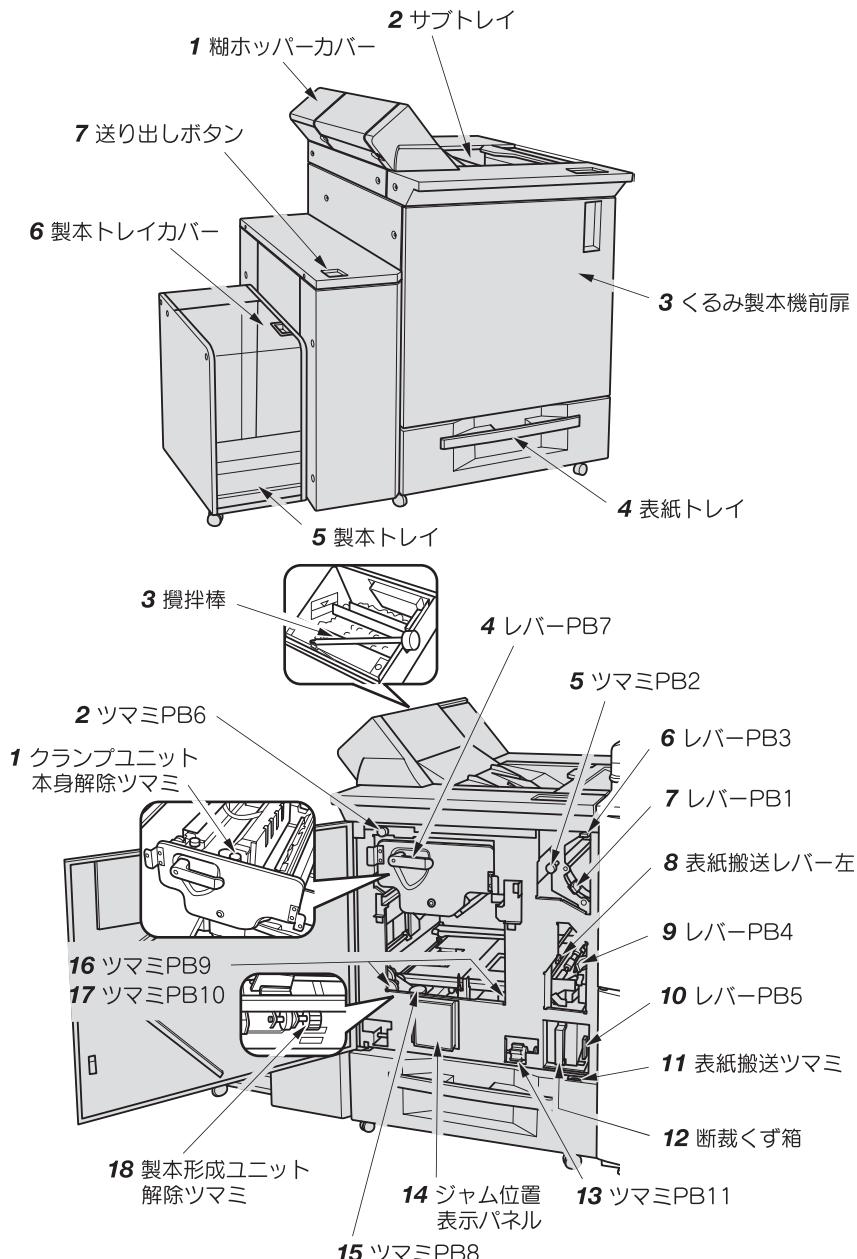
中とじ機SD-506外部

番号	名 称	説 明
1	中とじ機サブトレイ	用紙を中とじ機で処理せずに排紙します。
2	3つ折り排紙口カバー取手	紙づまりのとき、上に開いて処理します。
3	3つ折りトレイ	重ね3つ折りの処理をされた用紙が排紙されます。
4	サブトレイ	中とじ機右側の機械でストレート排紙された用紙が積載します。
5	中とじ機右扉	紙づまりのとき、開けて処理します。
6	折り/とじトレイ	中折り/中とじするとき、引き出します。
7	断裁くず箱	断裁くずを捨てるときに引き出して処理します。
8	中とじ機左扉	ステープル針補給や紙づまりのとき、開けて処理します。

中とじ機SD-506内部

番号	名 称	説 明
1	レバー SD11	折りユニットの紙づまりのとき、開けて処理します。
2	レバー SD3	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
3	取手SD10	折りユニットの紙づまりのとき、持って引き出します。
4	レバー SD2	紙づまりのとき、上に開いて処理します。
5	レバー SD1	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
6	ツマミSD6	紙づまりのとき、時計方向に回してつまつた紙を折りユニットに送り出します。
7	搬送レバー SD7	紙づまりのとき、右に開いて処理します。
8	取手SD8	紙づまりのとき、手前に開いて処理します。
9	レバー SD9	紙づまりのとき、上に開いて処理します。
10	とじユニット部	中折りされた用紙にステープルを打ち込みます。
11	ツマミSD15	紙づまりのとき、時計方向に回して処理します。
12	レバー SD5	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
13	レバー SD4	紙づまりのとき、下に開いて処理します。

■ くるみ製本機 PB-502



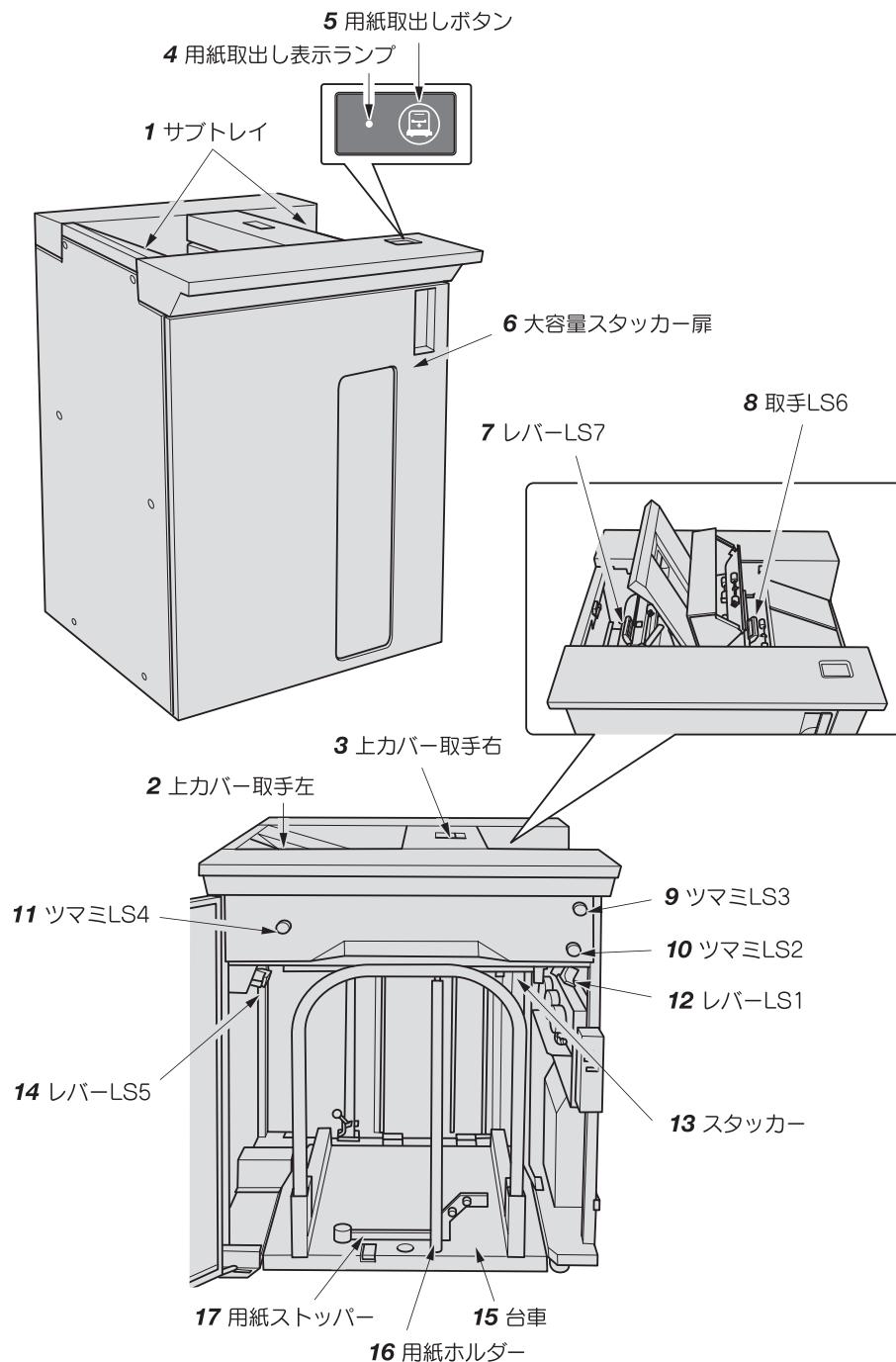
くるみ製本機PB-502外部

番号	名 称	説 明
1	糊ホッパークリーナー	糊ペレットを補給するときや糊ペレットがつまつたときに開きます。
2	サブトレイ	用紙をくるみ製本機で処理せずに排紙します。
3	くるみ製本機前扉	紙づまり、断裁くずを処理するときに開きます。
4	表紙トレイ	製本の表紙を収納します。
5	製本トレイ	くるみ製本された用紙が積載されます。
6	製本トレイカバー	製本された用紙を取り出すときに開きます。
7	送り出しボタン	製本された用紙を左へ送り出すときに押します。

くるみ製本機PB-502内部

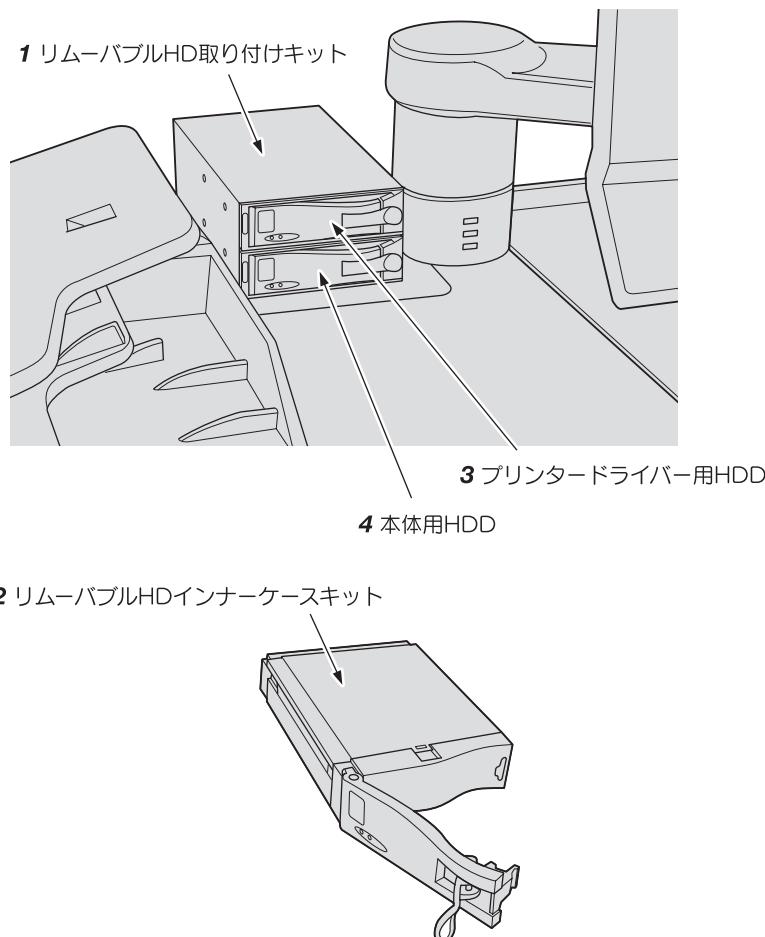
番号	名 称	説 明
1	クランプユニット本身解除ツマミ	クランプユニットに固定された本身用紙を取り出すときに右に回します。
2	ツマミPB6	紙づまりのとき、右に回して本身用紙をクランプユニットに送ります。
3	攪拌棒	糊ホッパー内に糊ペレットがつまつたときに押し込みます。
4	レバー PB7	クランプユニットにつまつた本身用紙を取り出すときに右に回して引き出します。
5	ツマミPB2	紙づまりのとき、左に回してつまつた用紙をサブトレイに送り出します。
6	レバー PB3	紙づまりのとき、下に開いて本身用紙を取り除きます。
7	レバー PB1	紙づまりのとき、上に開いて本身用紙を取り除きます。
8	表紙搬送レバー左	紙づまりのとき、上に開いて表紙を取り除きます。
9	レバー PB4	紙づまりのとき、左に開いて表紙を取り除きます。
10	レバー PB5	紙づまりのとき、断裁くず箱を取り出し、左に開いて表紙を取り除きます。
11	表紙搬送ツマミ	紙づまりのとき、右に回して表紙を送り出します。
12	断裁くず箱	断裁くずを捨てるときに引き出して処理します。
13	ツマミPB11	紙づまりのとき、下に回して製本成形ユニットを降下させます。
14	ジャム位置表示パネル	紙づまりの位置をLEDの点灯で表示します。
15	ツマミPB8	紙づまりのとき、右に回して表紙を成形ユニットから取り除きます。
16	ツマミPB9	紙づまりのとき、左に回して表紙固定板を解除します。
17	ツマミPB10	紙づまりのとき、右に回して表紙固定板を解除します。
18	製本成形ユニット解除ツマミ	紙づまりのとき、上にあがったままの製本成形ユニットから表紙を取り除くため、下に回します。

■ 大容量スタッカー LS-505



番号	名 称	説 明
1	サブトレイ	用紙を仕分け処理なしで排紙します。
2	上カバー取手左	紙づまりのとき、開けて処理します。
3	上カバー取手右	紙づまりのとき、開けて処理します。
4	用紙取出し表示ランプ	用紙取出しボタンを押してスタッカーを下降させているとき点灯します。
5	用紙取出しボタン	スタッカーに積載された用紙を取り出すときに、押します。
6	大容量スタッカー扉	スタッカーに積載された用紙を取り出すときに、開けます。
7	レバー LS7	紙づまりのとき、開けて処理します。
8	取手LS6	紙づまりのとき、開けて処理します。
9	ツマミLS3	時計方向に回して、つまった紙をスタッカーに送り出します。
10	ツマミLS2	時計方向に回して、つまった紙をサブトレイに送り出します。
11	ツマミLS4	時計方向に回して、つまった紙を出口側に送り出します。
12	レバー LS1	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
13	スタッカー	用紙を、仕分け処理なし/シフト処理で排紙積載します。
14	レバー LS5	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
15	台車	用紙をスタッカーごと搬送します。
16	用紙ホルダー	用紙ストッパーを取り付けます。
17	用紙ストッパー	用紙を押さえつけて用紙崩れを防ぎます。

■ リムーバブルHD取付けキット



番号	名 称	説 明
1	リムーバブルHD取り付けキット	HDDを装着したリムーバブルHDインナーケースキットを2個取り付けます。
2	リムーバブルHDインナーケース キット (HD-511付属)	本体用HDとプリンタードライバー用を外付けにします。
3	プリンタードライバー用HD	外付けにしたハードディスクです。
4	本体用HD	本体用の外付けハードディスクです。

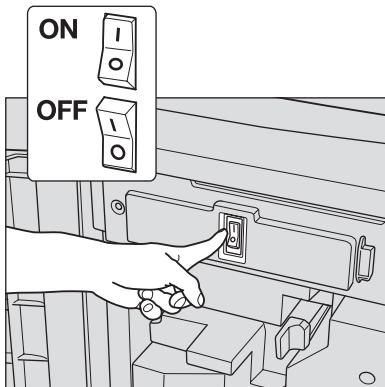
電源を入れる/切る

本機には主電源スイッチと副電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。

■ 電源を入れる

1 主電源スイッチをオンにします。

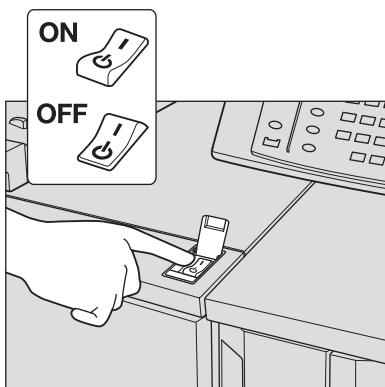
主電源スイッチは本体内部にあります。
本体前扉を開き、本体左扉を開きます。
操作パネルの電源ランプが赤に点灯します。



主電源スイッチは通常オンにした状態を維持し、オフにしないでください。

2 副電源スイッチをオンにします。

副電源スイッチは本体前面にあります。
操作パネルの電源ランプが緑色に点灯します。



3 ウェイクアップ画面とウォームアップ画面が表示されます。



ウェイクアップ画面につづき、ウォームアップ表示されている機械状態画面が表示されます。
ウォームアップに約8分かかります。

詳しく説明します

ウォームアップ表示中の機械状態画面の「コピー」タブを押すとコピー画面に変わります。コピー画面に「コピー予約できます」と表示されていると、ウォームアップ中に原稿をスキャンし、コピー可能になったときに出力できます。

4 コピー可能になると、「プリントできます」と表示されます。



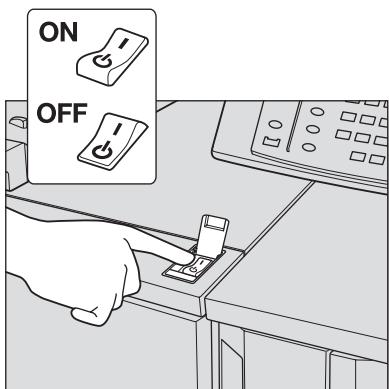
詳しく説明します

- 管理者設定で電源投入後に表示される画面が変更されています。
- 機械を動作させるためにユーザー認証／部門認証の名前やパスワードの入力が必要な場合があります。p. 2-25をごらんください。
- キーカウンターやコピーカードの挿入を指示されることがあります。指示に従ってください。

■ 電源を切る

1 副電源スイッチをオフにします。

副電源スイッチは操作パネルの右側面にあります。タッチパネルの表示が消え、操作パネルの電源ランプが緑から赤にかわり、それ以外のランプはすべて消灯します。



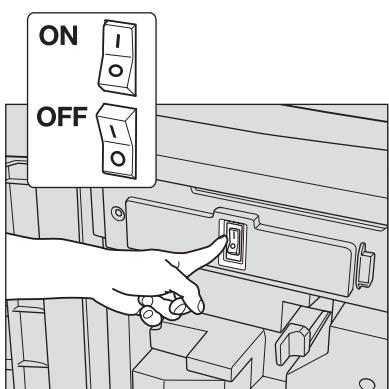
Wi-Fiクリーチャーを設定している場合、電源を切らないでください。電源を切るとWi-Fiクリーチャーは機能しなくなります。



副電源スイッチをオフにすると、Wi-Fiクリーチャーは機能しなくなります。
「冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます」と表示されている間は主電源を切らないでください。

2 主電源スイッチをオフにします。

主電源スイッチは本体内部にあります。本体前扉を開き、本体左扉を開きます。



主電源スイッチは通常オンにした状態を維持し、オフにしないでください。



主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、必ず10秒以上経過してからオンにしてください。間隔を空けないと、正常に機能しないことがあります。

自動的に初期設定にもどる（オートリセット）

操作パネルの【リセット】を押したとき、また【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなつてから一定時間が経過すると、任意に設定したコピー条件が取り消され、初期化設定にもどります。これをオートリセットといいます。

出荷時設定では、1分を経過するとオートリセットが機能します。オートリセットが機能する時間は、設定メニューで選択できます。

初期化設定としてフルオートと初期設定のいずれかを選択できます。この選択は設定メニューで行います。出荷時設定では、初期設定が選択されています。

フルオートのコピー条件

フルオートの設定は変更できませんが、出力設定だけ任意に変更することができます。

- 原稿設定：標準
- 画質設定：標準
- 倍率設定：1.000
- 片面/両面：片面▶片面
- 応用設定：なし
- 出力設定：設定メニューで変更可能
- 自動用紙オン
- 自動画像回転オン



- オートリセットが機能する時間の選択に関しては、POD 管理者編をごらんください。
- フルオートと初期設定の選択に関しては POD 管理者編をごらんください。



出力設定のフルオートのコピー条件の変更に関しては、POD 管理者編をごらんください。

各部の名称と
はたらき電源を入れる
／切るオート
リセットパワーセーブ
ランプユーザ認証
／部門認証

パワーセーブランプが点灯する

パワーセーブランプが点灯しているときは、パワーセーブが機能しているか、ウィークリータイマーが機能しています。いずれもそのままでは機械を使用することができません。



■ 機械を使用するための操作

1 操作パネルのいずれかのキーを押します。

操作パネルのいずれかのキーを押しても反応がない場合は、【パワーセーブ】を押します。



参照

パワーセーブには、オートローパワーとオートシャットオフの2つのモードがあります。詳細はp. 2-46～p. 2-47をごらんください。

手動でパワーセーブを機能させることができます。詳細は、p. 2-48をごらんください。

パワーセーブが機能していた場合は、コピー可能状態にもどります。

ウィークリータイマー機能が働いていると、機械状態画面が表示され、メッセージ表示部に「一時的にウィークリータイマーを解除します パスワードをセットしてください」と表示されます。時間外に機械を使用することができます。詳細は、p. 2-49をごらんください。

■ 自動的に節電状態になる（オートローパワー）

オートローパワーは機械の消費電力を節約するための機能です。

コピー可能な状態でコピーせずに一定時間（bizhub PRO 1200 は 15 分、bizhub PRO 1051 は 5 分）経過すると、【パワーセーブ】ランプが点灯し、タッチパネルが消え、操作パネルの【スタート】ランプが赤色に変わり、そのほかのランプは消えます。電源ランプは緑色に点灯しつづけます。



設定メニュー > 06 管理者設定でオートローパワーの機能をオフにしたり、設定時間を変更できます（OFF、5分、10分、15分、30分、60分、90分、120分、240分）。詳細は POD 管理者編をごらんください。



オートローパワーとオートシャットオフの設定時間が同じ場合、シャットオフが機能します。

ジャム位置画面や両面コピー中の画面が表示されているときは、タッチパネルは消えません。

ローパワーモードの解除のしかた

タッチパネルのボタンや操作パネルのキーのいずれかを押すと、コピー可能な状態にもどります。

■自動的に節電状態になる（オートシャットオフ）

オートシャットオフは、オートローパワーよりもさらに消費電力を節約するための機能です。

コピー可能な状態でコピーせずに一定時間（工場出荷時設定は30分）経過すると、【パワーセーブ】ランプが点灯し、タッチパネルが消え、操作パネルの全てのランプが消えます。

電源ランプは緑色に点灯しつづけます。



設定メニュー>06管理者設定でオートシャットオフの機能をオフにしたり、設定時間を変更できます（OFF、30分、60分、90分、120分、240分）。詳細はPOD管理者編をごらんください。

各部の名称と
はたらき電源を入れる
／切るオート
リセットパワーセーブ
ランプユーザ認証
／部門認証

シャットオフモードの解除のしかた

操作パネルの【パワーセーブ】を押すと、コピー可能な状態にもどります。



■ 手動で節電状態にする

パワーセーブ（ローパワー、シャットオフ）の機能を手動で設定します。

1 操作パネルの【パワーセーブ】を1秒間以上押し続けます。



下記のメッセージが表示されます。

シャットオフの場合

10秒後にシャットオフモードへ移行します
操作キーで解除します

ローパワーの場合

10秒後にローパワーモードへ移行します
操作キーで解除します

2 パワーセーブが機能します。

【パワーセーブ】ランプが点灯し、タッチパネルが消えます。

操作パネルの【パワーセーブ】を押す時間が1秒未満の場合、下記のメッセージが表示され、パワーセーブは働きません。

シャットオフモードを実行するにはパワーセーブボタンを1秒間以上押し続けてから離して下さい

ローパワーモードを実行するにはパワーセーブボタンを1秒間以上押し続けてから離して下さい



初期設定では手動で設定できるのはシャットオフです。設定メニュー>06管理者設定でローパワーを手動で設定することができます。詳細はPOD管理者編をごらんください。

■ 使用時間を制限する (Wi-Fiクリータイマー)

本機は、管理者がたてたスケジュールに従い機械のオン/オフを設定し、使用を制限することができます。これをWi-Fiクリータイマーといいます。

Wi-Fiクリータイマーが設定されている機械でWi-Fiクリータイマーによってオフの状態の場合は、【パワーセーブ】ランプが点灯し、機械を使用することはできません。

機械を使用できるようにする

下記の操作で機械を使用できるようになります。(時間外使用)



Wi-Fiクリータイマーは設定メニュー>06管理者設定で行います。詳細はPOD管理者編をごらんください。

1 操作パネルの【パワーセーブ】を押します。

機械状態画面が表示され、一時的にWi-Fiクリータイマーを解除します。

一時的にWi-Fiクリータイマーを解除します
パスワードをセットして下さい

と表示されます。



この状態で5分経過すると、自動的に電源が切れます。

使用時間を入力して下さい
0時間 05分

と表示された場合は、3項に進みます。

2 時間外使用パスワードを入力し、操作パネルの【スタート】を押します。

操作パネルのテンキーを使って、4ヶタの時間外パスワードを入力します。

一時的にWi-Fiクリータイマーを解除します
パスワードをセットして下さい*****

【スタート】を押します。



時間外使用パスワードは設定メニュー>06管理者設定で設定します。パスワードは管理者にお聞きください。



パスワード入力を間違えたときは、引き続き正しい4ヶタのパスワードを入力します。

3 時間の設定をして、操作パネルの【スタート】を押します。

操作パネルのテンキーを押して、時間を入力します。
0~9時間の設定ができます。

使用時間を入力して下さい
3時間 05分

【スタート】を押します。

4 分の設定をして、操作パネルの【スタート】を押します。

操作パネルのテンキーを押して、分を入力します。
0～59分の設定ができます。

使用時間を入力して下さい
3時間 30分



1ヶタ入力する場合は、最初に「0」を入力します。ただし、5分未満の設定はできません。入力しても5分に設定されます。また、60分以上の設定はできません。

【スタート】を押します。
画面に「コピーできます」と表示され、設定した時間内は通常通り機械を使用することができます。

5 設定時間内に作業が終了したら、操作パネルの【パワーセーブ】を1秒以上押し続けます。

再びウィークリータイマーの電源オフ状態になります。

ユーザー認証/部門認証を求められたとき

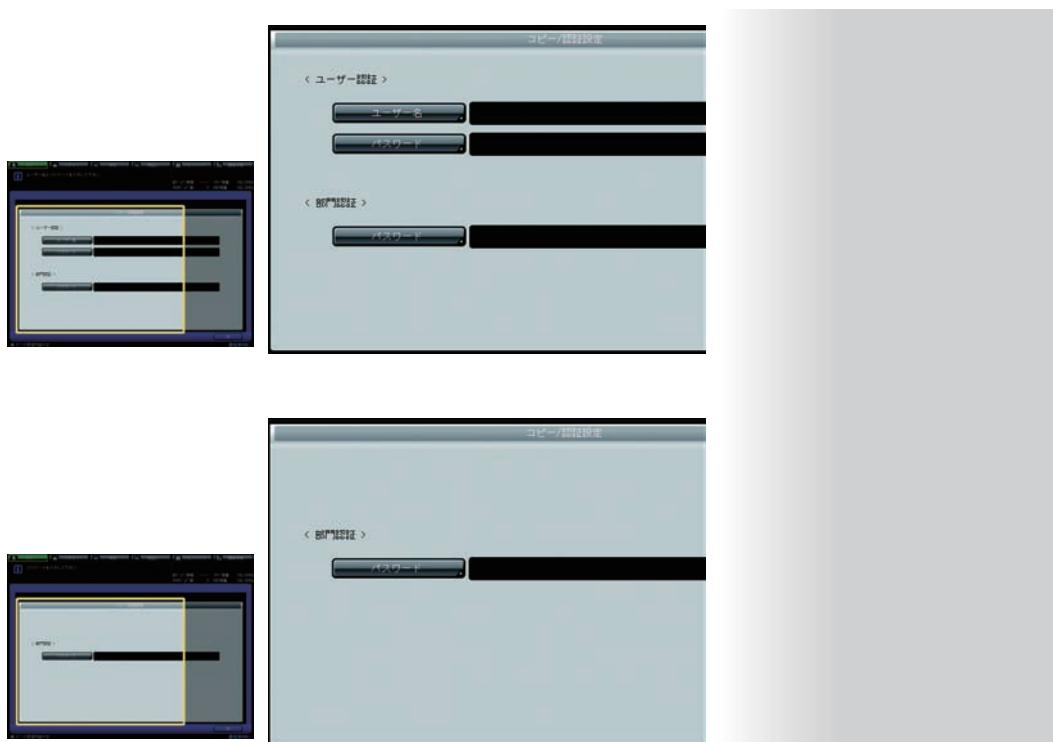
本機は、管理者が設定したユーザー名とユーザーpassword/部門名/部門passwordを入力しなければ機械を使用できないように設定できます。

また、部門ごとに出力枚数のリミット値を設定し、リミット値以上の使用を制限することができます。

(コピー) タブを押してコピー画面を表示させようとすると、下記のような認証を求める画面が表示されます。

認証の設定によって、表示は異なります。





次の手順に従って機械を使用してください。

1 要求されたユーザー名とパスワード/部門名/部門パスワードを入力します。

入力する項目のボタンを押して入力画面を表示させます。

必要に応じて64文字以内のユーザー名、64文字以内のパスワード、8文字以内の部門名、8文字の部門パスワードを入力します。



入力画面の入力方法は「付録：文字入力のしかた」で説明します。

2 【OK】を押します。

「コピーできます」と表示されたコピー画面が表示されます。



「リミットをオーバーしました」と表示されて作業できなくなることがあります。管理者にお問い合わせください。

3 作業開始

通常のコピー作業ができます。

4 作業終了時に操作パネルの【ID】を押します。

画面に認証を求める画面が表示され、作業できなくなります。

用紙・ 原稿について

第3章

本機で使用する用紙およびコピーをとる原稿の仕様について説明します。

用紙について	3-2
■ 使用できる用紙の質量	3-2
■ セット／排出できる用紙の枚数	3-4
■ セット／搬送／排出できる用紙サイズ	3-8
■ 自動トレイ切換機能	3-15
■ 用紙の保管	3-15
原稿について	3-16
■ 原稿ガラスにセットする原稿について	3-16
■ ADFにセットする原稿について	3-17

用紙について

用紙をセットする装置には下記のものがあります。

- 本体トレイ（トレイ1～2）
- 大容量給紙トレイPF-702（トレイ3～8）
- サクション式大容量給紙トレイPF-703（トレイ3～8）
- PF-703（PI-PFU）
- くるみ製本機PB-502表紙給紙トレイ
- ポストインサー（折り機FD-503に標準装備）

用紙を搬送／処理／排出する装置には下記のものがあります。

- ADU（自動両面コピーユニット）（本体に標準装備）
- ステープルフィニッシャーFS-521
- 折り機FD-503
- 大容量スタッカーLS-505
- 中とじ機SD-506
- くるみ製本機PB-502（製本トレイ／サブトレイ）

■ 使用できる用紙の質量

用紙をセットする装置	坪量
本体トレイ（トレイ1、2）	通常: 40g/m ² ～244g/m ²
大容量給紙トレイPF-702 (トレイ3～8)	通常: トレイ3、5、6、8: 40g/m ² ～244g/m ² トレイ4、7: 40g/m ² ～350g/m ²
サクション式 大容量給紙トレイPF-703 (トレイ3～8)	通常: トレイ3、5、6、8: 40g/m ² ～244g/m ² トレイ4、7: 40g/m ² ～350g/m ²
サクション式 大容量給紙トレイPF-703 (PI-PFU)	通常: PI-PFU1、PI-PFU3: 40g/m ² ～ 244g/m ² PI-PFU2: 40g/m ² ～350g/m ²
くるみ製本機PB-502 表紙給紙トレイ	72g/m ² ～161g/m ²
ポストインサー (折り機FD-503に 標準装備)	通常: 50g/m ² ～300g/m ²



給紙トレイに設定した坪量の用紙以外の用紙をセットしないでください。画像品質が落ちたり、トラブルの原因になります。



- 各給紙トレイにセットする用紙坪量の設定や登録／削除は、機械状態画面のトレイ設定で行います。詳細は、p. 9-44をごらんください。
- トレイ設定以外の用紙設定で一時的にコピーする場合は、コピー画面の用紙予約設定で設定を変更します。
- くるみ製本の表紙坪量の設定は、出力設定で行います。詳細は、p. 11-37をごらんください。

用紙を搬送／処理／ 排出する装置	坪量
ADU	40g/m ² ～350g/m ²
ステープル フィニッシャー FS-521	サブトレイ: 50g/m ² ～350g/m ² メイントレイ: 40g/m ² ～350g/m ² 平とじステープル: 50g/m ² ～244g/m ²

用紙を搬送／処理／排出する装置		坪量
折り機 FD-503	折りトレイ	内3つ折り、外3つ折り： 50 g/m ² ～130 g/m ² ダブルパラレル折り、観音折り： 50 g/m ² ～91 g/m ²
	メイントレイ	40 g/m ² ～350 g/m ² パンチ:50 g/m ² ～216 g/m ² (2枚重ね:50～91 g/m ²) 中折り、内3つ折り、外3つ折り、Z折り： 50 g/m ² ～130 g/m ² ダブルパラレル折り、観音折り： 50 g/m ² ～91 g/m ²
大容量 スタッカー LS-505	サブトレイ	50g/m ² ～350 g/m ²
	メイントレイ	50g/m ² ～244 g/m ²
中とじ機 SD-506	サブトレイ	50g/m ² ～350 g/m ²
	折り/とじ トレイ	中とじ、断裁：50 g/m ² ～244 g/m ² 重ね中折り5枚:50 g/m ² ～81 g/m ² 重ね中折り3枚:82 g/m ² ～130 g/m ² 重ね中折り2枚:131 g/m ² ～244 g/m ²
	3つ折り トレイ	重ね3つ折り5枚:50 g/m ² ～81 g/m ² 重ね3つ折り3枚:82 g/m ² ～91 g/m ²
くるみ製本機 PB-502	サブトレイ	50 g/m ² ～300 g/m ²
	製本トレイ	本身:64 g/m ² ～91 g/m ² 表紙:82 g/m ² ～161 g/m ²



折り機FD-503に後続オプションが接続されている場合は、内3つ折り、外3つ折り、ダブルパラレル折り、観音折りは、折り機FD-503折りトレイに出力されます。それ以外のトレイには出力されません。

■ セット／排出できる用紙の枚数

用紙をセットする装置	セットできる枚数
本体トレイ(トレイ1、2)	各1,600枚 (64g/m ²)
大容量給紙トレイPF-702 (トレイ3~8)	各2,000枚 (80g/m ² 、積載高さ217mm)
サクション式 大容量給紙トレイPF-703 (トレイ3~8)	トレイ3、6: 各1,300枚 (80g/m ² 、積載高さ150mm) トレイ4、5、7、8: 各1,850枚 (80g/m ² 、積載高さ203.5mm)
サクション式 大容量給紙トレイPF-703 (PI-PFU)	PI-PFU-1: 各1,300枚 (80g/m ² 、積載高さ150mm) PI-PFU-2、PI-PFU-3: 各1,850枚 (80g/m ² 、積載高さ203.5mm)
くるみ製本機PB-502 表紙給紙トレイ	1,000枚 (82g/m ²) 500枚 (161g/m ²)
ポストインサーター (折り機FD-503に 標準装備)	上/下段各500枚 (80g/m ²)

用紙を搬送／処理／排出する装置	搬送／処理／排出できる枚数
ADU	制限なし
ステーブル フィニッシャー FS-521	サブトレイ 200枚 (80g/m ²) Z折り:20枚 (80g/m ²) 中折り:40枚 (80g/m ²)
	メイントレイ (通常排紙) 紙の坪量とサイズによって、収容枚数 が異なります。 p. 3-7の表をごらんください。 ^{*1}
	メイントレイ (ステーブル) 最大100枚 (80g/m ²) 2~9枚とじ:75部(長さが182~364 mmの用紙は150部) 10~20枚とじ:50部 21~30枚とじ:30部 31~40枚とじ:25部 41~50枚とじ:20部 51~60枚とじ:15部 61~100枚とじ:10部 冊子1部の最大平とじ枚数は、p. 3-7の 表をごらんください。 ^{*2}

用紙を搬送／処理／排出する装置		搬送／処理／排出できる枚数
折り機 FD-503	折りトレイ	質問中
	メイントレイ	2,500枚: A4□/□、B5□/□、8.5"×11"□/□、 9"×11"□ 1500枚: A3□、B4□、Foolscap*、 12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、SRA3□、SRA4□、 13"×19"□ 500枚: A5□/□、B6□、5.5"×8.5"□/□
大容量 スタッカー LS-505	サブトレイ	200枚 (80 g/m ²) Z折り:20枚 (80 g/m ²) 中折り:40枚 (80 g/m ²)
	スタッカー 部	5,000枚(80 g/m ²): A3□、B4□、A4□/□、Foolscap、 SRA3□、SRA4□、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、9"×11"□ 2,000枚(80 g/m ²): B5□、A5□ 3,000枚(80 g/m ²):用紙長さが 380mm以上の塗工紙
中とじ機 SD-506	サブ トレイ	200枚 (80 g/m ²) Z折り:20枚 (80 g/m ²) 重ね中折り:40枚 (80 g/m ²)
	中とじ 機能	50~81g/m ² :50枚または49枚+ 1枚(200g/m ²) 82~91g/m ² :30枚または29枚+ 1枚(200g/m ²) 92~130g/m ² :20枚または19枚+ 1枚(200g/m ²) 131~161g/m ² :15枚または14枚+ 1枚(200g/m ²) 162~209g/m ² :10枚 210~244g/m ² :5枚
	中とじ機能 (コート紙/ カラー紙)	50~81g/m ² :30枚または29枚+ 1枚(200g/m ²) 82~91g/m ² :15枚または14枚+ 1枚(200g/m ²) 92~130g/m ² :10枚または9枚+ 1枚(200g/m ²) 131~161g/m ² :5枚または4枚+ 1枚(200g/m ²) 162~244g/m ² :



ISOB5、ISOB4 を使用する場合は、サービス実施店へお問い合わせください。



上質紙は、種類によって最大中とじ枚数が異なります。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。

用紙を搬送／処理／排出する装置		搬送／処理／排出できる枚数
中とじ機 SD-506 (つづき)	中とじ機能 (縦目用紙)	50~81g/m ² :30枚または29枚+ 1枚(200g/m ²) 82~91g/m ² :30枚または29枚+ 1枚(200g/m ²) 92~130g/m ² :10枚または9枚+ 1枚(200g/m ²) 131~161g/m ² :5枚または4枚+ 1枚(200g/m ²) 162~244g/m ² :保証外
	断裁機能	最大50枚(80 g/m ²)×2、 または{49枚(80 g/m ²) + 1枚(200 g/m ²)}×2
	中折り機能	最大重ね枚数:5枚(50~81 g/m ²) 収容部数:30部(満タン検知機能あり)
	3つ折り 機能	最大重ね枚数:5枚(50~81 g/m ²) 収容部数:20部(満タン検知機能あり)
くるみ製本機 PB-502	サブ トレイ	200枚 (80 g/m ²) (フル検知機能あり)
	製本 トレイ	最大厚冊子(約30mm)×11冊×2列* (80g/m ² :約6,600枚相当) *:1列目をフル検知すると自動的に移動し、2列目に積載を継続します。



中とじにしたときの折り高さの基準は下記のとおりです。

とじ枚数	用紙サイズ			
	A3□、 12"×18"□、 11"×17"□ (401mm 以上)	B4□、 8.5"×14"□ (301~ 400mm)	A4□、 8.5"×11"□ (261~ 300mm)	B5□ (260mm 以下)
2~5枚	35mm	40mm	45mm	規定せず
6~15枚	45mm	50mm	規定せず	規定せず
16~30枚	50mm	55mm	規定せず	規定せず
31~50枚	60mm	65mm	規定せず	規定せず

* 1 ステープルフィニッシャーFS-521メイントレイ(通常排紙)の収容枚数

坪量	大サイズ	小サイズ ()内はシフト時	特小サイズ
40~71 g/m ²	500	750	100
72~81 g/m ²	1500	3000(1500)	750
82~91 g/m ²	1000	2000(1500)	500
92~130 g/m ²	750	1500	400
131~161 g/m ²	750	1500	350
162~216 g/m ²	500	1000	250
217~244 g/m ²	375	750	200
245~300 g/m ²	375	750	200
301~350 g/m ²	250	500	100

大サイズ: A3□、B4□、Foolscap、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、SRA3□、SRA4□、ワイドサイズ紙(最大324mm×460mm)

小サイズ: A4□/□、B5□/□、8.5"×11"□/□、9"×11"□

特小サイズ: 5.5"×8.5"□



B4/B5はJIS規格サイズです。ISO規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。

* 2 ステープルフィニッシャー FS-521最大平とじ枚数

坪量	ステープル枚数(カバー紙1枚(200 g/m ²)を含めた枚数)			
	非塗工紙		塗工紙/カラー紙	
	長さ400 mm未満	長さ400 mm以上	長さ400 mm未満	長さ400 mm以上
40~49 g/m ²	×	×	×	×
50~81 g/m ²	100	50	35	35
82~91 g/m ²	60	50	35	35
92~130 g/m ²	50	50	30	30
131~161 g/m ²	40	40	25	25
162~216 g/m ²	25	25	20	20
217~244 g/m ²	25	25	15	15
245~300 g/m ²	×	×	×	×
301~350 g/m ²	×	×	×	×

最大平とじ枚数は、上記の表の範囲内でも、以下の平とじ可能な厚みの上限を超えないようにしてください。

平とじ可能な厚みの上限

- 用紙長さ219 mm以下: 23 mm
- 用紙長さ220 mm以上: 20 mm

■ セット／搬送／排出できる用紙サイズ

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
本体トレイ(トレイ1～2)	<p>定形サイズ:</p> <p>SRA3□、A3□、B4□*¹、A4□/□、 SRA4□、B5□/□*¹、A5□、 郵政はがき*²、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、9"×11"□</p> <p>以下の定形サイズと切替えて検知させることができます。</p> <p>A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 12"×18"□のかわりにSRA3S□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.12"×13.2"□、8.25"×13"□、 または8.5"×13"□</p> <p>不定形サイズ:</p> <p>最小タテ182 mm×ヨコ139 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>ワイド紙*³:</p> <p>A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、12"×18"W□、 11"×17"W□、8.5"×11"W□/□、 5.5"×8.5"W□</p> <p>最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>インデックス紙:</p> <p>B5T□/□、A4T□/□、B4T□、 A3T□、8.5"×11"T□/□、 11"×17"T□、5.5"×8.5"T□/□</p>



- トレイ設定で【定形サイズ】と設定した本体トレイは自動的に定形サイズを検知します。
- コピー予約で、現在出力中の本体トレイを使って別のサイズの用紙にコピーするときは、コピー画面の用紙予約設定でサイズを選択します。



* 1 : B4/B5はJIS規格サイズです。ISO規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。

* 2 : 本体トレイ(トレイ1、2)に郵政はがきをセットする場合は、ハガキアダプター(オプション)が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。

* 3 : ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳細は、p. 9-48をごらんください。

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
大容量給紙トレイPF-702 (トレイ3~8)	<p>定形サイズ:</p> <p>SRA3□、A3□、B4□*1、A4□/□、 SRA4□、B5□/□*1、A5□、 郵政はがき□*2、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、9"×11"□</p> <p>以下の定形サイズを切替えて検知させることができます。</p> <p>A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 12"×18"□のかわりにSRA3□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.12"×13.2"□、8.25"×13"□、 または8.5"×13"□</p> <p>不定形サイズ:</p> <p>最小182 mm×139 mm～ 最大324 mm×463 mm</p> <p>小サイズガイド板使用時: 最小95 mm×139 mm～ 最大324 mm×463 mm</p> <p>ワイド紙*3:</p> <p>A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、12"×18"W□、 11"×17"W□、8.5"×11"W□/□、 5.5"×8.5"W□</p> <p>インデックス紙:</p> <p>B5T□/□、A4T□/□、B4T□、 A3T□、8.5"×11"□/□、 11"×17"□、5.5"×8.5"□/□</p>



- トレイ設定で「定形サイズ」と設定したPFUトレイは自動的に定形サイズを検知します。
- コピー予約で、現在出力中のPFUトレイを使って別のサイズの用紙にコピーするときは、コピー画面の用紙予約設定でサイズを選択します。



- * 1 : B4/B5はJIS規格サイズです。ISO規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。
- * 2 : PFUトレイに郵政はがきをセットする場合は、小サイズガイド板を使用します。詳細は、p. 4-18をごらんください。
- * 3 : ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳細は、p. 9-48をごらんください。

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
サクション式 大容量給紙トレイPF-703 (トレイ3~8)	<p>定形サイズ:</p> <p>SRA3□、A3□、B4□*1、A4□/□、 SRA4□、B5□/□*1、A5□、 郵政はがき*2、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、9"×11"□</p> <p>以下の定形サイズを切替えて検知させることができます。</p> <p>A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 12"×18"□のかわりにSRA3S□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.12"×13.2"□、8.25"×13"□、 または8.5"×13"□</p> <p>不定形サイズ:</p> <p>最小150 mm×133 mm～ 最大324 mm×463 mm</p> <p>小サイズガイド板使用時:</p> <p>最小95 mm×133 mm～ 最大324 mm×463 mm</p> <p>ワイド紙:</p> <p>A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、12"×18"W□、 11"×17"W□、8.5"×11"W□/□、 5.5"×8.5"W□</p> <p>インデックス紙:</p> <p>B5T□/□、A4T□/□、B4T□、 A3T□、8.5×11T□/□、 11"×17"T□、5.5"×8.5"T□/□</p>
サクション式 大容量給紙トレイPF-703 (PI-PFU)	<p>通常(検知サイズ)*1:</p> <p>SRA3□、A3□、B4□*2、A4□/□、 SRA4□、B5□/□、A5□、 12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、 9"×11"□</p> <p>以下の定形サイズを切替えて検知させることができます。</p> <p>A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 12"×18"□のかわりにSRA3S□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.12"×13.2"□、8.25"×13"□、 または8.5"×13"□</p> <p>くるみ表紙用*3:</p> <p>最小139 mm×279 mm～ 最大307 mm×463 mm</p> <p>小サイズガイド板使用時:</p> <p>最小95 mm×133 mm～ 最大324 mm×463 mm</p>
くるみ製本機PB-502 表紙給紙トレイ	<p>天地: 本身と同じ 左右:</p> <p>冊子横サイズ×2+冊子厚み+ 5 mm(断裁量)以上</p> <p>セット可能最大サイズ:</p> <p>タテ307 mm×ヨコ472 mm</p>



* 1 : B4/B5はJIS規格サイズです。ISO規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。

* 2 : PFUトレイに郵政はがきをセットする場合は、小サイズガイド板を使用します。詳細は、p. 4-18をごらんください。

* 3 : ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳細は、p. 9-48をごらんください。



PI-PFUとして使用するPF-703にセット出来る用紙サイズは、通常のポストインサーとして使用する場合と、くるみ製本の表紙給紙トレイとして使用する場合では異なります。

* 1 : PFUが定形サイズとして検知するサイズの用紙をセットします。不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙、郵政はがきはセットできません。

* 2 : B4/B5はJIS規格サイズです。ISO規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。

* 3 : くるみ製本の表紙をセットしますので、PFUに不定形サイズを設定する場合と同じ設定をします。定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙、郵政はがきはセットできません。

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
ポストインサー ^タ (折り機FD-503に 標準装備)	<p>通常(検知サイズ): SRA3□、A3□、B4□、A4□/□、 B5□/□、A5□、13"×19"□、 12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、8.5"×11"□ 以下の定形サイズを切替えて検知さ れることができます。 A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 A4□のかわりにSRA4□ (このとき8.5"×14"□も検知できな くなります) A4□のかわりに8.5"×11"□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.12"×13.2"□、8.25"×13"□、 または8.5"×13"□ 8.5"×11"□のかわりに9"×11"□ くるみ表紙用*1: 最小182 mm×279 mm～ 最大307 mm×483 mm </p>



* 1 : くるみ製本の表紙をセット
 しますので、PFUに不定形
 サイズを設定する場合と同
 じ設定をします。定形サイ
 ズ、ワイド紙、インデック
 ス紙、郵政はがきはセット
 できません。

用紙を搬送/処理/排出する装置	搬送/処理/排出できるサイズ
ADU	
ステープル フィニッシャー FS-521	サブトレイ A3□、B4□*1、A4□/□、B5□/□*1、 A5□/□、B6□、 郵政はがき□、SRA3□、SRA4□/□、 A6□、13"×19"□、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□/□、 9"×11"□、8K□、16K□/□、 ワイド紙、不定形サイズ、定形インデック ス紙(排紙時タブ後端側は保証外) 最小 95 mm(幅)×133*2mm(長さ)/ 最大 324 mm(幅)×463 mm(長さ)



* 1 : B4/B5はJIS規格サイズで
 す。ISO規格サイズに変更
 したいときは、サービス実
 施店にお申し出ください。

* 2 : FS-521 単体時のみ。他の
 オプションを連結した時は
 139 mm。

用紙について(つづき)

用紙を搬送／処理／排出する装置	搬送／処理／排出できるサイズ
ステープル フィニッシャー FS-521 (つづき)	<p>メイントレイ (通常排紙)</p> <p>大サイズ: A3□、B4□、Foolscap、 12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、SRA3□、 SRA4□/□、ワイド紙 (最大324 mm×460 mm)</p> <p>小サイズ: A4□/□、B5□/□、8.5"×11"□/□、 9"×11"□</p> <p>特小サイズ: A5□/□、B6□、5.5"×8.5"□</p> <p>その他: 不定形紙(148 mm(幅)× 139 mm(長さ)～ 324 mm(幅)× 463 mm(長さ))、インデックス紙 (排紙時タブ後端側は保証外)</p> <p>ストレートのみ: 5.5×8.5□、 不定形サイズ(128 mm(幅)× 139 mm(長さ)～ 324 mm(幅)× 463 mm(長さ))</p>
	<p>メイントレイ (ステープル)</p> <p>A3□、B4□、A4□/□、B5□、A5□、 Foolscap、SRA3□、SRA4□/□、 12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、 5.5"×8.5"□、9"×11"□、ワイド紙、 不定形サイズ、インデックス紙(排紙時 タブ後端側は保証外) 最小 203 mm(幅)×139 mm(長さ)/ 最大 324 mm(幅)×463 mm(長さ)</p>
折り機 FD-503	<p>折りトレイ /折り出力</p> <p>A3□、B4□、A4□、SRA4□、12"× 18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□、不定形サイズ 最小210 mm(幅)×279 mm(長さ)/ 最大305 mm(幅)×458 mm(長さ)"</p> <p>メイントレイ (通常排紙)</p> <p>A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、A5□、 Foolscap、SRA3□、SRA4□/□、 13"×19"□、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□、 9"×11"□、ワイド紙、不定形サイズ、 定形インデックス紙(排紙時タブ後端 側は保証外) 最小95 mm(幅)×139 mm(長さ)/ 最大331 mm(幅)×483 mm(長さ)</p> <p>パンチ出力 (2穴)</p> <p>A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、 A5□、Foolscap、SRA4□、 12"×18"□、11"×17"□、8.5"× 14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□、 9"×11"□、インデックス紙</p> <p>パンチ出力 (3穴)</p> <p>A3□、B4□、A4□、B5□、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×11"□、9"×11"□、 インデックス紙</p>

 詳しく説明します

B4/B5 は JIS 規格サイズです。
ISO 規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。

用紙を搬送／処理／排出する装置		搬送／処理／排出できるサイズ
大容量 スタッカーライフ LS-505	スタッカーライフ	A3□、B4□、A4□/□、B5□、A5□、Foolscap、SRA3□、SRA4□、9"×11"□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、ワイド紙、不定形サイズ(最小 210 mm(幅)×148 mm(長さ)/最大 324 mm(幅)×463 mm(長さ))、インデックス紙(1~15タブ*) (但し、インデックス紙が入った場合はシフト不可)
	サブトレイ	A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、A5□、Foolscap、郵政はがき□、SRA3□、SRA4□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□、9"×11"□、ワイド紙、不定形サイズ、インデックス紙(排紙時タブ後端側は保証外) 最小 95 mm(幅)×139 mm(長さ)/ 最大 324 mm(幅)×463 mm(長さ)
中とじ機 SD-506	サブトレイ	A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、A5□、Foolscap、郵政はがき□、SRA3□、SRA4□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□、9"×11"□、ワイド紙、不定形サイズ、インデックス紙(排紙時タブ後端側は保証外) 最小 95 mm(幅)×139 mm(長さ)/ 最大 324 mm(幅)×463 mm(長さ)
	中とじ機能/ 断裁機能	A3□、B4□、A4□、B5□、Foolscap、SRA3□、SRA4□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□、ワイド紙、不定形サイズ 最小: 182mm(幅)×257mm(長さ)/ 最大: 324mm(幅)×463mm(長さ)
	重ね折り 機能	中折り: A3□、B4□、A4□、B5□、Foolscap、SRA3□、SRA4□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□、ワイド紙、不定形サイズ 最小182 mm(幅)×257 mm(長さ)/ 最大324 mm(幅)×463 mm(長さ) 3つ折り:A4□、8.5"×11"□



B4/B5 は JIS 規格サイズです。
ISO 規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。



B4/B5 は JIS 規格サイズです。
ISO 規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。

用紙について(つづき)

用紙を搬送／処理／排出する装置	搬送／処理／排出できるサイズ
くるみ製本機 PB-502	サブトレイ A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、 A5□、Foolscap、郵政はがき□、 SRA3□、SRA4□、A6□、 12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、 5.5"×8.5"□、9"×11"□、 不定形サイズ、ワイド紙、 インデックス紙(排紙時先端側のみ。排 紙時後端側は保証外) 最小100 mm(幅)×139 mm(長さ)/ 最大324 mm(幅)×463 mm(長さ)
	製本トレイ 本身:A4□、B5□、A5□/□、 製本可能最大サイズ 307 mm×221 mm 表紙:製本可能最大サイズ 307 mm×472 mm 製本モードで使用するサイズの詳細は p. 00-00をごらんください。

 詳しく説明します

B4/B5 は JIS 規格サイズです。
ISO 規格サイズに変更したいときは、サービス実施店にお申し出ください。

■ 自動トレイ切換機能

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙がなくなった場合、以下の動作条件を満たしたトレイが他にあれば、自動的に給紙トレイを切り換えてプリントを続けます。オプションのPF-703を2連装着している場合、最大13,200枚の連続プリントが可能になります。POD管理者編、「02 機能設定>01 紙トレイ設定」で下記の設定をします。

- 「01 紙トレイ自動選択」で自動用紙機能が働いたとき自動選択の対象になるトレイを設定します。このとき、切換順位を設定できます。
- 「02 ATS許可」で〔ON〕を選択します。
- 「03 自動用紙種類」で異なる用紙設定をしているトレイが自動選択の対象になるように設定します。

給紙トレイに下記の用紙をセットします。

- 同じサイズの用紙を同じ向きにセット
- 同じ種類の用紙をセット

■ 用紙の保管

用紙を保管するときは、以下のことご注意ください。

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。

給紙トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、包装紙から取り出した用紙は、ポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。

- 用紙は、立てておかず水平にして保管してください。用紙を立てておくと、用紙にカールが付いて紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

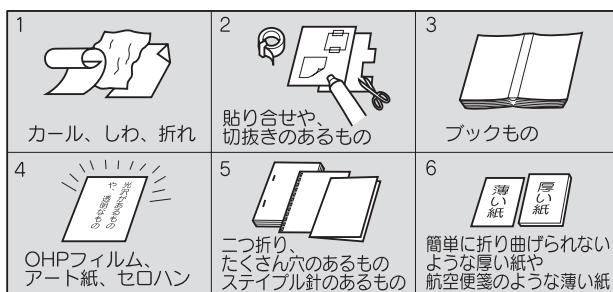
原稿について

コピーするときは、原稿をADFまたは原稿ガラスにセットします。
ADFを使用できない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーしてください。

■ 原稿ガラスにセットする原稿について

ADFにセットできない原稿をコピーするときや、ADFを使用できないコピー条件でコピーするとき、原稿ガラスに原稿をセットしてコピーします。

ADFにセットできない原稿



ADFを使用できないコピー条件は、それぞれの「原則」欄をごらんください。

原稿ガラスにセットする原稿の仕様

- 検知できる原稿サイズ：
A3□、B4□、A4□/□、A4□/□、B5□、B5□/□、A5□、
A5□/□*1、郵政はがき*2
- セットできる質量：6.8kg以下
- セットできる厚み：30mm以下



*1: A5 のかわりに B6 または
5.5"x8.5" に検知サイズを変更できます。POD管理者編をごらんください。

⚠ 注意

重い原稿はのせないでください。また、厚手の原稿をのせた場合、強く原稿を押さえないと原稿ガラスが割れてケガをする恐れがあります。

■ ADFにセットする原稿について

ADFを使用する場合、4つのモードがあります。

- 普通原稿モード
- 混載原稿モード
- ズ折れ原稿モード
- 1枚送りモード

各モードによって給紙できる原稿の厚み、検知できるサイズに制限があります。

普通原稿モード

- 給送できる原稿サイズ：
最大タテ 297mm × ヨコ 431.8mm～
最小タテ 128mm × ヨコ 139.7mm
- 検知できる原稿サイズ：
A3□、B4□、A4□、A4□/□、B5□、B5□/□、A5□、
11"x17"□、8.5"x14"□、8.5"x11"□
- 原稿の質量：50～130g/m²紙
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：100枚 (80 g/m²紙)
- 同一原稿使用回数：5回以内 (片面原稿モード)
3回以内 (両面原稿モード)



検知できるサイズをAB系からインチ系、A系列のみ、AB系とインチ系の混合に変更できます。詳細はPOD管理者編をごらんください。

混載原稿モード

混載原稿モードでは、サイズの異なる定形サイズの原稿をセットしてコピーすることができます。

- 検知・コピーできる原稿サイズ：
混載できる原稿サイズの種類は、ADF のガイド板の開き幅でかわります。
A3□、A4□の開き幅の場合：
A3、B4、A4、A4R、B5、A5
B4□、B5□の開き幅の場合：
B4、A4R、B5、B5R、A5
A4□、A5□の開き幅の場合：
A4R、B5R、A5
- 原稿の質量：50～130g/m²紙
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：100枚 (80 g/m²紙)
- 同一原稿使用回数：5回以内 (片面原稿モード)
3回以内 (両面原稿モード)



ADFガイド板の開き幅とは？



Z折れ原稿モード

Z折れ原稿モードは、ADFの外部サイズ検知センサーを使わず、スキャンした画像サイズで原稿サイズを検知します。

- 検知できる原稿サイズ：
A3□、B4□、A4□、A4□/□、B5□、B5□/□、A5□、
11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□
- 原稿の質量：50～130g/m²紙
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：100枚（80 g/m²紙）
- 同一原稿使用回数：5回以内（片面原稿モード）
3回以内（両面原稿モード）

1枚送りモード

普通原稿モードでは給送できない厚紙原稿や給送するとトラブルを起こす可能性のある貼り合わせの原稿をADFを使ってコピーします。

- 給送できる原稿サイズ：
最大タテ297mm×ヨコ431.8mm～
最小タテ128mm×ヨコ139.7m
- 検知できる原稿サイズ：
A3□、B4□、A4□、A4□/□、B5□、B5□/□、A5□、
11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□
- 原稿の質量：片面原稿50～200g/m²紙
両面原稿50～130g/m²紙
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：1枚ずつセット
- 同一原稿使用回数：5回以内（片面原稿モード）
3回以内（両面原稿モード）

補給・くず処理・出力紙処理

第4章

用紙を補給する	4-2
■ セットする用紙をチェックする	4-3
■ 本体トレイ（トレイ1、2）に用紙を補給する	4-6
■ 大容量給紙トレイPF-702（トレイ3～8）に用紙を補給する	4-8
■ サクション式大容量給紙トレイPF-703（トレイ3～8）に用紙を補給する	4-11
■ サクション式大容量給紙トレイPF-703の側面ガイドの間隔を微調整する	4-14
■ 大容量給紙トレイPF-702、サクション式大容量給紙トレイPF-703に小サイズ用紙を補給する	4-18
■ 大容量ボストインサーテー PI-PFUに用紙をセットする	4-24
■ 折り機ボストインサーテートレイに用紙をセットする	4-27
くるみ製本の表紙をセットする	4-28
■ くるみ製本機PB-502の表紙トレイに表紙をセットする	4-28
インデックス紙をセットする	4-31
■ 本体トレイ（トレイ1～2）にインデックス紙をセットする	4-31
■ 大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703（トレイ3～8）にインデックス紙をセットする	4-33
トナーを補給する	4-35
トナーレシーバーを交換する	4-39
ステープル針を補給する	4-42
■ ステープルフィニッシャー FS-521にステープル針を補給する	4-42
■ 中とじ機SD-506にステープル針を補給する	4-46
くるみ製本機に糊ペレットを補給する	4-48
パンチくずを処理する	4-50
断裁くずを処理する	4-52
■ 中とじ機SD-506の断裁くずを処理する	4-52
■ くるみ製本機PB-502の断裁くずを処理する	4-54
大容量スタッカーライフ LS-505に積載された用紙を取り出す	4-56
■ スタッカーライフの用紙を取り出す	4-56
■ スタッカーライフの用紙崩れを防ぐ	4-58
ステープルフィニッシャー FS-521への出力を一時停止/再開する	4-60
■ 出力を一時停止する	4-60
■ 一時停止した出力を中止する	4-61

用紙補給
くるみ製本表紙セット
インデックス紙セット
トナー補給
トナーレシーバー交換
ステープル針補給
糊ペレット補給
パンチくず処理
断裁くず処理
大容量スタッカーライフ LS-505
フィニッシャー FS-521

用紙を補給する

機械状態画面とコピー画面には、各トレイの残量が表示されています。

残量は機械状態画面、コピー画面それぞれに下記のアイコン(8種類)で表示されています。



用紙がなくなると「」が点滅します。



各トレイのトレイ設定は機械状態画面の〔トレイ設定〕を押して行います。

一時的にトレイ設定で設定されている設定と違う設定が必要な用紙をセットする場合は、コピー画面の〔用紙予約設定〕を押して設定を変更します。

いずれの場合も設定した用紙以外の用紙をセットして出力しないでください。コピーできなかつたり、トラブルの原因になります。



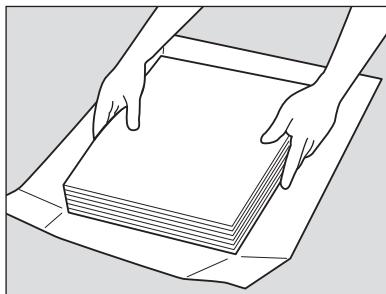
次の手順に従って、用紙を補給してください。

■ セットする用紙をチェックする

本機は大量の用紙を高速で処理しますが、給紙トラブルが発生すると、大量の用紙が無駄になることがあります。

下記の点に留意し、日頃から使用する用紙の管理をお勧めします。

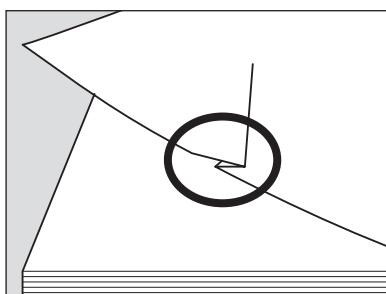
1 用紙を平らな所に置いて開封します。



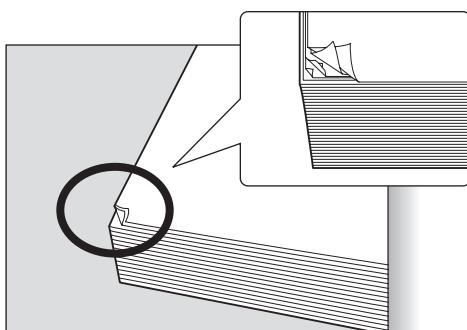
用紙をチェックするときに用紙に折れやキズをつけないようにしてください。

2 用紙の折れ、キズの有無をチェックし、問題のある用紙は取り除きます。

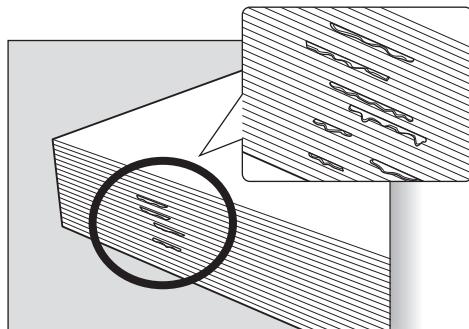
用紙折れ



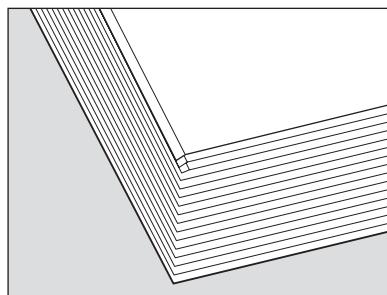
角折れ



糊の付着

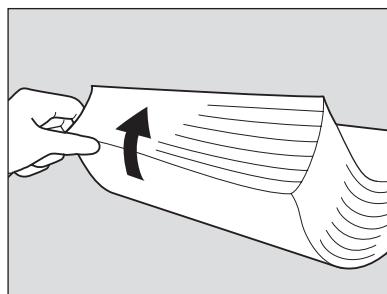


端面に沿った全面の折れ



3 用紙の開封面と逆側もチェックします。

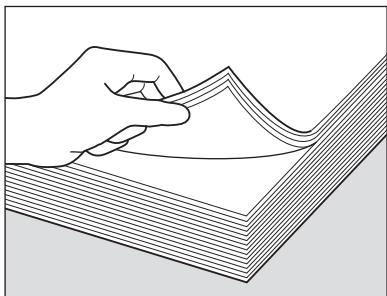
詳しく説明します



左図のように用紙を持ち上げて
チェックすることをお勧めしま
す。

4 用紙同士が静電気で密接していないかチェックします。

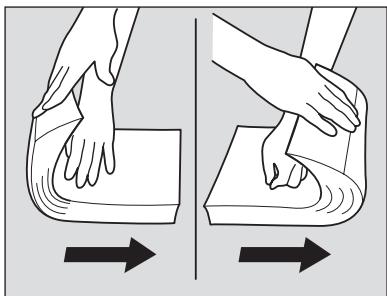
上部1cmくらいをさばいて、パリパリと音がしないか確認します。



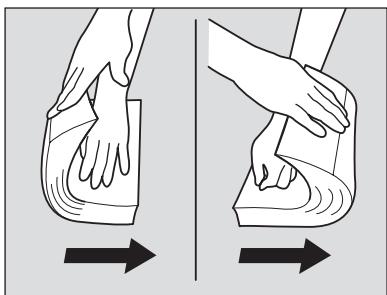
音がする場合は、静電気をおびています。このような用紙は使用しないことをお勧めします。

5 用紙をセットする前によくさばきます。

下図のように手で押さえながら、通紙方向の先端/後端をさばきます。



- 用紙をさばくときは、平らな所においてさばきます。持ちあげた状態でさばくと、落としたりして用紙に折れをつくったりすることがあります。
- 一度に大量の用紙をさばかないようにしてください。



■ 本体トレイ（トレイ1、2）に用紙を補給する

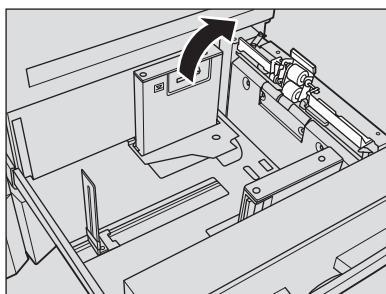
違う仕様の用紙をセットするときは、機械状態画面の〔トレイ設定〕でそのトレイのトレイ設定を変更するか、コピー画面の〔用紙予約設定〕で一時的に設定変更します。

1 用紙を補給するトレイを引き出します。

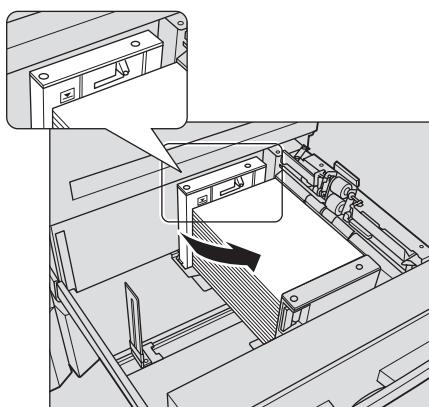


- 本体の電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、複数のトレイを引き出すことはできません。

2 紙ローラーを開きます。



3 印刷面を下にして用紙をセットします。



トレイの側面ガイドの紙上限ラベルのラインを越えないように用紙をセットしてください。
また、エア吹き出し口にある紙押さえレバーの下に用紙をセットしてください。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

断裁くず処理

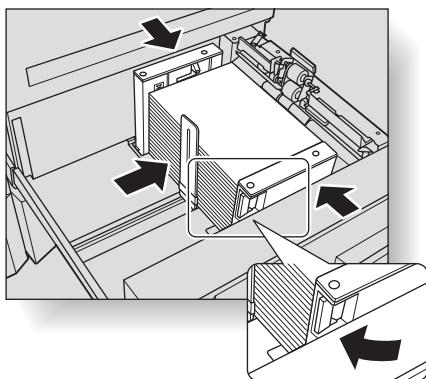
大容量スタッカーライフ

フィニッシャーFS-521

4 側面ガイドと後端ガイドを用紙に沿わせます。

トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにしてセットします。

手前の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当て、後端ガイドを用紙に突き当てます。



側面ガイドと後端ガイドは確実に用紙に突き当ててください。ガイドと用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知しなかつたり給送装置の故障の原因になります。

5 トレイを奥まで確実に押し込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。

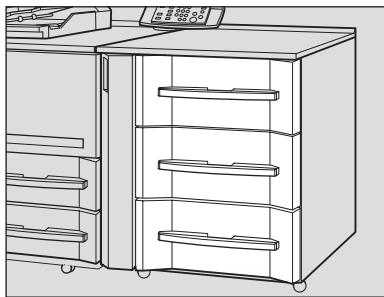


トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

■ 大容量給紙トレイ PF-702（トレイ3～8）に用紙を補給する

違う仕様の用紙をセットするときは、機械状態画面の〔トレイ設定〕でそのトレイのトレイ設定を変更するか、コピー画面の〔用紙予約設定〕で一時的に設定変更します。

1 用紙を補給するトレイを引き出します。



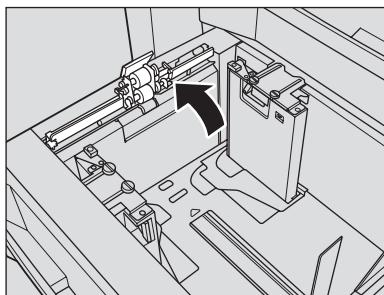
詳しく説明します

トレイ4/7には、坪量245g/m²～350g/m²の用紙をセットできます。

詳しく説明します

- 本体に電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、一度に2つ以上のトレイを引き出すことはできません。

2 紙ローラーを開きます。



違うサイズの用紙をセットするときは、手順3に進みます。

同じサイズの用紙をセットするときは、手順4に進みます。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

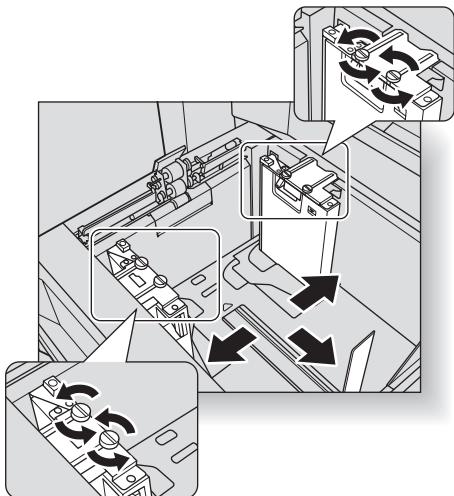
断裁くず処理

大容量スタッカーライフ LS-505

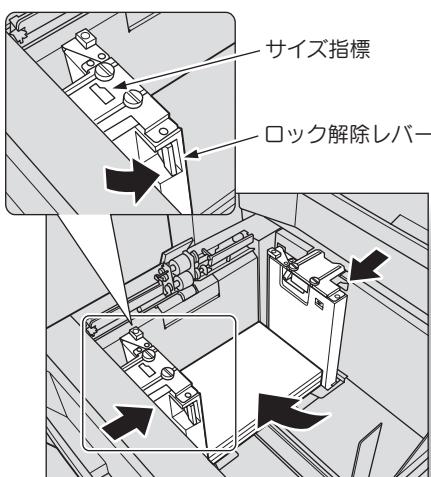
フィニッシャー FS-521

3 側面ガイドの位置を調整します。

- (1) 側面ガイドのガイド固定ツマミ（4力所）を反時計方向に回してゆるめます。
側面ガイド、後端ガイドを一度大きく広げます。



- (2) 100枚ほどの用紙をセットし、手前側の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら、両側面ガイドを用紙に沿わせ、ガイド支持板上面のサイズ指標に合わせて側面ガイド位置を決めます。

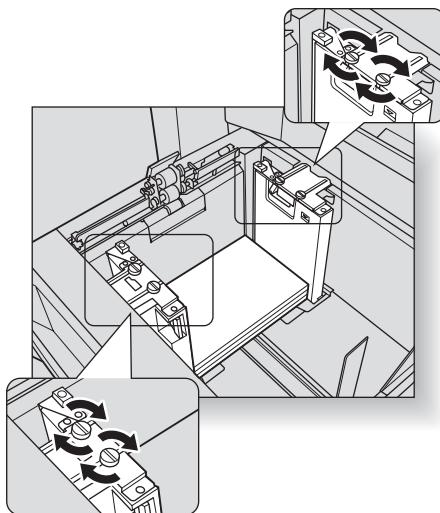

必ず守ってください

両側面ガイドには小サイズガイドが付いています。用紙幅が182mm未満の用紙をセットするとき以外は開かないでください。また片方だけ開いて用紙をセットしないでください。



小サイズガイドの使い方については、p. 4-18をごらんください。

- (3) 側面ガイドのガイド固定ツマミ（4力所）を時計方向に回して側面ガイドを固定します。

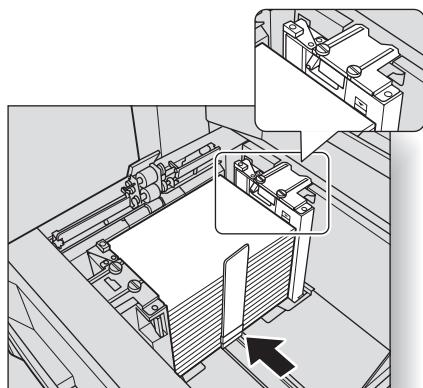


4 印刷面を上にして用紙をセットします。

トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにしてセットします。

5 後端ガイドを用紙に沿わせます。

後端ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当てます。



トレイの側面ガイドの紙上限ラベルのラインを越えないように用紙をセットしてください。
また、エア吹き出し口にある紙押さえレバーの下に用紙をセットしてください。



後端ガイドは確実に用紙に突き当ててください。ガイドと用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知しなかったり給送装置の故障の原因になります。



トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

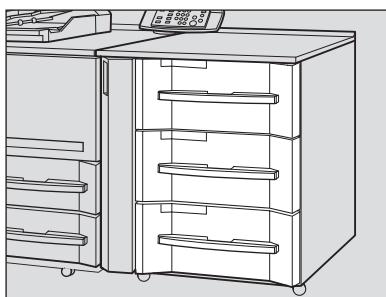
6 トレイを奥まで確実に押し込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。

■ サクション式大容量給紙トレイPF-703(トレイ3~8)に用紙を補給する

違う仕様の用紙をセットするときは、機械状態画面の〔トレイ設定〕でそのトレイのトレイ設定を変更するか、コピー画面の〔用紙予約設定〕で一時的に設定変更します。
下記手順で用紙補給し、給送トラブルが発生する場合は、p.4-14の手順で用紙補給してください。

1 用紙を補給するトレイを引き出します。



詳しく説明します

トレイ4/7には、坪量245g/m²～350g/m²の用紙をセットできます。

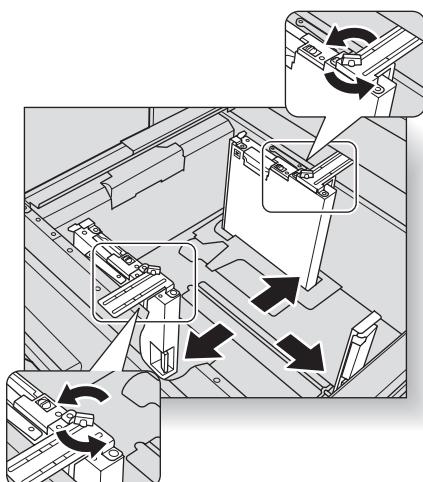
詳しく説明します

- 本体に電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、一度に2つ以上のトレイを引き出すことはできません。

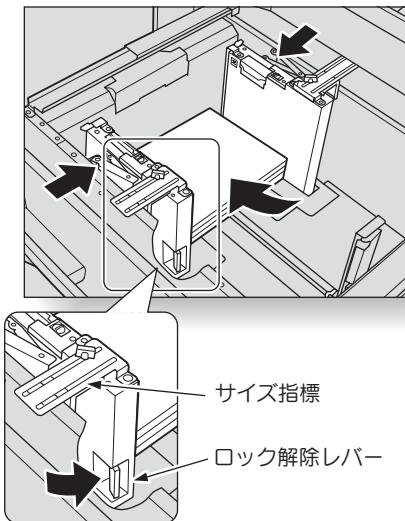
違うサイズの用紙をセットするときは、手順2に進みます。
同じサイズの用紙をセットするときは、手順3に進みます。

2 側面ガイドの位置を調整します。

- (1) 側面ガイドのガイド固定ツマミ(2カ所)を反時計方向に回してゆるめます。
側面ガイド、後端ガイドを一度大きく広げます。



- (2) 100枚ほどの用紙をセットし、手前側の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら、両側面ガイドを用紙に沿わせ、ガイド支持板上面のサイズ指標に合わせて側面ガイド位置を決めます。

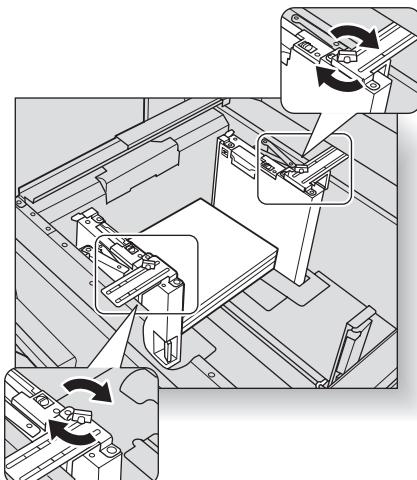


両側面ガイドには小サイズガイドが付いています。用紙幅が150mm未満の用紙をセットするとき以外は開かないでください。また片方だけ開いて用紙をセットしないでください。



小サイズガイドの使い方については、p. 4-18をごらんください。

- (3) 側面ガイドのガイド固定ツマミ（2力所）を時計方向に回して側面ガイドを固定します。



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

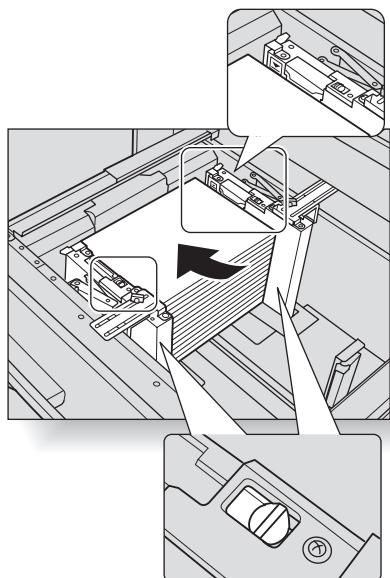
断裁くず処理

大容量スタッカーライフ LS-505

フィニッシャーFS-521

3 印刷面を上にして用紙をセットします。

トレイの左側に用紙を揃えるようにしてセットします。



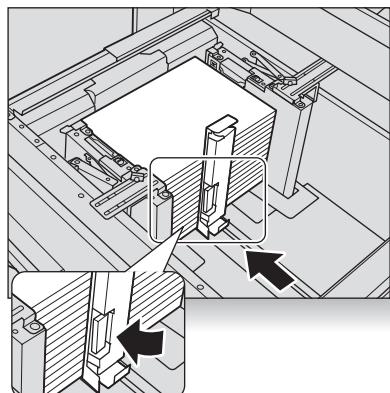
- トレイの側面ガイドの紙上限ラベルのラインを越えないように用紙をセットしてください。
- また、エア吹き出し口にある紙押さえ板の下に用紙をセットしてください。
- 通常、紙押さえ板固定レバー(2ヵ所)は右側の位置にしてください。

4 後端ガイドを用紙に沿わせます。

後端ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当てます。



後端ガイドは確実に用紙に突き当ててください。ガイドと用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知しなかったり給送装置の故障の原因になります。



5 トレイを奥まで確実に押し込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。



トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

■ サクション式大容量給紙トレイPF-703の側面ガイドの間隔を微調整する

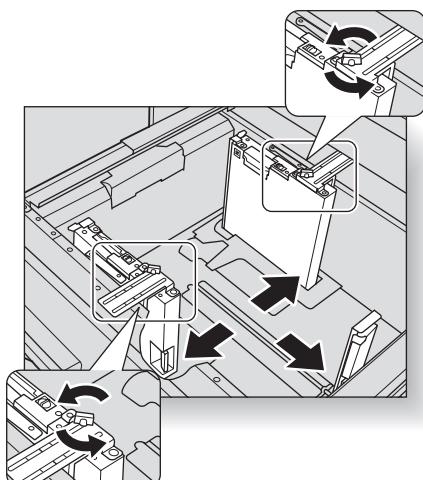
手前／奥の側面ガイドの底部と上部に間隔の違いがあると、吸引式トレイのため用紙給送トラブルが発生することがあります。

このとき、両側面ガイドの底部と上部の間隔を均等にする調整を行います。

1 調整するトレイを引き出します。

2 両側面ガイドのガイド固定ツマミ（2ヵ所）を反時計方向に回してゆるめます。

側面ガイド、後端ガイドを一度大きく広げます。



3 調整したいサイズの用紙をセットします。

100枚ほどの用紙をセットし、用紙をセットします。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

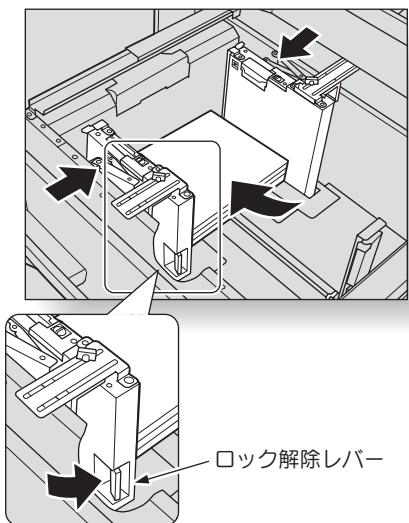
断裁くず処理

大容量スタッカー LS-505

フィニッシャ FS-521

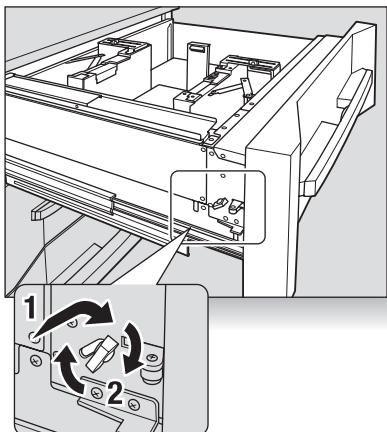
4 両側面ガイド底部の位置を決めます。

手前の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら、側面ガイドを用紙に沿わせます。



側面ガイド板の間隔がせまくて用紙がゆがんだり、間隔があいて隙間ができるのは避けてください。

5 底板固定ツマミを反時計方向に回してゆるめ、手前側にスライドさせ、その位置で時計方向に回して固定します。



6 トレイを元の位置に押し込み、トレイ底板が上昇した後に再び引き出します。

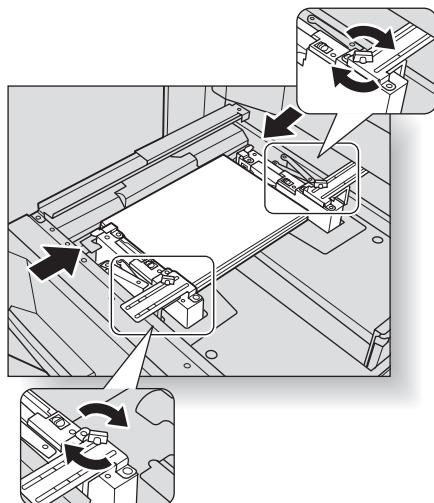
トレイを元の位置に押し込むと、トレイ底板が上昇するモーター音がします。モーター音が止まったあとにトレイを引き出すと、トレイ底板は最上部まで上昇して止まっています。



モーター音が止まるまでトレイを引き出さないでください。
トレイ底板が完全に最上部まで上昇していないため、その後の作業の支障になることがあります。

7 両側面ガイド上部の位置を決めます。

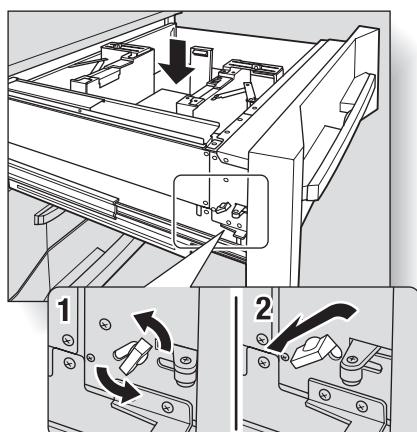
側面ガイド上部を動かしてガイドを用紙に沿わせながら、ガイド固定ツマミ（2ヵ所）を時計方向に回して固定します。



側面ガイド板の間隔がせまくて用紙がゆがんだり、間隔があいて隙間ができるのは避けてください。

8 トレイ底板を下降させます。

(1) 底板固定ツマミを反時計方向に回してゆるめ、奥側にスライドさせ、その位置で時計方向に回して固定します。



(2) トレイ底板は下降します。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

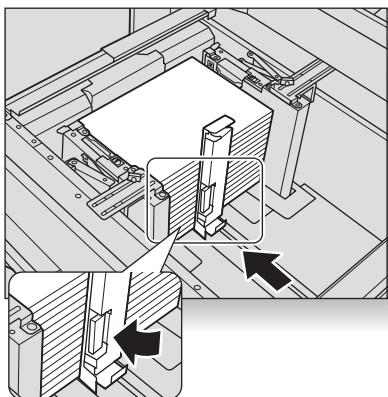
断裁くず処理

大容量スタッカー LS-505

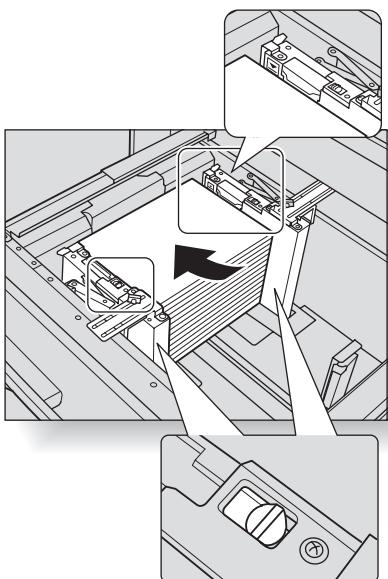
フィニッシャ FS-521

9 用紙をセットします。

トレイ左側に用紙を揃えるようにしてセットします。



後端ガイドのロック解除レバーを押しながら後端ガイドを用紙に沿わせます。



10 トレイを元の位置に奥まで確実に押し込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は「」から「」にかわります。



- トレイの側面ガイドの紙上限ラベルのラインを越えないよう用紙をセットしてください。また、エア吹き出し口にある紙押さえ板の下に用紙をセットしてください。
- 通常、紙押さえ板固定レバー(2ヵ所)は、右側の位置にしてください。



後端ガイドは確実に用紙に突き当てるください。ガイドと用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知しなかったり給送装置の故障の原因になります。



トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

■ 大容量給紙トレイPF-702、サクション式大容量給紙トレイPF-703に小サイズ用紙を補給する

大容量給紙トレイ PF-702 の側面ガイドの最小幅は、182mmです。

サクション式大容量給紙トレイ PF-703 の側面ガイドの最小幅は、150mmです。

いずれも小サイズガイドを開いて、最小95mmまでの用紙幅の小サイズ用紙をセットすることができます。

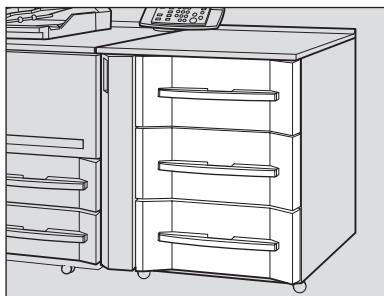
郵政はがきは、この手順でセットしてください。



- 側面ガイドの最小幅より大きなサイズの用紙をセットするときは、小サイズガイドを開かないでください。
- 小サイズガイドを使用するときは、両方のガイドを開いてください。片方だけ開いて用紙をセットしないでください。

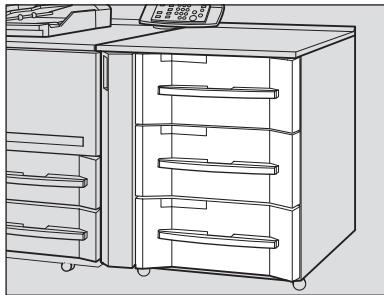
1 トレイを引き出します。

PF-702

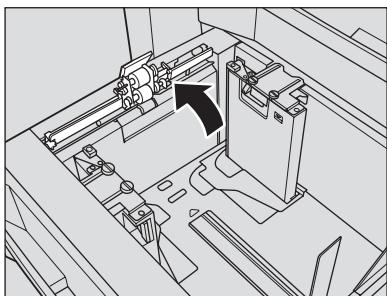


- 本体に電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、一度に2つのトレイを引き出すことはできません。

PF-703

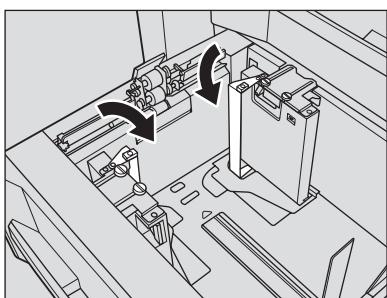


大容量給紙トレイPF-702の場合は、給紙ローラーを開きます。

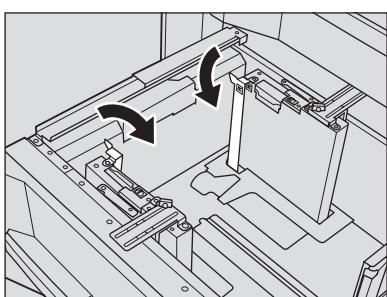


- 2 手前および奥の側面ガイドの小サイズガイドをそれぞれ内側に開きます。**

PF-702



PF-703



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナー回収箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

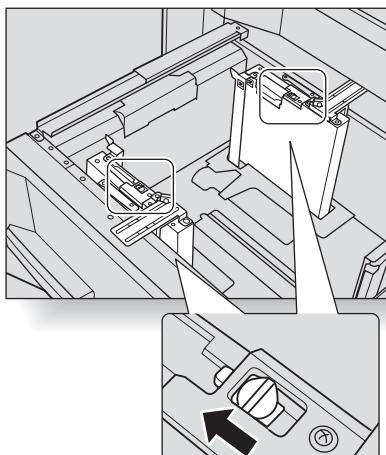
断裁くず処理

大容量スタッカー LS-505

フィニッシャ FS-521

3 紙押さえ板固定レバー（2カ所）を左側にスライドさせ、紙押さえ板をロックします。

PF-703のみ

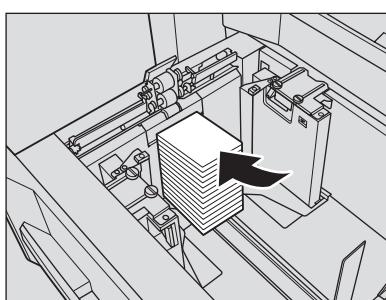


紙押さえ板固定レバーは、必ず両側面ガイドとも左側にスライドさせてください。

4 印刷面を上にして用紙をセットします。

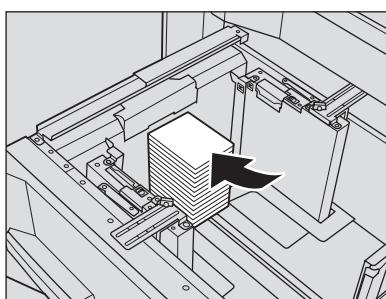
印刷面を上にしてトレイ左側に用紙を揃えるようにしてセットします。

PF-702



小サイズガイドの紙上限ラベルのラインを越えないように用紙をセットしてください。

PF-703



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナー回収箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

断裁くず処理

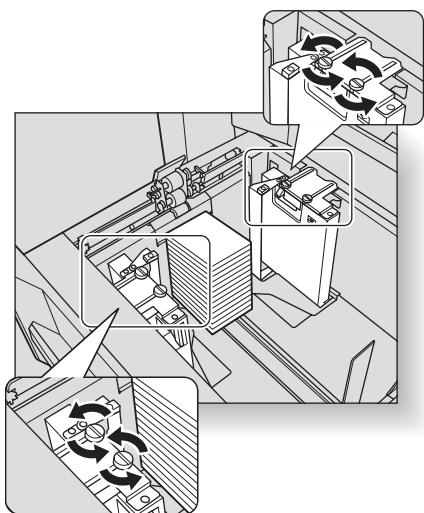
大容量スタッカー LS-505

フィニッシャ FS-521

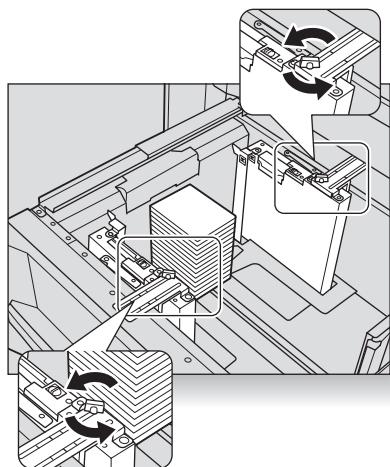
5 側面ガイドを動かして小サイズガイドを用紙に沿わせます。

- (1) 両側面ガイドのガイド固定ツマミを反時計方向に回してゆるめます。

PF-702



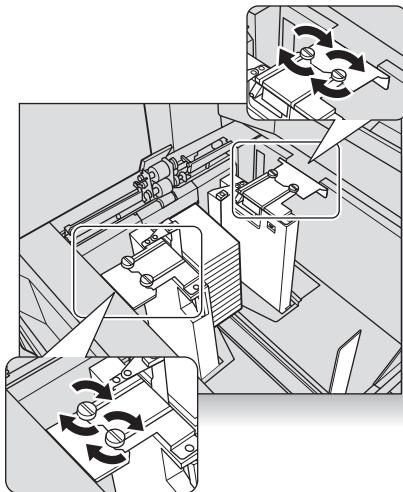
PF-703



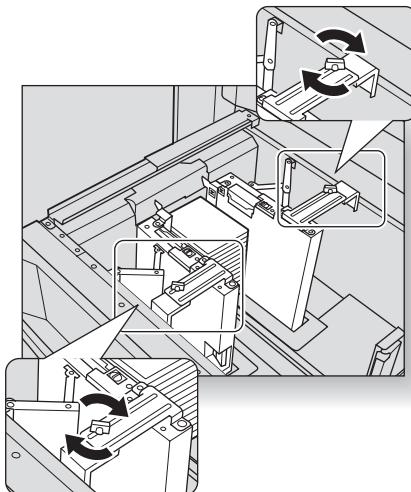
用紙を補給する(つづき)

- (2) 手前の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら、小サイズガイドを用紙に沿わせます。
- (3) 側面ガイドのガイド固定ツマミを時計方向に回してガイドを固定します。

PF-702



PF-703



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

断裁くず処理

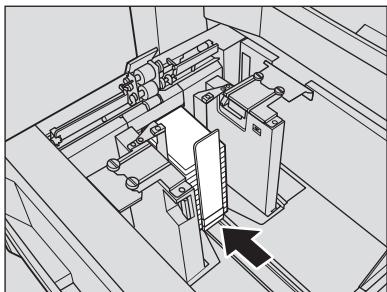
大容量スタッカーLS-505

フィニッシャーFS-521

6 後端ガイドを用紙に沿わせます。

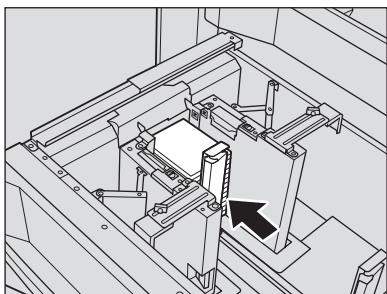
後端ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に沿わせます。

PF-702



後端ガイド板は確実に用紙に突き当てるください。ガイド板と用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知しなかったり給送装置の故障の原因になります。

PF-703



7 トレイを奥まで確実に押し込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。



トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。はがき位置がズレて、コピー画像に影響することがあります。また、トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

■ 大容量ポストインサーター PI-PFUに用紙をセットする

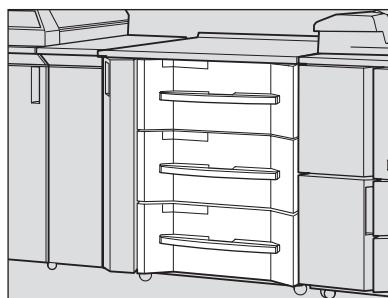
機械状態画面の〔トレイ設定〕でそのトレイのトレイ設定を変更します。

下記手順で用紙補給し、給送トラブルが発生する場合は、p. 4-14の手順で用紙補給してください。



コピー画面の〔用紙予約設定〕からPI-PFUの用紙設定はできません。

1 用紙を補給するトレイを引き出します。



PI-PFU2には、坪量245g/m²～350g/m²の用紙をセットできます。

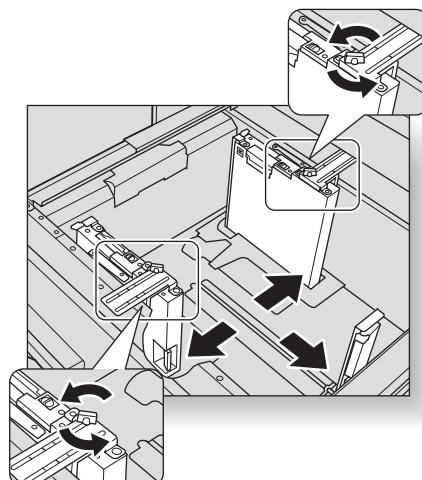


- 本体に電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、一度に2つ以上のトレイを引き出すことはできません。

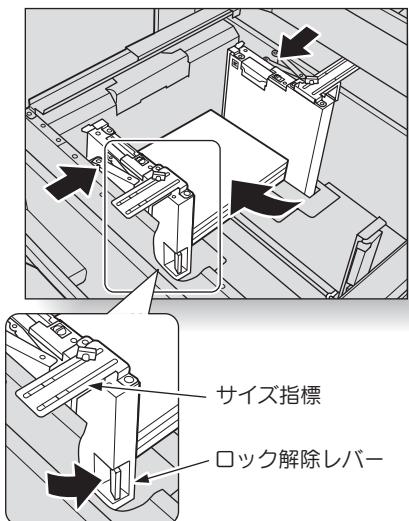
違うサイズの用紙をセットするときは、手順2に進みます。
同じサイズの用紙をセットするときは、手順3に進みます。

2 側面ガイドの位置を調整します。

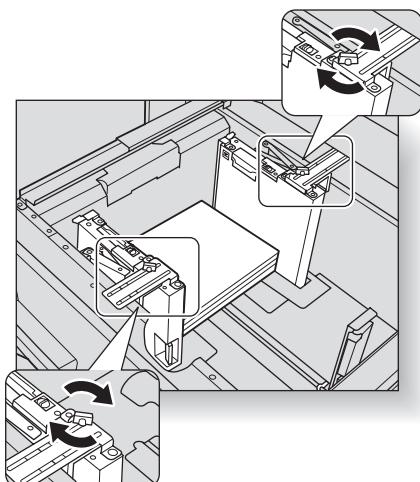
- (1) 側面ガイドのガイド固定ツマミ（2力所）を反時計方向に回してゆるめます。
侧面ガイド、後端ガイドを一度大きく広げます。



- (2) 100枚ほどの用紙をセットし、手前側の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら、両側面ガイドを用紙に沿わせ、ガイド支持板上面のサイズ指標に合わせて側面ガイド位置を決めます。



- (3) 側面ガイドのガイド固定ツマミ（2力所）を時計方向に回して側面ガイドを固定します。



両側面ガイドには小サイズガイドが付いています。用紙幅が150mm未満の用紙をセットするとき以外は開かないでください。また片方だけ開いて用紙をセットしないでください。



小サイズガイドの使い方については、p. 4-18をごらんください。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

断裁くず処理

大容量スタッカー LS-505

フィニッシャ FS-521

3 印刷面を上にして用紙をセットします。

トレイの左側に用紙を揃えるようにしてセットします。



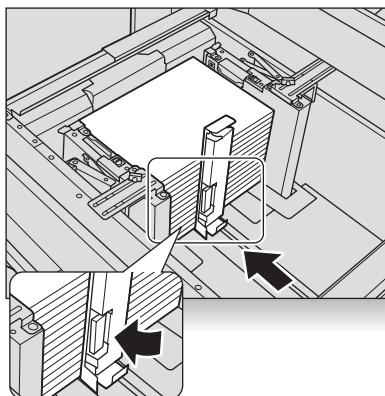
- トレイの側面ガイドの紙上限ラベルのラインを越えないよう用紙をセットしてください。
また、エア吹き出し口にある紙押さえ板の下に用紙をセットしてください。
- 通常、紙押さえ板固定レバー(2ヵ所)は右側の位置にしてください。

4 後端ガイドを用紙に沿わせます。

後端ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当てます。



後端ガイドは確実に用紙に突き当てるください。ガイドと用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知しなかったり給送装置の故障の原因になります。



5 トレイを奥まで確実に押し込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。



トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

■ 折り機ポストインサータートレイに用紙をセットする

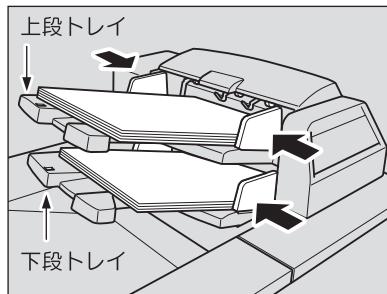
機械状態画面の〔トレイ設定〕でトレイ設定を変更します。



コピー画面の〔用紙予約設定〕から用紙設定はできません。

- 1 ポストインサータの上段または下段トレイに用紙をセットします。

側面ガイドを表紙に突き当てます。



上段/下段トレイとも、500枚(80g/m²紙)以上セットしないでください。また、ガイド板に表示されている積載制限ラインを超えて表紙をセットしないでください。

くるみ製本の表紙をセットする

くるみ製本するときに使用する表紙は下記のトレイにセットします。

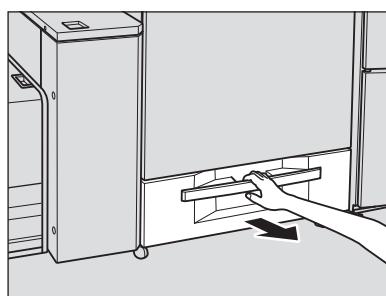
- くるみ製本機PB-502の表紙トレイ
- 本体トレイ（トレイ1～2）
- 大容量給紙トレイPF-702（トレイ3～8）
- サクション式大容量給紙トレイPF-703（トレイ3～8）
- サクション式大容量給紙トレイPI-PFU
- 折り機FD-503のポストインサーダートレイ

ここでは、くるみ製本機PB-502の表紙トレイに表紙をセットする方法を説明します。
また、各トレイにセットする表紙のオモテ面／天地のセット方向について説明します。

■ くるみ製本機PB-502の表紙トレイに表紙をセットする

表紙トレイのくるみ製本表紙の用紙設定は機械状態画面の
〔トレイ設定〕またはコピー画面の〔出力設定〕で行います。

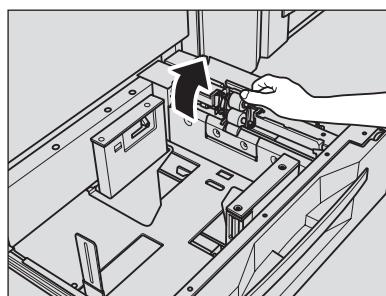
1 表紙トレイを引き出します。



詳しく説明します

コピー画面の〔用紙予約設定〕から表紙の用紙設定はできません。

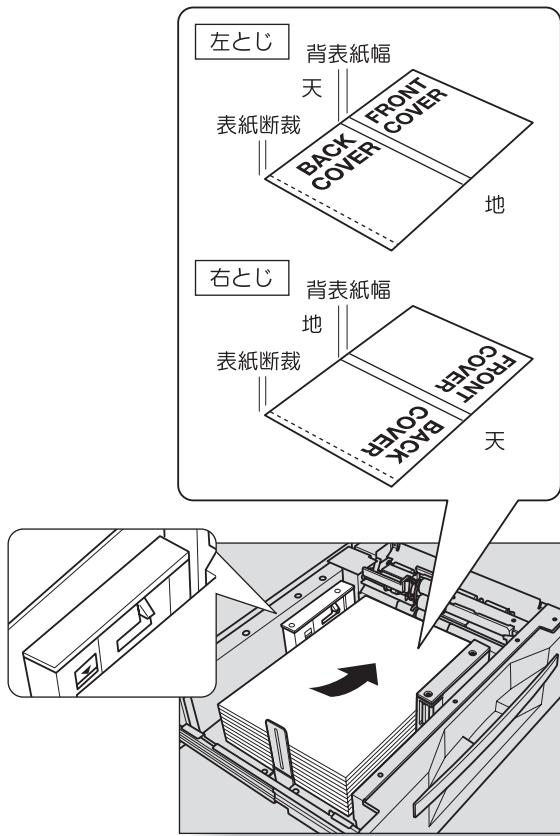
2 紙ローラーを開きます。



3 表紙のオモテ面を上にして表紙をセットします。

表紙のオモテ面を上にします。

表紙の天地は左とじの場合は奥側を天、右とじの場合は手前側を天にします。



必ず守ってください

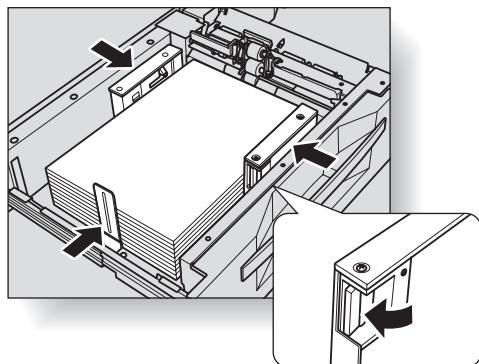
トレイの側面ガイドの紙上限ラベルのライセンスを超えないよう表紙をセットしてください。またエア吹き出し口にある紙押さえ板の下に表紙をセットしてください。

トレイの給紙ローラー側に表紙を揃えるようにセットします。

4 側面ガイド、後端ガイドを表紙に沿わせます。

手前の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら、表紙に突き当てます。

後端ガイドを表紙に突き当てます。



側面ガイドと後端ガイドは確実に表紙に突き当ててください。ガイド板と表紙に隙間があると、紙づまりの原因になります。

5 給紙ローラーを閉じます

6 表紙トレイを奥まで確実に押し込みます。



トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

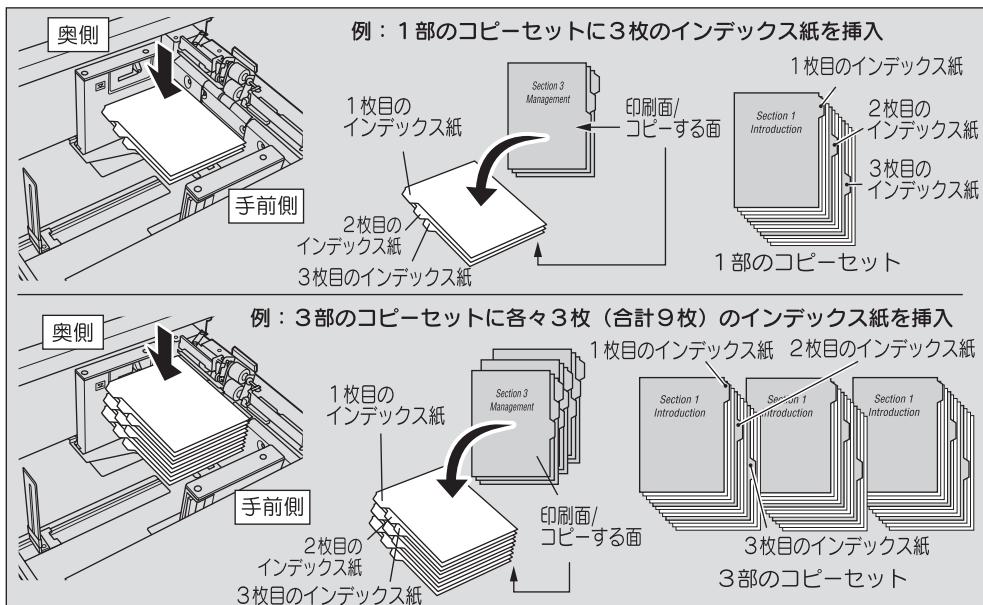
インデックス紙をセットする

インデックス紙は下記のトレイにセットしコピーすることができます。

- 本体トレイ（トレイ1、2）
- 大容量給紙トレイPF-702（トレイ3～8）
- サクション式大容量給紙トレイ（トレイ3～8）

各トレイにインデックス紙をセットするときは、セットするトレイの用紙設定のサイズ設定をインデックス紙に変更します。詳細は、p. 9-49をごらんください。

■ 本体トレイ（トレイ1～2）にインデックス紙をセットする



1 トレイを引き出します。

用紙サイズを「インデックス紙」と設定したトレイを引き出します。



用紙設定の詳細は、p. 9-49をごらんください。

2 紙ローラーを開きます。

3 インデックス紙をセットします。

上図を参考にセットします。



側面ガイド板の高さ制限を超えないように用紙をセットしてください。

4 ガイド板をインデックス紙に突き当てます。

トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにしてセットします。

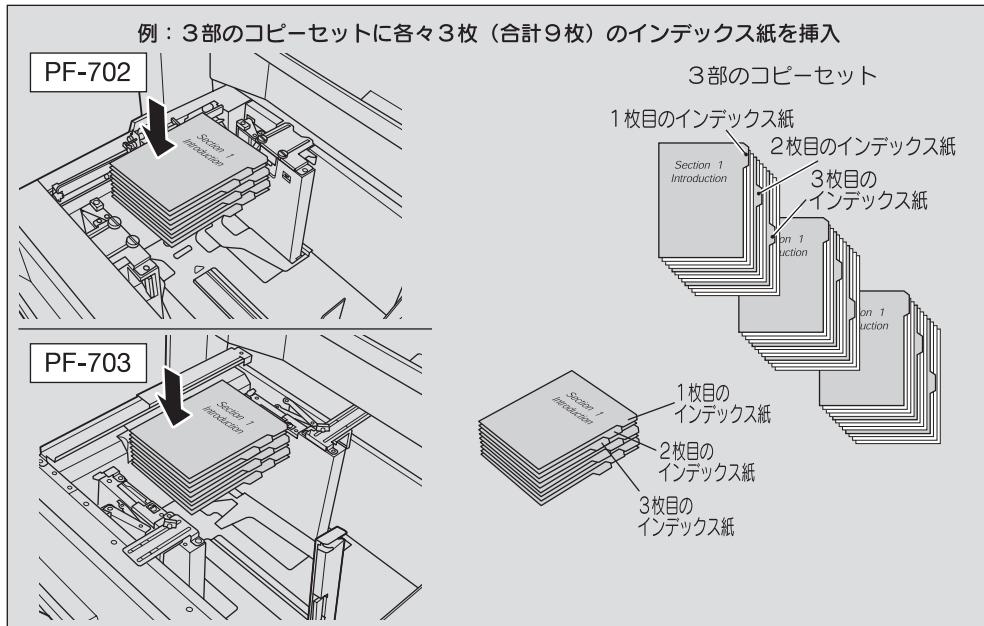
手前の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当て、後端ガイドを用紙に突き当てます。



側面ガイドと後端ガイドは確実に用紙に突き当ててください。ガイド板と用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知しなかったり給送装置の故障の原因になります。

5 トレイを確実に元の位置に押しもどします。

■ 大容量給紙トレイ PF-702/サクション式大容量給紙トレイ PF-703 (トレイ3~8)にインデックス紙をセットする



1 トレイを引き出します。

用紙サイズを「インデックス紙」と設定したトレイを引き出します。



用紙設定の詳細は、p. 9-44をごらんください。

2 側面ガイドのガイド固定ツマミをゆるめます。

大容量給紙トレイ PF-702 の場合は、給紙ローラーを上に開きます。



側面ガイドの積載制限ラベルのラインを越えないようにインデックス紙をセットしてください。

3 インデックス紙をセットします。

上図を参考にセットします。



側面ガイドや後端ガイドは確実にインデックス紙に沿わせてください。1mm以上の隙間があり、きつくなつてインデックス紙がゆがんだりすると、給紙トラブルの原因になります。

4 側面ガイドをインデックス紙に沿わせ、ガイド固定ツマミを回して固定します。

側面ガイド固定レバーを押して動かします。

5 後端ガイドをインデックス紙に沿わせます。

サクション式大容量給紙トレイ PF-703の場合は、ガイド固定レバーを押して動かします。

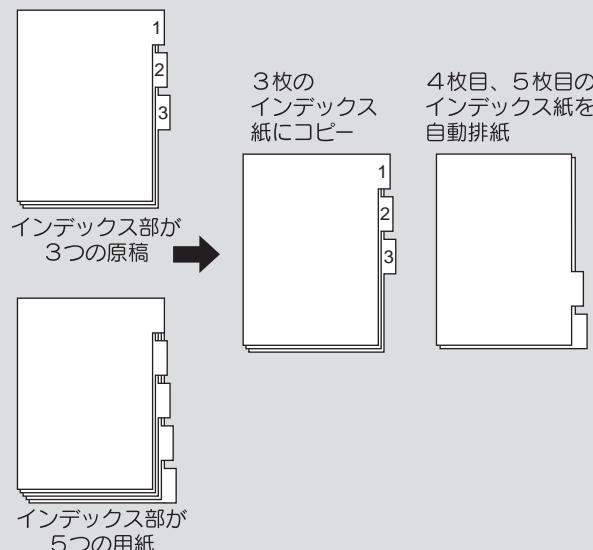
6 トレイを確実に元の位置に押しもどします。

詳しく説明します

不要インデックス紙排紙

1 セットのインデックス紙を給紙トレイにセットし、不要なインデックス紙を自動的に排紙することができます。

たとえば、1セットが5つのインデックス紙をセットしたときに、3つのインデックス紙のみ必要な場合は下図のように排紙されます。



インデックス紙モードに関しては、p. 9-15をごらんください。
不要インデックス紙排紙機能を使用するかしないかは、一般ユーザ設定で行います。詳細はPOD管理者編をごらんください。

不要インデックス紙排紙機能を使用するに設定している機械が、紙づまりなどでジョブを中断したとき、給紙トレイにセットされているインデックス紙が、1つ目のインデックス紙からコピーされるようにインデックス紙がセットされているか確認をうながすメッセージが表示されます。

装着されているフィニッシャーによって、不要インデックス紙排紙機能が使用できないことがあります。

トナーを補給する

本機には、トナーボトルにトナーがなくなつても直ちにコピーができなくならないようにトナーホッパーにトナーボトル約1本分のトナーが貯蔵されています。

<機械状態画面およびコピー画面のメッセージ表示部>

トナーボトルのトナーがなくなりトナーホッパーのトナーが残り少なくなると、「コピーでできます トナーを入れて下さい」と表示されます。トナーホッパーのトナーもなくなると、「トナーがなくなりました トナーボトルを交換してください」というメッセージが表示されます。

<機械状態画面の補給／廃棄部材表示部>

トナーボトルにトナーがなくなると、トナーホッパーのトナー残量に応じて「トナーボトルを交換できます（ホッパー内残量：3/4）」、「トナーボトルを交換してください（ホッパー内残量：1/4）」、「トナーがなくなりました トナーボトルを交換してください」と表示が変わります。



トナーボトルを交換する前に

- トナーボトルカバーの前面にトナータイプNo.が記載されているラベルが貼られています。そのナンバーと同じナンバーのトナーボトルをご使用ください。異なるトナーボトルを使用すると故障の原因になります。
- 使用済みのトナーボトルは、新しいトナーボトルについていたカバーをし、梱包箱に入れてサービス実施店にお渡しください。

下記の手順に従ってトナーボトルを交換して、トナーを補給してください。

⚠ 警告

トナーおよびトナーボトルを絶対に火中に投じないでください！

トナーやトナーボトルは、使用済みのトナーボトルも含めて、火中に投じると、トナーが飛び散り、やけどをする恐れがあり、とても危険です。

→ 使用済みのトナーボトルは、サービス実施店が回収します。

⚠ 注意

トナーボトルの保管や取扱いに注意！

トナーを大量に吸ったり、目に入ったりすると、健康を害します。

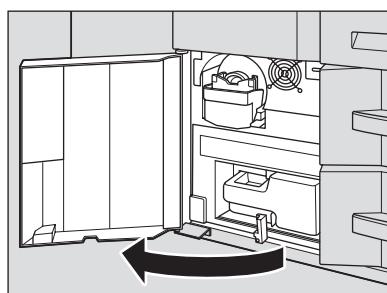
→ トナーボトルは、子供の手の届かないところに保管してください。

→ トナーで本体内部、衣服や手を汚さないように注意して取り扱ってください。

→ トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤で洗い流してください。

→ 目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けるようにしてください。

1 トナー補給扉を開きます。



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

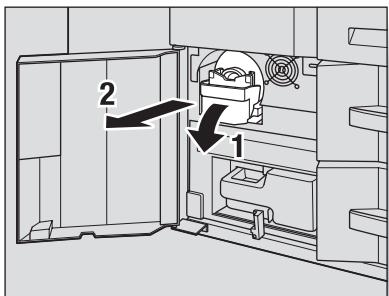
パンチくず処理

断裁くず処理

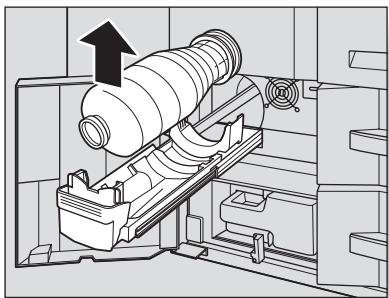
大容量スタッカー LS-505

フィニッシャ FS-521

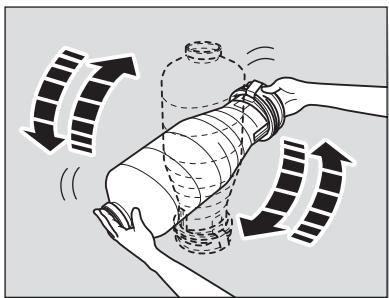
- 2** トナーユニットレバーを前に引きながらボトルホルダーを止まるまで手前に引き出します。



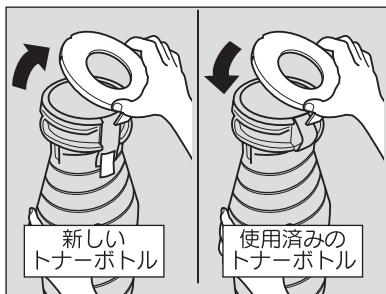
- 3** 空になったトナーボトルを上に持ち上げて取り外します。



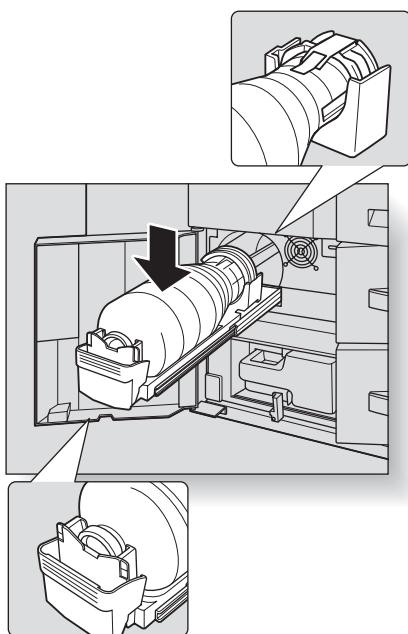
- 4** 新しいトナーボトルを5回ほど天地が逆になるように振ります。



5 新しいトナー ボトルのカバーを取り外し、古いトナー ボトル補給口にセットします。

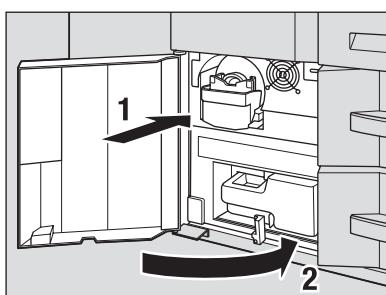


6 新しいトナー ボトルを取り付けます。



トナー ボトル補給口のラベル部を上に向け、トナー ボトル底部がボトル ホルダーの溝にしっかりと入るようにセットしてください。ボトル ホルダーを元の位置にもどすときにトナーが漏れたり、ボトル ホルダーが元の位置にもどらないことがあります。

7 ボトル ホルダーを元の位置にもどし、トナー 補給扉を閉じます。



トナー回収箱を交換する

トナー回収箱に廃トナーがたまつくると下記のように表示されます。

<機械状態画面およびコピー画面のメッセージ表示部>

トナー回収箱に廃トナーがたまり、交換時期になると「コピーできます トナー回収箱の交換時期です」というメッセージが表示されます。

トナー回収箱が廃トナーでいっぱいになると「コピーできます トナー回収箱が満杯です」というメッセージが表示されます。

トナー回収箱が廃トナーでいっぱいになりコピーできなくなると「トナー回収箱が一杯です トナー回収箱を交換してください」というメッセージが表示されます。



下記の手順に従って、トナー回収箱を交換してください。

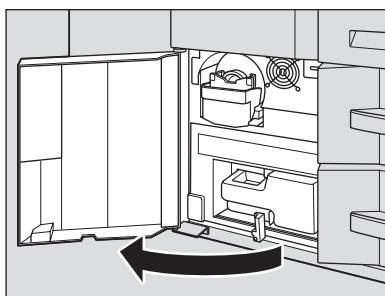


使用済みのトナー回収ボックスを絶対に火中に投じないでください！

廃トナーでいっぱいになったトナー回収箱を火中に投じると、粉塵爆発の恐れがあり、とても危険です。

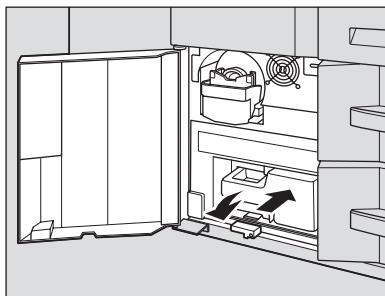
→ 使用済みのトナー回収箱は、サービス実施店が回収します。

1 トナー補給扉を開きます。



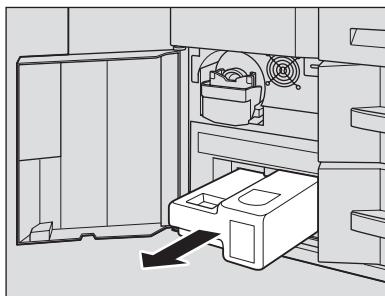
トナー回収箱を交換する(つづき)

2 トナー回収箱を押しながらロックレバーを左に倒します。



ロックレバーを倒すときは、必ずプリント動作が終了していることを確認してください。

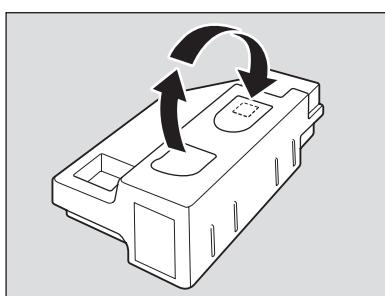
3 トナー回収箱を手前に引き出します。



トナー回収箱は静かに引き出します。勢いよく引き出したりトナー回収箱を傾けたりすると廃トナーが漏れて汚す原因になります。

4 トナー回収箱の廃トナー入口をシールでふたをします。

トナー回収箱に貼られているシールをはがし、廃トナー入口に貼り付けます。



シールは確実に廃トナー入口をふさぐように貼り付けてください。廃トナーが漏れて汚す原因になります。



使用済みのトナー回収箱は、サービス実施店にお渡しください。

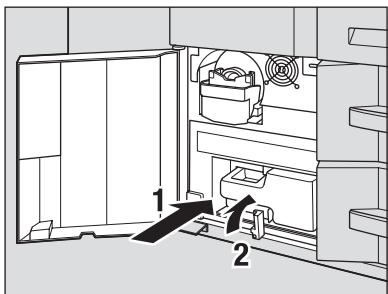
用紙補給

くるみ製本
表紙セットインデックス紙
セット

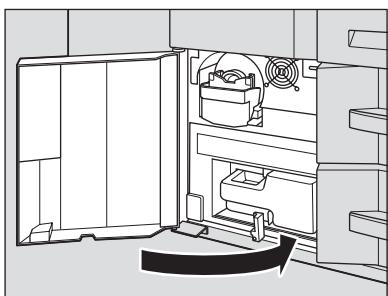
トナー補給

トナー回収箱
交換ステープル
針補給糊ペレット
補給パンチくず
処理断裁くず
処理大容量スタッカー
LS-505フィニッシャー
FS-521

5 新しいトナー回収箱を押し込みながらロックバーを右に回して立てます。



6 トナー補給扉を閉じます。



ステープル針を補給する

下記のオプションにはステープル装置が装着されています。

- ステープルフィニッシャー FS-521
- 中とじ機SD-506

各手順に従ってステープル針を補給してください。

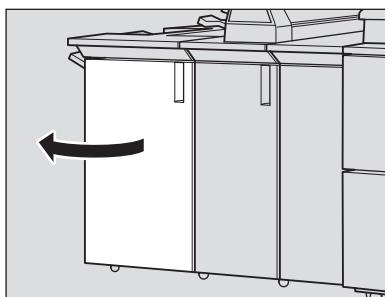
■ ステープルフィニッシャー FS-521 にステープル針を補給する

ステープルフィニッシャー FS-521 のステープル針がなくなると、機械状態画面のオプション状態表示部のステープル針表示が赤く点灯します。



下記の手順に従ってステープルロールをセットして針を補給してください。

1 フィニッシャー扉を開きます。



用紙補給

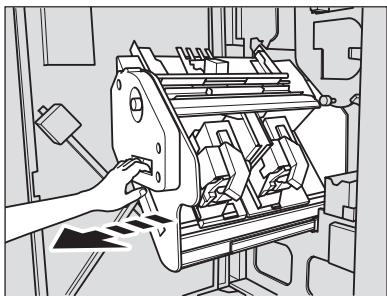
くるみ製本
表紙セットインデックス紙
セット

トナー補給

トナー回収箱
交換ステープル
針補給糊ペレット
補給パンチくず
処理断裁くず
処理大容量スタッカー
LS-505フィニッシャー
FS-521

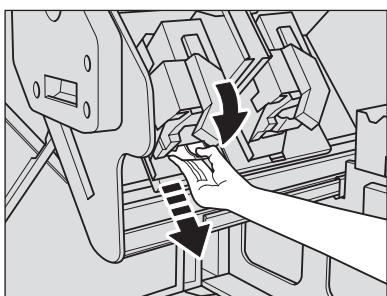
2 平とじユニットを引き出します。

平とじユニット取手を持って、平とじユニットを止まるまでゆっくり手前に引き出します。



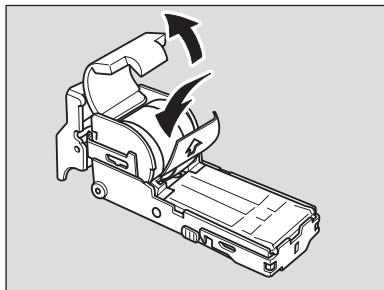
3 ステープルカートリッジを取り出します。

ステープルカートリッジの取手を下に引きながら下側に引き出します。

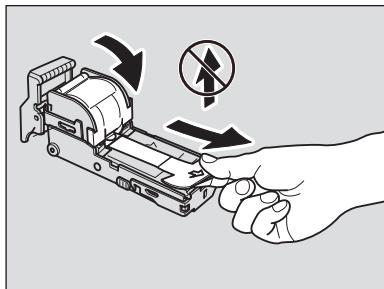


4 ステープルロールをカートリッジにセットします。

ステープルカートリッジカバーを開き、ステープルロールをセットします。
カバーを閉じてロックテープを水平に引き抜きます。



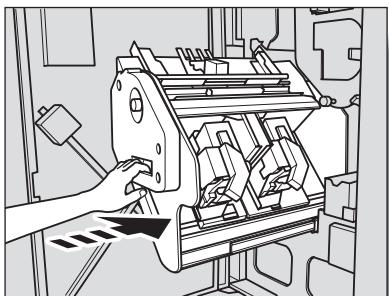
ロックテープを上に引き抜かないでください。途中で切れてカートリッジ内に残り、ステープルできなくなることがあります。



5 ステープルカートリッジを取り付けます。

図のように元の位置にもどします。最後にしっかりと上に押し込みます。



6 平とじユニットを元の位置にもどします。**7** フィニッシャー扉を閉じます。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナー回収箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

断裁くず処理

大容量スタッカー LS-505

フィニッシャー FS-521

■ 中とじ機SD-506にステープル針を補給する

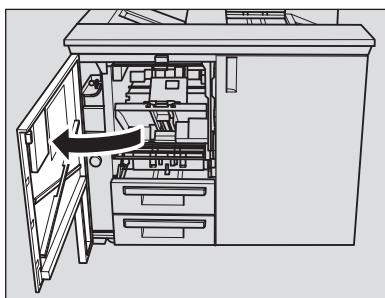
中とじ機SD-506のステープル針がなくなると、機械状態画面のオプション状態表示部のステープル針表示が赤く点灯します。

機械の動作中は、コピー画面にメッセージが表示されます。



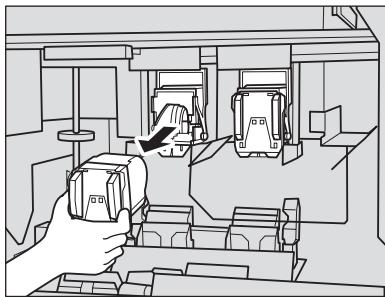
下記の手順に従ってステープルカートリッジを交換して針を捕縫してください。

1 中とじ機左扉を開きます。



2 空になったステープルカートリッジを取り出します。

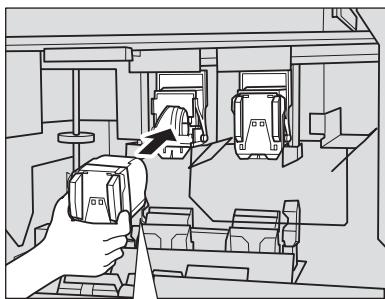
ステープルカートリッジの左右を持って手前に引き出します。



詳しく説明します

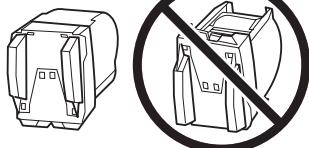
ステープルカートリッジは左右に2つあります。空になった方のカートリッジを取り出します。

3 新しいステープルカートリッジをセットします。



必ず守ってください

ステープルカートリッジの天地を間違えないようにしてください。天地が逆だとセットできません。



4 中とじ機左扉を閉じます。

くるみ製本機に糊ペレットを補給する

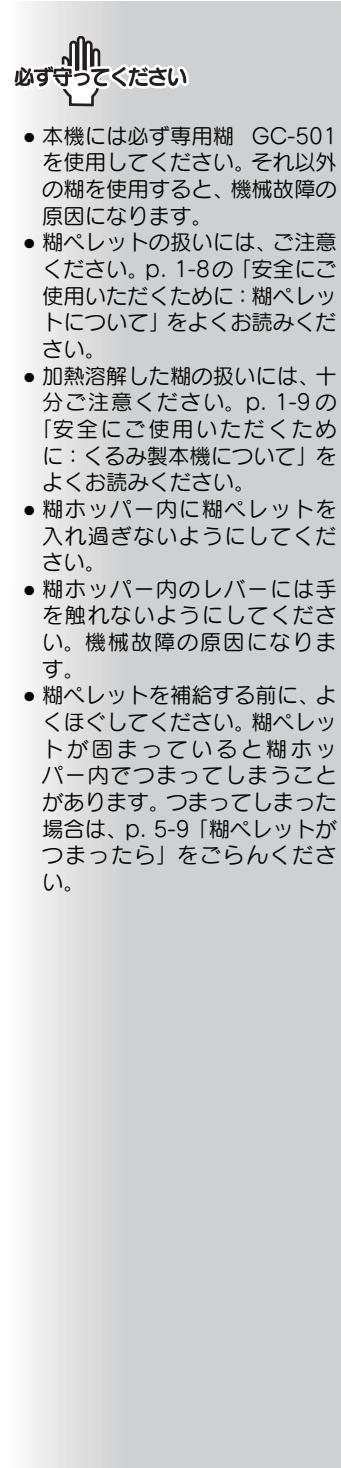
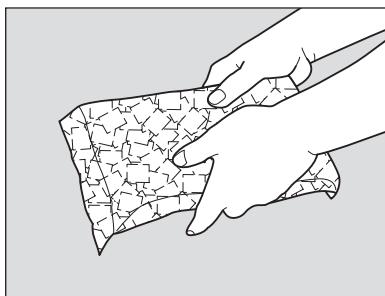
糊ペレットがなくなると、機械状態画面に下記のようなメッセージが表示され、くるみ製本機のウォームアップが完了しなくなり、くるみ製本ができなくなります。

くるみ製本機動作中に糊ペレットがなくなると、そのジョブを中断し、くるみ製本ができなくなります。

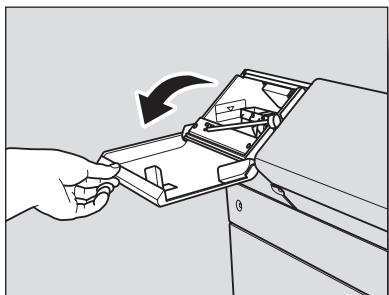


下記の手順に従ってくるみ製本機に糊ペレットを補給してください。

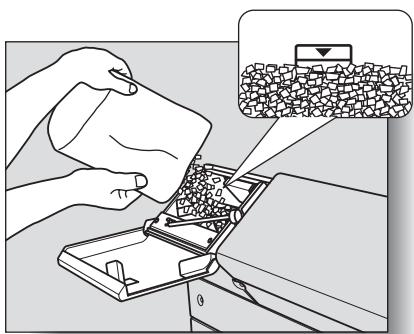
1 袋に入っている糊ペレットをほぐします。



2 糊ホッパーのカバーを開きます。



3 糊ペレットを糊ホッパーに入れます。



ホッパー内の上限ラインを超えて糊ペレットを入れないでください

4 糊ホッパーのカバーを閉じます。



糊ホッパーのカバーを確実に閉じてください。確実に閉じていないとエラーメッセージが表示されます。

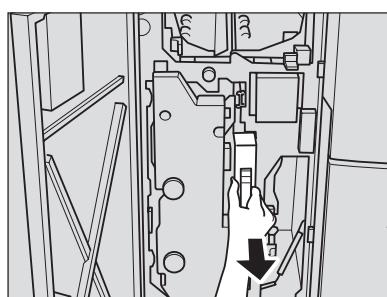
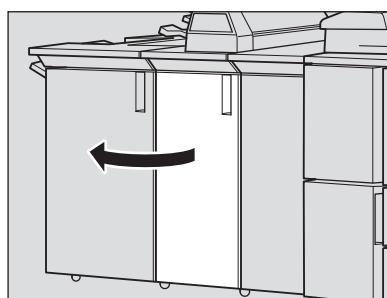
パンチくずを処理する

折り機 FD-503 のパンチくず箱にパンチくずがいっぱいになると、機械状態画面のオプション状態表示部のパンチくず表示が赤く点灯します。



下記の手順に従ってパンチくずを捨ててください。

1 折り機扉を開き、パンチくず箱を引き出します。



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

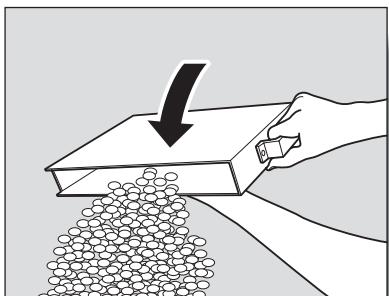
パンチくず処理

断裁くず処理

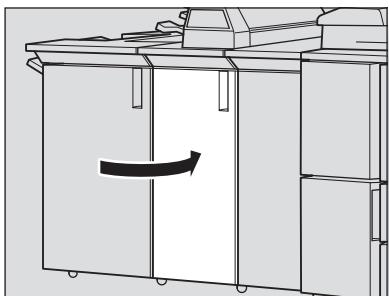
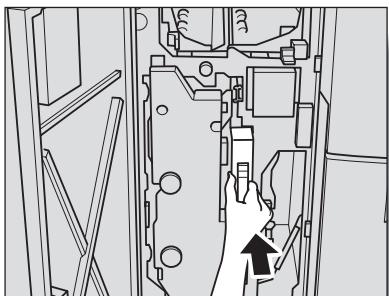
大容量スタッカーリサイクル LS-505

フィニッシャーFS-521

2 パンチくずを捨てます。



3 パンチくず箱を元の位置にもどし、折り機扉を開じます。



断裁くずを処理する

下記のオプションには断裁装置が装着されています。

- 中とじ機 SD-506
- くるみ製本機 PB-502

各手順に従って断裁くずを処理してください。

■ 中とじ機 SD-506 の断裁くずを処理する

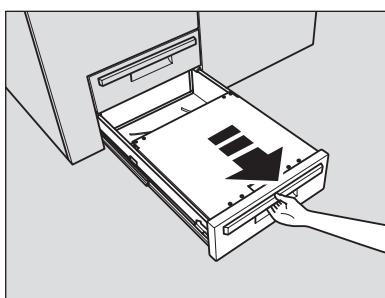
中とじ機 SD-506 の断裁くず箱に断裁くずがいっぱいになると、機械状態画面のオプション状態表示部の断裁くず表示が赤く点灯します。

機械の動作中は、コピー画面にメッセージが表示されます。



下記の手順に従って断裁くずを捨ててください。

1 断裁くず箱を引き出します。



機械が動作中の場合、断裁くず箱は引き出せません。動作が停止してから断裁くず箱を引き出してください。

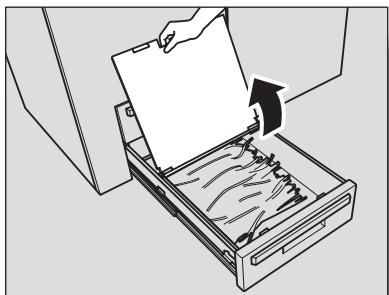
用紙補給

くるみ製本
表紙セットインデックス紙
セット

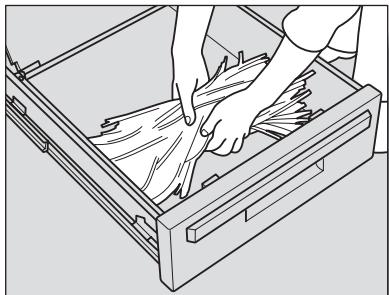
トナー補給

トナー回収箱
交換ステープル
針補給糊ペレット
補給パンチくず
処理断裁くず
処理大容量スタッカー
LS-505フィニッシャー
FS-521

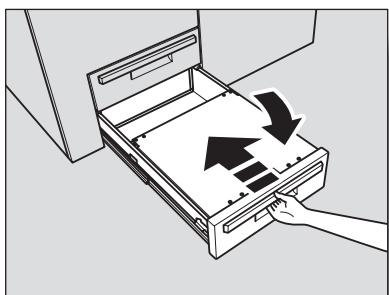
2 断裁くず箱の上カバーを開きます。



3 断裁くず箱をかき出し、断裁くずを捨てます。



4 断裁くず箱の上カバーを閉じ、断裁くず箱をもとの位置にもどします。


 必ず守ってください

断裁くず箱を確実にもとの位置
にもどしてください。確実にもど
していないと、断裁処理が行わ
ません。

■ くるみ製本機PB-502の断裁くずを処理する

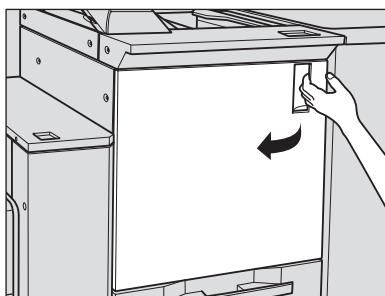
くるみ製本機 PB-502 の断裁くず箱に断裁くずがいっぱいになると、機械状態画面のオプション状態表示部の断裁くず表示が赤く点灯します。

機械の動作中はコピー画面にメッセージが表示されます。



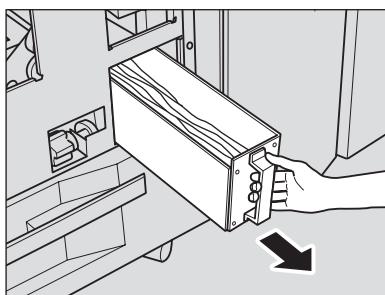
下記の手順に従ってくるみ製本機の断裁くずを捨ててください。

1 くるみ製本機の前扉を開きます。



機械動作中に前扉を開かないで
ください。
紙づまりの原因になります。
動作が停止してから前扉を開いて
ください。

2 断裁くず箱を引き出します。



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

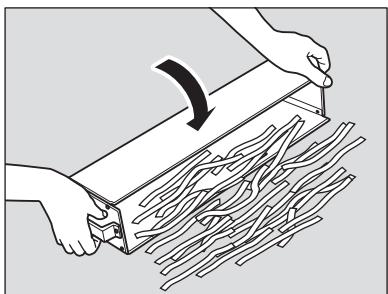
パンチくず処理

断裁くず処理

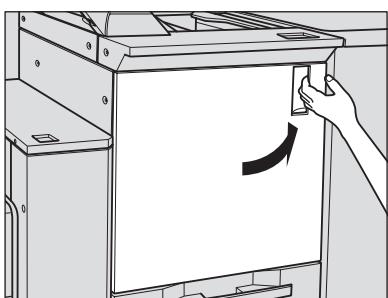
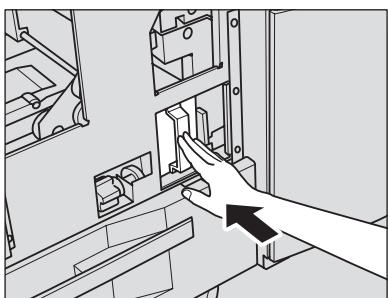
大容量スタッカーライフ LS-505

フィニッシャーFS-521

3 断裁くずを捨てます。



4 断裁くず箱を元の位置にもどし、くるみ製本機の前扉を閉じます。



大容量スタッカーライフ LS-505に積載された用紙を取り出す

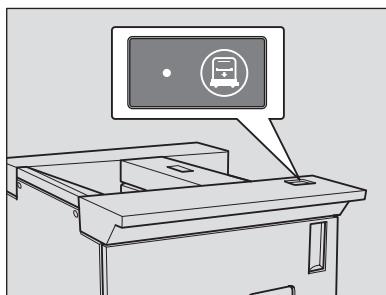
大容量スタッカーライフ LS-505は、スタッカーライフ部に最大5,000枚（最小210mm（幅）×380mm（長さ）～最大331mm（幅）×483mm（長さ）の塗工紙は3,000枚、B5、A5は2,000枚）の出力用紙を積載することができます。

ここではスタッカーライフ部に積載された用紙の取り出し方を説明します。

■スタッカーライフ部の用紙を取り出す

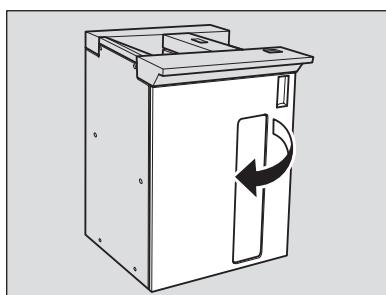
1 用紙取り出しボタンを押します。

スタッカーライフ部が搬送用台車まで下降します。



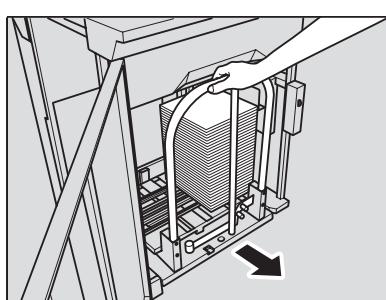
出力用紙を大量に積載している搬送用台車を動かしたときに出力用紙が崩れるのを防止するためのストッパーを用意しています。その使い方は、p. 4-58「スタッカーライフ部の用紙崩れを防ぐ」をごらんください。

2 大容量スタッカーフェンを開きます。



スタッカーライフ部に1枚でも用紙が積載されると、大容量スタッカーフェンはスタッカーライフ部が搬送用台車に下降するまでロックされて開けることができません。

3 搬送用台車の取手を持って引き出します。



- 台車はまっすぐ引き出します。台車を動かすときに無理に方向を変えないでください。
- 台車は用紙積載専用です。それ以外の使用は絶対しないでください。
- 大容量スタッカーライフ内には絶対入らないでください。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーアクセサリ交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

断裁くず処理

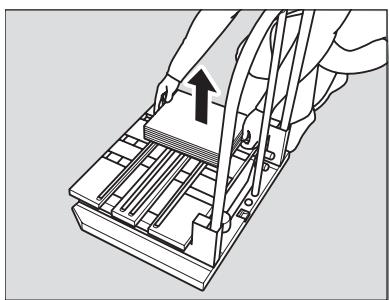
大容量スタッカーライフ LS-505

フィニッシャー FS-521

- 4 搬送用台車から用紙を取り出します。**
台車からスタッカーパートを取り外すことができます。



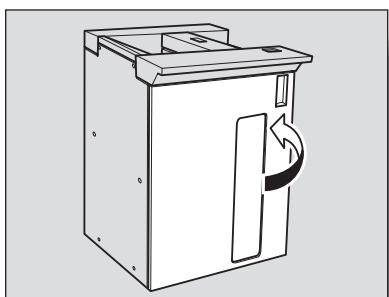
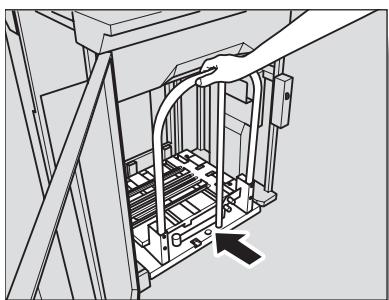
ジャム紙除去や出力された用紙の確認動作などで、スタッカーパートをいったん下げる場合は、台車のスタッカーパートに積載された用紙をすべて取り除かないとコピーできません。出力された用紙をスタッカーパートにのせたまま台車をもどすと故障の原因になります。必ずスタッカーパートに積載された用紙を取り除いてください。



- 5 搬送用台車を元の位置にもどし、大容量スタッカーフェンを開じます。**

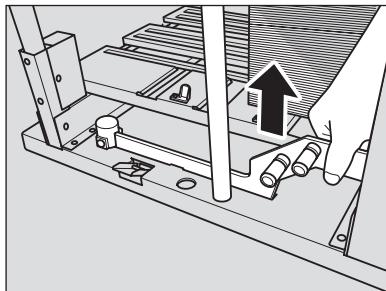


スタッカーパートを元の位置にもどすときは、スタッカーパートの穴（2力所）に台車の突起を入れてセットします。正しくセットしないと台車を元の位置にもどせなくなります。



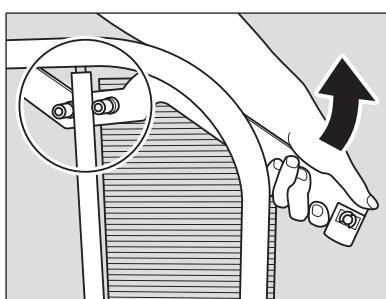
■スタッカー部の用紙崩れを防ぐ

- 1 搬送用台車から用紙ストッパーを取り外します。



- 2 用紙ホルダーに用紙ストッパーを取り付けます。

用紙ストッパーの2つ突起を用紙ホルダーにはさみ、図のように反対側を持ち上げます。

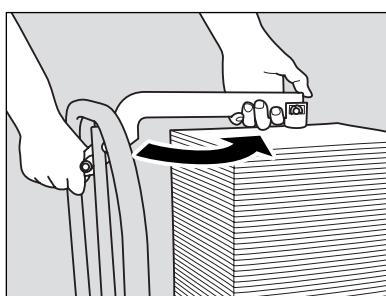


- 3 用紙ストッパーで用紙を固定します。

用紙ストッパーを用紙側に回転させます。



必要以上に押し込まないでください。出力紙にしわができるたり破れたりすることがあります。



用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナー回収箱交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

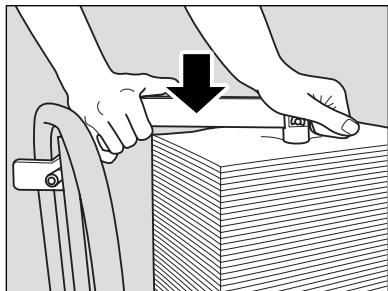
断裁くず処理

大容量スタッカー
LS-505

フィニッシャー
FS-521

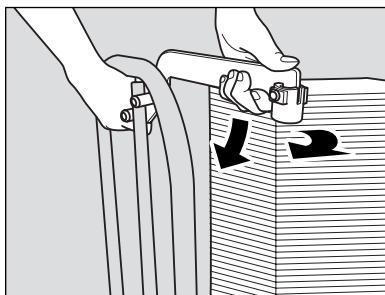
大容量スタッカーLS-505に積載された用紙を取り出す(つづき)

用紙ストッパーを用紙に押し込み、固定します。

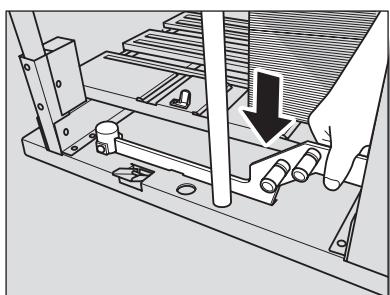


4 用紙ストッパーを用紙ホルダから取り外します。

用紙ストッパーを図のように持ち上げ、台車取手側に回転させて取り外します。



5 用紙ストッパーをもとの位置にセットします。



用紙ストッパーは確実にセットしてください。そうしないと、スタッカー扉を閉じることができません。

ステープルフィニッシャー FS-521への出力を一時停止/再開する

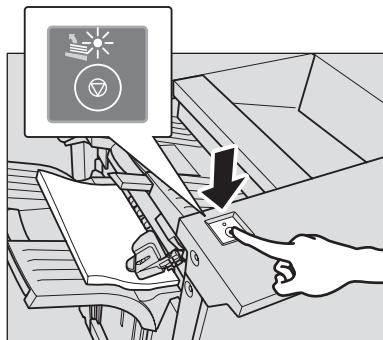
ステープルフィニッシャー FS-521 は、メイントレイに最大 3,000 枚（A4 より大きいサイズは 1,500 枚、B5 より小さいサイズは 500 枚）の出力用紙を積載することができます。ここではメイントレイに積載された用紙を出力を一時停止させて取り出し、その後出力を再開する方法を説明します。

■ 出力を一時停止する

1 出力を一時停止するため、ランプが点滅するまで【一時停止】ボタンを押します。

ランプを点滅させるため、約 1 秒【一時停止】ボタンを押しつづけます。

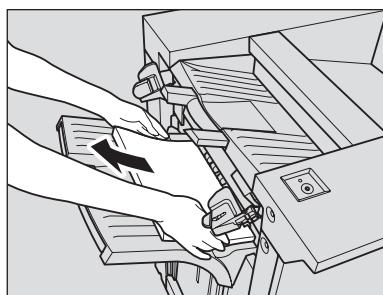
出力が一時停止し、ランプが点灯に変わります。



メイントレイへステープル出力しているときや、メイントレイ以外のトレイに出力しているときは、一時停止ボタンは機能しません。

2 メイントレイに積載された出力用紙を取り出します。

メイントレイの用紙を全部取り除くと、【一時停止】ボタンのランプは消灯します。



一時停止時にトレイに出力した用紙を残し、出力を再開しても問題ありません。
このとき、出力を再開するまで【一時停止】ボタンのランプは点灯しつづけます。

用紙補給

くるみ製本表紙セット

インデックス紙セット

トナー補給

トナーリサイクル交換

ステープル針補給

糊ペレット補給

パンチくず処理

断裁くず処理

大容量スタッカー LS-505

フィニッシャー FS-521

3 出力を再開するため、操作パネルの【スタート】を押します。

引き続き、同じ条件で出力が始まります。



出力を再開せずに中止する場合は、操作パネルの【ストップ】を押します。詳しくは、後述の「一時停止した出力を中止する」をごらんください。

■ 一時停止した出力を中止する

1 操作パネルの【ストップ】を押します。



一時停止した出力を中止するかどうかを選択するポップアップ画面が表示されます。

2 【中止】を押します。



トラブルの処置

第5章

サービスに連絡して下さい
紙づまりです
糊ペレットがつまつたら
「機械状態」タブのオレンジ点滅
メモリーオーバーフローです
電源を入れ直してください
コントローラーを確認できません
簡単なトラブルの処置

トラブルの処置

第5章

トラブルの処置方法について説明します。

「サービスに連絡して下さい C-####」と表示されたら：サービスコール..	5-2
「紙づまりです」と表示されたら	5-4
■ 紙づまり処理	5-6
■ ジャム番号とジャム位置	5-7
「糊ペレットがつまつたら	5-9
〔機械状態〕タブがオレンジ色に点滅したら	5-11
■ 紙づまり	5-11
■ 用紙なし停止	5-12
■ 用紙不一致停止	5-14
「メモリーオーバーフローです」と表示されたら	5-15
■ コピーでのメモリーオーバーフロー	5-15
「電源を入れ直してください」と表示されたら	5-16
「コントローラーを認識できません」と表示されたら	5-17
簡単なトラブルの処置	5-18

「サービスに連絡して下さい C-####」と表示されたら：サービスコール

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡して下さい C-####」というメッセージの画面（サービスコール画面）が表示されます。

この画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とFAX番号が表示されます。

糊ペレットが糊ホッパー内でつまつた場合、SC78-17が表示されます。そのときは、攪拌棒で糊ペレットのつまりを解消します。詳しくは、p. 5-9 「糊ペレットがつまつたら」をごらんください。



思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示された場合は、直ちに下記の手順に従ってサービス実施店にご連絡ください。

1 メッセージ2行目のレポートコード番号「C-####」を書き留めます。

管理者は設定メニュー画面からサービス実施店へのサービスコールができます。

このとき、サービス実施店は故障の状況を把握していますので、レポートコードを電話で連絡する必要はありません。



管理者によるサービス実施店へのサービスコールの詳細は、POD 管理者編をごらんください。

2 電源をオフにします。

副電源スイッチをオフにし、主電源スイッチをオフにします。



「電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチをオフにしてください。

3 本体の電源プラグをコンセントから引き抜きます。

4 サービス実施店に連絡し、書き留めたレポートコード番号をお知らせください。



詳細：トラブル発生時の限定使用について

本機は、サービスコール画面が表示されても下記のようなメッセージが表示されている場合は、トラブル発生箇所をオフにして機械を一時的に使用できる機能があります。(限定使用) 限定使用する場合は必ずサービス実施店にお問い合わせください。また、限定使用は、サービス実施店の修理を受けるまでの臨時の使用にとどめてください。

(1)限定使用できる場合は、サービスコール画面のメッセージ欄にレポートコード番号が表示されません。

例：

トレイ2が故障しました
ヘルプボタンで限定使用できます

(2)操作パネルの【ヘルプ】を押します。下記のメッセージが表示されます。

電源を入れ直して下さい
C-0202

(3)副電源スイッチをオフ／オンします。トレイ2以外のトレイを使用してコピーできます。

⚠ 注意

限定使用で機械を使い続けないでください！

思わぬ事故になる恐れがあります。

→限定使用で機械が使用できるようになっても、必ず
サービス実施店の修理をなるべく早く受けてください。

サービスに連絡してください

紙つまりです

端ペレットがつまつたら

「機械状態」タブ
のオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

「紙づまりです」と表示されたら

コピー中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです」というメッセージと、紙づまりの箇所が画面上に表示されます。

このとき、操作パネルの【スタート】のランプは赤色に変わり、紙づまりが適切に処理されるまでは、動作しなくなります。

JAM位置画面

メッセージ表示部
具体的な紙づまり処理方法
が表示されます。

ジャム番号
紙づまり位置を表示して
います。



JAM位置

紙づまりです
カバー M7, M8 または M9 を開いて用紙を取り除いて下さい。
トレイ M5 を引き出します。用紙を引き出して下さい。
カバー M7, M8 または M9 を開いて用紙を取り除いて下さい。

[イラスト説明]

このボタンを押すと、最優先で処理する方法
を図解で説明する画面が表示されます。

JAM処理説明画面

メッセージ表示部
イラストに示された紙づま
り処理方法を文章で説明し
ます。

ジャム番号
紙づまり処理する方法を優
先順にイラスト表示します。



JAM位置

カバー M7, M8 または M9 を開いて用紙を取り除いて下さい。

[次頁] [前頁]

JAM処理説明画面が複数ある場合、
表示されます。ボタンを押して、画面
を開閉させます。

[JAM位置表示]

このボタンを押すと、JAM位置画面
にもどります。

紙づまりが複数箇所で発生していると、複数のジャム番号や矢印が点滅、または点灯しています。

点滅しているジャム番号や矢印は、最優先で処理すべき位置をあらわしています。

ジャムメッセージ表示部には処理方法が表示されています。

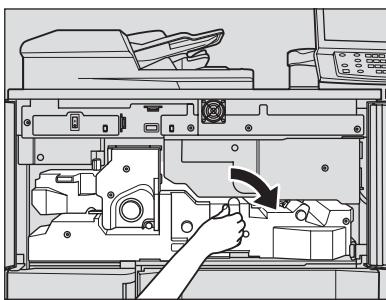
また、【イラスト説明】を押すと、ジャム処理方法の画面解説が展開します。



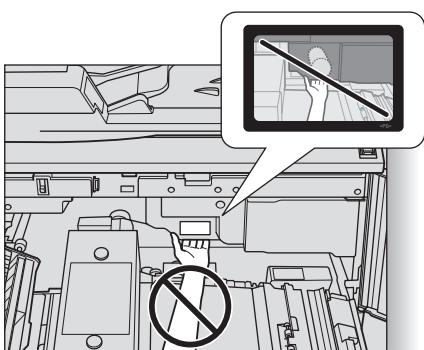
ジャム位置画面のメッセージ表示部にジャムコードを表示させることができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

ジャム処理をするときの留意点

- 紙づまり処理時に、主電源スイッチをオフにしないでください。トレイを引き出すことができなくなります。また、定着搬送ユニットを引き出すことができなくなります。
- 定着搬送ユニットを引き出すレバー M4 は、本体給紙入口部、本体排紙部につまつた紙がある場合、右に倒して定着搬送ユニットを引き出せません。絶対無理にレバー M4 を倒さないでください。



- つまっている用紙を取り除くには、紙を破ったり、紙片を機械内に残さないようにしてください。
- ドラム面に手を触れたり、傷つけたりしないようにしてください。



- サクション式大容量給紙トレイ PF-703/PI-PFU は、用紙を吸引しているため、紙づまり処理時にすぐに引き出せないことがあります。少し時間をおいてから引き出してください。

次の手順に従って紙づまり処理を行ってください。

サービスに連絡してください

紙づまりです

糊ペレットがつまつたら

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

■ 紙づまり処理

1 ジャム位置画面の【イラスト説明】を押します。

ジャム処理画面が表示されます。



- ジャム処理画面が複数ある場合は、〔次頁〕を押して処置方法を確認します。
- ジャム位置画面にもどるときは、〔ジャム位置表示〕を押します。

2 画面表示の指示に従って、紙づまりを処理します。



ジャム処理をする前に、注意ラベルの位置を確認してください。詳細は、p. 1-11～p. 1-13をごらんください。

3 処理が終わると、機械状態画面にもどります。

紙づまり箇所が複雑の場合は、ジャム位置画面にもどり、次に処理すべき箇所とメッセージが表示されます。手順1～2を繰り返して、すべての処理を行います。紙づまり処理がすべて完了すると、機械状態画面にもどります。

⚠ 注意：定着部の紙づまり処理

本体定着部は高温になっています！

触れると火傷をする恐れがあります。

→紙づまり処理時にはこの付近に手を触れないようにしてください。紙づまり処理時に定着搬送ユニットを引き出すときや、引き出した後の処理時に定着部内に手を入れないよう特にご注意ください。

⚠ 注意：ステープル針づまり処理

ステープル針はとがっています！

つまつた針でケガをすることがあります。

→ステープル針づまりの処理をするときは、ご注意ください。

⚠ 注意：くるみ製本機の紙づまり処理

糊タンクユニットは高温になっています！

触れると火傷をする恐れがあります。

→紙づまり処理時にはこの付近に手を触れないようにしてください。糊タンクユニットが前側に出ていて、ユニットを押し込むときなどは特にご注意ください。押し込むときなどは、特にご注意ください。押し込むときにユニットに触れる位置は、ジャム処理ラベルでご確認ください。

サービスに連絡してください

紙つまりです

端ペレットがつまつたら

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置



No.	ジャム位置
1	トレイ1 (本体トレイ)
2	トレイ2 (本体トレイ)
3	トレイ3 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
4	トレイ4 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
5	トレイ5 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
6	本体右縦搬送部
7	トレイ3水平搬送部 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)

8	トレイ5水平搬送部 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
9	トレイ4水平搬送部 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
10	本体給紙入口部
11	本体ドラム部
12	本体定着部
13	本体定着・反転部
14	本体反転部
15	本体反転部
16	ADF給紙・排紙部
17	ADF反転部
18	折り機FD-503
19	大容量スタッカーLS-505
20	大容量スタッカーLS-505(2連目)
21	中とじ機SD-506
22	ステープルフィニッシャーFS-521
23	くるみ製本機PB-502
24	トレイ6(大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
25	トレイ7(大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
26	トレイ8(大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
27	トレイ6水平搬送部 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
28	トレイ7水平搬送部 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
29	トレイ8水平搬送部 (大容量給紙トレイPF-702/サクション式大容量給紙トレイPF-703)
30	トレイ3中継搬送部(サクション式大容量給紙トレイPF-703)
31	中継搬送ユニットRU-506
32	PI-PFUトレイ1
33	PI-PFUトレイ2
34	PI-PFUトレイ3
35	PI-PFUトレイ1中継搬送部
36	PI-PFUトレイ1水平搬送部
37	PI-PFUトレイ3水平搬送部
38	PI-PFUトレイ2水平搬送部

サービスに連絡してください

紙づまりです

糊ペレットがつまつたら

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

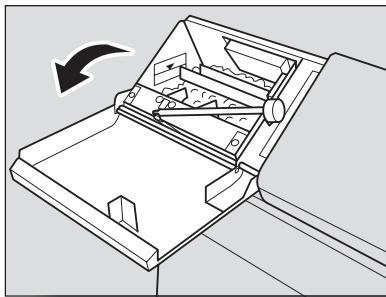
コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

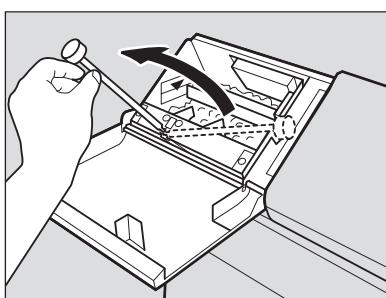
糊ペレットがつまつたら

糊ペレットが糊ホッパー内でつまつたとき、「サービスに連絡してください SC-15-17」というメッセージの画面（サービスコール画面）が表示されます。下記の手順に従ってつまつた糊ペレット処置を行ってください。

1 糊ホッパーカバーを開きます。

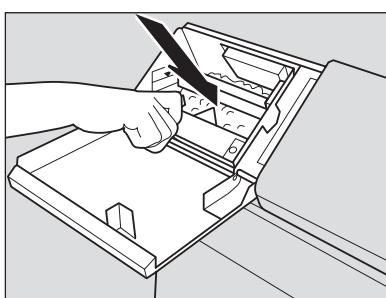


2 摹拌棒を起こします。

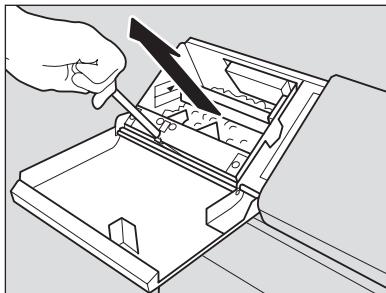


3 摌拌棒を1度だけ奥まで確実に押し込んで、引き戻します。

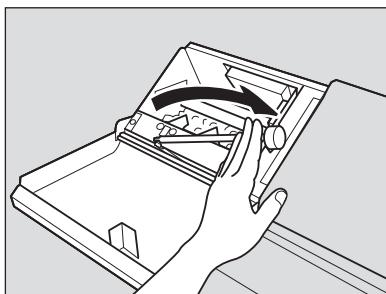
必ず守ってください



摌拌棒を何度も押し込むと、糊ペレットが大量に補給されて機械故障の原因になります。必ず1度だけ押し込んでください。



4 摺拌棒をもとの位置に戻します。



5 糊ホッパーのカバーを閉じます。



【機械状態】タブがオレンジ色に点滅したら

機械にトラブルが発生すると、下記のメッセージが表示され【機械状態】タブがオレンジ色に点滅します。

- 紙づまり : 「紙づまりです」
- 用紙なし停止 : 「○○サイズの用紙をセットして下さい」
- 用紙不一致停止 : 「予約したサイズの用紙をセットして下さい」
「トレイに指定された用紙をセットして下さい」

機械状態画面に【詳細確認】が表示されます。



【詳細確認】を押して表示される画面の指示に従って処理してください。

■ 紙づまり

コピー予約中に現在のコピー作業の原稿スキャン、または一括出力中にトラブルが発生すると、機械は停止し、【機械状態】タブがオレンジ色に点滅することがあります。

【詳細確認】を押して紙づまり位置画面が表示されたときは、p. 5-6以降の手順に従って処理してください。

■ 用紙なし停止

〔詳細確認〕を押して下記のポップアップ画面が表示されたときは、使用していたトレイに用紙がなくなりました。



下記の手順に従って使用するトレイを変更するか、用紙がなくなったトレイに用紙を補給してください。

使用するトレイを変更する手順

1 変更するトレイのボタンを押して選択します。



2 [OK] を押します。

機械状態画面にもどります。
【スタート】を押します。

3 変更したトレイから用紙を給紙して、出力を再開します。

トレイに用紙を補給する手順

1 用紙がなくなったトレイに用紙を補給します。

用紙の補給方法は別に説明しています。詳細は、p. 4-2をごらんください。

2 [閉じる] を押します。

機械状態画面にもどります。

3 【スタート】を押します。

補給した元のトレイから用紙を給紙して、出力を再開します。

サービスに連絡してください

紙づまりです

糊ペレットがつまつたら

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

■ 用紙不一致停止

コピー予約時に設定した用紙設定に従ってトレイの用紙をセットし直すタイミングのとき、機械は一時停止し、下記のポップアップ画面が表示されます。

用紙条件の違う用紙や、用紙サイズの違う不定形サイズ紙／ワイド紙／定形インデックス紙をセットする：



設定トレイに設定した用紙を入れなおして、〔設定変更〕を押します。

【スタート】を押します。



詳しく説明します

指定した用紙と異なる用紙を入れた場合、左記のポップアップ画面が表示されます。正しい用紙を入れなおして〔閉じる〕を押してください。

「メモリーオーバーフローです」と表示されたら

本機は、メモリーを使用してコピーを行っています。

メモリーには限りがありますので、コピー操作中にメモリーオーバーフローを起こし、下記のようなポップアップ画面が表示されることがあります。

■ コピーでのメモリーオーバーフロー

現コピーの原稿スキャン中にメモリーオーバーフローが発生すると、機械は直ちに停止し、下記のポップアップ画面が表示されます。



〔中止〕を押します。

それまでにスキャンした画像データは全て消去されます。

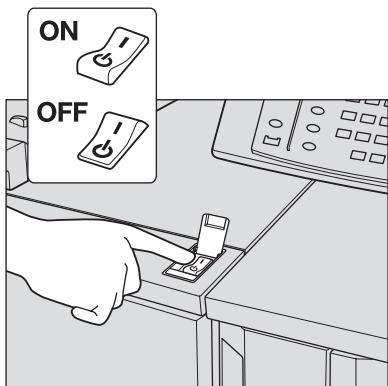
「電源を入れ直して下さい」と表示されたら

機械の電気信号に異常があった場合、「電源を入れ直して下さい」というメッセージが表示されます。

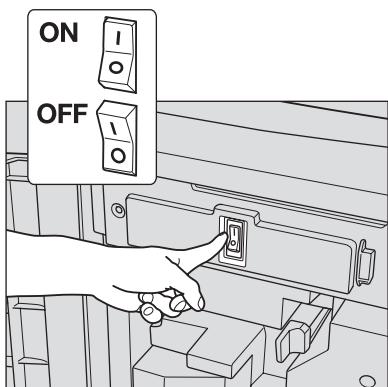


下記の手順に従ってください。

1 副電源スイッチをオフにします。



2 主電源スイッチをオフにします。



「電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチをオフにしてください。

3 10秒以上待ちます。

4 主電源スイッチをオンにして、副電源スイッチをオンにします。

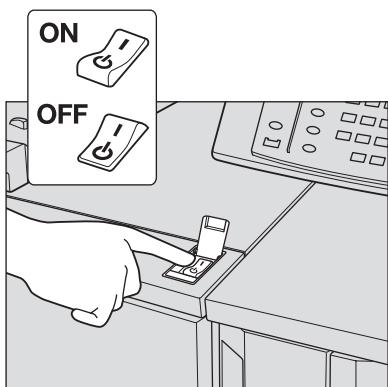
「コントローラーを認識できません」と表示されたら

コントローラーに異常があった場合、「コントローラーを認識できません」というメッセージが表示されます。

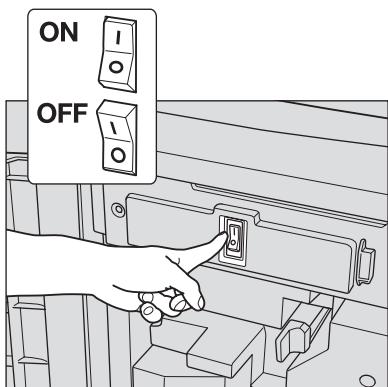


下記の手順に従ってください。

1 副電源スイッチをオフにします。



2 主電源スイッチをオフにします。



「電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチをオフにしてください。

3 10秒以上待ちます。

4 主電源スイッチをオンにして、副電源スイッチをオンにします。

サービスに連絡してください

紙づまりです

端ペレットがつまつたら

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

簡単なトラブルの処置

	トラブルの内容	チェックポイント	処置
本体	電源スイッチを入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか? パワーセーブのランプが点灯していませんか? ユーザー認証／部門認証のための入力画面が表示されていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを正しくコンセントに接続してください。 ウイークリータイマー機能が働いていてオンできません。時間外使用 (p. 2-49 参照) するか、お客様の管理者にお問い合わせください。 ユーザー認証／部門認証に必要な入力をしてください。(p. 2-51 参照)
	コピーがスタートしない	本体前扉／左扉を確実に閉じていますか? 原稿に見合った適正な用紙がトレイに入っていますか? 設定したコピー部数が「0」になつていませんか? フィニッシャー扉／折り機扉／大容量スタッカー扉が開いていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 本体前扉／左扉を確実に閉じてください。 トレイに適正な用紙をセットしてください。 適正なコピー部数を設定してください。 フィニッシャー扉／折り機扉／大容量スタッカー扉を確実に閉じてください。
	コピー画像が汚れる	原稿ガラスが汚れていませんか? 原稿自体が汚れていませんか? 濃度調整は適正ですか?	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラスに汚れがあればふいてください。 原稿に汚れがあれば消してください。 マニュアル濃度設定を使って濃度を調整してください。(p. 9-24 参照) 濃度シフトや濃度レベルをさらにこくまたはうすくをごらんください。
	コピー画像がうすい	濃度調整は適正ですか? (手動) 機械状態画面に「トナーを補給してください」が表示されていますか?	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル濃度設定を使って濃度を調整してください。(p. 9-24 参照) 濃度シフトや濃度レベルをさらにこくまたはうすくしたいときは、POD 管理者編をごらんください。 トナーを補給してください。
	コピー画像がクリアでない	用紙が湿気をおびていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 用紙を交換してください。サービス実施店に連絡してください。
	倍率変更ができない	縮小シフトになっていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 縮小シフトを解除してください。
	紙づまり処置してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 紙づまり位置表示などを見て、他の場所につまっているコピー紙を取り除いてください。
	両面→片面、両面→両面モードにならない	ADFが開いていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> ADFを確実に閉じてください。

トラブルの処置

第5章

サービスに連絡してください

紙づまりです

端ペレットがつまつたら

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

	トラブルの内容	チェックポイント	処置
本体	ユーザー認証／部門管理を設定した機械でパスワードを入力してもコピーできない	「リミットをオーバーしました」が表示されていませんか？	お客様の管理者にお問い合わせください。
ADF	【リセット】を押してもADFが使用できない	ADFが浮いていませんか？ ADFが設定されていますか？	• ADFを下へ確実に押してください。 • 仕様にあった原稿に変えてください。 • 原稿を正しくセットしてください。
	原稿が送られない	ADFが浮いていませんか？ 指定以外の原稿を使用していませんか？ 正しく原稿がセットしてありますか？	• ADFを下へ確実に押してください。 • 仕様に合った原稿にかえてください。 • 原稿を正しくセットしてください。
ステープルフィニッシャー／折り機	ステープルフィニッシャー／折り機が作動しない	ステープルフィニッシャー／折り機内に紙づまりがありませんか？ ステープルフィニッシャー扉／折り機扉は完全に閉じていますか？	• 紙片があれば取り除いてください。 • ステープルフィニッシャー扉／折り機扉を確実に閉めてください。
	ステープルの位置が90°ずれる	自動画像回転機能が働いていませんか？	• 自動画像回転機能が働かないように紙をセットし直してください。(p. 9-56 参照)
ステープルフィニッシャー／折り機	排紙されるコピー用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置ズレを起こす ステープルフィニッシャー内でジャムが頻発する	用紙が大きくカールしていませんか？ 用紙をセットしているトレイの側面ガイドと用紙の間に隙間がありますか？	• トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。 • 側面ガイドを用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない	機械状態画面のパンチくず表示が赤く点灯していませんか？	• パンチ屑を捨ててください。
	ステープルの位置がそろわない	用紙が大きくカールしていませんか？	• 用紙のカール方向を入れ替えてトレイにセットしてください。
	サブトレイの排紙がそろわない	サブトレイの先端に用紙が当たっていますか？	• サブトレイのロックを一時的に解除し、サブトレイを浮かせた状態にしてください。
中とじ機	断裁を設定しても断裁出力されない	機械状態画面の断裁くず表示が赤く点灯していませんか？	• 中とじ機の断裁くずを捨ててか、管理者にお尋ねください。
くるみ製本機	くるみ製本を設定しても製本出力されない	くるみ製本機前扉、製本トレイカバーが開いていませんか？	• くるみ製本機前扉、製本トレイカバーを確実に閉じてください。

チェックしてもトラブルが直らない場合は、サービス実施店に連絡してください。

日頃の管理

第6章

日頃の機械の管理について説明します。

画像取り込み部分を清掃する	6-2
■ ADF原稿読み込みガラスの清掃	6-2
■ 原稿ガラスの清掃	6-2
■ ADFガイドカバーの清掃.....	6-2
コピー枚数カウントを確認する	6-3
中とじ機折り／とじトレイの搬送ベルトを清掃する	6-5
「定期点検です」と表示されたら	6-7
「断裁受け木交換」と表示されたら	6-8
糊ペレット・くるみ製本機の管理.....	6-9
保守サービス	6-10
■ コピーチャージシステム.....	6-10
■ 補修用性能部品の保有期間.....	6-10
■ 主な同梱品	6-10

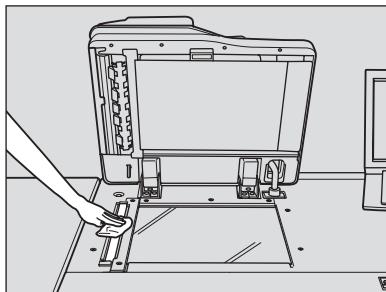
画像取り込み部分を清掃する

いつもきれいなコピーをおとりいただきため、定期的に次のようなお手入れを行ってください。

■ ADF原稿読み込みガラスの清掃

原稿ガラス左側のADF 原稿読み込みガラスが汚れていると、ADF を使用して読み込んだ画像にタテのスジがついてしまうことがあります。

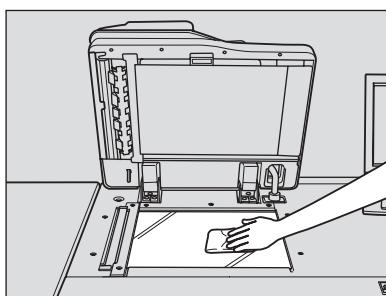
このガラス面をきれいな柔らかい布でふいてください。



原稿ガラスの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

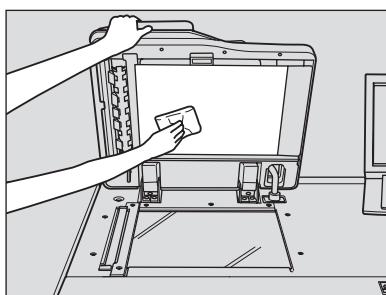
■ 原稿ガラスの清掃

きれいな柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、水を含ませた布でふいてください。



■ ADFガイドカバーの清掃

ADFガイドカバーが汚れていると、原稿ガラスに原稿をセットして原稿をスキャンするとき、読み込んだ画像に汚れが取り込まれたり、原稿サイズ検知がうまく機能しないことがあります。きれいな布でふいてください。



ADFガイドカバーの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

コピー枚数カウントを確認する

設定メニュー画面を表示させると、下記のカウントを確認できます。

- トータルカウンター
- 紙用紙枚数カウンター
- 排紙用紙枚数カウンター
- プリンタートータルカウンター
- コピートータルカウンター
- スキャントータルカウンター
- メンテナンスカウンター
- 現像剤カウンター
- 感光体力カウンター

これらのカウンターリストをプリント出力できます。



設定メニュー画面に【CMS 部品カウントリスト】キーを表示させ、CMS 部品カウントリストの表示やリストの編集（パート名設定、P/N 設定、リミット設定）、カウンターリセットを行いうように設定できます。詳細はサービス実施店にお問い合わせください。

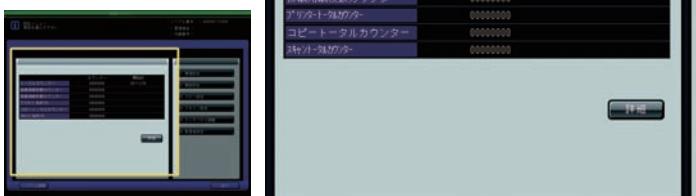
1 操作パネルの【設定メニュー／カウンター】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。



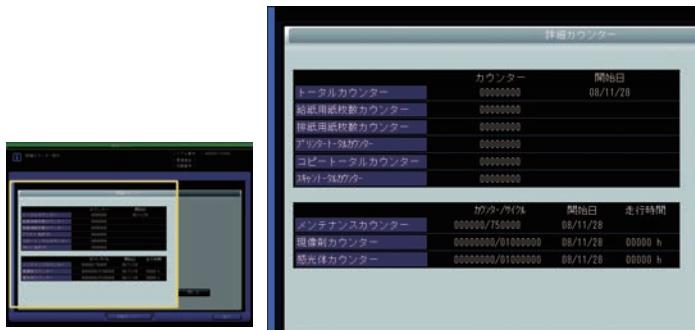
くるみ製本機PB-502が装着されていると【くるみ製本カウンター】が表示されます。それを押すと3つのくるみ製本カウンターが表示されます。



画面の左側に各カウントが表示されます。
これ以上の表示の必要がない場合は、【終了】を押します。カウンターリスト表示モードは解除され、元の画面にもどります。

2 [詳細] を押します。

メンテナンスカウンター、現像剤カウンター、感光体力カウンターのカウンター／サイクル、カウント開始日、走行時間が表示されます。



カウンターリストの出力の必要がない場合は、[終了]を押します。カウンターリスト表示モードは解除され、元の画面にもどります。
カウンターリストを出力します。



- 現像剤と感光体のカウンターは、サイクルまたは走行時間の設定ができます。
サービス実施店にお問い合わせください。
- [システム情報] を押すと、本機のシステム情報が表示されます。[閉じる] を押すともとの画面にもどります。

3 カウンターリストを出力します。

[印刷モードへ] タブを押して、コピー画面を表示させます。
任意の用紙サイズを選択して操作パネルの【スタート】を押します。

4 [終了] を押します。

中とじ機折り／とじトレイの搬送ベルトを清掃する

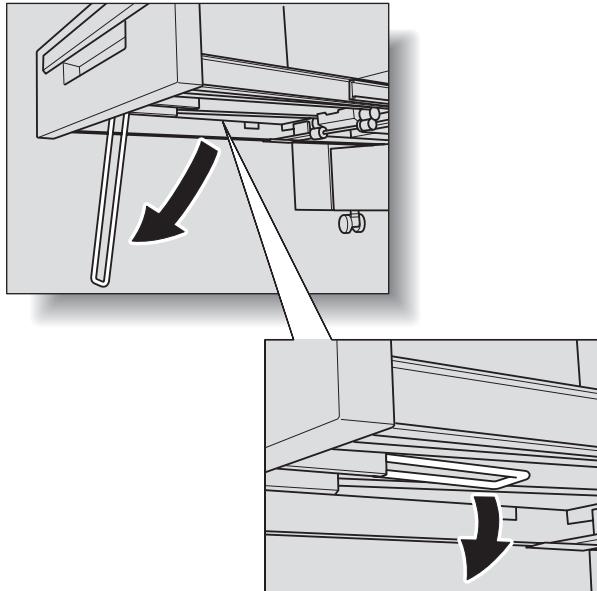
折り／とじトレイの搬送ベルトに付いた汚れが出力紙に付着することがあります。下記の手順に従って、折り／とじトレイの搬送ベルトを清掃してください。

このトレイをご使用になる前に清掃することをおすすめします。

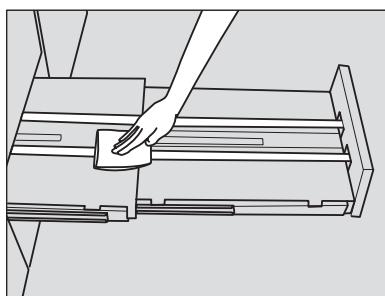


トレイ使用中に搬送ベルトが汚れてきます。作業中も清掃することをおすすめします。

1 折り／とじトレイを止まるまでいっぱいに引き出し、スタンドを立てます。

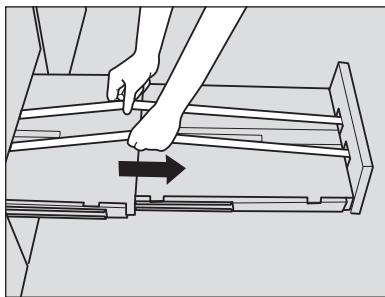


2 柔らかい布に清掃用アルコールをしみ込ませ、搬送ベルト2本の見えている部分を拭いて清掃します。



3 搬送ベルトを動かして搬送ベルト全体を清掃します。

搬送ベルト2本を両手で軽く持ち上げ、2本同時に手前側にひっぱり、清掃していない部分を出します。



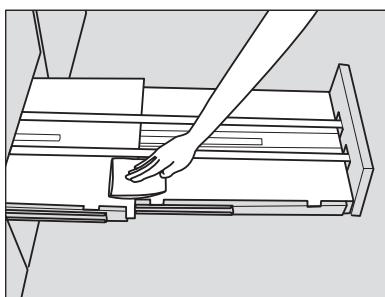
搬送ベルトを必要以上に持ち上げないでください。また、ベルトを引き出すときは、2本同時に引き出してください。そうしないと故障の原因になります。

引き続き、清掃用アルコールをしみ込ませた柔らかい布で搬送ベルトの汚れをふき取ります。

この作業を3回程度繰り返すと、ベルト全周を清掃できます。

4 折り／とじトレイ底面を清掃します。

トレイ底面全体を清掃用アルコールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。



スタンドを立てたまま、トレイをもとの位置に押し込まないでください。

5 スタンドをもとの位置にもどし、折り／とじトレイをもとの位置にもどします。

「定期点検です」と表示されたら

定期点検は、750,000コピーごとに実施します。

定期点検アイコンが表示され、下記のメッセージが表示されたら、サービス実施店に連絡して定期点検を受けてください。



管理者は、管理者設定でサービス実施店への定期点検依頼の連絡ができます。詳細は、POD管理者編をごらんください。

このとき、サービス実施店は機械の状況を把握していますので、定期点検の依頼を電話で連絡する必要はありません。

「断裁受け木交換」と表示されたら

断裁は断裁する刃と、刃を受ける受け木によって行われます。断裁をくり返しているうちに、受け木が消耗して交換が必要になります。このとき、機械状態画面の補給／廃棄部材表示部「断裁くず箱」右に「断裁受け木交換」と表示されます。



管理者は管理者設定でサービス実施店への連絡ができます。詳細はPOD管理者編をごらんください。

このとき、サービス実施店は機械の状態を把握していますので、電話で連絡する必要はありません。

上記のメッセージが表示された場合は、サービス実施店にご連絡ください。

糊ペレット・くるみ製本機の管理

糊ペレット、くるみ製本機は安全にご使用いただくためにぜひ守っていただきたい注意とお願いがあります。p. 1-8～p. 1-9もあわせてご覧ください。

糊ペレットの管理

- 糊ペレットは食べ物ではありません。口に入れたり飲み込んだりしないでください。
- 本製品は、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。
- 本製品は、直射日光や水濡を避け、室内の冷暗所に保管してください。
適正保管温度は5～35℃です。
- 本製品は一般の油、有機溶剤、インキの溶剤、揮発性香料などにより劣化することがあります。劣化すると接着性の低下により、製本のはがれ等が起こることがあります。

くるみ製本機の管理

- 本機には必ず専用糊GC-501を使用してください。
- 加熱溶融した糊の扱いには特にご注意ください。
- 加熱溶融した糊を清掃、交換する場合は、必ずサービス実施店にお問い合わせください。
- 糊の熱劣化を抑えるため、製本しないときは必ず電源をオフにしてください。また、本体のローパワー／シャットオフの設定時間がくるみ製本機にも設定されますので、くるみ製本の使用に合わせて、設定時間を調整することをおすすめします。
- 糊ホッパー内に糊ペレットを入れ過ぎないようにしてください。
- 糊ホッパー内のレバーには手を触れないようにしてください。機械故障の原因になります。

保守サービス

■ コピーチャージシステム

このシステムを契約していただきますと、本機を常に安定した状態でご使用いただくための保守サービス（定期点検、調整、感光体／現像剤交換など）をご提供いたします。

保守サービス提供の対価として、カウンター数値により算出されますコピー料金を申し受けます。

修理の詳しい内容等は、サービス実施店にお問い合わせください。

■ 補修用性能部品の保有期間

本機の機能を維持するために必要な補修用性能備品の最低保有期間は、機械本体製造打ち切り後7年です。

■ 主な同梱品

同梱現像剤	1
ユーザーズガイドホルダー	1
オペレーションクイックガイド	1
ユーザーズガイド	各1
コピー編	
POD管理者編	
セキュリティー編	
ネットワークスキャナー編	
商標／ライセンス (CD)	
プリンター編 (CD)	
プリンター (PostScript3_Plug-in ドライバー) 編 (CD)	
QAシート	1
チャージシステムお申込書	1
インストールマニュアル	1
その他	

仕様 第7章

本体およびオプションの仕様について説明します。

本体仕様	7-2
■ 本体	7-2
■ 自動原稿反転送り装置DF-615	7-4
オプション仕様	7-5
■ 大容量給紙トレイPF-702（追い刷りキットPP-701）	7-5
■ サクション式大容量給紙トレイPF-703（ヒーターファンユニットHT-505）..	7-6
■ サクション式大容量給紙トレイPI-PFU（PF-703+PI-PFUキットFA-501）.	7-7
■ 中継搬送ユニットRU-506	7-8
■ ステーブルフィニッシャーFS-521	7-9
■ 折り機FD-503	7-10
■ 中とじ機SD-506	7-12
■ くるみ製本機PB-502	7-13
■ 大容量スタッカーLS-505.....	7-14
■ リムーバブルHDD取付けキットRH-101（リムーバブルHDDインナーケースキットHD-511）.	
	7-15

仕第
7
様 章

本体仕様

■ 本体

名称	bizhub PRO 1200/1051
形式	コンソールタイプ
印字方式	LED露光静電複写方式
原稿台	固定式
感光体	OPC
光源	希ガス放電蛍光ランプ
現像方法	乾式2成分反転磁気ブラシ現像
転写方式	ベルト転写
定着方式	ヒートローラー定着
濃度設定	固定濃度：9段階（マニュアル調整）、登録濃度2種 自動濃度選択：原稿濃度を自動判定し、地肌を自動検出して除去する 下地調整：9段階（マニュアル調整）
画質設定	原稿画質：4つから1つ選択（文字/写真、薄文字、写真、文字） シャープネス：9段階（マニュアル調整） 文字/写真判別：9段階（写真寄り↔文字寄り）
複写倍率	1 : 1 ± 1.0 %以下 拡大 1 : 1.154 (115.4%)、1 : 1.224 (122.4%)、1 : 1.414 (141.4%)、1 : 2.000 (200.0%) 縮小 1:0.866 (86.6%)、1:0.816 (81.6%)、1:0.707 (70.7%)、 1 : 0.500 (50.0%) ズーム 0.250～4.000 (25.0%～400.0 %) (0.1%刻み) 任意設定倍率 3
読み取り解像度	走査：600 dpi、副走査：600 dpi
書き込み解像度	走査：1200 dpi、副走査：1200 dpi
階調	256階調相当（プリント画像出力時2値）
用紙	上質紙/普通紙：40 g/m ² ～350 g/m ² 塗工紙/追い刷り紙：40 g/m ² ～350 g/m ² 書籍用紙/ラフ紙：40 g/m ² ～216 g/m ² 未印字挿入紙： 40 g/m ² ～350 g/m ² 301 g/m ² ～350 g/m ² 紙は、PF-702/PF-703の中段トレイ（トレイ4、トレイ7）からのみ給紙可 追い刷り紙は、PF-703または追い刷りキットPP-701を装着したPF-702のみ給紙可

複写速度	定形サイズの用紙のほか、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙、郵政はがきの給紙が可能 郵政はがきは、PF-702/PF-703で給紙可 本体トレイは、オプションのはがきアダプターを装着して給紙可 OHPフィルム、第2原図は使用できません。 bizhub PRO 1200: 120枚/分 (A4□、8.5"×11"□)、93枚 (A4□) 120枚 (B5□)、105枚/分 (B5□)、70枚/分 (A3□) 68枚/分 (11"×17"□)、79枚/分 (B4□) bizhub PRO 1051: 105枚/分 (A4□、8.5"×11"□)、82枚 (A4□) 105枚 (B5□)、92枚/分 (B5□)、61枚/分 (A3□) 59枚/分 (11"×17"□)、69枚/分 (B4□)
連続複写	1～9999枚
メモリー容量	768MB (DRAM) + 160GB (HDD)
原稿種類	シート、ブック、立体物、厚み：30 mm以下
原稿サイズ	定形：最大A3□ (11"×17"□)
原稿重量	最大6.8 kg
複写サイズ	定形サイズ： SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□/□、B5□/□、 A5□、郵政はがき□、12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、9"×11"□ 以下の定形サイズと切替えて検知させることができます。 A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 SRA3□のかわりに12"×18"□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、8.12"×13.2"□、 8.25"×13"□、または8.5"×13"□ 不定形サイズ： 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm～ 最小タテ182 mm×ヨコ139 mm ワイド紙： A3W□、B4W□、A4W□/□、B5W□/□、A5W□、 12"×18"W□、11"×17"W□、8.5"×11"W□/□、 5.5"×8.5"W□ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm インデックス紙： A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、11"×17"T□、 8.5"×11"T□/□ (詳しくは、p. 3-8をごらんください。)
画像欠け幅	先端、後端、手前、奥側2 mm以下
給紙方式	本体トレイ1、2：1600枚収納 (64 g/m ² 紙)
ウォームアップタイム	8分以下

ファーストコピー タイム	bizhub PRO 1200 : 2.8秒以下 (A4、8.5" × 11") bizhub PRO 1051 : 3.0秒以下 (A4、8.5" × 11")
騒音	1200 : 8.5 B以下 1051 : 8.1 B以下
電源	200 V/25A 50/60 Hz
消費電力	5.0 KW以下 (本体+PF-703/PF-703+RU-506+PI-PFU+FD-503+SD-506+FS-521)
質量	約375 kg
大きさ	3,091(W) × 780(D) × 1,233(H) mm (本体+PF-702+RU-506+FD-503+FS-521) 4,326(W) × 780(D) × 1,233(H) mm (本体+PF-703+RU-506+FD-503+SD-506+FS-521) 3,717(W) × 780(D) × 1,233(H) mm (本体+PF-702+RU-506+LS-505+LS-505) *操作部上部まで 1,464(H) mm
機械設置寸法	機械背面から 200mm 以上、機械両側面から 100mm 以上のスペースを確保
定格電圧	200V (± 10%)
定格電流	25A
定格周波数	50/60Hz (± 2.5Hz)
温度	10~30 °C
湿度	10~80%RH

■ 自動原稿反転送り装置 DF-615

名称	DF-615
原稿坪量	50 g/m ² ~ 130 g/m ² 50 g/m ² ~ 200 g/m ² (1枚送り、片面原稿の場合)
原稿サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11" × 17"、 8.5" × 14"、8.5" × 11"
原稿積載量	最大 100 枚 (80 g/m ² 紙)
原稿挿入	自動送り
質量	約 30 kg
大きさ	650(W) × 570(D) × 170(H) mm
電源	本体より供給

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

オプション仕様

■ 大容量給紙トレイ PF-702 (追い刷りキットPP-701)

名称	PF-702
機能	用紙の給紙
構成	3段給紙トレイ
用紙サイズ	<p>定形サイズ：</p> <p>SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□/□、B5□/□、 A5□、郵政はがき□、12"×18"□、11"×17"□、 8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、9"×11"□</p> <p>以下の定形サイズと切替えて検知させることができます。</p> <p>A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 SRA3□のかわりに12"×18"□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、8.12"×13.2"□、 8.25"×13"□、または8.5"×13"□</p> <p>不定形サイズ：</p> <p>最小タテ182 mm×ヨコ139 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>小サイズガイド板使用時：</p> <p>最小タテ95 mm×ヨコ139 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>ワイド紙：</p> <p>A3W□、B4W□、A4W□/□、B5W□/□、A5W□、 12"×18"W□、11"×17"W□、8.5"×11"W□/□、 5.5"×8.5"W□</p> <p>インデックス紙：</p> <p>A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、11"×17"T□、 8.5"×11"T□/□</p> <p>(詳しくは、p. 3-9をごらんください。)</p>
紙種類	普通紙、上質紙、塗工紙、未印字挿入紙、書籍用紙、ラフ紙、 追い刷り紙は、追い刷りキットPP-701装着時にセット可能 OHPフィルム、第2原図はセット不可
用紙坪量	40 g/m ² ～244 g/m ² (上／下段トレイ)、 40 g/m ² ～350 g/m ² (中段トレイ)
スタック容量	2,000枚×3段 (80g/m ²)
大きさ	809(W) × 780(D) × 1,038(H) mm
質量	150 kg
電源	接続により本体、またはPF-703より供給

■ サクション式大容量給紙トレイPF-703(ヒーターファンユニットHT-505)

名称	PF-703
機能	用紙の給紙
構成	3段給紙トレイ
用紙サイズ	<p>定形サイズ：</p> <p>SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□/□、B5□/□、A5□、 郵政はがき□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、9"×11"□</p> <p>以下の定形サイズを切替えて検知させることができます。</p> <p>A5□のかわりに5.5"×8.5"□、 SRA3□のかわりに12"×18"□、 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.12"×13.2"□、8.25"×13"□、または8.5"×13"□</p> <p>不定形サイズ：</p> <p>最小タテ150 mm×ヨコ133 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>小サイズガイド板使用時：</p> <p>最小タテ95 mm×ヨコ133 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>ワイド紙：</p> <p>A3W□、B4W□、A4W□/□、B5W□/□、A5W□、 12"×18"W□、11"×17"W□、8.5"×11"W□/□、 5.5"×8.5"W□</p> <p>インデックス紙：</p> <p>A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、11"×17"T□、 8.5"×11T□/□</p> <p>(詳しくは、p. 3-10をごらんください。)</p>
紙種類	普通紙、上質紙、塗工紙、追い刷り紙、未印字挿入紙、 書籍用紙、ラフ紙 OHPフィルム、第2原図はセット不可
用紙坪量	40 g/m ² ～244 g/m ² (上／下段トレイ)、 40 g/m ² ～350 g/m ² (中段トレイ)
スタック容量	上段トレイ： 1,300枚 (80g/m ² 紙換算、積載高さ150mm) × 1段 中・下段トレイ： 1,850枚 (80g/m ² 紙換算、積載高さ203.5mm) × 2段
大きさ	871.5(W)×1,038(H)×780(D) mm
質量	186 kg
電源	接続により本体または、PF-703より供給

■ サクション式大容量給紙トレイ PI-PFU (PF-703 + PI-PFU キット FA-501)

名称	PI-PFU
機能	カバー紙等プリントしない表紙、挿入紙の給紙
用紙サイズ	<p>定形サイズ：</p> <p>SRA3口、A3口、B4口、SRA4口、A4口/口、B5口/口、A5口、 12"×18"口、11"×17"口、8.5"×14"口、8.5"×11"口/口、 9"×11"口</p> <p>以下の定形サイズを切替えて検知させることができます。</p> <p>A5口のかわりに5.5"×8.5"口、 SRA3口のかわりに12"×18"口、 8.5"×14"口のかわりに8"×13"口、 8.12"×13.2"口、8.25"×13"口、または8.5"×13"口</p> <p>不定形サイズ：</p> <p>最小タテ150 mm×ヨコ133 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>小サイズガイド板使用時：</p> <p>最小タテ95 mm×ヨコ133 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p>
紙種類	普通紙、上質紙、塗工紙、追い刷り紙、未印字挿入紙、 書籍用紙、ラフ紙 OHPフィルム、第2原図はセット不可
用紙坪量	40 g/m ² ～244 g/m ² (上／下段トレイ)、 40 g/m ² ～350 g/m ² (中段トレイ)
大きさ	871.5(W) × 780(D) × 1,038(H) mm
質量	195 kg
電源	本体より供給

■ 中継搬送ユニットRU-506

名称	RU-506
機能	<p>重ね搬送機能： 片面コピー / プリントモード時に本体からコピー / プリントされた用紙を2枚重ね、反転させて後処理機に搬送する。</p> <p>反転搬送機能： 片面コピー / プリントモード時に本体からコピー / プリントされた用紙を反転させて後処理機に搬送する。</p> <p>搬送機能： 両面コピー / プリントモード時にストレート搬送する。</p>
搬送速度	bizhub PRO 1200 : 120枚/分 (A4□/8.5"×11"□) bizhub PRO 1051 : 105枚/分 (A4□/8.5"×11"□)
用紙サイズ	<p>定形サイズ： SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□/□、B5□/□、A5□、郵政はがき□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□、9"×11"□、8.5"×13"□、8.25"×13"□、8.125"×13.25"□、8"×13"□</p> <p>不定形サイズ： 最小タテ95 mm×ヨコ133 mm～ 最大タテ324 mm×ヨコ463 mm</p> <p>ワイド紙： A3W□、B4W□、A4W□/□、B5W□/□、A5W□、12"×18"W□、11"×17"W□、8.5"×11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p>インデックス紙： A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、11"×17"□/□、8.5"×11"□/□</p>
紙種類	普通紙、上質紙、塗工紙、未印字挿入紙、書籍用紙、ラフ紙、OHPフィルム、第2原図は不可
用紙坪量	40 g/m ² ～350 g/m ²
大きさ	350(W)×775(D)×1,020(H) mm
質量	47 kg

■ ステープルフィニッシャー FS-521

名称	FS-521
機能	ステープル、ストレート排紙、シフト排紙、サブトレイ排紙
排紙方式	マルチトレイ (排紙後処理トレイ1段、非処理トレイ1段)
メイントレイ排紙 (ストレート機能/ シフト機能時) の 用紙サイズ	<p>大サイズ： SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、8K□、13"×19"□、 ワイド紙 (最大324 mm×460 mm)</p> <p>小サイズ： A4□/□、B5□/□、8.5"×11"□/□、16K□/□、9"×11"□、 特小サイズ：A5□/□、B6□、5.5"×8.5"□</p> <p>その他： 不定形サイズ(148 mm(幅)×139 mm(長さ)～ 324 mm(幅)×463 mm(長さ))、 インデックス紙(排紙時タブ後端側は保証外)</p> <p>ストレートのみ： B6□、13"×19"□、5.5"×8.5"□、 不定形サイズ(128 mm(幅)×139 mm(長さ)～ 331 mm(幅)×483 mm(長さ))</p>
メイントレイ排紙 (ストレート機能/ シフト機能時) の 用紙坪量	40～350 g/m ²
メイントレイ排紙 (平とじ機能使用時) の用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、A4□/□、B5□、A5□、 12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、 5.5"×8.5"□/□、8K□、16K□、9"×11"□、ワイド紙、不定形サイズ、 インデックス紙(排紙時タブ後端側は保証外) 最小 203 mm(幅)×139 mm(長さ)/ 最大 324 mm(幅)×463 mm(長さ)
メイントレイ排紙 (平とじ機能使用時) の用紙坪量	50～244 g/m ²
サブトレイ排紙の 用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、A4□/□、B5□/□、 A5□/□、B6□、郵政はがき□、A6□、13"×19"□、 12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、 5.5"×8.5"□/□、9"×11"□、8K□、16K□/□、ワイド紙、 不定形サイズ、インデックス紙(排紙時タブ後端側は保証外) 最小 95 mm(幅)×133 mm(長さ)/ 最大 331 mm(幅)×488 mm(長さ) ※ FS-521 単体時のみ。他のオプションを連結した時は 139 mm。
サブトレイ排紙の 用紙坪量	50～350 g/m ²

大きさ	544(W) ^{*1} × 1020(H) × 723(D) mm *1 幅はメイントレイ含まず メイントレイ含む幅（2分割トレイ収納時）：798 mm メイントレイ含む幅（2分割トレイ引き出し時）：915 mm
質量	80 kg
電源	本体より供給

■ 折り機FD-503

名称	FD-503
機能	パンチ、マルチ折り、ポストインサー（PI）、ストレート排紙
穴数	2穴／3穴
穴径	6.5 ± 0.5 mm (2穴) / 8.0 ± 0.5 mm (3穴)
穴ピッチ	0 ± 0.5 mm (2穴) / 108 ± 0.5 mm (3穴)
穴縦位置	10.5 ± 4 mm (2穴) / 9.5 ± 4 mm (3穴)
パンチ出力時の用紙 坪量	50～216 g/m ² (2枚重ねは50～91 g/m ²)
パンチ出力時の用紙 サイズ	2穴： A3□、B4□、SRA4□、A4□/□、B5□/□、A5□/□、 12" × 18"□、11" × 17"□、8.5" × 14"□、 8.5" × 11"□/□、5.5" × 8.5"□、9" × 11"□、8K□、 16K□/□、8.5" × 11"□、8.25" × 13"□、8.12" × 13.25"□、 8" × 13"□、インデックス紙 3穴： A3□、B4□、A4□、B5□、12" × 18"□、11" × 17"□、 8.5" × 11"□、9" × 11"□、8K□、16K□、インデックス紙
折り種類	Z折り、内3つ折り、外3つ折り、ダブルパラレル折り、 観音折り、中折り
折り時の用紙斤量	Z折り、内3つ折り、外3つ折り、中折り：50～130 g/m ² ダブルパラレル折り、観音折り：50～91 g/m ²
折り出力時の用紙 サイズ	A3□、B4□、SRA4□、A4□、12" × 18"□、11" × 17"□、 8.5" × 14"□、8.5" × 11"□、8K□、不定形サイズ 最小210 mm(幅) × 279 mm(長さ)/最大305 mm(幅) × 458 mm(長さ)
ストレート排紙時の 用紙坪量	40～350 g/m ²

ストレート排紙時の用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、A4□/□、B5□/□、A5□/□、B6□、13"×19"□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□/□、9"×11"□、8.5"×11"□、8.25"×13"□、8.12"×13.25"□、8"×13"□、8K□、16K□/□、ワイド紙、不定形サイズ、インデックス紙(排紙時タブ後端側は保証外) 最小95 mm(幅)×139 mm(長さ)/最大331 mm(幅)×483 mm(長さ)
PI用紙種類	普通紙、再生紙、上質紙、特殊紙
PIのセット用紙坪量	50~300 g/m ²
PIのセット用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、A4□/□、B5□/□、A5□/□、13"×19"□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□、8K□、16K□/□、ワイド紙、不定形サイズ、インデックス紙 最小182 mm(幅)×139 mm(長さ)/最大331 mm(幅)×483 mm(長さ)
PI上段/下段トレイの積載容量	500枚×2段 (80 g/m ²)
大きさ	400 *(W)×723 (D)×1,231 (H) mm * メイントレイ装着、2分割トレイ収納時：667 mm メイントレイ装着、2分割トレイ引き出し時：784 mm
質量	約130 kg
電源	AC外部入力 (電源内蔵)、5Vのみ本体より供給

■ 中とじ機 SD-506

名称		SD-506
機能		重ね折り、中とじ、断裁、通常排紙
重ね折り	折り種類	中折り、3つ折り
	用紙サイズ	中折り： SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□、B5□、 12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□、8.25"×13"□、8.12"×13.25"□、 8"×13"□、8K□、16K□、ワイド紙、不定形サイズ 最小：182 mm(幅)×257 mm(長さ)/ 最大：324 mm(幅)×463 mm(長さ) 3つ折り：A4□、8.5"×11"□
	用紙坪量	中折り：50～244 g/m ² 、3つ折り：50～91 g/m ²
	最大重ね 折り枚数	中折り/3つ折り：5枚 (50～81g/m ²)、 3つ折り：3枚 (82～91g/m ²) 中折り：3枚 (82～130g/m ²)、2枚 (131～244g/m ²)
	積載容量	中折り：30部、3つ折り：20部 満タン検知機能あり
中とじ	用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□、B5□、 12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□、8.25"×13"□、8.12"×13.25"□、 8"×13"□、8K□、16K□、ワイド紙、不定形サイズ 最小：182 mm(幅)×257 mm(長さ)/ 最大：324 mm(幅)×463 mm(長さ)
	用紙坪量	50～244 g/m ²
	ステーブル位置	可変 (90～165 mm)
断裁	用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□、B5□、 12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□、 8.25"×13"□、8.12"×13.25"□、8"×13"□、8K□、 16K□、ワイド紙、不定形サイズ 最小：182 mm(幅)×257 mm(長さ)/ 最大：324 mm(幅)×463 mm(長さ)
	用紙坪量	50～244 g/m ²
	最大断裁 枚数	50枚 (80 g/m ²) × 2 または {49枚 (80 g/m ²) + 1枚 (200 g/m ²)} × 2
ストレー ト排紙	用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□、A4□/□、B5□/□、A5□、 郵政はがき□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□、9"×11"□、Foolscap、 最小95×139 mm～最大331×488 mm 中とじトレイ引き出し時1,441 (D) mm
	坪量	40～350g/m ²
質量		約263 kg
電源		電源内蔵、5Vのみ本体より供給

■ くるみ製本機 PB-502

名称	PB-502
機能	製本トレイ：ホットメルト式製本、断裁 サブトレイ：通常排紙
製本枚数	最小10枚～最大300枚または厚さ30mm以内 カラー紙、マットコート紙は、最大150枚または厚さ15mm 以内 Z折り挿入時の枚数制限はp. 11-35をごらんください。
用紙 サイズ	製本トレイ 本身：A4□、B5□、A5□/□、 製本可能最大サイズ 307 mm × 221 mm 表紙：製本可能最大サイズ 307 mm × 221 mm 製本モードで使用するサイズの詳細はp. 00-00をごらんください。
	サブトレイ SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、A4□/□、B5□/□、 A5□/□、B6□、Foolscap*、郵政はがき□、A6□、 13"×19"□、12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、 8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□/□、9"×11"□、 Executive(7.25"×10.5")□/□、8K□、16K□/□、 不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙（排紙時先端側 のみ。排紙時後端側は保証外） 最小100 mm(幅)×139 mm(長さ)/最大331 mm(幅)× 488 mm(長さ)
用紙坪量	製本トレイ 本身：64 g/m ² ～91 g/m ² 表紙：82 g/m ² ～161 g/m ²
	サブトレイ 50 g/m ² ～300 g/m ²
紙種	製本トレイ 本身：普通紙、上質紙 表紙：上質紙、塗工紙
	サブトレイ 本体で使用する紙種すべて
トレイ 容量	表紙給紙 トレイ 1,000枚 (82 g/m ²) 500枚 (161 g/m ²)
	製本トレイ 最大厚30 mm冊子（約300枚）の場合 11冊×2列（約6,600枚相当） 冊子積載崩れ防止のため、本身枚数に応じて収容部数は 以下のようになります。 10～30枚冊子：50部 31～150枚冊子：35部または上限検知まで 151～300枚冊子：上限検知まで
	サブトレイ 約200枚 (80 g/m ²) (フル検知機能あり)
ウォームアップタイム	約20分
大きさ	1,303 (W) × 775 (D) × 1,223 (H) mm
質量	約210 kg
電源	AC100V 50/60Hz (電源内蔵)
消費電力	1,000W以下

■ 大容量スタッカー LS-505

名称	LS-505
機能	排紙のスタッcker
メイントレイ排紙 (ストレート機能/ シフト機能時) の 用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、A4□/□、B5□、A5□、 Foolscap*、9"×11"□、13"×19"□、12"×18"□、 11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、8K□、16K□、 Executive(7.25"×10.5")□、ワイド紙、 不定形サイズ(最小 210 mm(幅)×148 mm(長さ))/ 最大 331 mm(幅)×483 mm(長さ)) インデックス紙(1~15タブ*)(但し、インデックス紙が入っ た場合はシフト不可)
メイントレイ排紙 (ストレート機能/ シフト機能時) の 用紙坪量	50~244 g/m ²
サブトレイ排紙の 用紙サイズ	SRA3□、A3□、B4□、SRA4□/□、A4□/□、B5□/□、 A5□/□、B6□、Foolscap*、郵政はがき□、A6□、13"×19"□、 12"×18"□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、 5.5"×8.5"□、8.5"×11"□、9"×11"□、 Executive(7.25"×10.5")□/□、8K□、16K□/□、ワイド紙、 不定形サイズ、インデックス紙(排紙時タブ後端側は保証外) 最小 95 mm(幅)×139 mm(長さ)/最大 331 mm(幅)× 488 mm(長さ)
サブトレイ排紙の用 紙坪量	40~350 g/m ²
大きさ	785 (W) × 723 (D) × 1,020 (H) mm
質量	110 kg
電源	電源内蔵、5Vのみ本体より供給

■ リムーバブルHDD取付けキットRH-101 (リムーバブルHDDインナーケースキットHD-511)

名称	RH-101
機能	<p>リムーバブル管理：</p> <p>本体に内蔵されている本体ハードディスクとIPハードディスクをリムーバブルHDDユニットHD-511に取り付け、リムーバブルHDD インナーケースキットRH-101に挿入する。</p> <p>ユーザーごとに本体ハードディスクを切替えて使用することが可能。また、本体ハードディスクを本体から切り離し保管が可能なため、セキュリティーが向上。</p>
大きさ	<p>リムーバブルHDD取付けキットRH-101：</p> <p>260 (W) × 150 (D) × 110 (H) mm</p> <p>リムーバブルHDDインナーケースキットHD-511：</p> <p>192 (W) × 125 (D) × 42 (H) mm</p>
質量	<p>リムーバブルHDD取付けキットRH-101：2.4 kg</p> <p>リムーバブルHDDインナーケースキットHD-511：0.85 kg</p>
電源	本体より供給 (DC12V、5V)

コピー操作

8 基本的なコピー
のしかた

9 基本設定

10 応用設定

11 出力設定

12 ジョブリスト

13 コピー操作
補助機能

基本的なコピーのしかた

第8章

基本的なコピーのとり方について説明します。

基本的なコピーの流れ	8-2
原稿をセットする	8-6
■ ADFに原稿をセットする.....	8-6
■ 原稿ガラスに原稿をセットする	8-9
コピー部数を設定する	8-10
■ コピー部数を設定する.....	8-10
■ 設定したコピー部数を変更する	8-11
ウォームアップ中にコピーする	8-12
現在読み込中/出力中のジョブを停止する	8-15

基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

第
8
章

基本的な
コピーのしかた

基本的なコピーの流れ

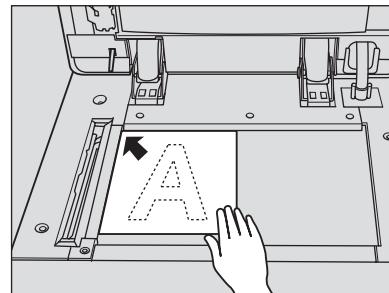
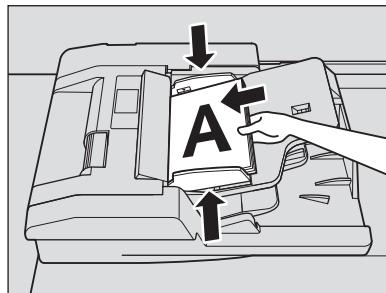
コピーをとるときの基本的な操作手順を説明します。



以下に説明する操作手順は基本的なもので、設定したコピー条件全ての操作に共通するものではありません。それぞれの操作手順に従ってください。

手順

1. 原稿をセットします。



原稿セットのp. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2. コピー画面を表示させます。

初期設定では最初、機械状態画面が表示されています。機械状態画面の [コピー] タブを押して、コピー画面を表示させます。



3. コピー条件を設定します。

コピー画面から設定できるコピー条件は下記の通りです。

〔原稿設定〕: p. 9-2をごらんください。

〔連続読み込み〕: p. 9-20をごらんください。

〔画質設定〕: p. 9-24をごらんください。

〔倍率設定〕: p. 9-31をごらんください。

〔トレイ設定〕: p. 9-44をごらんください。

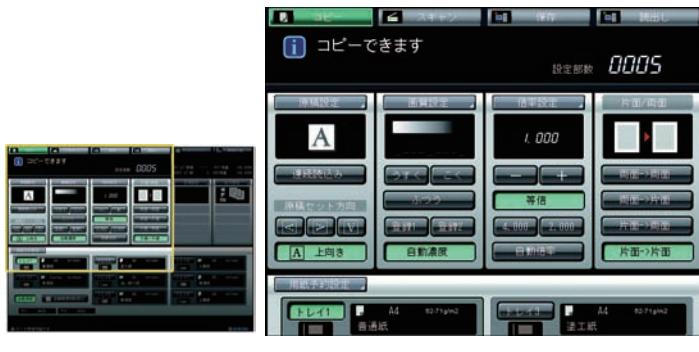
〔応用設定〕: p. 10-2をごらんください。

〔出力設定〕: p. 11-2をごらんください。

〔用紙予約設定〕: p. 9-44をごらんください。

〔自動画像回転禁止〕: p. 9-56をごらんください。

4. テンキーでコピー部数を設定します。



操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。設定部数はタッチパネルに表示されます。コピー部数の詳細は、p. 8-10 「コピー部数を設定する」をごらんください。

5. 操作パネルの【スタート】を押します。



原稿読み込みが開始されると、コピー画面にポップアップ画面が表示されます。

初期設定で機械状態画面/ジョブリスト画面表示が設定されている場合：



初期設定でコピー画面表示が設定されている場合：



〔はい〕または〔閉じる〕を押すと、コピー画面にもどり、引き続きコピー予約ができます。詳細は、p. 9-58「コピー予約」をごらんください。



- 電源投入時に表示される画面を機械状態画面（初期設定）、コピー画面、ジョブリストの3つから選択できます。選択された画面によってポップアップ画面の表示内容が変わります。詳細は、POD管理者編をごらんください。
- ジョブリスト画面では、出力の順番を変更したり、ジョブを削除したりできます。詳細は、p. 12-2をごらんください。
- 濃度が高い（濃い）原稿を20枚、30枚と連続でプリントすると、コピー画像が安定しなくなることがあります。コピー画像を安定化させるため、複写速度を自動的におとすことができます。詳細は、POD管理者編をごらんください。

〔いいえ〕を押すと、機械状態画面またはジョブリスト画面にもどります。



ジョブリストに現在進行中のジョブが表示され、右上には設定部数と出力した部数が表示されます。

原稿をセットする

コピーするときは、原稿をADFまたは原稿ガラスにセットします。

■ ADFに原稿をセットする

ADFはセットした原稿を自動的に1枚ずつスキャンします。



ADFにセットできる原稿サイズについては、p. 3-17をごらんください。

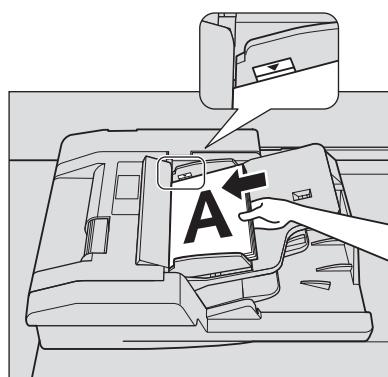
通常モードのセット手順

1 原稿を1ページ目から順に揃えます。

2 コピーする面（両面原稿の場合は1ページ目）を上にしてセットします。

基本設定画面に表示されている原稿セット方向アイコンに合わせて原稿をセットします。

一度に100枚の原稿をセットできます。

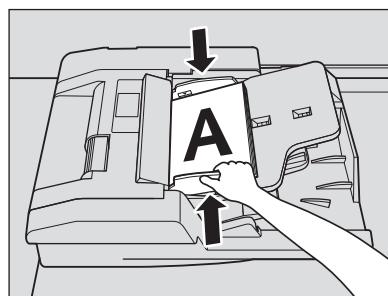


• セットする原稿は100枚以内に、また原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットしないでください。紙づまりを起こし、原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。

• 原稿セット方向を間違えると希望するコピーが得られないことがあります。特に両面コピー、ステープル、中とじ、重ね中折り、小冊子のときは守ってください。詳細は、p. 9-2をごらんください。

• クリップ止めやステープルされている原稿は絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。詳細は、p. 3-16をごらんください。

3 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



ADFを使用するときは、途中でADFを開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。



• 両面コピーをとるときは、コピーのとじ方向設定をご確認ください。詳細は、p. 11-2をごらんください。

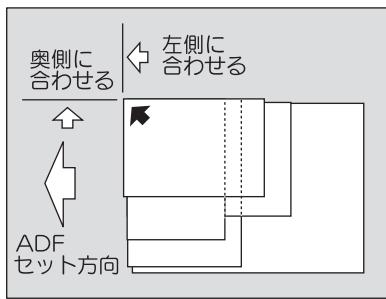
• 両面原稿をコピーするときは、原稿のとじ方向をご確認ください。詳細は、p. 9-4をごらんください。

混載原稿モードのセット手順

サイズが異なる原稿をADFにセットして、自動的に1枚ずつスキャンします。

1 原稿を1ページ目から順に揃えます。

サイズの違う原稿は、ADFに対して左側と奥側を揃えます。



参考

- 混載原稿の設定方法の詳細は、p. 9-6をごらんください。
- ADFに混載できる原稿サイズに関しては別に説明しています。詳細は、p. 3-17をごらんください。



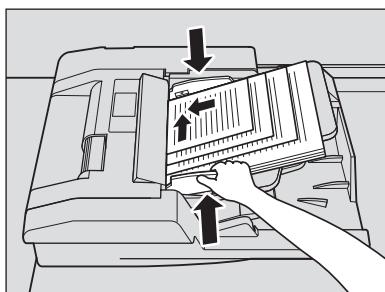
- クリップ止めやステープルされている原稿は絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。詳細は、p. 3-16をごらんください。
- セットする原稿は100枚以内に、また原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットしないでください。紙づまりを起こし、原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。

2 コピーする面（両面原稿の場合は1ページ目）を上にしてセットします。

サイズの違う原稿はすべて左側と奥側をADFに突き当てるでセットします。

一度に100枚の原稿をセットできます。

3 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



ADFを使用するときは、途中でADFを開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。

■ Z折れ原稿モードのセット手順

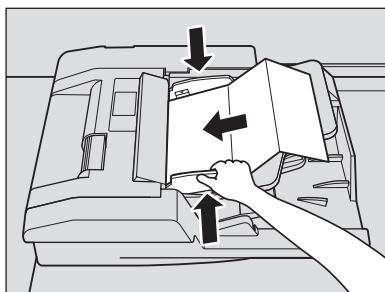
サイズ検知がうまく作動しないZ折れ原稿をADFにセットして、確実に原稿サイズを検知し、自動的に1枚ずつスキャンします。

1 原稿を1ページ目から順に揃えます。

2 コピーする面（両面原稿の場合は1ページ目）を上にしてセットします。

一度に100枚の原稿をセットできます。

3 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



- Z折れ原稿の設定方法の詳細は、p. 9-8をごらんください。
- Z折れ原稿サイズに関しては別に説明しています。詳細は、p. 3-18をごらんください。



- クリップ止めやステープルされている原稿は絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。詳細は、p. 3-16をごらんください。
- セットする原稿は100枚以内に、また原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットしないでください。紙づまりを起こし、原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。



ADFを使用するときは、途中でADFを開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。

■ 原稿ガラスに原稿をセットする

ADFにセットできない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーします。

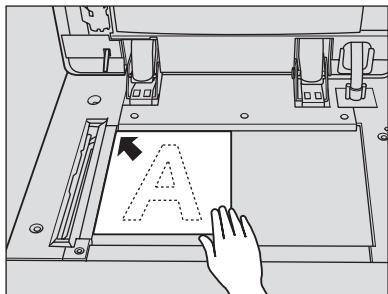


ADFにセットできない原稿については別に説明しています。詳細は、p. 3-16をごらんください。

1 ADFを開きます。

2 コピーする面を下に向け、左奥側につきあわせてセットします。

基本設定画面に表示されている原稿セット方向アイコンに合わせて原稿をセットします。



原稿セット方向を間違えると希望するコピーが得られないことがあります。特に両面コピー、ステープル、中とじ、重ね中折り、小冊子のときは守ってください。詳細は、p. 9-2をごらんください。



詳しく述べます
応用設定のブック連写、イメージリピートの画像サイズ自動検出モード、センタリングを設定しているときは、ADFを閉じずに原稿をスキャンします。

3 ADFを閉じます。

基本的な コピーの流れ
原稿を セットする
コピー部数を 設定する
ウォームアップ 中にコピーする
ジョブを 停止する
第8章 基本的なコピーのしかた

コピー部数を設定する

コピー部数の設定および変更の手順について説明します。

■ コピー部数を設定する

初期設定は、ソート出力します。設定する出力の数値は、原稿のコピー部数になります。



オプション構成や初期設定の変更によって出力モードは異なります。

- 1 操作パネルのテンキーを押してコピー部数を入力します。



タッチパネルに入力した部数が表示されます。

■ 設定したコピー部数を変更する

設定した部数を変更するときは、下記の手順に従って変更します。

1 操作パネルの【C】を押します。

タッチパネルの部数表示が「0001」にもどります。



基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

第8章
基本的なコピーのしかた

2 操作パネルのテンキーを押して、新たなコピー部数を入力します。

タッチパネルに入力した部数が表示されます。

ウォームアップ中にコピーする

電源をオンにして出力できるまでのウォームアップ中に、コピー条件を設定し、原稿をスキャンして、コピー可能になったときに自動的に出力することができます。この機能を使用できないように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。

1 電源スイッチをオンにします。

主電源スイッチと副電源スイッチを操作して電源を入れます。



電源の入れ方については、詳細は、p. 2-41をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、「コピー予約できます」というメッセージを確認します。

ウェイクアップ画面につづき、ウォームアップ表示されている機械状態画面が表示されます。機械状態画面の[コピー]タブを押してコピー画面を表示させ、「コピー予約できます」というメッセージが表示されているのを確認します。



3 原稿をセットします。



原稿のセット方法の詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

4 コピー条件/コピー部数を設定します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

5 操作パネルの【スタート】を押します。

原稿読み込みが開始されると、コピー画面にポップアップ画面が表示されます。

初期設定で機械状態画面/ジョブリスト画面表示が設定されている場合：



電源投入時に表示される画面を機械状態画面(初期設定)、コピー画面、ジョブリスト画面の3つから選択できます。選択された画面によってポップアップ画面の表示内容が変わります。

初期設定でコピー画面表示が設定されている場合：



基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

第8章
基本的なコピーのしかた

ウォームアップ中にコピーする(つづき)

〔はい〕または〔閉じる〕を押すと、コピー画面にもどり、引き続きコピー予約ができます。詳細は、p. 9-58をごらんください。

〔いいえ〕を押すと、機械状態画面またはジョブリスト画面にもどります。



ジョブリストに現在進行中のジョブが表示され、右上には設定部数と出力した部数が表示されます。

現在読込中/出力中のジョブを停止する

現在進行中のジョブの原稿読み込み、出力、またはその両方を停止したいときに行います。



ここで停止できるのは進行中のジョブです。コピー予約して待機状態にあるジョブを停止する場合は、ジョブリスト画面を表示させて行います。詳細は、p. 12-3をごらんください。

1 ジョブ進行中に、操作パネルの【ストップ】を押します。

進行中のジョブの動作が一時停止し、ポップアップ画面が表示されます。

詳しく説明します

コピー予約の原稿スキャンを開始した直後に表示されるポップアップ画面を表示させたまでは、【ストップ】を押してもジョブを停止できません。p. 8-4の手順に従ってポップアップ画面のボタンを押し、そのポップアップ画面を消してください。

2 ポップアップ画面の任意のボタンを押します。

進行中のジョブによって、下記のポップ画面が表示されます。

原稿を読み込みながら出力していた場合：

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。引き続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。

詳しく説明します

このとき、原稿読み込み、出力のどちらかだけを中止することはできません。中止すると、途中まで読み込まれたデータは消去されます。



基本的な
コピーの流れ
原稿を
セットする
コピー部数を
設定する
ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

基本的な
コピーの
しかた

連続読み込みモードなどで原稿を読み込み中の場合：

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。引き続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。



中止すると、途中まで読み込まれたデータはすべて消去されます。

一括出力中の場合：

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。引き続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。



中止すると、読み込まれたデータはすべて消去されます。

プログラムジョブを選択して、出力中の場合：

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。部数区切り分出力後、出力ジョブを中止するときは〔一部出力〕を押します。引き続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。



中止すると、読み込まれたデータはすべて消去されます。

出力中にコピー予約の原稿スキャン中の場合 :

コピー予約の原稿読み込みを中止するか、出力中のジョブを中止するか、あるいはその両方を中止するかを選択します。

(1) 出力中にコピー予約の原稿読み込みを開始します。コピー予約のポップアップ画面が表示されます。

(2) [いいえ] を押して、機械状態画面にもどします。



詳しく説明します

中止されたジョブの読み込みデータはすべて消去されます。

(3) 操作パネルの【ストップ】を押します。原稿読み込みを中止し、下記のポップアップ画面が表示されます。

(4) どのジョブを中止するか選択します。

[読み込み] を押すと、コピー予約の原稿読み込みを中止し、引き続き出力を行います。

[出力] を押すと、出力を中止し、引き続き原稿読み込みを行います。

[読み込み/出力] を押すと、読み込み、出力の両方を中止します。

[継続] を押すと、両方のジョブを再開します。

詳しく説明します

コピー画面の表示が初期設定になっている場合は、[閉じる] を押します。[機械状態] タブを押して機械状態画面を表示させます。



基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

第8章
基本的なコピーのしかた

基本設定

第9章

基本的なコピーのとり方について説明します。

原稿設定	9-2
■ 原稿セット方向を設定する：原稿セット方向	9-2
■両面原稿のとじ方向を設定する：両面とじ方向	9-4
■ サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿	9-6
■ Z折れ原稿をコピーする：Z折れ原稿	9-8
■ ADFに原稿を1枚セットしてコピーする：1枚送り	9-10
■ 不定形サイズの原稿をコピーする：不定形サイズ	9-14
■ インデックス原稿をコピーする：インデックス紙サイズ	9-18
連続読み込み	9-20
画質設定	9-24
■ コピー濃度を調整する：濃度設定	9-24
■ 下地を調整する：下地調整	9-26
■ 原稿画質に合わせてコピーする：原稿画質	9-27
■ 画像の輪郭を調整する：シャープネス	9-29
■ 画像判別を調整する：文字/写真判別	9-30
倍率設定	9-31
■ 等倍でコピーする	9-31
■ 等倍を変更してコピーする	9-32
■ コピー画面の〔-〕〔+〕で倍率を変更する	9-34
■ 自動的に倍率を選択させる：自動倍率	9-35
片面/両面	9-36
■ ADFを使って両面コピーをとる	9-36
■ 原稿ガラスを使って両面コピーをとる	9-39
■ 両面原稿から片面コピーをとる	9-42
用紙設定	9-44
■ トレイに設定されていない用紙設定でコピーする：用紙予約設定	9-44
■ 自動的に用紙サイズを選択させる：自動用紙	9-54
■ 自動画像回転をオフ/オンする	9-56
コピー予約	9-58
基本設定と併用できないコピー条件	9-60

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

基本設定
第9章

原稿設定

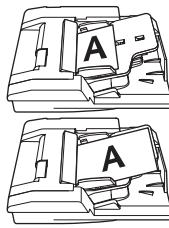
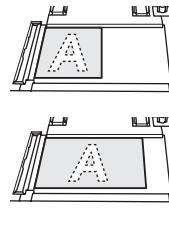
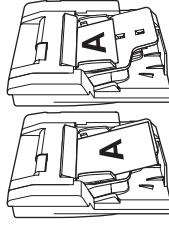
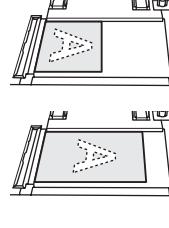
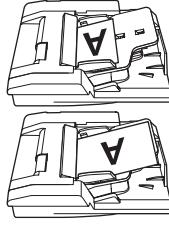
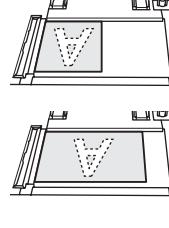
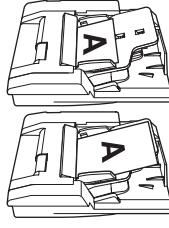
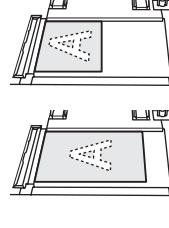
コピーをとる原稿の種類やセット方向を設定する方法を説明します。

■ 原稿セット方向を設定する：原稿セット方向

ADFや原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定します。

以下の設定を行う場合、ADFや原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定しないと、希望通りのコピーができないことがあります。

- 両面原稿のコピー
- 両面コピー
- 集約
- 小冊子
- ブック連写
- ステープルなど

ADFにセット	原稿ガラスにセット	選択ボタン	説明
 	 	コピー画面  原稿設定画面 	原稿の天部(上側)を奥側にしてセットしたとき、選択します。出荷時設定では、これが選択されています。
 	 	コピー画面  原稿設定画面 	原稿の天部(上側)をADFの左側にしてADFに原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部(上側)を原稿ガラスの右側にして原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。
 	 	コピー画面  原稿設定画面 	原稿の天部(上側)を手前側にセットしたとき、選択します。
 	 	コピー画面  原稿設定画面 	原稿の天部(上側)をADFの右側にしてADFに原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部(上側)を原稿ガラスの左側にして原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、「原稿セット方向」下の任意の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。



コピー画面の【原稿設定】を押して原稿設定画面を表示させても、同様に原稿セット方向を設定することができます。

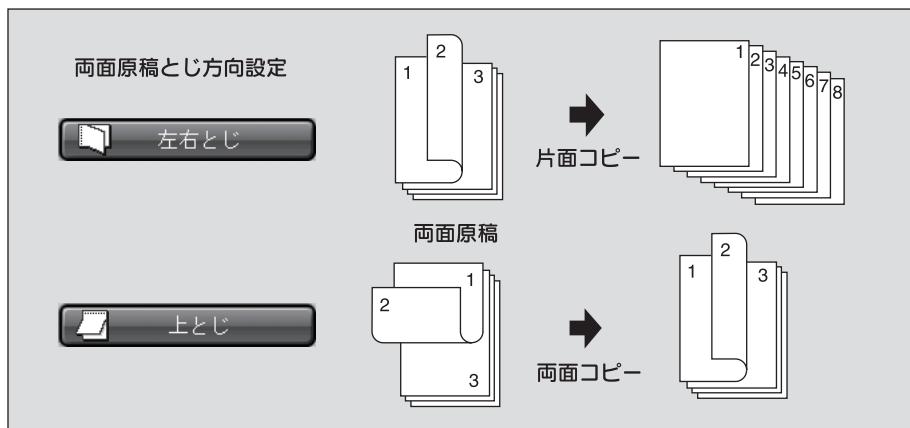
- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

■ 両面原稿のとじ方向を設定する：両面とじ方向

両面原稿を片面や両面コピーするとき、初期設定では原稿の天地と同じコピーになります。両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で、片面/両面コピーを左右とじ（オモテ面とウラ面の天地を同じ）にしたいとき、設定します。



両面原稿が左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）で両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地を逆）にしたいときは、両面コピーのとじ方向の設定をします。詳細は、p. 11-2をごらんください。



- 上とじが機能するのは、両面設定で両面->両面、両面->片面を選択したときだけです。
- 機械がリセットされると、両面とじ方向は「左右とじ」にもどります。
- 両面とじ方向と出力設定のとじ方向を自動的に合わせるように設定されています。詳細はPOD管理者編をごらんください。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、「片面/両面」の〔両面→両面〕または〔両面→片面〕を押して反転させます。

3 [原稿設定] を押します。

原稿設定画面が表示されます。

4 「両面とじ方向」の〔上とじ〕を押して反転させます。



詳しく説明します

このとき手順2で両面原稿モードを設定していないと、「とじ方向の設定は両面モード時のみ有効です」と表示され、上とじの設定は機能しません。

5 [OK] を押します。

コピー画面にもどります。



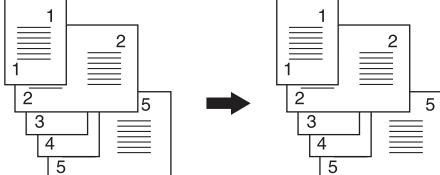
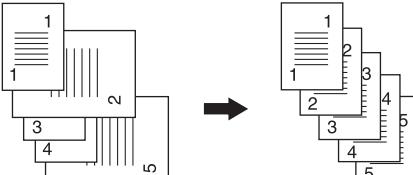
詳しく説明します

〔標準復帰〕を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

■ サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿

サイズの違う原稿をADFにセットし、自動紙サイズ選択機能または自動倍率選択機能と併用してコピーします。

選択項目	説明
自動用紙選択	原稿と同じサイズの用紙にコピー 
自動倍率選択	原稿ごとに適正倍率を自動設定し、全て同じサイズの用紙にコピー 



- 原稿はADFにセットします。
混載できる原稿サイズの組合せは、ADFガイド板の開き幅で変わります。詳細は、p. 3-17をごらんください。
- 原稿は100枚以上セットしないでください。原稿つまりや原稿破損の原因になります。また、機械故障の原因になります。原稿が100枚を超える場合は、原稿を分割して読み込ませます。詳細は、p. 9-20「連続読み込み」をごらんください。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、連続読み込みモードを使用します。詳細は、p. 9-20「連続読み込み」をごらんください。
- 混載機能を設定すると、自動用紙選択が自動的に機能します。自動倍率選択を使って同じサイズの用紙にコピーしたい場合は、自動倍率選択を設定します。

1 原稿をセットします。

サイズの違う原稿はADFに対して左側と奥側を揃えてセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定] を押します。

原稿設定画面が表示されます。

3 [混載原稿] を押して反転させます。



- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

第9章 基本設定

4 [OK] を押します。

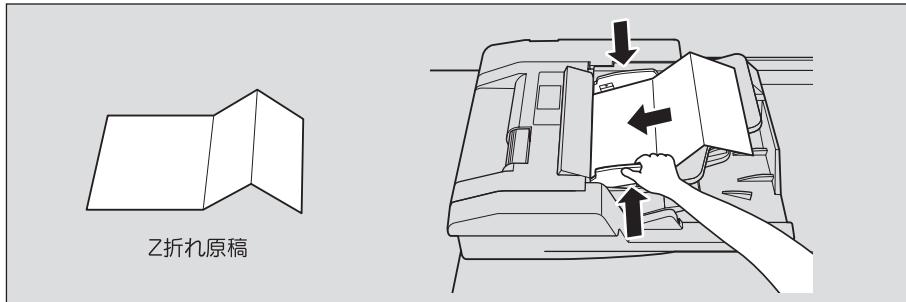
コピー画面にもどります。



[標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

■ Z折れ原稿をコピーする：Z折れ原稿

Z折れ原稿をADFにセットすると、原稿の浮きによりADFのサイズ検知センサーがうまく機能しないことがあります。このモードを設定すると、原稿をスキャンしながら原稿サイズを確実に検知します。



- 原稿はADFにセットします。
- 原稿サイズの検知にスキャン動作が加わるため、通常よりコピーに時間がかかります。

1 ADFに原稿をセットします。

Z折れ原稿とそのほかの原稿と一緒にセットしても問題ありません。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定] を押します。

原稿設定画面が表示されます。

3 [Z折れ原稿] を押して反転させます。



4 [OK] を押します。

コピー画面にもどります。



詳しく説明します

[標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

原稿設定

連続読み込み

画質設定

倍率設定

片面/両面

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

基本設定

■ ADFに原稿を1枚セットしてコピーする：1枚送り

ADFを使用して通常モードでは給紙できない厚紙原稿やトラブルを起こす可能性のある貼り合わせの原稿を1枚ADFにセットしてコピーします。

1枚送りはADFに原稿をセットしてから操作パネルの【スタート】を押してコピーします。



ADFに原稿をセットすると【スタート】を押さなくても自動的に原稿を給送してスキャンするようになります。

詳細は、POD管理者編をごらんください



- 原稿はADFに1枚セットします。
- 【スタート】を押して原稿を給送する場合と、ADFにセットしたと同時に給送する場合とでは手順が異なります。この設定をするのは管理者です。管理者にご確認ください。

操作パネルの【スタート】を押して給送する手順

1 コピー画面を表示させ、【原稿設定】を押します。
原稿設定画面が表示されます。

2 【1枚送り】を押して反転させます。



3 [OK] を押します。

コピー画面にもどります。

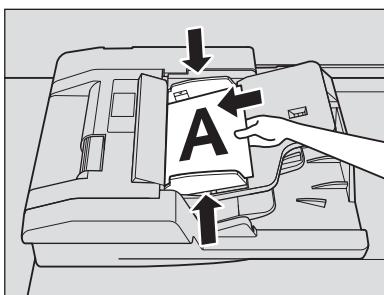


【標準復帰】を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。

【キャンセル】を押すと、設定前の状態にもどります。

4 ADFに原稿を1枚セットします。

原稿を1枚、コピーする面を上にしてセットします。原稿ガイドを原稿に沿わせます。



原稿が複数枚ある場合でも原稿は1枚セットして【スタート】を押す操作を繰り返してください。
【1枚送り】を設定してADFに複数枚の原稿をセットすると、重送などのトラブルの原因になります。

5 そのほかのコピー条件を設定して、【スタート】を押します。

原稿が給送され、スキャンして出力します。

原稿設定

連続読み込み

画質設定

倍率設定

片面/両面

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

自動的に原稿を給送する手順

1 コピー画面を表示させ、[原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。

2 [1枚送り] を押して反転させます。



3 [OK] を押します。
コピー画面にもどります。

詳しく説明します



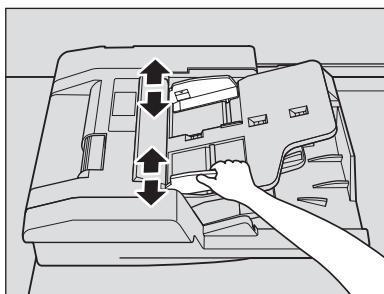
[標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

4 [連続読み込み] を押します。

5 そのほかのコピー条件を設定します。

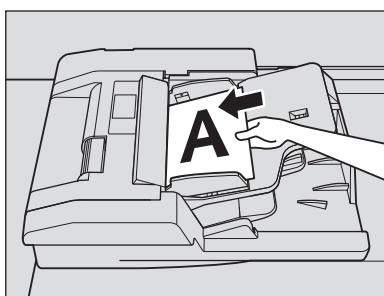
6 ADFのガイド板を調整します。

原稿をセットしないで原稿ガイド板を原稿に合わせて調整します。



7 ADFに原稿を1枚セットします。

原稿を1枚、コピーする面を上にしてセットします。



原稿が複数枚ある場合でも原稿は1枚セットしてください。〔1枚送り〕を設定してADFに複数枚の原稿をセットすると、重送などのトラブルの原因になります。

自動的に給送され、スキャンして出力します。

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

基本設定
第9章

■ 不定形サイズの原稿をコピーする：不定形サイズ

通常、ADFや原稿ガラスにセットされた原稿は、セット時にサイズを検知して定形サイズとして原稿サイズを振り分け、定形サイズの範囲をスキャンしてコピーします（定形サイズモード）。

原稿設定の不定形サイズモードを選択すると、セットした原稿サイズに関係なく、設定したサイズの範囲内をスキャンしてコピーします。

スキャンする原稿サイズは、定形サイズ、サイズ入力、または全面から選択します。

定形サイズ：A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、A5□、はがき、11"×17"□、
8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□

サイズ入力：最小タテ95 mm×ヨコ133 mm～最大タテ324 mm×ヨコ463 mm
用紙の不定形登録サイズから選択が可能です。

全面：定形サイズモードでスキャンすると白紙でコピーされるような小さい原稿を確実にスキャンしコピーします。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔原稿設定〕を押します。

原稿設定画面が表示されます。

3 「不定形サイズ」を押します。



不定形サイズ設定画面が表示されます。

4 読込む原稿サイズを指定します。

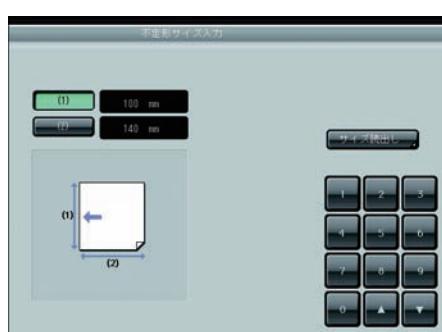
サイズボタンから選択 :

任意の定形サイズボタンを押して反転させます。原稿がどんなサイズでも指定した定形サイズの範囲をスキヤンします。



[サイズ入力] を選択 :

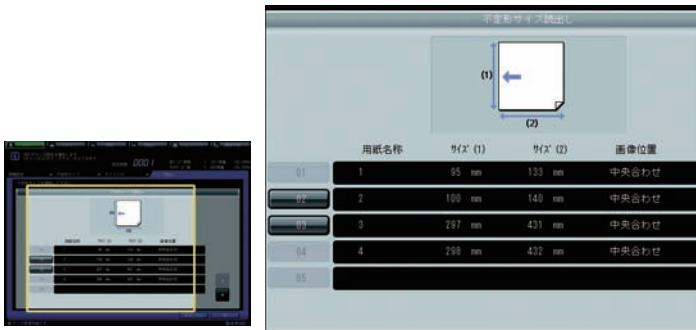
- (1) [サイズ入力] を押します。
- (2) 原稿サイズのタテ／ヨコの数値を設定する [(1)] / [(2)] ボタンを押して反転させ、テンキーまたは[▲] [▼] を押して任意の原稿サイズを入力します。このとき入力できるのは、タテ 182mm以上～最大 297mm、ヨコ 140mm以上～最大 431mm です。



原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

- (3) あらかじめ登録していた不定形サイズを呼び出すときは、[サイズ読み出し] を押します。
 [▲] [▼] を押して登録リストを表示させ、任意の No. ボタンを押して反転させ、原稿サイズを選択します。



- (4) [OK] を押します。[サイズ入力] の右側に設定したサイズが表示されます。



[全面] を選択 :

白紙でコピーされる小さい原稿をコピーするときは、
 [全面] を押して選択します。



5 [OK] を押します。
 原稿設定画面にもどります。

6 [OK] を押します。
コピー画面にもどります。



[標準復帰] を押すと、原稿設定
は初期設定状態にもどります。
[キャンセル] を押すと、設定前の
状態にもどります。

原稿設定

連続読み込み

画質設定

倍率設定

片面/両面

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

基本設定

■ インデックス原稿をコピーする：インデックス紙サイズ

通常、ADFや原稿ガラスにセットされた原稿は、セット時にサイズを検知して定形サイズとして原稿サイズを振り分け、定形サイズの範囲をスキャンしてコピーします（定形サイズモード）。

インデックス紙を給紙トレイにセットして、インデックス紙モードを使用すると、定形+インデックス部分の範囲をスキャンし、インデックス部分も含めてコピーします。

また、右部にインデックス用の印刷がされている定形原稿をインデックス紙モードでコピーすると、自動的に右側に12.5mmシフトさせ、インデックス部分にコピーします（インデックス紙プリント自動シフト）。



- インデックス紙を給紙トレイにセットする方法は、p. 4-31「インデックス紙をセットする」をごらんください。
- インデックス紙プリント自動シフト機能を使用するしないは、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。



- 用紙設定で用紙側のインデックス紙は定形／不定形の設定やインデックス部分の幅も任意に設定できますが、原稿側のコピーできるサイズは定形でインデックス部分の幅は、最大12.5mmです。
- インデックス紙を給紙トレイにセットしてコピーしたとき、不要インデックス紙排紙機能が働きます。詳細は、POD管理者編をごらんください。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定] を押します。

原稿設定画面が表示されます。

3 [インデックス紙サイズ] を押します。

インデックス紙サイズ設定画面が表示されます。



4 任意のサイズボタンを押します。



5 [OK] を押します。 原稿設定画面にもどります。

6 [OK] を押します。 コピー画面にもどります。



詳しく説明します

〔標準復帰〕を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

原稿設定

連続読み込み

画質設定

倍率設定

片面/両面

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

連続読み込み

大量にある原稿をいくつかに分けて読みませることができます。

ADFに一度にセットできる原稿枚数は100枚までですが、連続読み込みモードを使用することにより、100枚を超える原稿を1つのジョブとして扱うことができます。

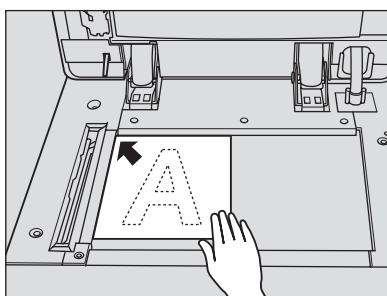
また、原稿ガラスで読みませた複数枚の原稿を1つのジョブとして扱ったり、ADFのジョブと原稿ガラスのジョブを組み合わせて1つのジョブとして扱うこともできます。



- 連続読み込みモードに設定しても、ADFにセットできる原稿枚数は変わりません。原稿は100枚または、積載制限マーク（▼）を超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因になります。
- 以下の機能は連続読み込みモードが前提です。
原稿ガラスを使用して両面コピー
差込ページ
ブック連写
プログラムジョブ
登録オーバーレイの画像登録

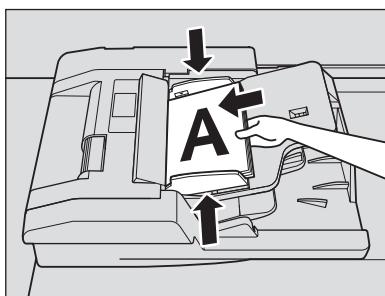
1 原稿をセットします。

原稿ガラスを使用する場合、最初のページからコピーする面を下にしてセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

ADFを使用する場合、ページ順にそろえた原稿の1ページ目を上にしてセットします。



2 コピー画面を表示させて、任意のコピー条件を設定します。

3 【連続読み込み】を押して反転させます。



連続読み込みモードになります。設定したコピー条件によってはすでに【連続読み込み】が反転していることがあります。

4 操作パネルの【スタート】を押します。



詳しく説明します

読み込み設定を変更する場合は、
【設定変更】を押します。

読み込みが開始されます。

連続読み込み(つづき)

読み込みが完了するとポップアップ画面が表示されます。
ひき続き同じコピー条件で読み込むときは、手順**5**に進みます。

次に読み込むコピー条件を変更したいときは、[設定変更]を押します。



変更可能なコピー条件のボタンのみ機能するコピー画面が表示されます。



設定を変更し、手順**5**に進みます。

5 次の原稿をセットし、操作パネルの【スタート】を押します。

詳しく説明します



読み込んだ画像データを削除したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳細は、p. 8-15をごらんください。

詳しく説明します

コピー画面右上のメモリー残量表示で、原稿読み込み中のメモリー残量を確認できます。

全ての原稿を読み込むまで手順**4**～**5**の操作を繰り返します。

6 全ての原稿をスキャンした後、【読み完了】を押します。



7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。



一括出力されます。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。



出力を停止したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳細は、p. 8-15をごらんください。

- 原稿設定
- 連続読み込み**
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

画質設定

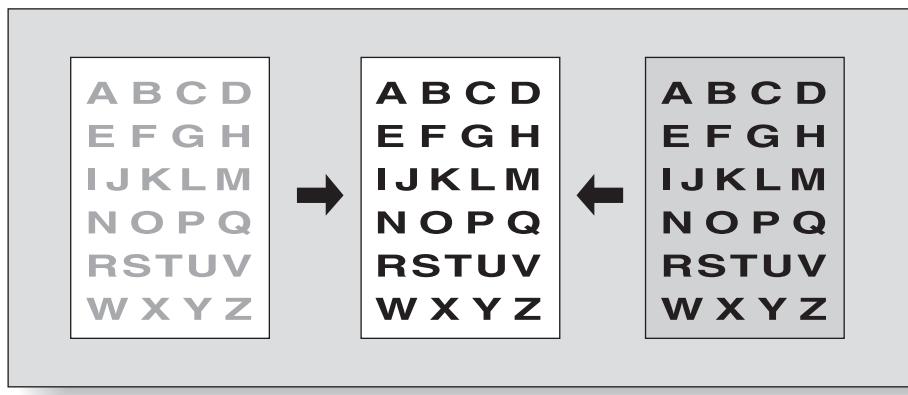
コピー画像の濃度を調整します。また、原稿の画質を設定してコピー画質を調整します。

■ コピー濃度を調整する：濃度設定

初期設定では自動濃度が設定されていて、原稿スキャン時に原稿の濃度レベルを検知し、自動的に適正濃度を選択してコピーします。

濃度調整：自動濃度で選択される濃度よりも濃くまたはうすくコピーします。

ここでは、濃度調整の方法を説明します。



登録濃度の設定や詳細は、濃度調整（原稿画質の濃度シフト、写真モード濃度調整、画像濃度調整）は、設定メニュー画面で行います。POD管理者編をごらんください。

- 登録濃度：

4つの原稿画質モードから1つ、9段階の濃度設定から1つ、9段階の下地調整から1つをそれぞれ選択し、その組み合わせを登録濃度として設定登録します。

登録濃度は2つできます。

- 原稿画質の濃度シフト：

下記の濃度調整で9つの濃度レベルからコピー濃度を選択できますが、その濃度レベルを濃い方に3段階、うすい方に3段階シフトすることができます。この濃度シフトは原稿画質の4つのモードに対してそれぞれ個別に機能します。この設定は設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。

- 写真モード濃度選択：

原稿画質の写真モード選択時の濃度レベルを選択できます。

- 画像濃度選択：

通常の濃度調整では調整できる濃度の最大/最小値は変更されませんが、設定メニュー画面でその幅を変更することができます。例えば、表中はがきや本の印刷など全体的に画像を薄くしたいとき、画質を落とさずコピーすることができます。なお、この設定は原稿画質の濃度シフトにも有効になります。

1 原稿をセットします。

2 コピー画面を表示させ、コピー画像を濃くしたいときは〔こく〕、うすくしたいときは〔うすく〕を押します。



初期設定されている濃度レベルの中間の濃度にする場合は〔ふつう〕を押します。

自動濃度を使用するときは、〔自動濃度〕を押します。
登録濃度を選択するときは、〔登録 1〕または〔登録 2〕を押します。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

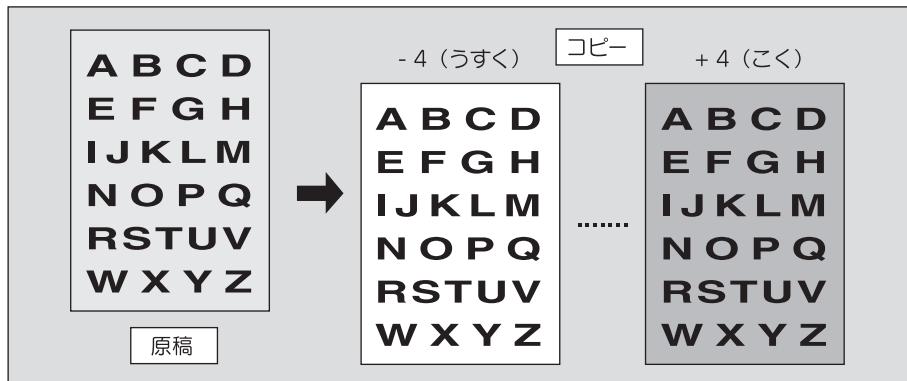


コピー画面の〔画質設定〕を押して画質設定画面を押しても同様のコピー濃度設定ができます。

- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

■ 下地を調整する：下地調整

新聞紙や再生紙など地肌の白色度が低い原稿をコピーするときは、下地調整をします。



1 原稿をセットします。

2 コピー画面を表示させ、[画質設定] を押します。
画質設定画面が表示されます。

3 下地調整をします。

「下地調整」表示下の〔うすく〕〔ふつう〕〔こく〕を押して「-4」～「+4」の任意の表示を選択します。



4 コピー画面にもどります。
〔OK〕を押します。



原稿セットの詳細は、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。



〔標準復帰〕を押すと、画質は初期設定状態にもどります。

〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

■ 原稿画質に合わせてコピーする：原稿画質

原稿の画質に合わせて下記モードを選択し、よりよいコピー画質に調整します。

文字／写真：1枚の原稿にある文字と写真の両方を適切な画質でコピーします。

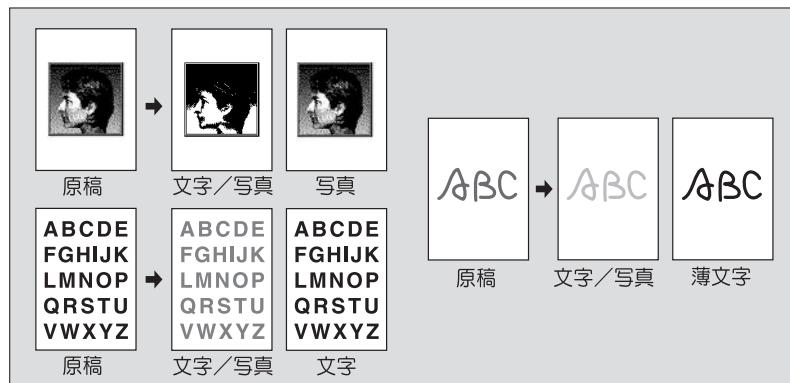
薄文字：鉛筆で書かれたようなコントラストのない原稿を、コントラストを付けてはっきりしたコピーにします。

写真：中間濃度の階調性を向上させて、文字／写真モードでは再現できないハーフトーンの原稿に近いコピーにします。

文字：文字の再現性を重視し、コントラスト強調したコピーにします。



原稿画質の濃度シフト：前項の濃度調整で9つの濃度レベルからコピー濃度を選択できますが、その濃度レベルを濃い方に3段階、うすい方に3段階シフトすることができます。この濃度シフトはこの4つのモードに対してそれぞれ個別に機能します。この設定は設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください



- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[画質設定] を押します。

画質設定画面が表示されます。

3 「原稿画質」表示下の任意のモードキーを押して選択します。



詳しく述べ
説明します

〔標準復帰〕を押すと、画質は初期設定状態にもどります。

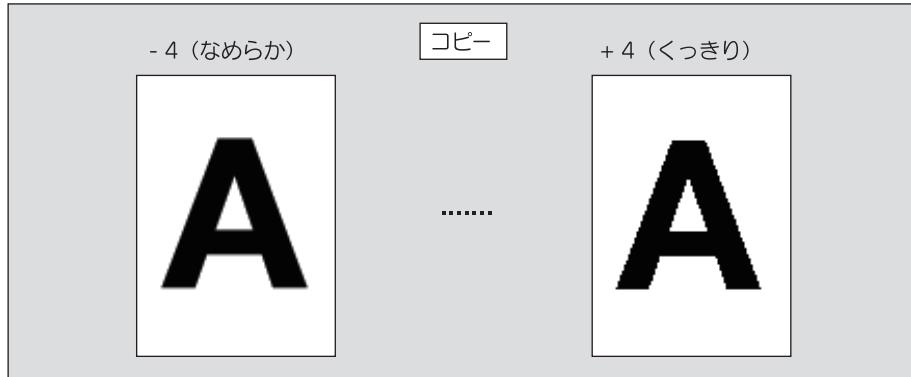
〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

4 [OK] を押します。

コピー画面にもどります。

■ 画像の輪郭を調整する：シャープネス

ここでは、画像の輪郭調整の方法を説明します。



原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

基本
第9章
設定

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[画質設定] を押します。
画質設定画面が表示されます。



[標準復帰] を押すと、画質は初期設定状態にもどります。

[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

3 「シャープネス」表示したの [なめらか]、[くっきり] を押します。

画像の輪郭をなめらかにしたいときは [なめらか]、くっきりさせたいときは [くっきり] を押し、[-4] ~ [+4] の範囲で設定します。

標準にもとしたいときは [ふつう] を押します。



4 [OK] を押します。

コピー画面にもどります。

■ 画像判別を調整する：文字/写真判別

本機は画像を2種類の方法で描画します。

ひとつは誤差拡散という方法で、画像を細かな（600dpi）ドットで描画します。

原稿の文字をくっきり描画するのに適しています。

もうひとつはスクリーンという方法で、テレビの走査線のように画像を線の集まりで描画するラインスクリーンと印刷物の網点のように描画するドットスクリーンがあります。スクリーンは階調をきれいに描画する特長があります。しかし、一方で文字を写真原稿と同じように処理すると、文字がラインやドットで出力され、くっきり再現できないことがあります。

文字/写真判別は、原稿をスキャンしたときに、どの部分が写真でどの部分が文字かを判別し、それぞれ適切な方法でコピーします。

ここでは、この判別を写真寄りまたは文字寄りに調整します。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[画質設定] を押します。

画質設定画面が表示されます。

3 「文字/写真判別」表示下の〔写真寄り〕、〔文字寄り〕を押します。

写真画像をよりよく再現したいときは〔写真寄り〕、文字をよりよく再現したいときは〔文字寄り〕を押し、[−4]～[+4]の範囲で選択します。

標準にもどしたいときは〔ふつう〕を押します。

詳しく説明します

〔標準復帰〕を押すと、画質は初期設定状態にもどります。

〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。



4 [OK] を押します。

コピー画面にもどります。

倍率設定

倍率設定初期状態では、倍率は「1.000」(等倍)に設定されています。ここでは、倍率の変更のしかたを説明します。

■ 等倍でコピーする

原稿と同じ大きさのコピーをします。

1 ADF を確実に閉じて、操作パネルの【リセット】を押します。

初期状態では「1.000」(等倍)が自動選択されています。



2 希望するコピー条件を設定します。

用紙サイズを指定すると、[自動倍率] が自動的に選択されます。このとき、必ず等倍でコピーしたいときは、[等倍] を押して選択します。



詳しく説明します

初期設定を変更していくと、[自動倍率] または等倍以外の倍率が自動設定されることがあります。設定メニュー画面で初期設定を変更することができます。詳細は、POD 管理者編をごらんください。

■ 等倍を変更してコピーする

倍率変更には、下記の4つの方法があります。

- タテ/ヨコズーム(タテ/ヨコ比固定) : 0.250～4.000の倍率を0.001(0.1%)刻みで設定します。
- タテズーム / ヨコズーム(タテ/ヨコ独立) : 0.250～4.000の倍率を0.001(0.1%)刻みでタテ/ヨコ別々に設定します。
- 固定倍率: 使用頻度の高い8種類の倍率(0.500、0.707、0.816、0.866、1.154、1.224、1.414、2.000)をワンタッチで選択します。
- 登録倍率: あらかじめ登録しておいた3種類の倍率をワンタッチで選択します。



固定倍率、登録倍率の設定は、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。

1 コピー画面を表示させ、[倍率設定] を押します。

倍率設定画面が表示されます。

2 任意の倍率を設定します。

タテ/ヨコズーム(タテ/ヨコ比固定)を設定する場合:



- (1) [タテ/ヨコズーム]を押して選択します。
- (2) テンキーまたは[▲][▼]を押して倍率を入力します。倍率は画面に表示されます。

● 入力を間違えたときは引き続き正しい数値を入力します。

- [▲][▼]を押しつづけると、最初は0.001(0.1%)ずつ、後になると0.010(1%)ずつ変化します。

タテズーム/ヨコズーム(タテ/ヨコ独立)を設定する場合:



- (1) [タテズーム] を押して選択します。
- (2) テンキーまたは [▲] [▼] を押してタテズーム倍率を入力します。タテズーム倍率が画面に表示されます。
- (3) [ヨコズーム] を押して選択します。
- (4) テンキーまたは [▲] [▼] を押してヨコズーム倍率を入力します。ヨコズーム倍率が画面に表示されます。



- 入力を間違えたときは引き続き正しい数値を入力します。
- [▲][▼]を押しつづけると、最初は0.001(0.1%)ずつ、後になると0.010(1%)ずつ変化します。

固定倍率を設定する場合 :



「拡大」「縮小」表示下の任意の固定倍率ボタンを押して選択します。

登録倍率を設定する場合 :



「登録倍率」表示下の任意のボタンを押して選択します。

3 [OK] を押します。



[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

■ コピー画面の [−] [+] で倍率を変更する

倍率変更のうち、タテ/ヨコズーム（タテ/ヨコ比固定）は、コピー画面上で変更することができます。

- 1 コピー画面を表示させ、[倍率設定] 下の [−] または [+] ボタンを押します。

[−] または [+] を押しつづけると、最初は0.001(0.1%)ずつ、後になると0.010(1%)ずつ変化します。



■自動的に倍率を選択させる：自動倍率

用紙設定で〔定形サイズ〕や〔インデックス紙サイズ〕が設定されているトレイを選択すると、原稿サイズに合わせて適正倍率を自動的に選択してコピーします。



用紙設定の詳細は、p. 9-44をごらんください。



- ・自動用紙と自動倍率の併用はできません。自動画像回転機能との併用は可能です。
- ・用紙設定によってサイズを〔不定形サイズ〕に設定したトレイは自動倍率の対象トレイにはなりません。

1 原稿をセットします。

機械が原稿サイズを検知します。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 トレイボタンを押して、用紙サイズを選択します。

〔倍率設定〕下の〔自動倍率〕が反転し、自動選択された固定倍率が表示されます。



原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

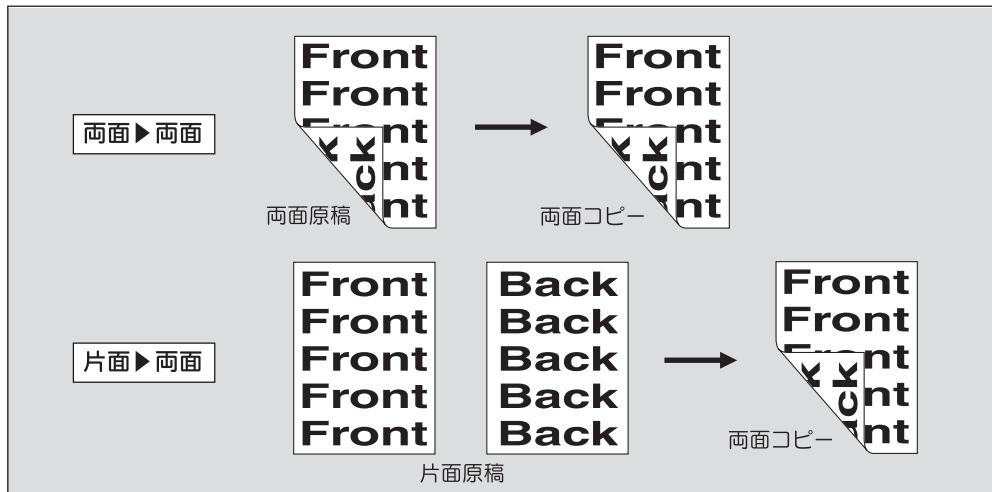
片面/両面

初期状態では片面コピー（片面→片面）が自動選択されています。

ここでは、ADFまたは原稿ガラスに原稿をセットして両面コピーをとる方法を説明します。また、両面原稿を片面コピーする方法を説明します。

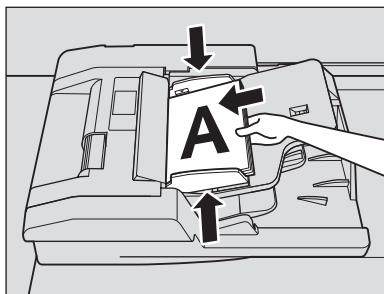
■ ADFを使って両面コピーをとる

ADFを使用して片面原稿や両面原稿を両面コピーする手順を説明します。



- ADFにセットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。
- 両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）にすることができます。
- 上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）の両面原稿を左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）の両面コピーすることができます。
- 原稿のとじ方向に合わせて出力設定の両面とじ方向が自動的に設定されるようになっています。詳細はPOD管理者編をごらんください。

1 ADFに原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔片面→両面〕または〔両面→両面〕を押して反転させます。



3 両面コピー関連のコピー条件を設定します。

原稿セット方向の選択：

セットした原稿の方向に合わせて〔原稿設定〕下の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。



- 原稿セット方向の設定の詳細は、p. 9-2「原稿設定」をごらんください。
- 両面原稿とじ方向の設定の詳細は、p. 9-4をごらんください。

原稿とじ方向の選択 :

- (1) コピー画面の【原稿設定】を押して原稿設定画面を表示させます。
- (2) 両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の【上とじ】を押して反転させます。
- (3) [OK] を押します。



両面コピーのとじ方向の選択 :

- (1) コピー画面の【出力設定】を押して出力設定画面を表示させます。
- (2) 「両面とじ方向」表示下の任意のとじ方向ボタンを押して反転させます。
- (3) 上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）の両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の【上とじ】を押して反転させます。
- (4) [OK] を押します。



両面コピーとじ方向の設定の詳細は、p. 11-2をごらんください。

4 必要に応じてそのほかのコピー条件を設定します。

5 操作パネルの【スタート】を押します。

■ 原稿ガラスを使って両面コピーをとる

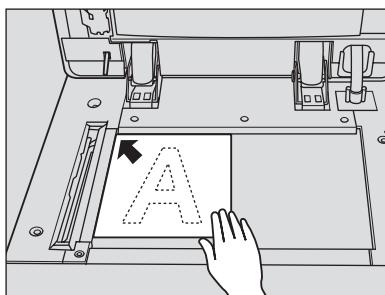
原稿ガラスに原稿をセットして両面コピーをとる手順を説明します。



- 連続読み込みモードを使用します。
- 原稿ガラスにセットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。
- 両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）にすることができます。
- 原稿のとじ方向に合わせて出力設定の両面とじ方向が自動的に設定されるようになっています。詳細はPOD管理者編をごらんください。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

ADFを開きます。原稿は最初のページから順にコピーする面を下にしてセットします。ADFを閉じます。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。



ページ連写、原稿外消去、イメージリピートの自動画像サイズ自動検出、センタリングの機能を使用するときは、ADFを閉じないでください。

2 コピー画面の〔片面→両面〕を押して反転させます。

〔連続読み込み〕が自動的に反転します。



操作パネルの【リセット】を押さないでください。原稿ガラスにセットした原稿をスキャンできなくなります。

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

3 両面コピー関連のコピー条件を設定します。

原稿セット方向の選択 :

セットした原稿の方向に合わせて〔原稿設定〕下の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。



原稿セット方向の設定の詳細は、p. 9-2「原稿設定」をごらんください。

両面コピーのとじ方向の選択 :

- (1) コピー画面の〔出力設定〕を押して出力設定画面を表示させます。
- (2) 「両面とじ方向」表示下の任意のとじ方向ボタンを押して反転させます。
- (3) 上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）の両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の〔上とじ〕を押して選択します。
- (4) [OK] を押します。



両面コピーとじ方向の設定の詳しくは、p. 11-2をごらんください。



4 必要に応じてそのほかのコピー条件を設定します。

5 操作パネルの【スタート】を押します。

オモテ面になる原稿がスキャンされます。

6 ウラ面になる原稿を原稿ガラスにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。



読み込み設定を変更する場合は、〔設定変更〕を押します。

7 全ての原稿をスキャンした後、【読み完了】を押します。



読み込みを停止したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。読み込まれたデータは消去されます。詳細は、p. 8-15をごらんください。

8 操作パネルの【スタート】を押します。



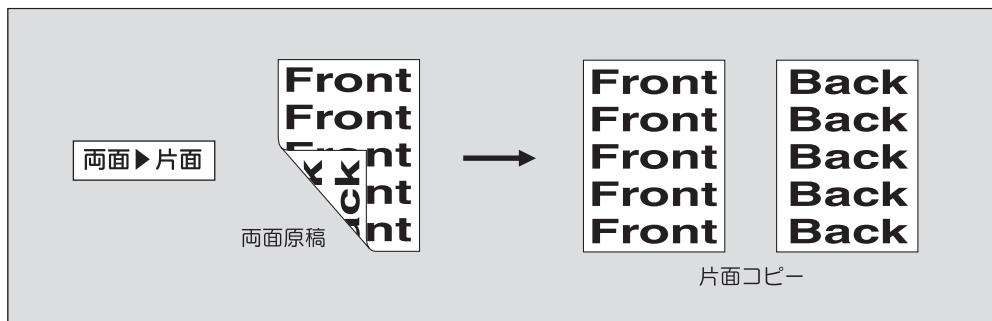
出力を停止したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳細は、p. 8-15をごらんください。

両面コピーを一括出力します。

- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

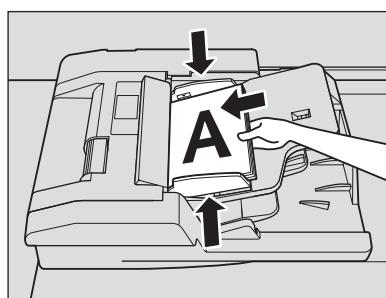
■ 両面原稿から片面コピーをとる

ADFを使用して両面原稿を片面コピーする手順を説明します。



- ADFにセットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。
- 上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）の両面原稿を左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）の片面コピーにすることができます。

1 ADFに原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[両面→片面] を押して反転させます。



3 両面原稿関連のコピー条件を設定します。

原稿セット方向の選択 :

セットした原稿の方向に合わせて [原稿設定] 下の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。

原稿とじ方向の選択 :

- (1) コピー画面の [出力設定] を押して出力設定画面を表示させます。
- (2) 両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の [上とじ] を押して反転させます。
- (3) [OK] を押します。



- 原稿セット方向の設定の詳細は、p. 9-2「原稿設定」をごらんください。
- 両面原稿とじ方向の設定の詳細は、p. 9-4をごらんください。

4 必要に応じてそのほかのコピー条件を設定します。

5 操作パネルの【スタート】を押します。

原稿設定

連続読み込み

画質設定

倍率設定

片面/両面

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

用紙設定

ここでは、各給紙トレイに設定されているトレイ設定と異なる用紙に一時的にコピーする方法、自動用紙機能、および自動画像回転機能について説明します。



各給紙トレイのトレイ設定は、機械状態画面の〔トレイ設定〕で行います。詳細はPOD管理者編をごらんください。

■ トレイに設定されていない用紙設定でコピーする：用紙予約設定

各給紙トレイにはあらかじめ、サイズ、用紙条件、エアーブロー機能が設定されています（トレイ設定）。



サイズ：

トレイ設定では、各給紙トレイに定形サイズを機械が検知するように設定したり、特定の用紙サイズ（不定形、ワイド紙、インデックス紙）を設定しています。

用紙予約設定で変更したサイズや用紙条件は登録できません。登録を前提とする場合は、機械状態画面の〔トレイ設定〕から設定してください。詳細はPOD管理者編をごらんください。

定形サイズ、インデックス紙に設定されているトレイは、自動用紙機能、自動倍率機能、自動画像回転機能の対象トレイになります。

ワイド紙に設定されているトレイは、自動倍率機能、自動画像回転機能の対象トレイになります。

用紙予約設定では、一時的にトレイ設定のサイズに関する設定を変更することができます。

用紙条件：

トレイ設定では、用紙条件（用紙種類、坪量、色紙、パンチ穴、表裏調整、プロセス調整）を各トレイに設定しています。用紙予約設定では一時的に任意のトレイの用紙条件を変更してコピーをとることができます。

エアーブロー機能：

トレイ設定で設定されているエアーブロー機能の設定は、用紙予約設定では変更できません。

1 コピー画面を表示させ、トレイキーで各トレイに設定されているトレイ設定を確認します。

トレイボタンにはサイズ、坪量、用紙種類／用紙名称そして用紙残量が表示されています。



2 トレイ設定を変更するトレイに用紙をセットします。

詳しく説明します

変更したトレイの用紙設定は、そのジョブが終わっても変更されません。

3 [用紙予約設定] を押します。

用紙予約設定画面が表示されます。

4 トレイ設定を変更するトレイを選択します。

変更するトレイボタンを押して反転させます。



5 サイズの設定を一時的に変更します。

「用紙サイズ」表示右の〔設定変更〕を押します。

サイズ設定画面が表示されます。

下記の4つの項目から選択してサイズの設定を変更します。

定形サイズ

不定形サイズ

ワイド紙

インデックス紙

郵政はがき



本体トレイ（トレイ1、2）に郵政はがきをセットする場合は、ハガキアダプター（オプション）が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。

定形サイズ変更：

- (1) [定形サイズ] を押して反転させます。
- (2) 任意の定形サイズボタンを押して反転させます。
- (3) [OK] を押します。



トレイ設定では〔定形サイズ〕を選択すると、トレイにセットした定形サイズ用紙を自動的に検知する設定になっています。
用紙予約設定では、現在セットしている以外のサイズを設定することがあるので、定形サイズを手動で設定します。

不定形サイズ変更 :

- (1) [不定形サイズ] を押して反転させます。
- (2) 用紙のタテ／ヨコのサイズ数値を表示しているボタンを押して反転させ、テンキーまたは [▲] [▼] を押して任意のサイズを入力します。
- (3) [先端合わせ]、[後端合わせ] または [中央合わせ] を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。



詳しく説明します

不定形サイズの最小サイズを変更することができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

詳しく説明します

不定形サイズ入力のとき、トレイによって入力できるサイズは異なります。

- (4) あらかじめ登録していた不定形サイズを呼び出すときは [サイズ読み出し] を押します。
[▲] [▼] を押して任意のNo.ボタンを押し、[OK] を押します。



詳しく説明します

不定形サイズの登録は、機械状態画面の [不定形サイズ登録/削除] を押して設定します。詳細は、POD 管理者編をごらんください。

- (5) サイズ設定画面の [OK] を押します。

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

ワイド紙変更：

- (1) [ワイド紙] を押して反転させます。
- (2) 任意のワイド紙のサイズボタンを押して反転させます。
- (3) [先端合わせ]、[後端合わせ] または [中央合わせ] を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。



- (4) ワイド紙のサイズを任意に設定する場合は、[サイズ入力] を押してサイズ入力画面を表示させます。
- (5) 用紙のタテサイズの数値を表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは [▲] [▼] を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2) 項で選択したワイド紙の定形タテ寸法以上～最大324mmです。
- (6) 用紙のヨコサイズの数値を表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは [▲] [▼] を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2) 項で選択したワイド紙の定形ヨコ寸法以上～最大463mmです。



- (7) サイズ選択画面にもどるときは、[サイズ選択] を押します。
- (8) サイズ設定画面の [OK] を押します。

詳しく説明します

ワイド紙は同じサイズ名称でも、サイズは同じではありません。
ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を入力してください。

詳しく説明します

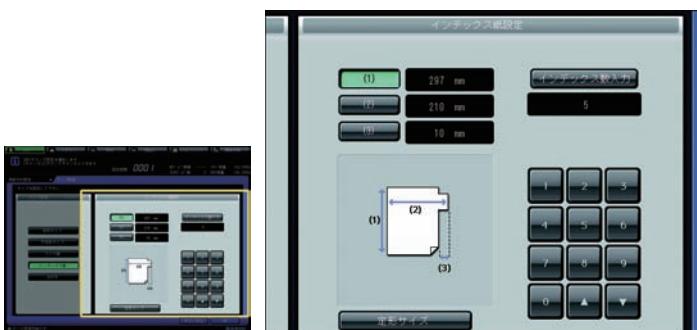
トレイによって、入力できるサイズは異なります。

インデックス紙変更 :

- (1) [インデックス紙] を押して反転させます。
- (2) 任意のインデックス紙の定形サイズボタンを押して反転させます。
- (3) 「インデックス数入力」表示下のテンキーまたは[▲] [▼] を押してインデックス数を入力します。1~15まで設定できます。



- (4) インデックス紙のサイズを任意に設定する場合は、[不定形サイズ] を押してサイズ入力画面を表示させます。
- (5) 用紙のタテ／ヨコ／インデックス幅のサイズ数値を表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは[▲] [▼] を押して任意のサイズを入力します。



- (6) サイズ設定画面の [OK] を押します。

詳しく説明します

- インデックス紙設定は定形サイズのインデックス紙を設定する画面と不定形サイズのインデックス紙を設定する画面があります。
それぞれの画面に表示されている「定形サイズ」〔不定形サイズ〕を押して切替えます。
- 不定形サイズのインデックス紙を設定する画面でもインデックス数を入力できますが、そのときは「インデックス数入力」を押して反転させてください。

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

6 用紙条件の設定を変更します。

用紙条件の変更は、登録されている用紙条件を選択する方法と、新規に設定する方法があります。

用紙条件の選択 :

- (1) [設定呼出] を押します。
- (2) 設定呼出画面の [▲] [▼] を押して登録されている用紙条件のリストから一時変更するNo.ボタンを押して選択します。
- (3) [OK] を押します。



用紙条件の設定 :

- (1) [設定変更] を押します。
- (2) [用紙種類] を押して反転させます。
任意のボタンを押して用紙種類を選択します。



登録されている用紙条件を一部修正して使用する場合は、「用紙条件の選択」の手順でその設定を呼び出してから変更を行うことをお勧めします。



用紙種類の仕様はPOD管理者編で説明しています。詳細は、POD管理者編をごらんください。



【追い刷り紙】を設定できるトレイは、サクション式大容量給紙トレイPF-703と大容量給紙トレイPF-702に追い刷りキットPP-701が装着されているトレイのみです。そのほかのトレイには設定しないでください。



(3) [坪量] を押して反転させます。
任意のボタンを押して坪量を選択します。



詳しく説明します

トレイによって設定できる坪量
が異なります。

(4) [色紙] を押して反転させます。
任意のボタンを押して色を選択します。



(5) [パンチ穴] を押して反転させます。
パンチ穴付きの用紙をセットする場合は〔パンチ穴あり〕、
セットしない場合は〔パンチ穴なし〕を押して選択します。



原稿設定

連続読み込み

画質設定

倍率設定

片面/両面

用紙設定

コピー予約

併用できない

コピー条件

(6) [表裏調整] を押して反転させます。

[オモテ面] [ウラ面] を押して調整するプリント面、[タテ倍] [ヨコ倍] [上下] [左右] を押して調整項目、[+←→-] を押して調整値の+/-を選択します。

テンキーまたは [▲] [▼] を押して任意の数値を入力します。



(7) [プロセス調整] を押して〔転写電流オフセット調整〕を押します。

変更する項目のボタンを押して反転させます。テンキーを押して数値を入力し、[+ (-) -] を押して調整値の+/-を選択します。[セット] を押して調整値を確定します。

設定範囲：-128～+127

[OK] を押します。

詳しく説明します

転写電流オフセット調整について詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。



(8) [プロセス調整] を押して [定着圧接力設定] を押します。
任意の項目のボタンを押して反転させます。
[OK] を押します。



定着圧接力設定について詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。



7 [OK] を押します。

用紙予約設定のリストで設定内容を確認します。

8 用紙予約設定ポップアップ画面の〔閉じる〕を押します。

用紙設定が変更したトレイに新たに設定した用紙条件が表示されます。



原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

■ 自動的に用紙サイズを選択させる：自動用紙

原稿サイズを検知し、原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされているトレイから（等倍）、または設定されている倍率に対応したサイズの用紙がセットされているトレイから（変倍）用紙を給送してコピーします。



- ADF や原稿ガラスにセットして検知される原稿サイズには制限があります。詳細は、p. 3-16「原稿について」をごらんください。
- ADF や原稿ガラスにセットして検知される原稿サイズを変更することができます。詳細は、POD 管理者編をごらんください。
- 任意のトレイを自動用紙によって選択できなくしたり、自動用紙によって選択される用紙条件を設定することができます。詳細は、POD 管理者編をごらんください。
- ADF あるいは原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動用紙を機能させるか、させないかの設定ができます。詳細は、POD 管理者編をごらんください。



- 自動用紙と自動倍率の併用はできません。自動画像回転機能との併用は可能です。
- サイズ設定を不定形サイズに設定されたトレイは自動用紙の対象トレイにはなりません。

1 ADF を確実に閉じて操作パネルの【リセット】を押します。

初期状態では〔自動用紙〕が自動選択されています。



2 原稿をセットします。

自動的に選択されたトレイボタンが反転します。自動的に選択された用紙サイズがどのトレイにもない場合は、メッセージが表示されます。メッセージに表示されたサイズの用紙をトレイにセットしてください。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。



自動選択した用紙サイズがトレイにあっても、トレイの用紙条件によって自動用紙の対象トレイに設定されていないことがあります。

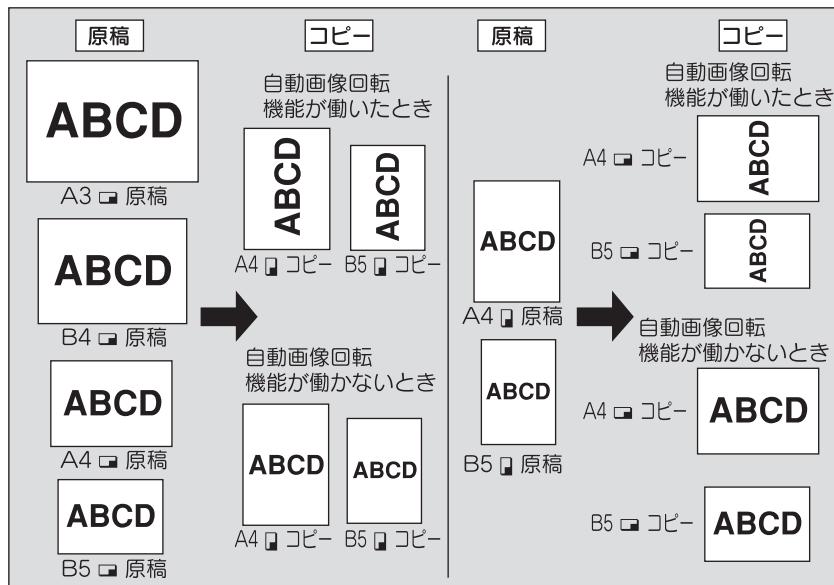
- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

■ 自動画像回転をオフ／オンする

機械がA4 □を自動選択してもトレイにA4 □の用紙しかセットされていない場合、A4 □の用紙にコピーするように画像を90°回転させます。タテ送り方向 □にしかセットできない原稿(A3、B4など)をヨコ送り方向 □にセットされた用紙に縮小コピーします。



自動画像回転機能が機能するタイミングを変更することができます。詳細は、POD管理者編をごらんください。



- A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□の用紙に対して機能します。
- 対応している原稿サイズは、A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □です。

初期設定では、自動画像回転機能はオンになっています。下記の手順で自動画像回転機能をオフ/オンします。

1 コピー画面を表示させ、〔自動画像回転禁止〕を押して反転させます。

自動画像回転機能がオフになります。



- 原稿設定
- 連続読み込み
- 画質設定
- 倍率設定
- 片面/両面
- 用紙設定
- コピー予約
- 併用できない
コピー条件

2 〔自動画像回転禁止〕を押して選択を解除します。

自動画像回転機能がオンになります。



コピー予約

コピージョブの場合、原稿スキャン中に次のジョブのコピー条件の設定ができます。また、原稿スキャンが終わり、プリント中に次のジョブの原稿スキャンが可能になります。

この作業をコピー予約といいます。

コピー予約されたジョブは、その前のジョブの出力が完了すると、引き続き出力します。

設定メニュー画面の「デフォルト画面設定」で選択されているデフォルト画面によって操作方法が違います。



コピー予約の機能を使用できないように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。



コピー予約は100ジョブまで設定できます。

1 コピー画面を表示させます。

デフォルト画面が機械状態画面の場合：

原稿スキャンを開始すると、コピー画面上に下記ポップアップ画面が表示されます。

コピー予約をするため〔はい〕を押します。



〔いいえ〕を押すと、「プリントしています」というメッセージが表示されている機械状態画面が表示されます。このとき〔コピー〕タブを押すと、コピー画面が表示されコピー予約ができます。



- デフォルト画面がジョブリスト画面の場合も同様のポップアップ画面が表示されます。コピー予約をするための操作方法は同じです。
- デフォルト画面の設定は、設定メニュー画面で行います。詳しくは、POD管理者編をごらんください。

デフォルト画面がコピー画面の場合：

原稿スキャンを開始すると、コピー画面上に下記のポップアップ画面が表示されます。コピー予約をするため【閉じる】を押します。



2 表示されているコピー画面でコピー予約し、原稿をセットして操作パネルの【スタート】を押します。

手順1と2の操作を繰り返します。コピー予約は100ジョブまで設定できます。予約したジョブを確認/操作するときは、【ジョブリスト】タブを押してジョブリスト画面を表示させます。

3 コピー予約したジョブのプリントを自動的に開始します。

詳しく説明します

- コピー画面に「コピー予約できます」と表示されているとき、操作パネルの【スタート】を押さなくても、ADFに原稿をセットすると自動的に原稿スキャンを開始するように設定することができます。詳しくは、POD管理者編をごらんください。
- 原稿ガラスでスキャン・プリント中に、違う原稿を原稿ガラスにセットし同じコピー条件でスキャンできるように設定ができます。

参照

ジョブリストの詳細は、p. 12-2をごらんください。

参照

予約ジョブ時のトラブルに関しては、詳細は、p. 5-18をごらんください。

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

基本設定と併用できないコピー条件

機能組み合せ表		出力設定									
		ソート	仕分けソート*19	仕分けグループ*19	回転ソート	回転グループ	コーナーステープル(左)	コーナーステープル(右)	2点ステープル(上)	2点ステープル(左)	2点ステープル(右)
片面->片面											
片面->両面											
両面->片面											
両面->両面											
プラテンモード											
ADFモード											
APS											
AMS											
等倍											
Zoom											
固定倍率											
自動画像回転禁止 *34											
原稿設定	混載原稿			×	×			×	×	×	×
	乙折れ原稿			×	×						
	1枚送り										
	不定形	全面以外									
	原稿	全面、サイズ入力時		×	×						
	インデックス紙原稿			×	×						
画質設定	マニュアル濃度										
	自動濃度										
	登録濃度 (任意濃度)										
	原稿画質	文字/写真									
		薄文字									
		写真*5									
下地調整	文字										
	こく										
	うすく										

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

機能組み合せ表		出力設定						応用設定					
		ページ編集			複数枚複数枚			複数枚複数枚			複数枚複数枚		
		2穴パンチ (左)	2穴パンチ (左)	2穴パンチ (上)	2穴パンチ (左)	3穴パンチ (左)							
基本設定	片面->片面												
	片面->両面					X							
	両面->片面												
	両面->両面					X							
	プランモード												
	ADFモード												
	APS										△	△	△
	AMS										△	△	△
	等倍										△	△	△
	Zoom										△	△	△
	固定倍率										△	△	△
	自動画像回転禁止 *34										△	△	△
原稿設定	混載原稿										*18	X	X
	乙折れ原稿											X	X
	1枚送り											X	X
	不定形原稿	全面以外										X	X
		全面, サイズ入力時										X	X
	インテックス紙原稿										X	X	X
画質設定	マニュアル濃度												
	自動濃度												
	登録濃度 (任意濃度)												
	原稿画質	文字/写真											
		薄文字											
		写真*5											
		文字											
	下地調整	こく											
		うすく											

		応用設定											
		画像応用											
		機能組み合せ表											
		ネガポジ反转	リピート	自動リピート*8	定形リピート	縮小シフト	拡大シフト	原稿外混丟	全面画像	スタンプ(定形スタンプ)	スタンプ(ページ)	スタンプ(ナンバーリング)	スタンプ(日付/時刻)
基本設定	片面->片面												
	片面->両面												
	両面->片面	△	△			△		△					
	両面->両面	△	△			△		△					
	プランモード												
	ADFモード	△	△					▲					
	APS	△	△	△		△	△	△					△
	AMS	△	△			△		△					
	等倍				△			△					
	Zoom												
	固定倍率					△							
	自動画像回転禁止 *34												
	原稿設定	混載原稿	×	×	×		×	×	×				×
		Z折れ原稿	×	×	×		×		×				
		1枚送り					×		×				
		不定形原稿	△						△				
		全面, サイズ入力時	△				×	×	×				
		インデックス紙原稿	△						△				
	マニュアル濃度												
	自動濃度												
	登録濃度 (任意濃度)												
画質設定	原稿画質	文字/写真											
		薄文字											
		写真*5											
		文字											
	下地調整	こく											
		うすく											

原稿設定
連続読み込み
画質設定
倍率設定
片面/両面
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

基本設定と併用できないコピー条件(つづき)

無印：排他なし（選択可能）

×：網掛け（強制解除含む）

□：後優先（行の項目が解除される）

▲：メッセージ警告

△：本来は禁止だが、排他未実施。後優先、列の方が優先

-：設定なし

*1：カバーシート紙の裏カバーは選択禁止。禁止時にはメッセージ表示

*2：2 in 1、スタンプ「ページ」の4 in 1、2リピートは可。禁止時には網掛け

*3：コピーモードからのJOB保存に関して記す

*4：プログラムジョブではオーバーレイ選択禁止

*5：文字1 bit、写真1 bit/2 bit切替え可。1 bit、2 bitの混在は不可。メモリーモード時は1 bit固定

*6：小冊子選択時のみ組み合わせ可能

*7：サブトレイ排紙選択時は断裁強制解除

*8：自動リピート選択時は原稿外消去も自動強制選択される。（原稿外消去のみの解除は不可）

*9：混載のとき、自動倍率以外での自動画像回転禁止。（混載優先の後優先扱いとする）

*10：ステープルまたはパンチ選択時、ステープルまたはパンチが所定の位置に行えないときは、自動画像回転禁止

*11：連続読み込みモード強制選択

*12：下地調整マイナス設定時に薄文字が選択された場合、強制的に下地調整を0にする

*13：重ね3つ折りは「N to 1」「フェイスダウン」に無条件に選択可能。（重ね3つ折りが後優先）
内印字選択時：1 to N、フェイスアップ（両面出力時はフェイスダウン）を強制選択
外印字選択時：N to 1、フェイスダウンを強制選択

*14：2リピート（反転含む）のみ禁則

*15：定形2リピート（反転含む）のみ禁則緩和

*16：表紙トレイが本体の場合は不可

*17：表紙トレイがPBの場合のみ可

*18：自動用紙+Z折り非選択時は不可

*19：排紙先が大容量スタッカーメイントレイまたはステープルフィニッシャーメイントレイの場合は選択可能。（それ以外は網掛け）

*20：ソートを選択し、仕分けソート、グループ、仕分けグループは網掛け

*21：ソートを選択し、仕分けソート、仕分けグループは網掛け

*22：グループを選択し、仕分けソート、仕分けグループは網掛け

*23：ソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け

*24：仕分けソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け

*25：ソートを選択し、回転ソート、グループ、回転グループは網掛け

*26：ソートを選択し、回転ソート、回転グループは網掛け

*27：グループを選択し、回転ソート、回転グループは網掛け

*28：下地調整のマイナス側には設定できない

*29：等倍が選択される

*30：連続読み込みモードでない場合は、「ADFを閉じてください」のメッセージが表示される

*31：ブック連写「表/裏表紙あり」選択時、任意スタンプは網掛け。また任意スタンプ選択時、ブック連写「表/裏表紙あり」は網掛け

*32：2 in 1、スタンプ「ページ」の4 in 1、2リピートは可能。（禁則時は網掛け）

*33：2リピート以外選択時、登録オーバーレイは網掛け。また登録オーバーレイ選択時、2リピート以外は網掛け

*34：自動画像回転禁止選択時でも画像回転アイコン表示時は画像回転する

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

応用設定

第10章

応用機能を使ってコピーする方法について説明します。

応用機能を設定するには	10-2
■ コピー画面〔応用設定〕下の表示	10-3
■ コピー画面〔応用設定〕下のボタン	10-3
■ しおり機能	10-4
表紙・挿入紙をつける：インターフェース	10-5
章の先頭ページを必ずオモテにコピーする：章分け	10-14
複数枚の原稿を1ページにコピーする：集約	10-18
製本仕立てにコピーする：小冊子	10-22
別の原稿を指定したページに差し込む：差込みページ	10-27
見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする：ブック連写	10-30
複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ	10-34
原稿以外の部分を消してコピーする：原稿外消去	10-38
白黒を反転させてコピーする：ネガポジ反転	10-40
1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする：リピート	10-42
■ リピート回数を自動的に設定させる	10-42
■ リピート回数を指定する：定形リピート	10-45
本の周囲・綴じ部分の黒い影を消す：枠/折り目消し	10-48
画像を用紙の中央に配置してコピーする：センタリング	10-52
用紙いっぱいの大きさにコピーする：全面画像	10-54
コピー画像の位置を調整する：とじしろ>シフト	10-56
画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ>縮小シフト	10-61
原稿にない情報を印字してコピーする：スタンプ/オーバーレイ	10-65
■ 定型のスタンプを印字する：定型スタンプ	10-67
■ 管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング	10-69
■ ページ数を印字する：ページ	10-71
■ 日付や時刻を印字する：日付/時刻	10-73
■ 定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク	10-75
■ ウォーターマークで管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング	10-77
■ 全体に文字やパターンをプリントする：コピープロテクト	10-79
■ スタンプモードでの詳細設定	10-81
コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ	10-87
画像を重ねてコピーする：オーバーレイ	10-91
重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ	10-93
応用設定と併用できないコピー条件	10-99

応用機能を設定するには

応用設定をしてコピーするときは、応用設定画面を表示させて、使いたい機能を設定します。

1 機械状態画面の【コピー】タブを押します。

2 コピー画面の【応用設定】を押します。



応用設定画面が表示されます。



任意のボタンを押すと、それぞれの機能を設定する専用画面が表示されます。(プログラムジョブ、原稿外消去、ネガポジ反転、センタリング、全面画像にはありません。)

複数の応用機能を組み合わせて設定することができますが、併用できない機能のボタンには網がかかり、選択できなくなります。

もとのコピー条件にもどすときは、【キャンセル】を押します。設定した応用機能のコピー条件を残しながら、応用機能をオフにするときは、【全機能OFF】を押します。応用設定を含めたすべてのコピー条件を初期状態にもどすときは操作パネルの【リセット】を押します。

3 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

■ コピー画面〔応用設定〕下の表示

応用設定をすると、コピー画面〔応用設定〕下に設定した応用機能のアイコンが最大6つまで表示されます。コピー画面で応用設定の設定項目が確認できます。



■ コピー画面〔応用設定〕下のボタン

コピー画面〔応用設定〕下に最大4つまで応用設定項目のボタンを表示させ、ワンタッチで設定できたり、設定のための階層画面を表示させることができます。詳細はPOD管理者編をごらんください。



■ しおり機能

インターシートなどの応用設定の階層画面に〔しおり〕が表示されている画面があります。このボタンを押して反転させ下記の操作をすると、即座にその階層画面を表示させることができます。

- ・応用設定メニュー画面でその階層画面のある設定項目ボタンを押したとき
- ・コピー画面〔応用設定〕下の応用設定項目ボタンを押したとき
- ・設定内容画面から応用設定の設定を変更するとき



表紙・挿入紙をつける：インターフェース

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ／オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第1章

登録

オーバーレイ

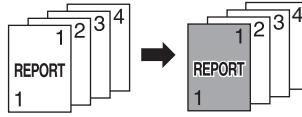
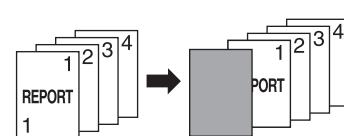
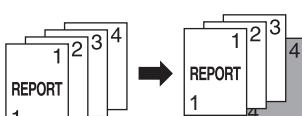
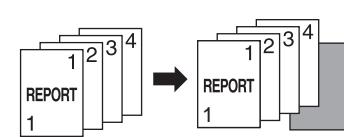
併用できない

コピー条件

複数枚の原稿をコピーするとき、コピーに表紙（オモテ、ウラ）や、途中に挿入紙を入れることができます。表紙や挿入紙は、コピーするか白紙かを選択できます。また、表紙や挿入紙は本身とは別のトレイから給紙することができます。オプションの大容量ポストインサーター PI-PFUや折り機 FD-503のポストインサーターを装着していると、ポストインサーターから表紙や挿入紙を給紙することができます。ここでは、この2つの装置をポストインサーターと称します。

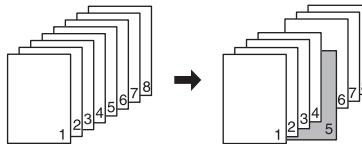
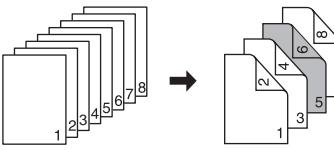
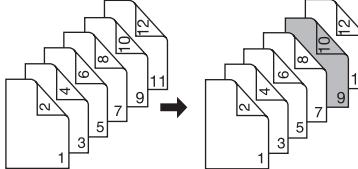
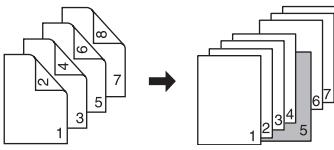
オモテ/ウラ表紙設定

オモテ/ウラ表紙設定には下記の設定があります。オモテ表紙（印刷または白紙）とウラ表紙（印刷または白紙）の設定は併用が可能です。

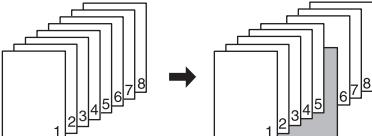
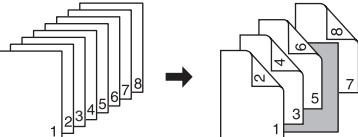
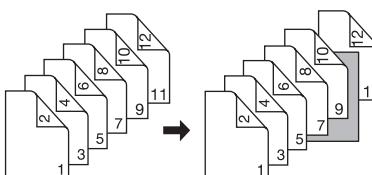
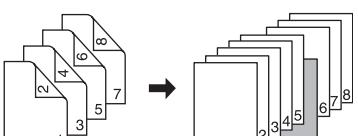
選択項目	説明
オモテ表紙+印刷	原稿の1枚目をオモテ表紙用の用紙にコピーします。両面コピーの場合、原稿の2枚目をオモテ表紙用のウラ面にコピーします。 
オモテ表紙+白紙	本文コピーの最初にオモテ表紙用の用紙を白紙で挿入します。両面コピーの場合も同様です。 
ウラ表紙+印刷	原稿の最終ページをウラ表紙用の用紙にコピーします。両面コピーの場合、原稿が偶数枚のとき、原稿の最後2ページをウラ表紙用の用紙に両面コピーします。 
ウラ表紙+白紙	本文コピーの最後にウラ表紙用の用紙を白紙で挿入します。両面コピーの場合も同様です。 

インターフェースの設定をするとき、原稿の片面/両面、コピーの片面/両面によって出力のしかたが違います。

例: [印刷] で挿入ページを [P. 5] にしたとき、

選択項目	説明
片面→片面	片面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーし、5枚目に挿入します。 
片面→両面	片面原稿の5ページ目と6ページ目を挿入紙に両面コピーし、3枚目に挿入します。[P. 6] と設定したときは、5ページ目と6ページ目を挿入紙に両面コピーし、3枚目に挿入します。 
両面→両面	両面原稿の9ページ目と10ページ目を挿入紙に両面コピーし、5枚目に挿入します。[P. 6] と設定したときは、両面原稿の11ページ目と12ページ目を挿入紙に両面コピーし、6枚目に挿入します。 
両面→片面	両面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーし、5枚目に挿入します。 

例: [白紙]で挿入ページを[P. 5]にしたとき、

選択項目	説明
片面->片面	片面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーした後の6ページ目に白紙を挿入します。
	
片面->両面	片面原稿の5ページ目と6ページ目を両面コピーした後の4枚目に白紙を挿入します。[P. 6]と設定したときも同じように挿入します。
	
両面->両面	両面原稿の9ページ目と10ページ目を両面コピーした後の6枚目に白紙を挿入します。[P. 6]と設定した後は、両面原稿の11ページ目と12ページ目をコピーした後の7枚目に白紙を挿入します
	
両面->片面	両面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーした後の6ページ目に白紙を挿入します。
	



- 原稿はADFにセットします。
- 原稿枚数が100枚を超える場合は、連続読み込み設定をします。詳細は、p. 9-20「連続読み込み」をごらんください。
- 連続読み込みモードを併用すれば、原稿ガラスも使用できます。
- 表紙、挿入紙および原稿本文用の用紙は、別々のトレイにセットできますが、すべて同じサイズである必要があります。(自動倍率選択機能がはたらきます。)
- 表紙は、トレイ1~8から2枚(オモテ/ウラ表紙)、ポストインスターから20枚(オモテ/ウラ表紙)それぞれまたはいっしょに給紙できます。いっしょに給紙されるときの順番は、ポストインスターにセットされた表紙が最初(オモテ表紙)と最後(ウラ表紙)になります。
- 挿入紙は、オモテ/ウラ表紙とは別に、1~999ページの範囲で最大100カ所まで挿入できます。また挿入紙は、オモテ/ウラ表紙とは別に100枚まで挿入できます。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2 トレイに用紙をセットします。

オモテ / ウラ表紙として使用する用紙、挿入紙として使用する用紙、本文コピー用の用紙を任意のトレイにセットします。ポストインサーターを使用するときは、ポストインサーターのトレイに用紙をセットします。ここでセットする用紙は、すべて同じサイズである必要があります。



- 各トレイの用紙情報を確認し、設定されている用紙以外はセットしないでください。コピーできなかったり、トラブルの原因になります。
- トレイに設定されている以外の用紙をセットする場合は、コピー画面の〔用紙予約設定〕を押して一時的にトレイの用紙設定を変更してください。詳しくは、p. 9-44をごらんください。

3 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

4 応用設定画面の〔インターフォント〕を押します。



インターフォント設定画面が表示されます。

5 表紙をつけます。

オモテ表紙をつけるときは「オモテ表紙」表示右の〔設定変更〕を押します。

オモテ表紙設定画面が表示されます。

ウラ表紙をつけるときは「ウラ表紙」表示右の〔設定変更〕を押します。

ウラ表紙設定画面が表示されます。



本体トレイ

- 表紙 印刷／白紙の選択
コピー表紙をつけるときは〔表紙あり（印刷）〕を押します。
白紙表紙をつけるときは〔表紙あり（白紙）〕を押します。
- 表紙 片面／両面の選択
表紙原稿が1枚片面の場合は〔片面〕、1枚両面の場合は〔両面〕を押します。
- 給紙トレイの選択
任意のトレイボタンを押して選択します。

PIトレイ

- ポストインサー用紙の選択
ポストインサーにセットした用紙を表紙として使用する場合、〔表紙あり〕を押し、ポストインサーのトレイボタンのいずれか1つを押して選択します。
- 枚数設定
ポストインサーにセットした用紙を1~20枚つけることができます。〔枚数設定〕を押してPI用紙枚数設定画面のテンキーを押して枚数を入力し、〔確定〕を押します。

〔OK〕を押します。



左の操作手順は、オモテ表紙、ウラ表紙に対してそれぞれ設定できます。



ポストインサー用紙とトレイ用紙の表紙設定の併用は可能です。このときポストインサーにセットされた用紙は、オモテ表紙が先にウラ表紙は後につけられます。

応用機能を設定するには	インターフェース
章分け	インターフェース
集 約	インターフェース
小冊子	インターフェース
差込みページ	インターフェース
ブック連写	インターフェース
プログラムジョブ	インターフェース
原稿外消去	インターフェース
ネガポジ反転	インターフェース
リピート	インターフェース
枠／折目消し	インターフェース
センタリング	インターフェース
全面画像	インターフェース
とじしろ>シフト	インターフェース
とじしろ>縮小シフト	インターフェース
スタンプ／オーバーレイ	インターフェース
任意スタンプ	インターフェース
オーバーレイ	インターフェース
応用設定	インターフェース
第1章	インターフェース
登録	インターフェース
オーバーレイ	インターフェース
併用できない	インターフェース
コピー条件	インターフェース

才モテ表紙設定画面：



ウラ表紙設定画面：



PI用紙枚数設定画面：



詳しく説明します

PI用紙枚数設定は、才モテ表紙/ウラ表紙とじ、それぞれ1~20枚つけることができます。

6 挿入紙をつけます。

「挿入紙」表示右の【設定変更】を押します。



左側に【設定001】が選択されている挿入紙設定画面が表示されます。

- 紙トレイの選択
任意のトレイ用紙またはポストインサーター用紙のトレイボタンを押して選択します。
- 挿入紙 印刷／白紙の選択
コピー挿入紙をつけるときは【印刷】を押します。白紙挿入紙をつけるときは【白紙】を押します。
- 挿入紙 片面／両面の選択
【印刷】を選択したときは、挿入紙原稿が1枚片面の場合は【片面】、1枚両面の場合は【両面】を押します。
【白紙】を選択したときは、自動的に【片面】になります。

 詳しく説明します

【設定001】では挿入ページを複数設定できますが、挿入紙 印刷／白紙、紙トレイ、挿入紙 片面／両面の設定は1種しかできません。これらの設定を複数設定したい場合は、【設定002】以降で新規に設定します。



挿入ページの設定

- (1) [挿入ページ設定] を押します。挿入ページ設定画面が表示されます。
- (2) テンキーを使って、挿入する箇所のページを入力します。

設定ページは「,」で区切れます。

連続ページに挿入紙をいれる場合は、ページ間に「-」を入力します。



- 挿入ページの設定方法は、p. 10-5をごらんください。
- 数値は小さい方から順に入力しなくとも入力後自動的にページ順にソートされます。

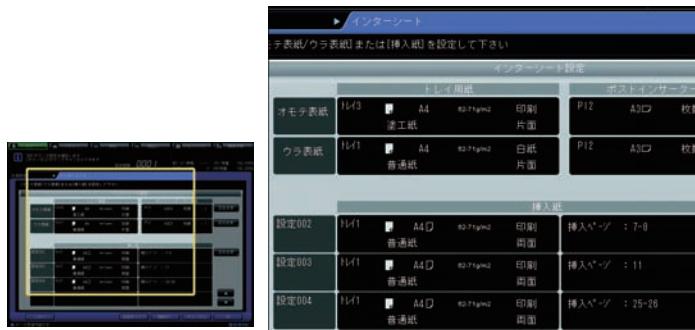


例えば、[設定002]と[設定003]で同じ挿入ページを設定した場合、設定番号の大きい[設定003]の設定が優先されます。



設定No.ごとに削除できます。削除したい設定No.ボタンで反転させて[設定クリア]を押します。

7 インターシートの情報を確認します。



インターフシート設定画面で設定した情報が表示されます。

[OK] を押します。

もとの設定にもどすときは [キャンセル] を押します。設定したインターフシートの情報をクリアするときは [全設定クリア] を押します。

設定したインターフシートの情報を残してインターフシート機能をオフにするときは [機能OFF] を押します。



挿入紙の設定が5つ以上の場合には、右下の [▼] [▲] を押して表示させます。

8 應用設定画面の【OK】を押します。

コピー画面の【応用設定】下にインターフェースのアイコンが表示されます。

9 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

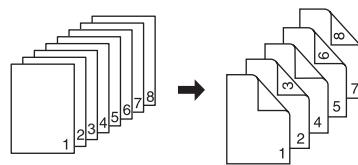
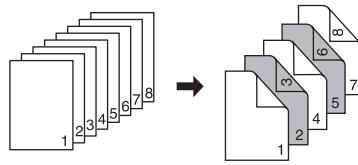
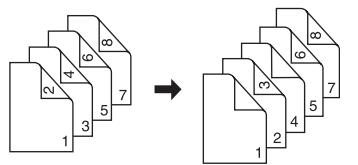
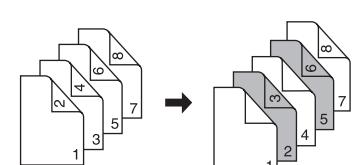


コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーする：章分け

両面コピーをするときに機能します。章の先頭ページが両面コピーのウラ面にくるとき、そのページを次のページに送ることによって、必ずオモテ面になるようにします。
章分けでは、指定したページが両面コピーのウラ面になるとき、指定ページの前に白紙ページが挿入されます。

例：章の先頭ページを〔P. 2〕と〔P. 5〕にしたとき

選択項目	説明
片面→両面	原稿の2ページ目と5ページ目の両面コピーの前に白紙ページを挿入します。 
片面→両面 + [印刷挿入]	原稿の2ページ目と5ページ目の両面コピーの前に白紙ページを挿入し、2、3ページと5、6ページを別の用紙にコピーします。 
両面→両面	原稿のウラ面になっている2ページ目と5ページ目のそれぞれ前に白紙ページを挿入し、オモテ面にします。 
両面→両面 + [印刷挿入]	原稿のウラ面になっている2ページ目と5ページ目のそれぞれ前に白紙ページを挿入し、2、3ページと5、6ページを別の用紙にコピーします。 

応用機能を設定するには

インターフォント

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ／オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定 第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件



- 原稿はADFにセットします。
原稿枚数が100枚を超える場合は、連続読み込み設定をします。詳細は、p. 9-18「連続読み込みモード」をごらんください。
- 連続読み込みモードを併用すれば、原稿ガラスも使用できます。
- 章の先頭ページを、最大30箇所まで設定できます。
- オモテ面にしたいページを、ほかのトレイの用紙にコピーするよう設定できます（印刷挿入）。
- スタンプ機能を併用すると、各ページのナンバリングに加えて、章ごとの章ナンバーをつけることができます。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについて
は、p. 8-6「原稿をセットする」
をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [章分け] を押します。



4 章の先頭ページを入力します。

操作パネルのテンキーを使って章の先頭ページを入力し、[設定] を押します。入力したページが確定し、次のボタンが反転します。

[削除] を押すと、入力した数字は削除されます。

この操作を繰り返して、全ての先頭ページを入力します。

先頭ページは 30 箇所まで設定できます。16 ~ 30 箇所目を設定するときは、[▼] を押して次の画面を表示させます。



- 入力した数値が原稿ページ数より大きいときは、設定しても無効になります。
- 数値は小さい方から順に入力しなくとも入力後自動的にページ順にソートされます。
- 同じページを2度入力することはできません。

(小冊子) を押すと、小冊子画面が表示され、小冊子の設定が同時に設定できます。小冊子画面の [OK] を押すと、章分け画面にもどります。



〔印刷挿入〕を押すと、章分け画面に〔挿入紙のトレイ変更〕が表示され、選択したトレイにセットされている用紙を使って、章の先頭ページをコピーします。



5 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。設定情報を残して章分け機能をオフにするときは〔機能 OFF〕を押します。

6 應用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面を表示させます。

コピー画面の〔応用設定〕下に、章分けのアイコンが表示されます。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。



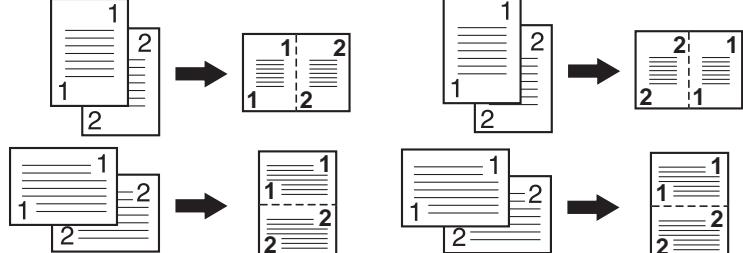
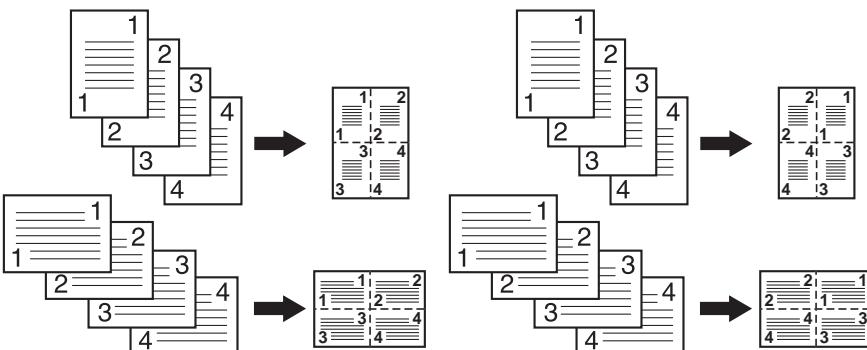
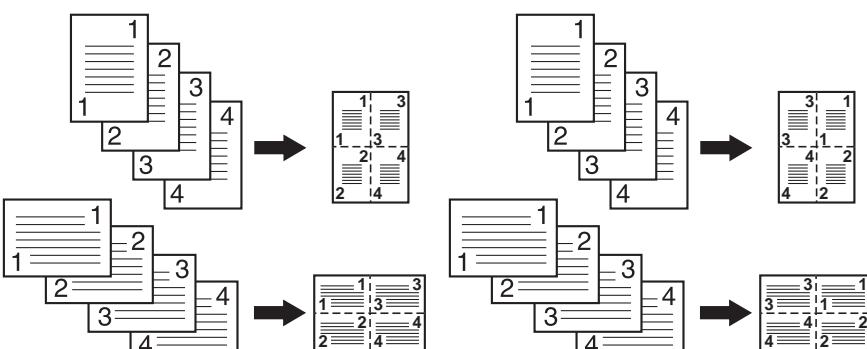
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

- 応用機能を設定するには
- インターフェース
- 章分け
- 集約
- 小冊子
- 差込みページ
- ブック連写
- プログラムジョブ
- 原稿外消去
- ネガポジ反転
- リピート
- 枠／折目消し
- センタリング
- 全面画像
- とじしろ>シフト
- とじしろ>縮小シフト
- スタンプ／オーバーレイ
- 任意スタンプ
- オーバーレイ
- 応用設定**
- 第10章
- 登録
- オーバーレイ
- 併用できない
- コピー条件

複数枚の原稿を1ページにコピーする：集約

複数枚（2枚、4枚または8枚）の原稿画像を、1ページに集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

集約には、下記の設定があります。原稿の両面とじ方向の設定により、コピー画像の集約開始位置が変わります。

選択項目	説明
2 in 1	<p>2枚の原稿画像を1枚の用紙にプリントします。</p> <p><左とじ> <右とじ></p> 
4 in 1	<p>4枚の原稿画像を1枚の用紙にプリントします。</p> <p>集約順（ヨコ順/タテ順）を指定できます。</p> <p><ヨコ順、左とじ> <ヨコ順、右とじ></p>  <p><タテ順、左とじ> <タテ順、右とじ></p> 

選択項目	説明
8 in 1	<p>8枚の原稿画像を1枚の用紙にプリントします。 集約順（ヨコ順/タテ順）を指定できます。</p> <p>＜ヨコ順、左とじ＞</p> <p>＜ヨコ順、右とじ＞</p> <p>＜タテ順、左とじ＞</p> <p>＜タテ順、右とじ＞</p>



- 原稿はADFにセットします。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、連続読み込みモードが自動的に機能します。
- 自動倍率選択機能がはたらきます。最初は、トレイ1にセットされている用紙のサイズに合わせて、倍率が自動的に設定されます。（手動で変更できます。）

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについて
は、p. 8-6「原稿をセットする」
をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔集約〕を押します。



4 任意のモードを設定します。

5つのボタンのいずれか1つを押して選択します。



原稿の向きと集約順序との関係
については、p. 10-18～p. 10-
19の表をごらんください。



5 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残して集約機能をオフにするときは〔機能
OFF〕を押します。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定 第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

6 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、集約のアイコンが表示されます。

このとき、自動倍率が自動的に選択されています。用紙のサイズを変更したいときは、ここで任意のトレイを選択します。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

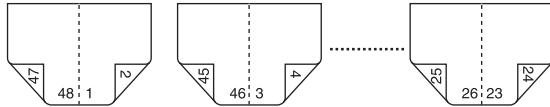
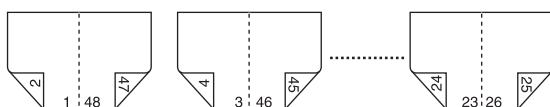
製本仕立てにコピーする：小冊子

複数枚の原稿をコピーするとき、2つ折りにして週刊紙とじまたは無線とじの読み取り順になるように両面コピーします。

左開き/右開きの選択ができます。

オプションの中とじ機 SD-506 装着機の場合、中折りや中とじ、中折り／中とじの前小口を化粧断裁することができます。

オプションの折り機 FD-503 装着機の場合、無線とじの中折りが可能です。

選択項目	説明
週刊誌とじ・左開き	左とじの中とじページ立てにコピーされます。 
週刊誌とじ・右開き	右とじの中とじページ立てにコピーされます。 
無線とじ・左開き	
無線とじ・右開き	



- 原稿はADFにセットします。
原稿枚数が100枚を超える場合は、連続読み込み設定をします。詳細は、p. 9-20「連続読み込み」をごらんください。
連続読み込みモードを併用すれば、原稿ガラスも使用できます。
- 原稿サイズはA3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□です。
- 原稿枚数は片面→両面コピー時は4の倍数、両面→両面コピー時は2の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。
- カバー紙を本身用紙と違う用紙にする場合は、同じサイズの用紙を別のトレイにセットします。カバー紙、本身用紙ともポストインサータートレイにはセットしても給紙できません。
- 自動倍率機能が自動的に設定されます。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 任意のトレイに用紙をセットします。

使用できる本身の用紙サイズは、A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□です。

カバー紙モードを選択する場合は、カバー紙給紙トレイとして設定するトレイに、同じサイズのカバー紙をセットします。



小冊子のカバー紙はポストインサーにセットしても給紙できません。本体トレイ（トレイ1、2）または大容量給紙トレイ（トレイ3～8）、サクション式大容量給紙トレイトレイ3～8）にセットしてください。

3 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

4 応用設定画面の【小冊子】を押します。



5 任意のモードボタンを押して反転させます。

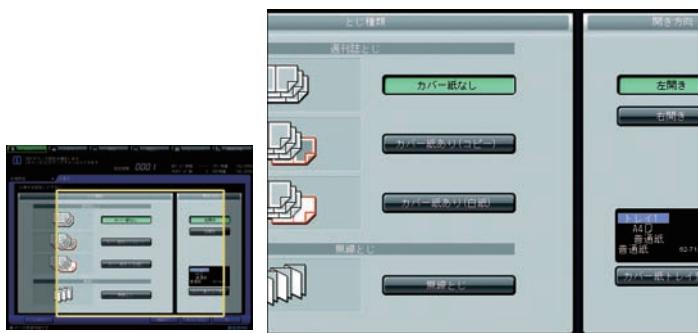


週刊誌とじ

- 〔カバー紙なし〕、〔カバー紙あり（コピー）〕または〔カバー紙あり（白紙）〕を押して反転させます。
- 〔カバー紙あり（コピー）〕または〔カバー紙あり（白紙）〕を選択したときは、〔カバー紙トレイ変更〕を押して手順2でカバー紙をセットした給紙トレイを表示させます。
- 通常、横書き原稿の場合は〔左開き〕、縦書き原稿などの場合は〔右開き〕を選択します。

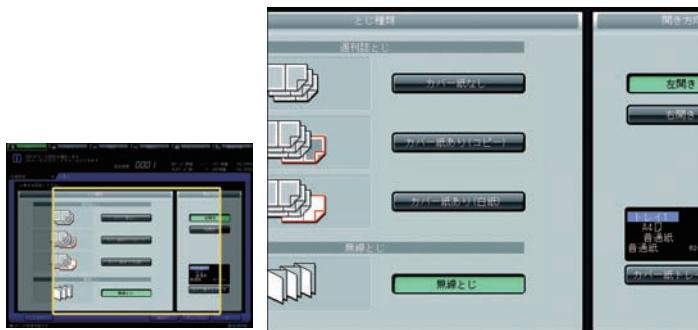
 詳しく説明します

ポストインサーからカバー紙を給紙することはできません。



無線とじ

- 〔無線とじ〕を押して反転させます。
- カバー紙の設定は無効になります。
- 〔左開き〕〔右開き〕の設定は有効です。週刊誌とじの場合と同様に選択します。



6 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残して小冊子機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 縮小シフトを併用するときは、下記の手順で設定します。

- (1) 応用設定画面の〔とじしろ〕を押して、とじしろ画面を表示させます。
- (2) とじしろ画面の〔縮小シフト〕、および〔両面〕を押して反転させます。
- (3) シフト量を設定します。詳しい設定手順は、p. 10-61をごらんください。
- (4) とじしろ画面の〔OK〕を押します。応用設定画面にもどります。



小冊子を設定している場合、とじしろ画面の「有効面」は自動的に〔両面〕に設定されています。

8 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、小冊子のアイコンが表示されます。

9 手順 2で使用する用紙をセットしているトレイを選択します。

コピー画面のトレイボタンを押して反転させます。



最初トレイは自動的に選択されています。

手順5でカバー紙ありを選択している場合、トレイボタンは2つ選択されています。

このとき選択するのは、本身の用紙です。カバー紙のトレイを変更する場合は、手順5をごらんください。

10 片面/両面原稿を選択します。

手順1でADFにセットした原稿に合わせて〔片面→両面〕または〔両面→両面〕を押して反転させます。



11 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。



ページ間隔と外側オフセット
中折り / 中とじの断裁出力を行う場合、断裁面から画像までの余白が外側と内側で異なることがあります。このような場合は、とじしろのページ間隔とオフセットを併用します。詳しくは、p. 10-59 ~ p. 10-60 をごらんください。

スタンプ / オーバーレイのナンバーリングまたはページの印字をコピーの外側（右画像の右外、左画像の左外）にすることができます。詳細管理者編をごらんください。

12 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

別の原稿を指定したページに差し込む：差込みページ

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ／オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

登録

オーバーレイ

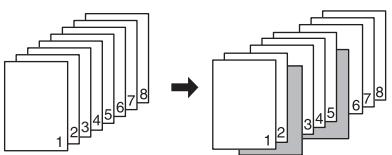
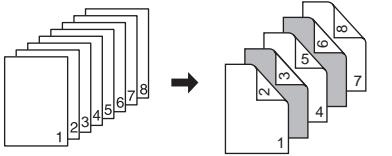
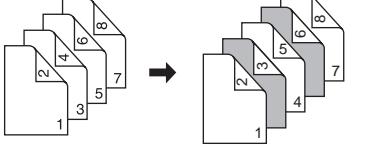
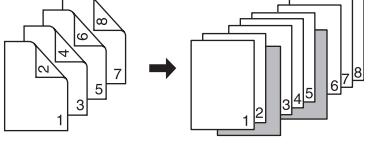
併用できない

コピー条件

ADFを使用してスキャンした原稿の任意の箇所に、後から原稿ガラスでスキャンした複数の画像を差し込み、まとめて出力します。

差込みページでは、指定したページの後ろに差込み原稿の画像が挿入されます。

例：差込み箇所のページを [P. 2] と [P. 5] としたとき

選択項目	説 明
片面 -> 片面	2ページ目と5ページ目の片面原稿が片面コピーされた後にそれぞれ1枚ずつ差込み原稿のコピーが挿入されます。
	
片面 -> 両面	2ページ目の片面原稿が両面コピーされた後の2枚目のオモテ面、5ページ目の片面原稿が両面コピーされた後の4枚目のオモテ面に差込み原稿のコピーが挿入されます。
	
両面 -> 両面	2ページ目の両面原稿が両面コピーされた後の2枚目のオモテ面、5ページ目の両面原稿が両面コピーされた後の4枚目のオモテ面に差込み原稿のコピーが挿入されます。
	
両面 -> 片面	2ページ目と5ページ目の両面原稿が片面コピーされた後にそれぞれ1枚ずつ差込み原稿のコピーが挿入されます。
	



- 最大 30 箇所まで、画像を差し込むことができます。
- 連続読み込みモードが自動的に設定されます。

1 差し込まれる側の原稿をADFにセットします。

1ページ目から順に揃え、1ページ目を上に向けてセットします。1度に100枚までセットできます。



原稿枚数が100枚を超える場合は、100枚未満のかたまりに分け、最初のページのかたまりから順にスキャンします。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

3 応用設定画面の【差込みページ】を押します。



4 差し込む箇所のページ数を入力します。

- (1) 操作パネルのテンキーを使って、差し込む箇所のページ数を入力します。
 - (2) 【設定】を押して、入力したページ数を確定します。次のボタンが反転します。【削除】を押すと、入力した数字は削除されます。
 - (3) この操作を繰り返して、全てのページ数を入力します。
- 差込みページは30箇所まで設定できます。16~30箇所目を設定するときは、【▼】を押して次の画面を表示させます。



入力した数値が原稿のページ数より大きいときは、最後に差し込まれます。数値は、小さい方から順に入力しなくても、入力後、自動的にページ順にソートされます。同じページ数を2度入力すると、その箇所に2ページ分差し込まれます。



5 小冊子を併用するときは、下記の手順で設定します。

- (1) 差込みページ画面の【小冊子】を押して、小冊子画面が表示させます。
- (2) 小冊子の設定をします。詳細は、p. 10-22をごらんください。
- (3) 小冊子画面の【OK】を押します。差込みページ画面にもどります。

6 【OK】を押します。

もとの設定にもどすときは【キャンセル】を押します。設定情報を残して差込みページ機能をオフにするときは【機能OFF】を押します。

7 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、差込みページのアイコンが表示されます。【連続読み込み】が自動的に選択されています。

8 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。

9 操作パネルの【スタート】を押します。

セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。

10 差し込む側の原稿を、原稿ガラスにセットします。

ADFを開いて、1ページ目を下にしてセットし、ADFを静かに閉じます。



原稿は必ず最初のページから順にセットします。最後のページからセットすると、希望するコピーが得られません。

11 操作パネルの【スタート】を押します。

複数枚の原稿を差し込む場合は、手順 10 と 11 の操作を繰り返し、すべての差込み原稿をスキャンします。

12 コピー画面の【連続読み込み】を押して、選択を解除します。

13 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

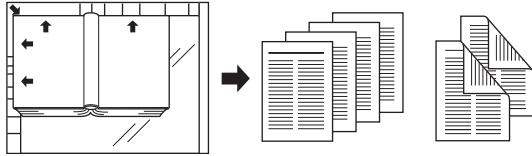
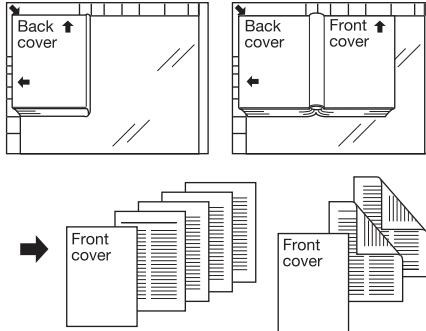
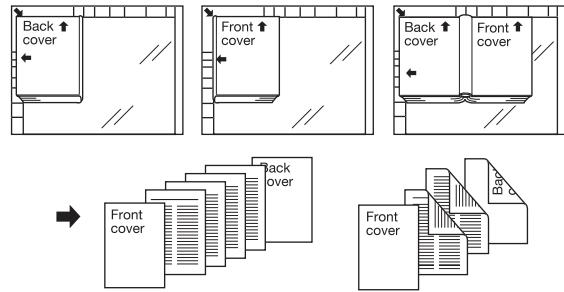
見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする：ブック連写

本やカタログなどの見開きの原稿を、1度の操作で左右1ページずつ別々にコピーします。片面コピーの場合は2枚分、両面コピーの場合は表裏の1枚分になります。本のオモテ/ウラ表紙をつける場合は、最初にスキャンすることでオモテ/ウラ表紙のみ2分割せずに、すべてをページ順に出力することができます。

原稿の左とじ/右とじを選択してページをそろえることができます。

小冊子と併用して、2ページ立ての見開き原稿を中とじ本のページ立てにページ順を変えて出力することができます。

原稿ガラスを使用して左右ページを1ページずつ分割してコピーします。

選択項目	説明
表紙なし	
オモテ表紙あり（左とじ）	<p>オモテ表紙、ページ順の分割コピー順に出力されます。 原稿は、オモテ表紙、見開き本文原稿の順に読み込みます。</p> 
オモテ/ウラ表紙あり（左とじ）	<p>オモテ表紙、ページ順の分割コピー、ウラ表紙の順に出力されます。 原稿は、オモテ表紙、ウラ表紙、見開き本文原稿の順に読み込みます。</p> 

応用機能を
設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラム
ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>
シフトとじしろ>
縮小シフトスタンプ/
オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

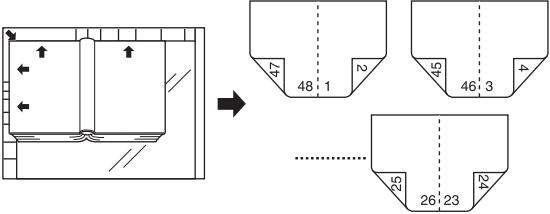
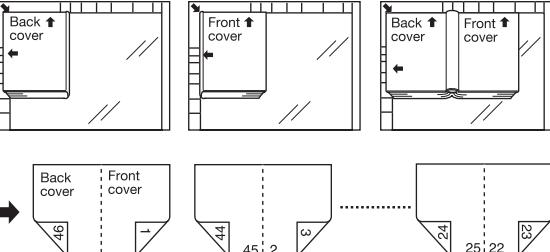
登録

オーバーレイ

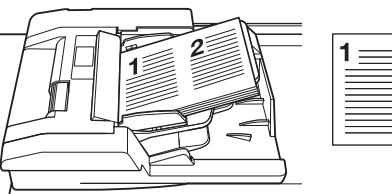
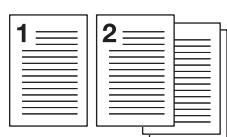
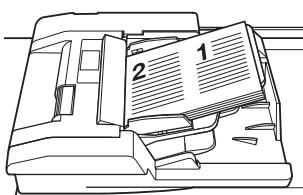
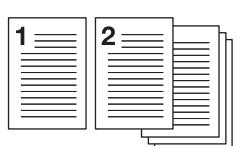
併用できない

コピー条件

小冊子と併用して、見開き2ページの原稿を中とじ本のページ立てにコピーします。

選択項目	説明
表紙なし(左とじ) + 小冊子(左開き)	
オモテ/ウラ表紙あり + 小冊子(左開き)	

ADFにセットできる見開き原稿をADFにセットし、左右ページを1ページずつ分割してコピーします。

選択項目	説明
左とじ	見開き原稿を左、右の順に分割コピーします。  
右とじ	見開き原稿を右、左の順に分割コピーします。  



- 用紙サイズは、A4、B5、8.5" x 11" の3種類です。
- 連続読み込みモードが自動的に設定されます。

1 原稿をセットします。

原稿ガラスを使用する場合

原稿を最初のページからコピー面を下にしてセットします。ADFは開けたままにします。

ADFを使用する場合

ページ順に揃えた原稿の1ページ目を上にしてセットします。ADFには、1度に100枚までセットできます。



- 原稿枚数が100枚を超える場合は、100枚未満のかたまりに分け、最初のページのかたまりから順にスキャンします。
- 表紙を読み込むモードを選択した場合の原稿読み順については、p. 10-30をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [ブック連写] を押します。



4 ブック連写のモードを選択します。

[表紙なし]、[オモテ表紙あり]または[オモテ/ウラ表紙あり]のいずれか1つを押して反転させます。

[左とじ]または[右とじ]を押して、原稿のとじ方向を設定します。通常、横書き原稿の場合は[左とじ]、縦書き原稿などの場合は[右とじ]を選択します。



応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

5 小冊子を併用して見開き原稿を中とじ本のページ立てにする場合は、下記の手順で設定します。

- (1) ブック連写画面の【小冊子】を押して、小冊子画面が表示されます。
- (2) 小冊子の設定をします。詳細は、p. 10-22をごらんください。
- (3) 小冊子画面の【OK】を押します。ブック連写画面にもどります。

6 【OK】を押します。

もとの設定にもどすときは【キャンセル】を押します。設定情報を残してブック連写機能をオフにするときは【機能OFF】を押します。

7 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、ブック連写のアイコンが表示されます。【連続読み込み】が自動的に選択されています。

8 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。

- トレイを選択します。
選択できる用紙サイズは、A4 □、B5 □、8.5" × 11" □の3種類です。
- 自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は【等倍】に設定されています。
- 【表紙なし】で原稿ガラスを使用する場合は、片面->片面または片面->両面コピーモードを選択します。

9 【スタート】を押します。

セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。同様に、全ての原稿をスキャンします。

10 コピー画面の【連続読み込み】を押して、選択を解除します。

11 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



必ず守ってください
出力設定画面に、とじ方向を設定するボタンがあります。このとき、【上とじ】を選択しないでください。



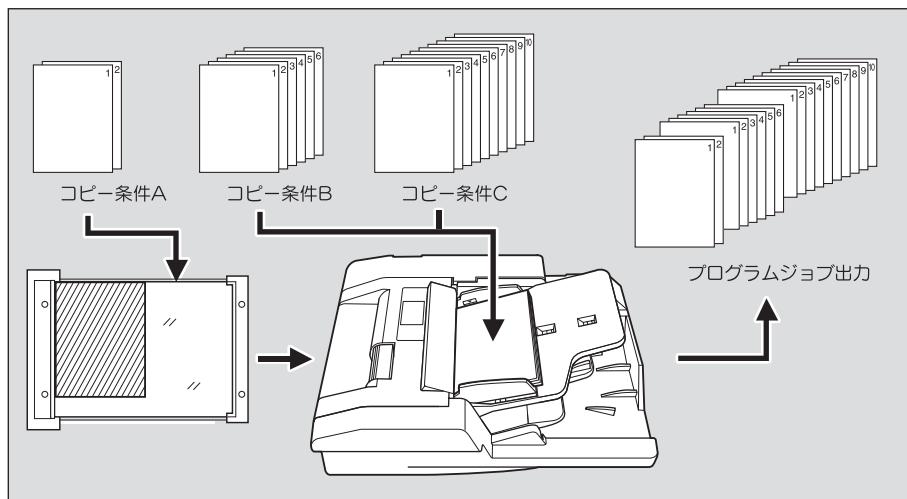
原稿ガラスを使用する場合、原稿外消去とセンタリングが自動的に設定されています。スキャンの操作中、ADFは必ず開けたままにしておいてください。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ

分割スキャンしたジョブを1つのジョブとして出力します。



- 連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- ジョブごとに部数の設定/出力設定の変更はできません。最後の設定がすべてのジョブに適用されます。
- 用紙サイズの設定は、最初のジョブの設定がすべてのジョブに適用されます。
- 1つのジョブとして処理できるジョブは、最大100個までです。
- プログラムジョブを設定メモリーに書き込むことはできません。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 應用設定画面の【プログラムジョブ】を押します。

併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。



4 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面を表示させます。

コピー画面の【応用設定】下に、プログラムジョブのアイコンが表示されます。【連続読み込み】が自動的に選択されています。

5 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。

ここで設定した用紙サイズが、以後のジョブの用紙サイズにも適用されます。

6 操作パネルの【スタート】を押して、原稿をスキャンします。

スキャンした画像データを、設定したコピー条件でコピーするジョブとして確定するかどうかを確認するポップアップ画面が表示されます。

7 [確定] を押します。

スキャンした画像データを削除する場合は、[キャンセル] を押します。



8 手順を繰り返して、すべてのジョブの原稿をスキャンします。

9 全ジョブの原稿スキャンが終わったら、[連続読み込み] を押して、選択を解除します。



応用機能を設定するには

インターフェート

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ／オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

10 コピー画面の【出力設定】を押して、出力設定画面を表示させ、出力モードを設定します。

ここで設定した出力設定が、全ジョブの出力設定になります。



11 コピー部数を操作パネルのテンキーで入力します。

ここで設定したコピー部数が、全ジョブの部数になります。



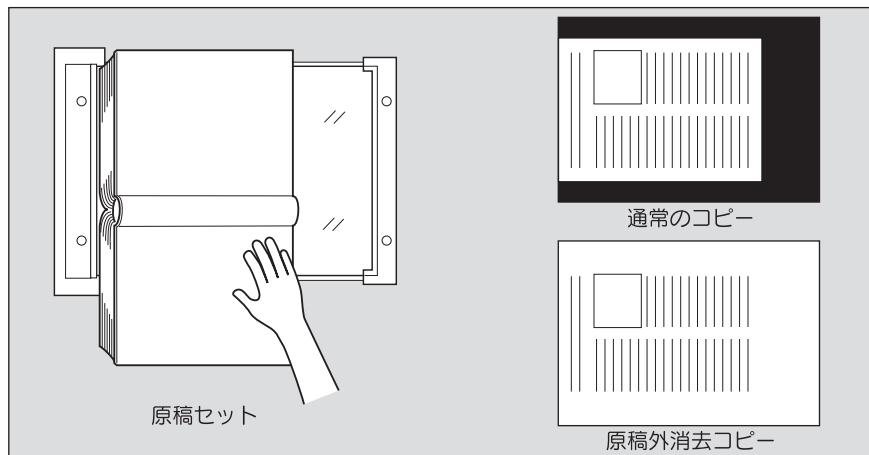
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

12 操作パネルの【スタート】を押します。

いろいろなコピー条件のコピーをまとめて、一括出力します。

原稿以外の部分を消去してコピーする：原稿外消去

原稿ガラスに置かれた原稿の大きさを検知し、それ以外の部分は消してコピーします。



- 原稿は原稿ガラスにセットします。その際、ADFは必ず開けたままにします。
- 原稿のサイズは、10mm×10mm以上の大さが必要です。

1 原稿を原稿ガラスにセットして、ADFを開けたままにします。



ADFを閉じないでください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

3 應用設定画面の【原稿外消去】を押します。

併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。



詳しく説明します

原稿の濃度レベルをマニュアル設定して確実に原稿外消去を機能させたいときは、設定メニューの管理者設定で調整します。詳細は、POD 管理者編をご覧ください。

詳しく説明します

室内照明の関係で、原稿外消去が正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にご相談ください。

4 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、原稿外消去のアイコンが表示されます。

このとき、自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は【等倍】に設定されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面->片面と片面->両面です。片面->両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。

5 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

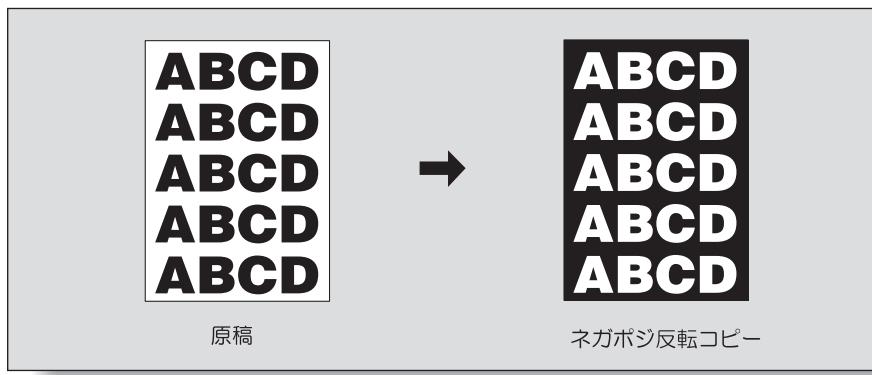
出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

白黒を反転させてコピーする：ネガポジ反転

原稿の白い部分を黒く、黒い部分を白く反転させてコピーします。



1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについて
は、p. 8-6「原稿をセットする」
をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。



新たにコピーするときは、ADFを
確実に閉じ、操作パネルの【リ
セット】を押してから始めます。

3 応用設定画面の【ネガポジ反転】を押します。

併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択で
きなくなります。



応用機能を
設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラム
ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>
シフトとじしろ>
縮小シフトスタンプ/
オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

4 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、ネガポジ反転のアイコンが表示されます。

5 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする：リピート

■ リピート回数を自動的に設定させる

リピート範囲手動入力は、原稿ガラスの指定した範囲に置かれた原稿の画像を1回の用紙に繰り返しコピーします。

自動検出は、検知した原稿サイズ（画像および空白）部分を繰り返しコピーします。

選択項目	説明
リピート範囲手動入力	
自動検出	



- 原稿ガラスを使用します。ADFは使用できません。
- リピート範囲手動入力は、原稿の全画像ではなく、一部の画像を繰り返しコピーするときに、その画像範囲を指定します。
- 自動検出は、原稿外消去を併用して原稿サイズを検知します。ADFを開けたままにします。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

リピート範囲手動入力を選択する場合は、コピーする面を下に向け、原稿ガラスの左奥側から設定した縦横の分割幅内に画像がおさまるようにセットします。原稿がずれないようにADFを静かに閉じます。
自動検出を選択する場合は、ADFを開き、任意の大きさの原稿をコピーする面を下にして、原稿ガラスにセットします。



自動検出を選択した場合は、原稿外消去が自動的に選択されています。原稿をスキャンする際、ADFは必ず開けたままにしておいてください。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

3 応用設定画面の【リピート】を押します。



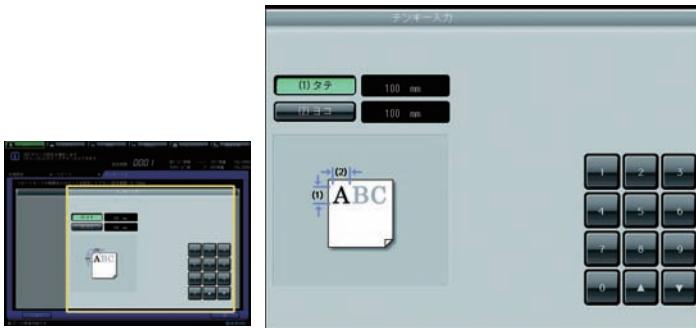
4 リピート範囲手動入力、または自動検出を設定します。

リピート範囲手動入力を選択：【ズーム】を押します。
【▲】【▼】を押して、ヨコ分割幅とタテ分割幅を設定します。



1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする:リピート(つづき)

画面上のテンキーを使って入力する場合は、[テンキー入力] を押して、画像サイズ入力画面を表示させます。[ヨコ] または [タテ] を押して選択し、画面のテンキーで分割幅を入力します。[OK] を押すと数値を確定し、リピート画面にもどります。



自動検出モードを選択 : [自動] を押して選択します。



5 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは [キャンセル] を押します。
設定情報を残してリピート機能をオフにするときは [機能OFF] を押します。

6 應用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の [応用設定] 下に、リピートのアイコンが表示されます。

このとき、自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は [等倍] に設定されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面->片面と片面->両面です。片面->両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの [スタート] を押します。

出力を開始します。

詳しく説明します

自動検出選択時、室内照明の関係で、リピートが正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にご相談ください。

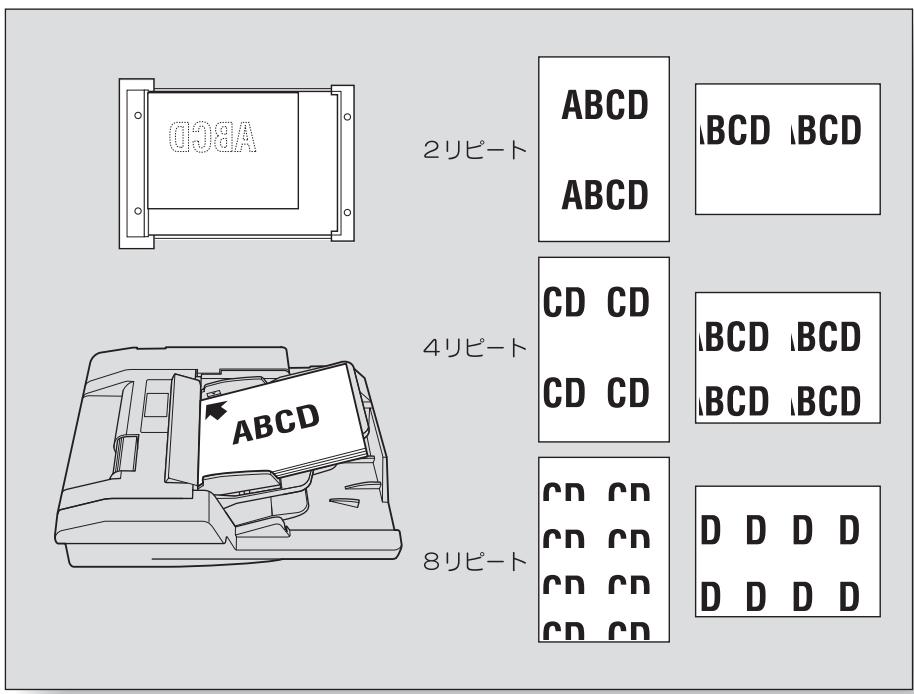


コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

■ リピート回数を指定する：定形リピート

定形リピートモードは、設定した用紙サイズの分割（1/2、1/4、1/8）範囲の原稿画像を、分割数（2、4、8）回繰り返しコピーします。

2リピートは、リピート画像の方向を選択できます。リピートした用紙を断裁するとき、断裁面を合わせることができ便利です。



- 倍率は自動倍率が設定されます。倍率を変えることはできますが、その際、自動画像回転機能は使用できません。原稿画像の読み取り範囲は、設定した用紙サイズの分割範囲になります。
- 2リピート選択時は、リピート画像方向指定ができます。

1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。原稿の読み取り範囲は、設定する用紙サイズ、用紙の向き、リピート数によって変わります。



原稿のp. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。セットのしかたについては、

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。



原稿の読み取り範囲と用紙の向きの関係についてはp. 10-47をごらんください。

3 応用設定画面の [リピート] を押します。



4 定形リピートモードを選択します。

[2リピート] [4リピート] または [8リピート] を押して反転させます。

2リピートの場合、通常のほかに2つの画像の方向を選択することができます。

[右/下反転] または [左/上反転] を押します。



5 [OK] を押します。

との設定にもどすときは [キャンセル] を押します。設定情報を残してリピート機能をオフにするときは [機能OFF] を押します。

応用機能を
設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラム
ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>
シフトとじしろ>
縮小シフトスタンプ/
オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

6 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面を表示させます。

コピー画面の【応用設定】下に、リピートのアイコンが表示されます。

このとき、自動用紙選択機能および自動画像回転機能は解除され、自動倍率機能が選択されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面→片面と片面→両面です。片面→両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

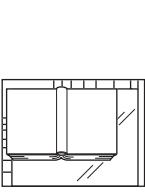
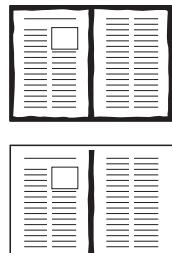
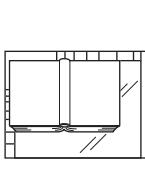
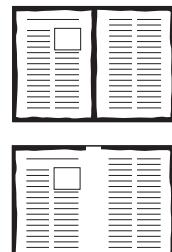


原稿の読み取り範囲と用紙の向き

2リピート	4リピート	8リピート
<p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ランドスケープ原稿のリピート領域</p> <p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p>	<p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ランドスケープ原稿のリピート領域</p> <p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p>	<p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ランドスケープ原稿のリピート領域</p> <p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p>
<p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p> <p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p>	<p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p> <p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p>	<p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p> <p>ランドスケープの用紙選択 ポートレートの用紙選択</p> <p>ポートレート原稿のリピート領域</p>

本の周囲・綴じ部分の黒い影を消す：枠/折り目消し

本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーすると、周囲や中央部に黒い影ができることがあります。この機能を設定することで、それらの黒い影を消してコピーし、トナーの消費をおさえることができます。

選択項目	説明
枠消し	コピー画面の周囲4辺の不要部分を消去します。  
折り目消し	コピー画像の中央部にできる黒い影を消去します。  



- 枠消しは1 mm～300 mmの範囲、折り目消しは1 mm～99 mmの範囲を、1 mm単位で設定できます。
- 枠消しおよび折り目消しは、それぞれ単独でも、組み合わせても設定することができます。
- 枠消しには、用紙の上下左右すべて同じ範囲で画像消しをする一括枠消しモードと、各辺で個別に範囲を設定する個別枠消しモードがあります。

1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。



厚みのある原稿を原稿ガラスにセットするとき、ADFで上から強く押さえないようにしてください。また、ADFを閉じると原稿が曲がる場合は、開けたままにしてください。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

3 応用設定画面の【枠/折り目消し】を押します。



4 枠/折り目消し画面左側の【4辺一括枠消し】、【各辺個別枠消し】、または【折り目消し】を押して反転させます。

枠消しと折り目消しの併用が可能です。



5 選択したモードの画像消し量を設定します。

〔4辺一括枠消し〕を設定するには：画面中央図の枠消し量の数値がすべて反転しています。画面上の〔▲〕、〔▼〕またはテンキーを押して、画像消し量を入力します。



〔各辺個別枠消し〕を設定するには：画面右側の変更したい辺のボタンを押して反転させると、画面中央図の選択した辺の画像消し量の数値が反転します。画面上の〔▲〕、〔▼〕またはテンキーを押して、画像消し量を入力します。



〔折り目消し〕を設定するには：画面中央図の折り目消し量の数値が反転しています。画面上の〔▲〕、〔▼〕またはテンキーを押して、画像消し量を入力します。



応用機能を
設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラム
ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>
シフトとじしろ>
縮小シフトスタンプ/
オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

6 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
 設定情報を残して枠/折り目消し機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 應用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、枠/折り目消しのアイコンが表示されます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

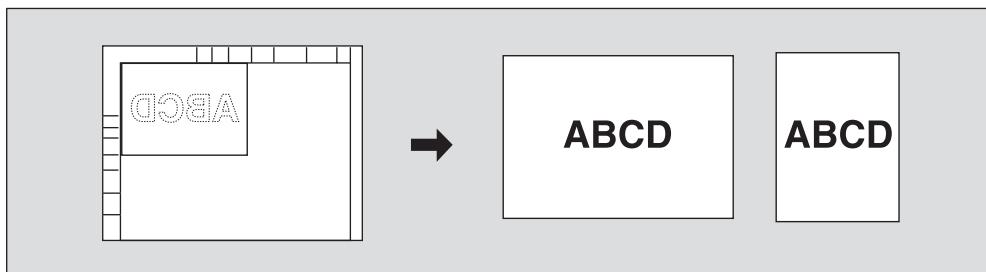
出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

画像を用紙の中央に配置してコピーする：センタリング

原稿の画像を用紙の中央に位置を補正してコピーします。



原稿外消去が自動的に設定されます。ADFを使用する場合はこの機能を解除してください。

1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

3 応用設定画面の【センタリング】を押します。

併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。

このとき、原稿外消去が自動的に設定されます。ADFを使用するときは、このボタンを押して反転を解除します。

ブック連写と併用すると、ブック連写の原稿が用紙よりも小さい場合、その用紙の中央にコピーされます。



応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

4 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、原稿外消去およびセンタリングのアイコンが表示されます。

このとき、自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は【等倍】に設定されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面->片面と片面->両面です。片面->両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。

5 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。



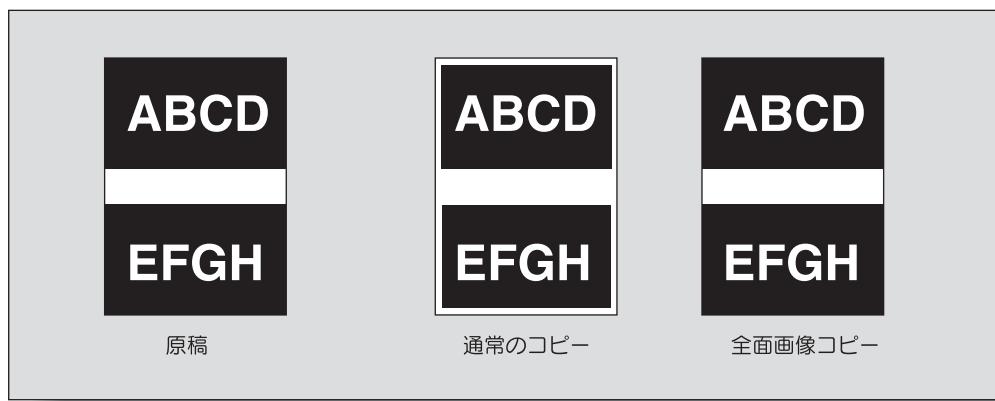
室内照明により、センタリングが正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にご相談ください。

用紙いっぱいの大きさにコピーする：全面画像

通常は、用紙サイズに対して先端約2 mm、後端表面約2 mm、後端裏面約2 mm、左端／右端に約2 mmずつの画像消しを行ってコピーしています。

このモードを使用すると、上記の画像消しを行わずに、用紙ぎりぎりまで画像をコピーします。

ワイド紙にコピーしたり、A4原稿をB4でコピーするなど一回り大きいサイズの用紙全面にコピーするときに使います。



1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

応用設定ポップアップ画面が表示されます。



応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折り目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ／オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

3 應用設定画面の【全面画像】を押します。

併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。



4 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に【全面画像】のアイコンが表示されます。

5 原稿をセットし、コピーします。

コピー部数を設定し、原稿をセットして【スタート】を押します。



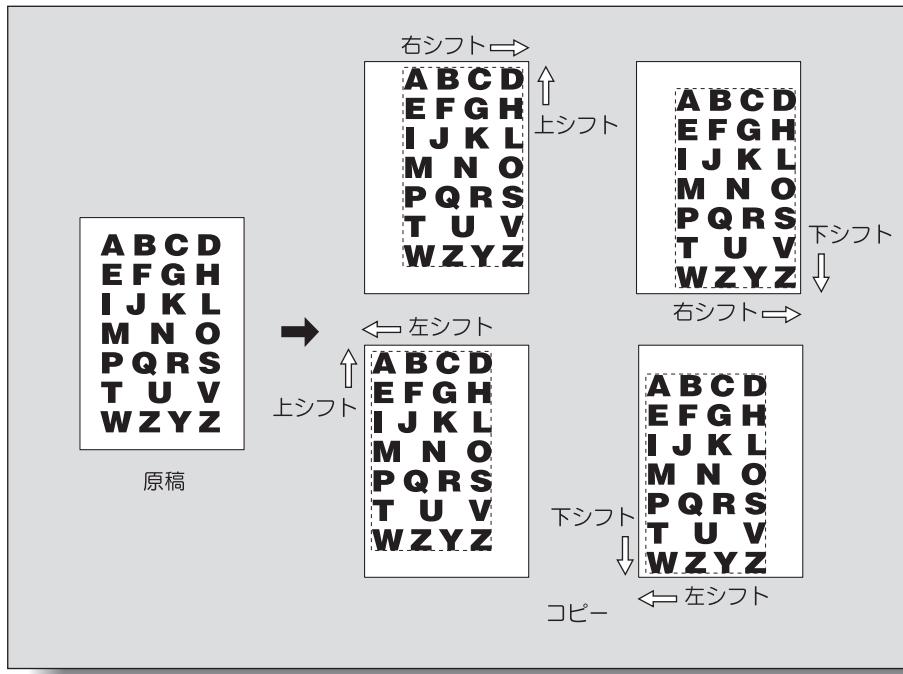
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

コピー画像の位置を調整する：とじしろ>シフト

スキャンした画像の位置を任意に動かして、コピーにとじしろをつくったり、両面コピー時にオモテ・ウラの画像のズレを調整したりします。

1枚の用紙に2画像をコピーする小冊子や定形リピートモードの〔2リピート〕を設定しているとき、2画像の間隔を任意に調整します。

とじしろをつけて画像欠けを起こすような原稿の場合は、「画像欠けを起こさずにとじしろをつける」(p. 10-61～p. 10-64) をごらんください。



- 上下方向（上シフト、下シフト）と左右方向（左シフト、右シフト）のシフトができます。
- シフトは0～250 mmの範囲を、1 mm単位で変更可能です。画像を0.1mm単位で微調整できます。
詳細は、POD管理者編をごらんください。
- 外側オフセットは、0～50 mmの範囲を1 mm単位で変更可能です。
- ページ間隔は、-250～+250 mmの範囲を1 mm単位で変更可能です。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定 第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、片面/両面を選択します。



3 【応用設定】を押します。

4 応用設定画面の【とじしろ】を押します。



5 【シフト】を押します。



6 画像位置を調整する用紙面を選択します。

印刷面を選択します。
〔オモテ面〕、〔ウラ面〕、または〔両面〕を押して反転させます。

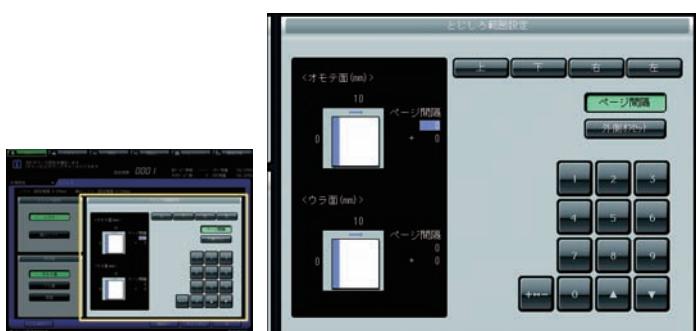


- 片面コピーのときは、オモテ面の設定のみ有効となります。
- 両面コピーのとき、オモテ面とウラ面のシフト量を同じにする場合は、〔両面〕を反転させます。

ページ間隔を設定するには：
〔ページ間隔〕を押して反転させます。

外側オフセットを設定するには：

〔外側オフセット〕を押して反転させ、〔オモテ面〕、〔ウラ面〕または〔両面〕を押して反転させます。



- 〔ページ間隔〕を選択するには、あらかじめ小冊子または定形リピートモードの〔2リピート〕を設定しておく必要があります。
- 〔外側オフセット〕を選択するには、あらかじめ小冊子（無線とじを除く）を設定しておく必要があります。
- ページ間隔と外側オフセットの詳細については、p. 10-59～p. 10-60をごらんください。

7 シフト方向とシフト量を設定します。

上下方向〔上〕 / 〔下〕と左右方向〔左〕 / 〔右〕のシフトができます。任意のシフト方向ボタンを押して反転させ、〔▲〕、〔▼〕、またはテンキーを押して、シフト量を入力します。

ページ間隔および外側オフセットのシフト量を設定する場合は、シフト方向を指定する必要はありません。

ページ間隔のシフト量をテンキーで入力したとき、数値入力後に〔+ (−) −〕を押して+/−を切替えます。



- シフト量は、0mm～250mmの範囲を1 mm単位で設定できます。設定メニュー画面で、0.1 mm単位で設定できるように変更できます。詳しくは、POD管理者編をごらんください。
- シフト方向は、原稿設定画面で設定する原稿セット方向が基準になります。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

8 オモテ面とウラ面のシフト量を別々に設定するときは、手順6、7の操作を繰り返します。

9 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してとじしろ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

10 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、とじしろのアイコンが表示されます。

11 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。

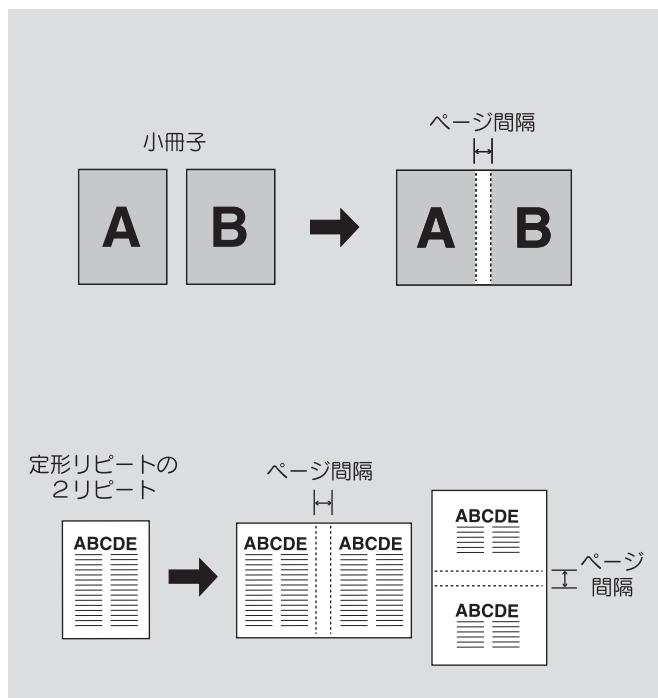


コピー部数の設定の詳細は、詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

詳しく説明します

ページ間隔とは？

ページ間隔は、小冊子または定形リピートモードの2リピートモードを選択したときに設定可能です。出力紙の中央を基準に、左右のページを設定値分だけシフトします。入力した設定値分はなしてコピーします。

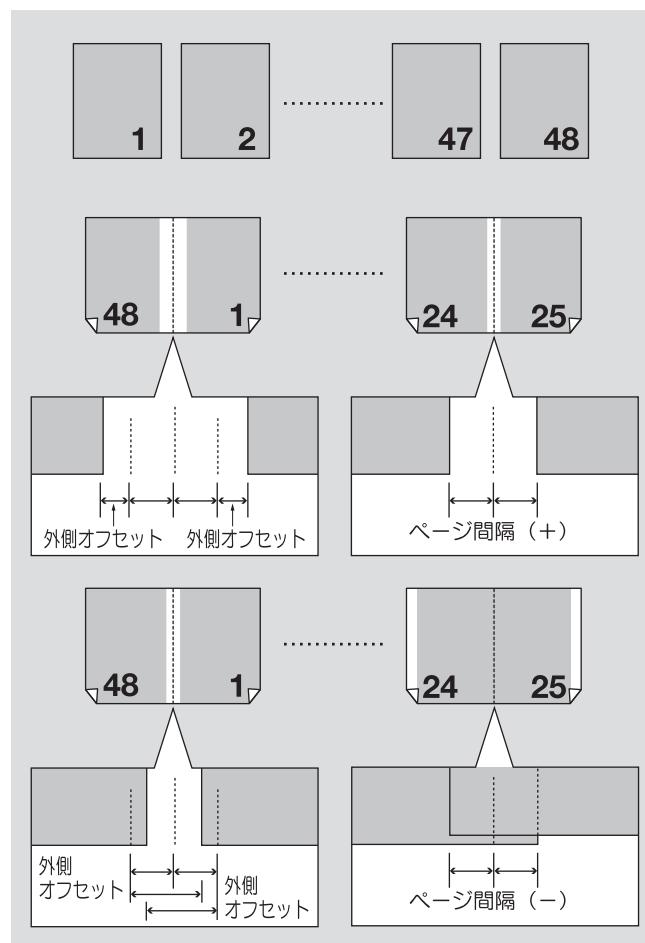




外側オフセットとは？

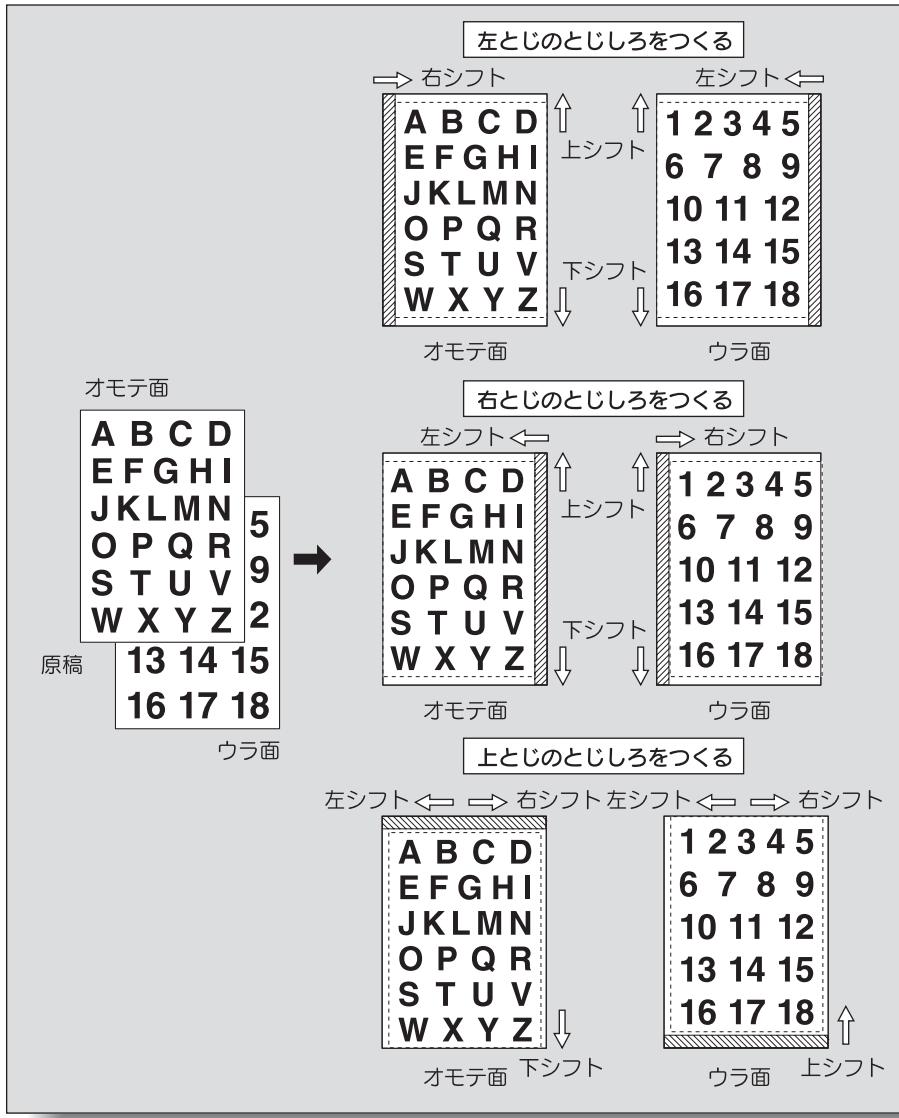
外側オフセットは、無線とじを除く小冊子を選択したときに設定可能です。重ね中折り／中とじの断裁出力を行う場合、断裁面から画像端までの余白が外側と内側で異なることがあります。このような場合、ページ間隔と併用することで余白を均一にできます。

もっとも外側になる画像に対するページ間隔を、もっとも内側になる画像に対する外側オフセット量として入力します。



画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ>縮小シフト

画像欠けを起こさずにとじしろをつけてコピーするため、コピー画像を少し縮小しシフトさせます。縮小率はオモテ面の右方向のシフト量で決まります。



- 片面コピーの場合、縮小率はオモテ面の右方向のシフト量で決まります。上/下方向のシフト量の設定では縮小率は変わりません。ウラ面のとじしろ範囲（シフト方向/シフト量）を設定しても機能しません。
- 両面コピーの場合も縮小率はオモテ面の右方向のシフト量で決まります。オモテ面とウラ面のとじしろ範囲（シフト方向/シフト量）を別々に設定し、別々にシフトさせることができます。縮小率は別々にはなりません。
- シフト量はシフト方向にかかわらず、0~250 mmの範囲を1 mm単位で変更できます。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
オーバーレイ
応用設定
第1章
登録
オーバーレイ
併用できない
コピー条件

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、片面/両面を選択します。



3 [応用設定] を押します。

4 応用設定画面の [とじしろ] を押します。



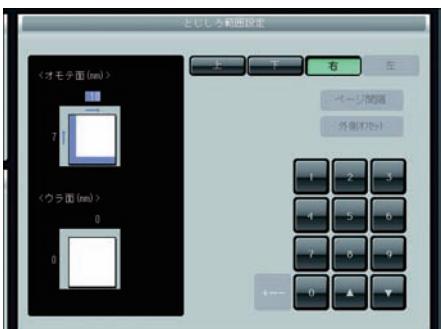
5 [縮小シフト] と [オモテ面] を押して反転させます。

「とじしろ設定」下の〔縮小シフト〕と、「有効面」下の〔オモテ面〕を押して反転させます。



6 [オモテ面] の右方向のシフト量を入力します。

「とじしろ範囲設定」下の〔右〕を押して反転させ、〔▲〕〔▼〕またはテンキーを押してシフト量を入力します。縮小率が自動的に設定されます。



〔オモテ面〕で設定できるシフト方向は〔右〕のみです。とじしろを右につける場合は、コピー画面の「原稿セット方向」下のボタンで原稿セット方向を変更してください。

7 [オモテ面] 右方向以外のとじしろ範囲（シフト方向/シフト量）を設定します。

片面コピーの場合：

〔オモテ面〕を反転させた状態で、必要に応じて〔上〕または〔下〕を押して反転させ、〔▲〕〔▼〕またはテンキーを押してシフト量を入力します。

〔ウラ面〕を設定する必要はありません。設定しても機能しません。

両面コピーの場合：

片面コピーと同様に必要に応じて〔オモテ面〕の〔上〕または〔下〕のシフト量を入力します。

〔ウラ面〕のとじしろ範囲は、通常〔オモテ面〕と同じにしますが〔オモテ面〕と違う設定も可能です。

8 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してとじしろ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

9 應用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔應用設定〕下に、とじしろのアイコンが表示されます。

10 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。

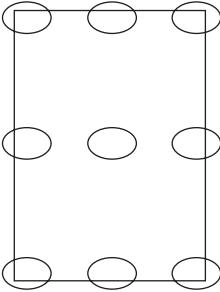
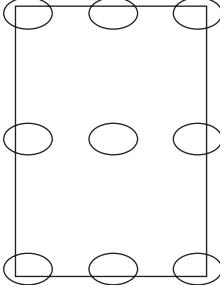
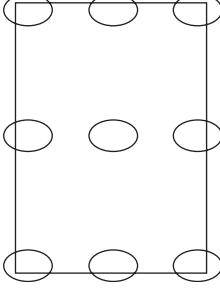
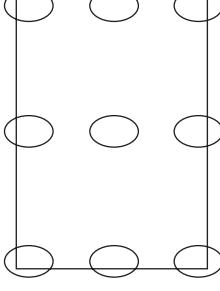


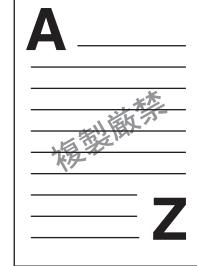
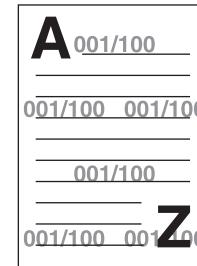
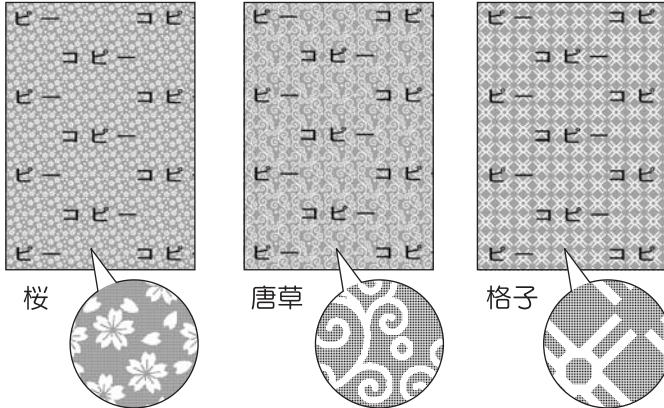
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

原稿にない情報を印字してコピーする:スタンプ/オーバーレイ

原稿にない定型スタンプ、ナンバリング、ページ、日付/時刻、ウォーターマーク、ウォーターマークナンバリングをコピーに印字します。
スタンプには、下記7つの種類があります。これらの併用に関しては、p. 10-99をごらんください。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集 約
小冊子
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
オーバーレイ
応用設定
第10章
登録
オーバーレイ
併用できない
コピー条件

選択項目	説 明
定型スタンプ	<p>至急</p> <p>社外秘</p> <p>重要</p> 
ナンバリング	<p>002 / 005</p> 
ページ	<p>P1</p> <p>1-1</p> <p>1/5</p> 
日付/時刻	<p>'08/5/5 1:23PM</p> 

選択項目	説明
ウォーターマーク	
ウォーターマーク ナンバリング	
kopiproduct	

kopiproduct以外の設定には、下記のような詳細設定があります。詳細は、p. 10-81をごらんください。

- 印字位置の微調整
- ナンバリング印字モードのスタート番号設定
- ページ印字モードのスタート番号設定
- ページ/日付の文字の変更
- ページの印字ページ

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定 第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ 定型のスタンプを印字する：定型スタンプ

用紙の指定した位置にスタンプを印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

応用設定画面の [スタンプ/オーバーレイ] を押します。



3 [定型スタンプ] を押します。



4 スタンプの種類、印字位置、文字の大きさ、印字ページを指定します。

12のスタンプ種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

「印字位置選択」表示下の9つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

〔文字サイズ変更〕を押して、〔大きめ〕または〔小さめ〕を表示させます。

〔印字ページ変更〕を押して、〔表紙のみ〕または〔全ページ〕を表示させます。



印字位置の微調整については、p. 10-81をごらんください。



5 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

6 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定 第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ 管理用ナンバリングを印字する: ナンバリング

用紙の指定した位置にナンバリング(通し番号)を印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [スタンプ/オーバーレイ] を押します。



4 [ナンバリング] を押します。



5 ナンバリングの種類、印字位置、文字の大きさ、印字ページ、スタート番号を設定します。

4つのナンバリング種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

「印字位置選択」表示下の9つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

〔文字サイズ変更〕を押して、〔20ポイント〕または〔36ポイント〕を表示させます。

〔印字ページ変更〕を押して、〔表紙のみ〕または〔全ページ〕を表示させます。ナンバリング開始ページの設定をする場合は、〔スタート番号〕を押します。



- 印字位置の微調整については、p. 10-81をごらんください。
- ナンバリングの開始ページ設定については、「ナンバリング印字モードのスタート番号設定」(p. 10-81)をごらんください。



6 [OK] を2回押します。

との設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 應用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を
設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラム
ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>
シフトとじしろ>
縮小シフトスタンプ/
オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ ページ数を印字する：ページ

用紙の指定した位置にページ番号を印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [スタンプ/オーバーレイ] を押し ます。



4 [ページ] を押します。



5 ページ番号の種類、印字位置、印字ページ、文字の大きさと種類、スタート番号を設定します。

「フォーマット」表示下の5つのページ種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

「印字位置選択」表示下の9つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

印字ページの設定やインターシート（コピー挿入/白紙挿入）のページ印字の設定をする場合は、〔表紙/挿入紙変更〕を押します。

文字の大きさや、印字するページの文字種類を変更する場合は、〔文字変更〕を押します。

章の最初にページを印字するかしないかは、〔章先頭印字変更〕を押して変更します。ページ印字の開始ページ、章ごとのページを設定する場合は、〔ページ/章変更〕を押します。



- 印字位置の微調整については、p. 10-81をごらんください。
- 〔表紙/挿入紙変更〕を押した後の操作については、p. 10-85「ページの印字ページ」をごらんください。
- 〔文字変更〕を押した後の操作については、p. 10-84「ページ/日付の文字変更」をごらんください。
- ページ印字の開始ページ設定については、p. 10-82「ページ/章のスタート番号設定」をごらんください。



6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ 日付や時刻を印字する：日付/時刻

用紙の指定した位置に日付、時刻を印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [スタンプ/オーバーレイ] を押し ます。



4 [日付/時刻] を押します。



5 日付および時刻の種類、印字位置、文字の大きさと種類、印字ページを設定します。

「フォーマット」表示下の5つの日付種類および3つの時刻種類ボタンのうち、それぞれ1つを押して反転させます。

「印字位置選択」表示下の9つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

文字の大きさや、印字するページの文字種類を変更する場合は、〔文字変更〕を押します。

〔印字ページ変更〕を押して、〔表紙のみ〕または〔全ページ〕を表示させます。

機械の日付・時刻を変更する場合は〔日付/時刻変更〕を押します。



- 印字位置の微調整については、p. 10-81をごらんください。
- 〔印字ページ変更〕を押した後の操作については、p. 10-85「ページの印字ページ」をごらんください。
- 〔文字変更〕を押した後の操作については、p. 10-84「ページ/日付の文字変更」をごらんください。
- ページ印字の開始ページ設定については、p. 10-82「ページ/章のスタート番号設定」をごらんください。
- 〔日付/時刻変更〕を押した後の操作については、p. 10-86をごらんください。

6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 應用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ 定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク

コピー画像の中心に淡い文字を印刷します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [スタンプ/オーバーレイ] を押し ます。



4 [ウォーターマーク] を押します。



5 ウォーターマークの種類、文字の濃さを指定します。

12のウォーターマーク種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

「文字の濃さ」表示下の4つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

ウォーターマークはコピーの中央に印刷されますが、位置を調整するときは〔位置の微調整〕を押します。



印字位置の微調整については、p. 10-81をごらんください。



6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 應用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を
設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラム
ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>
シフトとじしろ>
縮小シフトスタンプ/
オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ ウォーターマークで管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング

淡い文字でページ全面にナンバリングを印刷します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [スタンプ/オーバーレイ] を押し ます。



4 「ウォーターマーク」表示下の [ナンバリング] を 押します。



5 ウォーターマークナンバリングの種類、文字の大きさ、スタート番号、文字の濃さを指定します。



ナンバリングの開始ページ設定については、p. 10-81「ナンバリング印字モードのスタート番号設定」をごらんください。

「フォーマット」表示下の4つのナンバリング種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

〔文字サイズ変更〕を押して、〔20ポイント〕または〔36ポイント〕を表示させます。

ナンバリング開始ページの設定をする場合は、〔スタート番号〕を押します。

「文字の濃さ」表示下の4つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 懸念設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔懸念設定〕下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定 第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ 全体に文字やパターンをプリントする: コピープロテクト

コピー画像に淡い文字やパターンを印刷します。このように出力されたものを原稿としてコピーすると、「取扱注意」等の文字が浮き上がり、不正なコピーや情報漏洩を防ぎます。



- 文字列とパターンをそれぞれ1種類ずつ選択します。文字列／パターンのみのプリントはできません。
- 原稿に対して拡大／縮小／集約の設定をしても文字列とパターンは常に等倍でプリントされます。
- 文字列の大きさは44ポイントです。
- 文字列の印字位置は、ウォータマークナンバリングと同じです。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。



3 応用設定画面の [スタンプ/オーバレイ] を押します。

4 「ウォータマーク」表示下の【kopiprojekt】を押します。



5 文字列、背景を指定します。



〔コピー〕、〔無効〕、〔取扱注意〕、〔複写〕のうち、いずれか1つを押して反転させます。

「背景」表示下の3つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。



文字列だけ、パターンだけをプリントすることはできません。

6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 應用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、スタンプ/オーバレイのアイコンが表示されます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を設定するには

インターフォント

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

■ スタンプモードでの詳細設定

印字位置の微調整

定型スタンプ、ナンバリング、ページ、日付設定時に、それぞれの印字位置の微調整ができます。上下方向([上へ]、[下へ])と左右方向([右へ]、[左へ])の2方向で、50 mmまで調整します。



- 1** 任意の方向ボタンを押して反転させ、[▲] [▼] またはテンキーを押して調整値を入力します。
- 2** [OK] を押して設定を確定し、元の設定画面にもどします。

ナンバリング印字モードのスタート番号設定

ナンバリング印字モード画面の「スタート番号」を押すと、下記の画面が表示され、ナンバリング印字スタート番号を設定することができます。



- 1** [▲] [▼] またはテンキーで、印字開始ページ(4ケタまで)を入力します。
- 2** [OK] を押して設定を確定し、元の設定画面にもどします。

ページ/章のスタート番号設定

ページ印字モード画面の【ページ/章変更】を押すと、下記の画面が表示され、ページのスタート番号、印字開始ページおよび印字最終ページを設定することができます。応用機能の【章分け】を併用したときは、ページのスタート番号および印字開始ページだけではなく、章のスタート番号、印字開始章および印字最終章も設定できます。

ページの印字最終ページ、章の印字最終章の設定は、最後までページ/章番号をつけるときは不要で、途中からページ/章番号をつけないときに行います。



1 <ページ>表示下の【スタート番号】を押して反転させ、章ごとのページスタート番号を入力します。

【▲】【▼】またはテンキーで入力します。[1]～[99999]まで入力できます。【クリア】を押すと [1] にもどります。[0] を入力しても [1] に設定されます。

2 <ページ>表示下の【開始ページ】を押して反転させ、印字開始ページを調整します。

【▲】【▼】またはテンキーで入力します。[1]～[99999]まで入力できます。【クリア】を押すと [1] にもどります。[0] を入力しても [1] に設定されます。

3 <ページ>表示下の【最終ページ】を押して反転させ、印字最終ページを入力します。

最後までページをつけるときは、入力する必要はありません。

途中から最後までページをつけないときは、ページをつける最終ページを入力します。

応用機能を
設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラム
ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>
シフトとじしろ>
縮小シフトスタンプ/
オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

4 <章>表示下の【スタート番号】を押して反転させ、章のスタート番号を入力します。

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。[1] ~ [99]まで入力できます。[クリア] を押すと [1] にもどります。[0] を入力しても [1] に設定されます。

5 <章>表示下の【開始章】を押して選択して、印字開始章を調整します。

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。[1] ~ [99]まで入力できます。[クリア] を押すと [1] にもどります。[0] を入力しても [1] に設定されます。

6 <章>表示下の【最終章】を押して反転させ、印字最終章を入力します。

最後の章まで章番号を印字するときは、入力する必要はありません。

途中から最後まで章番号をつけないときは、章番号をつける最終章を入力します。

7 [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。

ページ/日付の文字変更

ページ、日付設定時に、文字サイズと文字種類の設定ができます。



- 1 「文字サイズ」表示下の4つのボタンのうち、1つを押して反転させます。
- 2 「文字種類」表示下の〔ゴシック体〕、または〔明朝体〕のどちらかを押して反転させます。
- 3 [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。

応用機能を設定するには

インターフォード

章分け

集 約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定 第10章

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

ページの印字ページ

ページ設定時に、表紙ページへの印字とインターフォードが設定されているときの挿入紙へのページ印字の設定ができます。



- 1 「表紙」表示下の3つのボタンのうち、1つを押して反転させます。**
- 2 インターフォードのコピー挿入を設定しているときは、「印刷挿入紙」表示下の3つ、白紙挿入を設定しているときは「白紙挿入紙」表示下の2つのボタンのうち、1つを押して反転させます。**
- 3 [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。**

日付/時刻変更

現在の日時以外の日時を印字させることができます。



- 1 [設定時刻] を押して反転させます。
- 2 [設定] を押して、変更したい「年」「月」「日」「時刻」の部分を反転させます。
- 3 画面のテンキーで、変更する数字を入力します。
- 4 [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。

コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ／オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

第

章

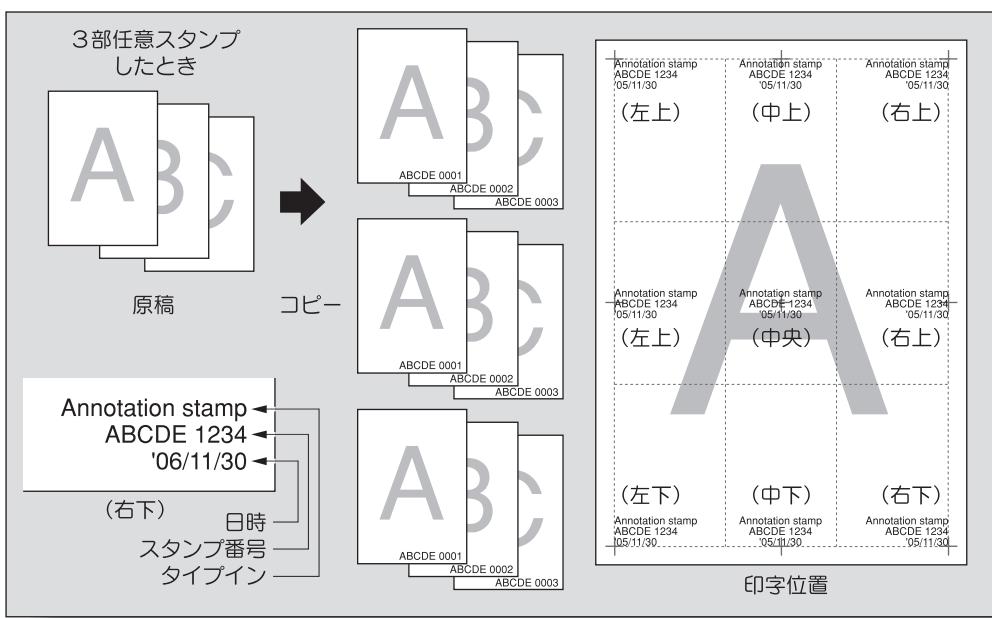
登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

文字列、原稿を読み込む日時、読み込む原稿の通し番号の設定を1セットにして登録しておき、任意に呼び出してコピー画像の指定位置に印刷します。
通し番号の設定はあらかじめ登録した設定以外の設定を一時的に変更することができます。（一時番号設定）
任意スタンプはそのほかのスタンプ機能（定型スタンプ、ウォーターマーク）との併用が可能です。



- 文字列、日時、通し番号の設定を1セットとし、最大40セットまで登録できます。
文字列、日時、通し番号の順番や表示／非表示などの設定は、設定メニュー画面で行います。
- 日時は機械に設定されている日時設定をもとに原稿が読み込まれる日時を印刷します。
- 通し番号は、読み込む原稿ごとにまた読み込む原稿順にカウントして番号を印刷します。ジョブをまたいだり電源をオン／オフしてもカウントを継続します。
任意スタンプの機能を設定していないときや、一時番号設定がされているときはカウントされません。
- 印刷位置は9つから選択できます。また、上下±0～50mm、左右±0～50mmの範囲で印刷位置の微調整ができます。
- 下記の登録・設定は、設定メニュー画面の管理者設定で行います。詳細はPOD管理者編をごらんください。

文字列・日時・通し番号の順番、表示／非表示、印刷組合せ

文字列の入力（半角英数字40文字以内）

日付の印刷形態（5種類のうち1つ選択）

時刻の印刷形態（3種類のうち1つ選択）

通し番号の前に文字列入力（半角英数字20文字以内）

通し番号の印刷形態（2種類のうち1つ選択）

一時番号の設定（半角英数字12文字以内）

印刷フォント（ゴシック／明朝のうち1つ選択）

印刷サイズ（8／10／12／14ポイントから1つ選択）

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

応用設定ポップアップ画面が表示されます。

3 応用設定ポップアップ画面の [スタンプ／オーバーレイ] を押します。



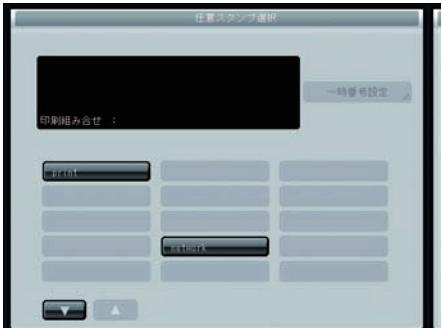
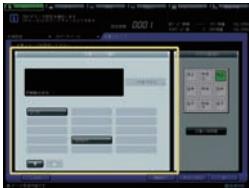
スタンプ／オーバーレイポップアップ画面が表示されます。

4 [任意スタンプ] を押します。



任意スタンプ設定ポップアップ画面が表示されます。

5 任意の任意スタンプ設定を選択し、印刷位置を設定します。



詳しく説明します

任意スタンプ設定呼出しボタンは最大40個まで設定されています。

詳しく説明します

〔一時番号設定〕が表示されている場合は選択した任意スタンプ設定以外の一時番号設定で印刷されます。

- (1) [▼] [▲] を押して希望する任意スタンプ設定呼出しボタンを表示させて押し、反転させます。
選択したボタンに登録されていた任意スタンプの印刷形態が表示されます。
- (2) 「印刷位置選択」表示下にある9つのボタンのうち、いずれか1つを押して、反転させます。印刷位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

6 一時的に通し番号の設定を変更するときは〔一時番号設定〕を押します。

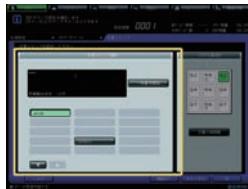
一時番号設定画面が表示されます。



詳しく説明します

5項で選択した任意スタンプ設定で通し番号の設定がされていない場合、〔一時番号設定〕に網がかかり、一時番号設定はできません。

- (1) 入力ボタンを押して一時番号を設定します。
半角英数字8文字まで入力可能です。
(2) [OK] を押します。



- 一時番号設定をすると、もとの設定でのカウントはされません。
- 一時番号設定をすると、全ページに同じ一時番号を印刷します。

任意スタンプ設定画面にもどります。

7 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定した任意スタンプの設定情報を残して任意スタンプ機能をオフにするときは、〔機能OFF〕を押します。

8 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下にスタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。



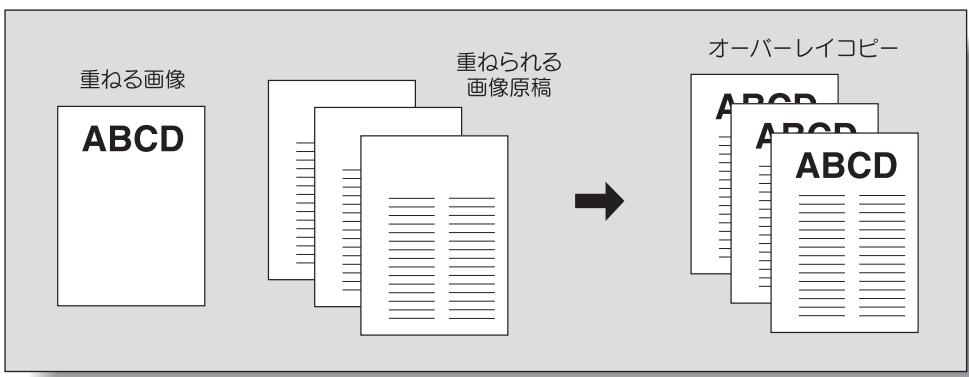
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

9 コピー部数を設定し、操作パネルの〔スタート〕を押します。

出力を開始します。

画像を重ねてコピーする：オーバーレイ

最初にスキャンした1枚の画像を、その後にスキャンした画像に重ねてコピーします。



1 重ねる画像の原稿をセットします。

ADFまたは原稿ガラスに、原稿を1枚セットします。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

3 応用設定画面の【スタンプ/オーバーレイ】を押し ます。



4 「オーバーレイ」表示下の【オーバーレイ】を押し ます。

5 【OK】を押します。

もとの設定にもどすときは【キャンセル】を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフに
するときは【機能OFF】を押します。

6 應用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。

このとき、自動用紙機能および自動倍率機能は自動的に解除され、倍率は【等倍】に設定されます。また、連続読み込みモードが自動的に設定されています。

7 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。

9 重ねられる画像の原稿をセットします。

ADFまたは原稿ガラスに、原稿をセットします
ADFにセットする原稿枚数が100枚を超える場合は、
100枚未満のブロックに分け、最初のページのブロック
から順にスキャンします。

10 操作パネルの【スタート】を押します。

手順9と10の操作を繰り返し、すべての原稿をスキャ
ンします。

**11 コピー画面の【連続読み込み】を押して、選択を解
除します。**

**12 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を
押します。**

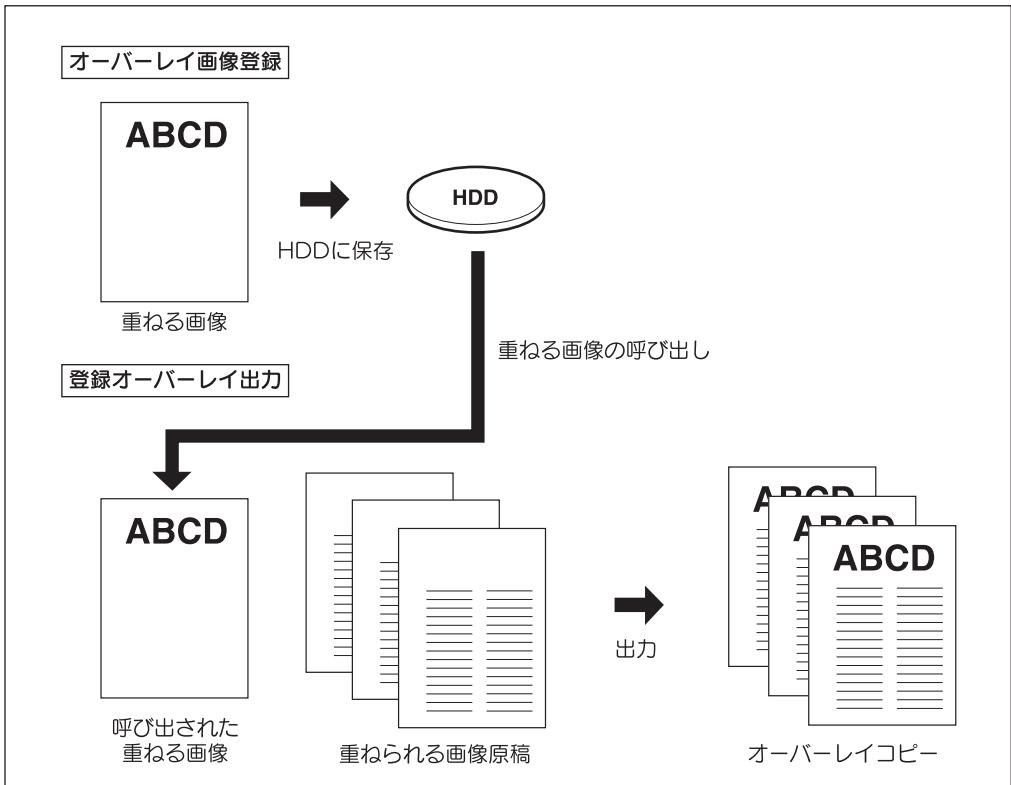
重ねられた画像のコピーが 출력されます。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-
10「コピー部数を設定する」をご
らんください。

重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ

重ねる画像をHDDに保存（オーバーレイ画像登録）し、保存した画像を呼び出して重ねてコピー（登録オーバーレイ出力）します。



応用機能を設定するには
インターフォント
章分け
集 約
小冊子
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ／オーバーレイ
任意スタンプ
オーバーレイ
応用設定 第10章 登録 オーバーレイ
併用できない コピー条件

オーバーレイ画像登録

1 重ねる画像の原稿を、原稿ガラスにセットします。

2 コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。

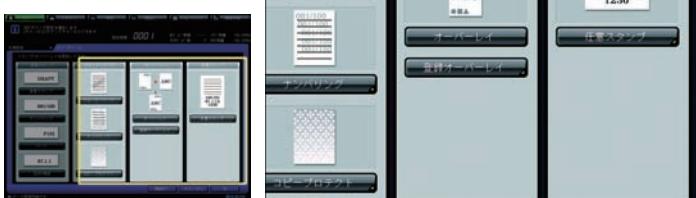
3 応用設定画面の【スタンプ/オーバーレイ】を押し
ます。



4 「オーバーレイ」表示下の【登録オーバーレイ】を
押します。

詳しく説明します

すでに登録している画像を重ねてコピーするときは、ここから手順9に進みます。



画像登録/呼出し画面が表示されます。

5 【画像登録】を押します。



6 重ねる画像に名前をつけて登録します。



アルファベットキーを押して、任意の名前を入力します。半角8文字まで入力できます。入力した名前に、日付が自動的に付加されます。

7 【OK】を押します。

重ねる画像をスキャンするためのコピー画面が表示されます。任意のコピー条件を設定します。



【OK】を押したとき、すでに同じ名前で登録されている画像がある場合は、重複確認のポップアップ画面が表示されます。p. 10-98をごらんください。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

HDDに保存されると、画像登録／呼出し画面にもどります。

登録オーバーレイ出力

- 1** コピー画面を表示させ、【応用設定】を押します。
- 2** 応用設定画面の【スタンプ/オーバーレイ】を押し
ます。



- 3** 「オーバーレイ」表示下の【登録オーバーレイ】を
押します。



画像登録/読み出し画面が表示されます。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集 約
小冊子
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ／オーバーレイ
任意スタンプ
オーバーレイ
応用設定 第10章
登録 オーバーレイ
併用できない コピー条件

4 重ねる画像を呼び出します。



HDDから呼び出したい重ねる画像の登録ボタンを押し、反転させ、[OK] を押します。スタンプ/オーバーレイ画面にもどります。

5 スタンプ/オーバーレイ画面の [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

6 應用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔スタンプ/オーバーレイ〕が反転表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

7 重ねられる画像の原稿をセットします。

ADFまたは原稿ガラスに、原稿をセットします。
〔連続読み込み〕を選択すると多数枚の原稿を処理できます。

8 操作パネルの〔スタート〕を押します。

重ねられた画像のコピーが出力されます。



重複確認画面

重ねる画像の名前が重複していると、確認画面が表示されます。



確認画面に〔OK〕、〔キャンセル〕が表示されているとき、上書きが可能です。〔キャンセル〕を押すと上書きされ、既存の画像はなくなります。別の名前で保存するときは〔OK〕を押します。



確認画面に〔OK〕だけが表示されているときは、画像の上書きはできません。〔OK〕を押して、別の名前をつけ直します。

上記の画面表示は、管理者設定で選択できます。

応用設定と併用できないコピー条件

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

応用設定

登録

オーバーレイ

併用できない

コピー条件

機能組み合せ表

		基本設定										画質設定				
		原稿設定					原稿画質					下地調整				
応用設定	画像応用	片面>片面	片面>両面	両面>片面	両面>両面	片面	Zoom	固定倍率	自動画像回転禁止*34	▲	▼	▲	▼	▲	▼	
		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
ページ編集		プログラムジョブ														
インターフェース		インターフェース														
PI挿入																
表力バー(トレイ)																
裏力バー(トレイ)																
表力バーPI(上段/下段)																
裏力バーPI(上段/下段)																
章分け		X	X							X	△		X			
章分けコピー挿入		X	X			X				X	△		X			
集約						X				X	△		X	X		
小冊子		X	X			X				X	△		X	X		
無線とじ		X	X			X				X	△		X	X		
差込みページ				▲						X	△		X			
ブック連写					X	X				X			X	X		
ネガポジ反転																
リピート		X	X	X	X	X				X	X					
自動リピート*8		X	X	X	X	X				X	X		X			
定形リピート						X				X	X					
枠消し																
折り目消し																
センタリング		X	X			X	X			X	X	△				
シフト													X			
縮小シフト						X	X	X	X	X			X			
原稿外消去		X	X		□	X	X			X	X	△	X			
全面画像																
スタンプ(定形スタンプ)																
スタンプ(ページ)																
スタンプ(ナンバーリング)																
スタンプ(日付/時刻)																
ウォーターマーク																
ウォーターマーク(ナンバーリング)																
ウォーターマーク(コピープロテクト)																
任意スタンプ																
登録オーバーレイ																
オーバーレイ*4										X						

応用設定と併用できないコピー条件(つづき)

		機能組み合せ表																出力設定			
ページ 編集	応用設定	ソート	仕分けソート*19	グルーピング	仕分けグループ*19	回転ソート	回転グループ	コーナーステープル(左)	コーナーステープル(右)	2点ステープル(上)	2点ステープル(左)	2点ステープル(右)	中折じ	重ね中折り	重ね3つ折り(内印字)	重ね3つ折り(外印字)	中じ/重ね中折り断裁*7	×			
		プログラムジョブ																			
		インターフォント																			
		PI挿入																			
		表力バー(トレイ)																			
		裏力バー(トレイ)																			
		表力バー PI(上段/下段)												*1 *1 *1 *1							
		裏力バー PI(上段/下段)												*1 *1 *1 *1							
		章分け																			
		章分けコピー挿入																			
		集約																			
		小冊子																			
		無線とじ																			
		差込みページ																			
		ブック連写												*6 *6 × *6							
		ネガポジ反転																			
		リピート																			
		自動リピート*8																			
		定形リピート																			
		枠消し																			
		折り目消し																			
		センタリング																			
		シフト																			
		縮小シフト																			
		原稿外消去																			
		全面画像																			
		スタンプ(定形スタンプ)																			
		スタンプ(ページ)																			
		スタンプ(ナンバーリング)																			
		スタンプ(日付/時刻)																			
		ウォーターマーク																			
		ウォーターマーク(ナンバーリング)																			
		ウォーターマーク(コピー/プロテクト)																			
		任意スタンプ																			
		登録オーバーレイ																			
		オーバーレイ*4												×	×						

		応用設定																
		画像応用																
機能組み合せ表		機能組み合せ表																
応用設定	画像応用	ネガポジ反転	リピート	自動リピート*8	定形リピート	榨消し	折り目消し	センタリング	シフト	縮小シフト	スタンプ(定形スタンプ)	スタンプ(ページ)	スタンプ(ナンバリング)	スタンプ(日付/時刻)	ウォーターマーク	ウォーターマーク(ナンバリング)	ウォーターマーク(コピー/プロジェクト)	
ページ編集	プログラムジョブ			*15														x
	インターフェート	x	x			x		x										x
	PI挿入	x	x			x		x										x
	表カバー(トレイ)	x	x					x										x
	裏カバー(トレイ)	x	x					x										x
	表カバーPI(上段/下段)																	x
	裏カバーPI(上段/下段)																	x
	章分け	x	x	x				x										
	章分けコピー挿入	x	x	x				x										
	集約	x	x	x				x		*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	x
	小冊子	x	x	x				x										
	無線とじ	x	x	x				x										
	差込みページ	x	x	x		x		x								x	x	
	ブック連写	x	x	x			x									*31	x	
画像応用	ネガポジ反転	/	x	x	x					x	x	x	x	x	x	x	x	x
	リピート	x	/	□	□	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	自動リピート*8	x	□	/	□	x	x	x	x	*8	x	x	x	x	x	x	x	x
	定形リピート	x	□	/	x	x	x	x	x	x	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*33	x
	榨消し	x	x	x							x							
	折り目消し	x	x	x							x							
	センタリング	x	x	x				x	x									x
	シフト						x	/	□									
	縮小シフト	x	x	x		x	□	/	x									x
	原稿外消去	x	x	x			x	/	x	x								
	全面画像	x	x	x	x	x	x	x	x									
	スタンプ(定形スタンプ)	x	x	x	*2										□			□
	スタンプ(ページ)	x	x	x	*2													
	スタンプ(ナンバリング)	x	x	x	*2													
	スタンプ(日付/時刻)	x	x	x	*2													
	ウォーターマーク	x	x	x	*2						□							
	ウォーターマーク(ナンバリング)	x	x	x	*2						□							
	ウォーターマーク(コピー/プロジェクト)	x	x	x	*2						□							
	任意スタンプ																	
	登録オーバーレイ	x	x	x	*33						□							
	オーバーレイ*4	x	x	x	x		x	x	x	x	□					□		

無印：排他なし（選択可能）

×：網掛け（強制解除含む）

□：後優先（行の項目が解除される）

▲：メッセージ警告

△：本来は禁止だが、排他未実施。後優先、列の方が優先

-：設定なし

*1：カバーシート紙の裏カバーは選択禁止。禁止時にはメッセージ表示

*2：2 in 1、スタンプ「ページ」の4 in 1、2リピートは可。禁止時には網掛け

*3：コピーモードからのJOB保存に関して記す

*4：プログラムジョブではオーバーレイ選択禁止

*5：文字1 bit、写真1 bit/2 bit切替え可。1 bit、2 bitの混在は不可。メモリーモード時は1 bit固定

*6：小冊子選択時のみ組み合わせ可能

*7：サブトレイ排紙選択時は断裁強制解除

*8：自動リピート選択時は原稿外消去も自動強制選択される。（原稿外消去のみの解除は不可）

*9：混載のとき、自動倍率以外での自動画像回転禁止。（混載優先の後優先扱いとする）

*10：ステープルまたはパンチ選択時、ステープルまたはパンチが所定の位置に行えないときは、自動画像回転禁止

*11：連続読み込みモード強制選択

*12：下地調整マイナス設定時に薄文字が選択された場合、強制的に下地調整を0にする

*13：重ね3つ折りは「N to 1」「フェイスダウン」に無条件に選択可能。（重ね3つ折りが後優先）
内印字選択時：1 to N、フェイスアップ（両面出力時はフェイスダウン）を強制選択
外印字選択時：N to 1、フェイスダウンを強制選択

*14：2リピート（反転含む）のみ禁則

*15：定形2リピート（反転含む）のみ禁則緩和

*16：表紙トレイが本体の場合は不可

*17：表紙トレイがPBの場合のみ可

*18：自動用紙+Z折り非選択時は不可

*19：排紙先が大容量スタッカーメイントレイまたはステープルフィニッシャーメイントレイの場合は選択可能。（それ以外は網掛け）

*20：ソートを選択し、仕分けソート、グループ、仕分けグループは網掛け

*21：ソートを選択し、仕分けソート、仕分けグループは網掛け

*22：グループを選択し、仕分けソート、仕分けグループは網掛け

*23：ソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け

*24：仕分けソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け

*25：ソートを選択し、回転ソート、グループ、回転グループは網掛け

*26：ソートを選択し、回転ソート、回転グループは網掛け

*27：グループを選択し、回転ソート、回転グループは網掛け

*28：下地調整のマイナス側には設定できない

*29：等倍が選択される

*30：連続読み込みモードでない場合は、「ADFを閉じてください」のメッセージが表示される

*31：ブック連写「表/裏表紙あり」選択時、任意スタンプは網掛け。また任意スタンプ選択時、ブック連写「表/裏表紙あり」は網掛け

*32：2 in 1、スタンプ「ページ」の4 in 1、2リピートは可能。（禁則時は網掛け）

*33：2リピート以外選択時、登録オーバーレイは網掛け。また登録オーバーレイ選択時、2リピート以外は網掛け

*34：自動画像回転禁止選択時でも画像回転アイコン表示時は画像回転する

出力設定

第11章

コピーされた用紙の後処理をするオプション類の操作方法を説明します。

両面コピーのとじ方向を設定する.....	11-2
排紙トレイを選択する	11-4
用紙を仕分ける/ステープルする (ステープルフィニッシャー FS-521) ...	11-7
■ メイントレイへのソート/グループ/仕分けソート/仕分けグループ出力.....	11-9
■ メイントレイへのステープル出力	11-10
■ サブトレイへのソート/グループ出力.....	11-12
中とじ機SD-506を使用する	11-14
■ 2つ折り小冊子をつくる.....	11-14
■ コピーを重ね折りにする.....	11-16
用紙に折りをつける/パンチ穴をあける：折り機FD-503.....	11-19
■ 用紙に折りをつける.....	11-20
■ 用紙にパンチ穴をあける.....	11-22
カバー紙をつけて出力する：折り機FD-503	11-24
■ カバー紙をセットする	11-25
■ カバー紙送りの曲がりを補正する	11-26
手動で折り機FD-503/ステープルフィニッシャー FS-521/中とじ機SD-506を使う	11-27
くるみ製本機PB-502を使用する	11-30
■ くるみ製本機ヒーターをオン/オフ	11-33
■ くるみ製本する	11-37
大量の用紙をスタックする：大容量スタッカー LS-505	11-47
出力設定と併用できないコピー条件	11-49

両面コピーの
とじ方向
排紙トレイ
を選択する
用紙を仕分ける
ステープルする
中とじ機
折り／パンチ穴
カバー紙につける
手動で使う
くるみ製本機
大量の用紙
をスタック
併用できない
コピー条件

出力設定

両面コピーのとじ方向を設定する

両面コピー（片面→両面／両面→両面）を設定したとき、コピーのとじ方向を選択します。

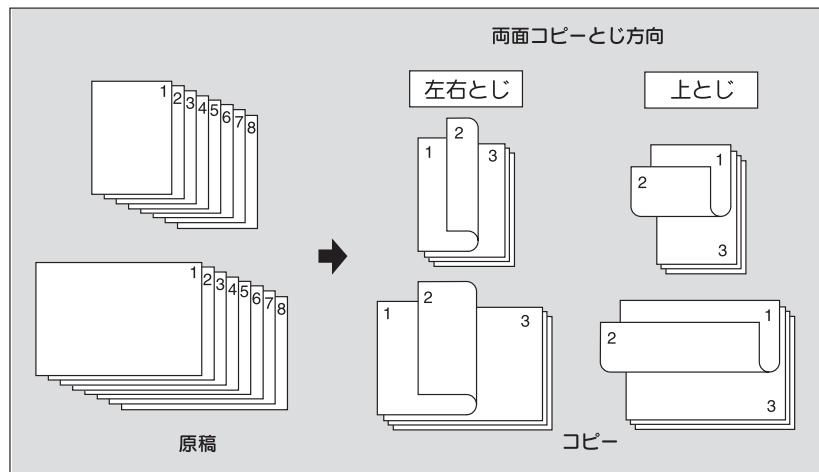
片面原稿または両面原稿が左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）で、両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）にしたいときに設定します。



両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で、両面コピーを左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）にしたいときは、両面原稿のとじ方向の設定をします。詳細は、p. 9-4をごらんください。



- 両面コピーの上とじが機能するのは両面コピーを選択したときだけです。
- 機械がリセットされると、左右とじにもどります。



1 コピー画面を表示させ、[出力設定] を押します。



出力設定画面が表示されます。

2 両面とじ方向の [上とじ] を押して選択します。



3 [OK] を押します。

- 両面コピーの
とじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中とじ機
- 折り／パンチ穴
- カバー紙をつける
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙
をスタッツ
- 併用できない
コピー条件

排紙トレイを選択する

ここでは排紙トレイ位置の選択方法を説明します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[出力設定] を押します。



出力設定画面が表示されます。

3 [排紙トレイ変更] を押します。

機械正面図に排紙可能なトレイ位置と、排紙設定されているトレイが表示されています。

排紙設定されているトレイは、青枠と下向き赤色矢印が表示されています。

画面左下の [排紙トレイ変更] を押します。



オプション構成に基づいた排紙トレイ選択画面が表示されます。

4 排紙トレイ位置を選択します。

任意の排紙トレイ位置ボタン [] を押して反転させます。



大容量スタッカー LS-505 が装着されていると【上積み設定】が表示されます。また大容量スタッカー LS-505 と 2 台装着されていると【スタッカー自動】が表示されます。詳細は、p. 11-6 をご覧ください。

5 排紙トレイ変更画面の【OK】を押します。

出力設定画面にもどります。機械正面図に排紙設定したトレイ位置に四角反転が表示されます。

6 出力設定画面の【OK】を押します。

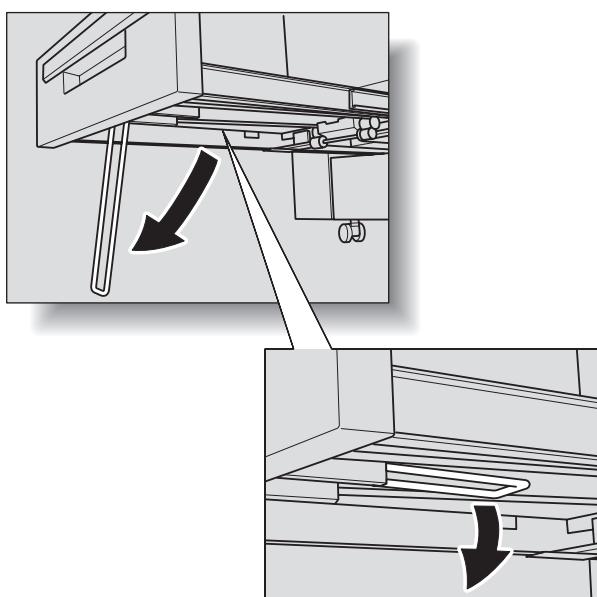
コピー画面にもどります。



オプションの排紙トレイには、それぞれ積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようご注意ください。

7 中とじ機の折り/とじトレイを選択した場合は、トレイを引き出します。

いっぱいに引き出したときは、トレイ下のスタンドを立てます。



中とじ機の折り/とじトレイのスタンドを立てたまま、トレイをもとの位置に押し込まないでください。

両面コピーの
とじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り/パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタッツ

併用できない
コピー条件

出力設定

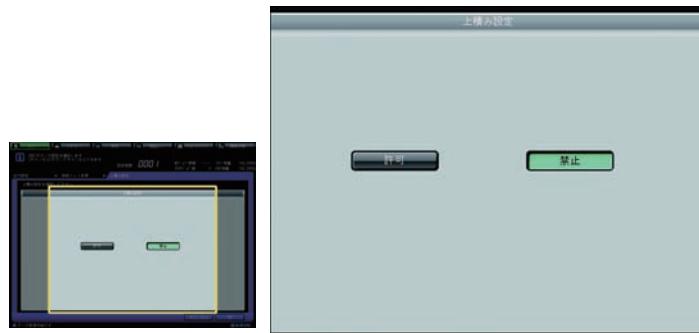


[上積み設定] ボタン

大容量スタッカー LS-505が装着されている場合、排紙トレイ変更画面に[上積み設定]が表示されます。

[上積み設定] を押すと、上積み設定画面が表示されます。

大容量スタッカーパー部に複数のジョブの用紙積載を許可するときは〔許可〕、許可しない場合は〔禁止〕を押して反転させ、〔OK〕を押します。



[スタッカー自動] ボタン

大容量スタッカーパー LS-505が2連装着されている場合、排紙トレイ変更画面に[スタッカー自動]が表示されます。

[スタッcker自動] を押して反転させると、下記のように積載されます。(以後、2連の大容量スタッカーパー右側をスタッcker 1、左側を2記載します)

- スタッcker 1の積載枚数が制限枚数を越えたとき、次のジョブからスタッcker 2に積載します。
- スタッcker 1がトラブル等で積載できなくなったとき、スタッcker 2に積載します。
- スタッcker 1へ積載途中にスタッcker 1の用紙取り出しボタンが押されたとき、次のジョブからスタッcker 2に排紙されます。



上記のようにスタッcker自動が機能するのは、スタッcker 1、2ともトラブルが発生していない、スタッcker部に用紙が残っていないか、[上積み設定] が〔許可〕になっているときです。

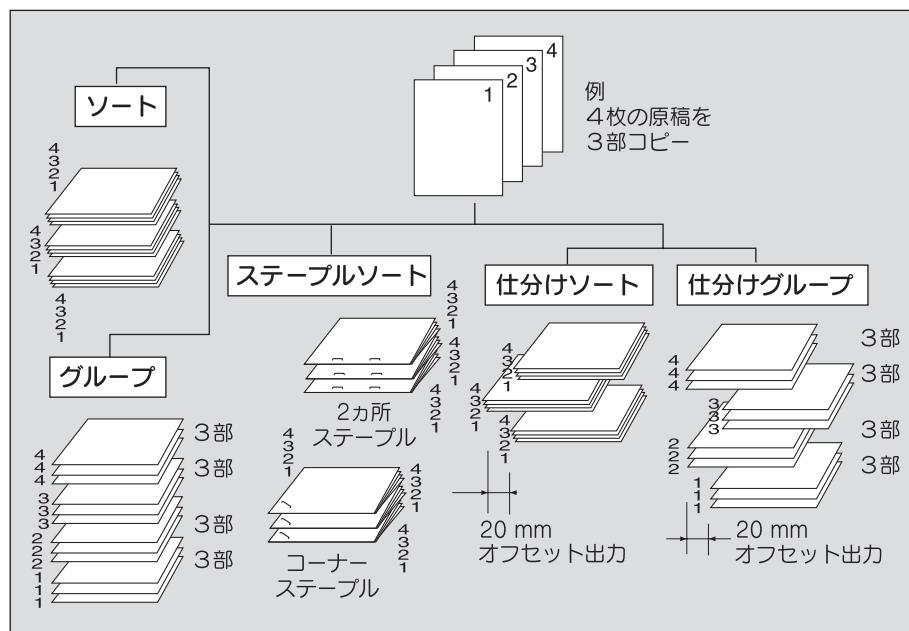
用紙を仕分ける/ステープルする(ステープルフィニッシャーFS-521)

ステープルフィニッシャー FS-521 にはメイントレイとサブトレイがあり、それぞれ下記の出力ができます。

メイントレイへの出力

- ソート： 原稿と同じページ揃えのコピーをします。オフセット出力はしません。
- グループ： 原稿 1 枚につき設定部数分のコピーをします。オフセット出力はしません。
- 仕分けソート： 原稿と同じページ揃えのコピーを設定部数分出力します。メイントレイ上で 1 部ごとに 20 mm オフセット出力します。
- 仕分けグループ： 原稿 1 枚に設定部数分のコピーをし、原稿ごとにオフセット出力します。
- ステープル： 原稿と同じページ揃えのコピーを自動的に平とじステープルして出力します。

ステープル出力以外の上記出力に対して排紙面（フェイスダウン/フェイスアップ）、排紙順（順方向/逆方向）の選択ができます。



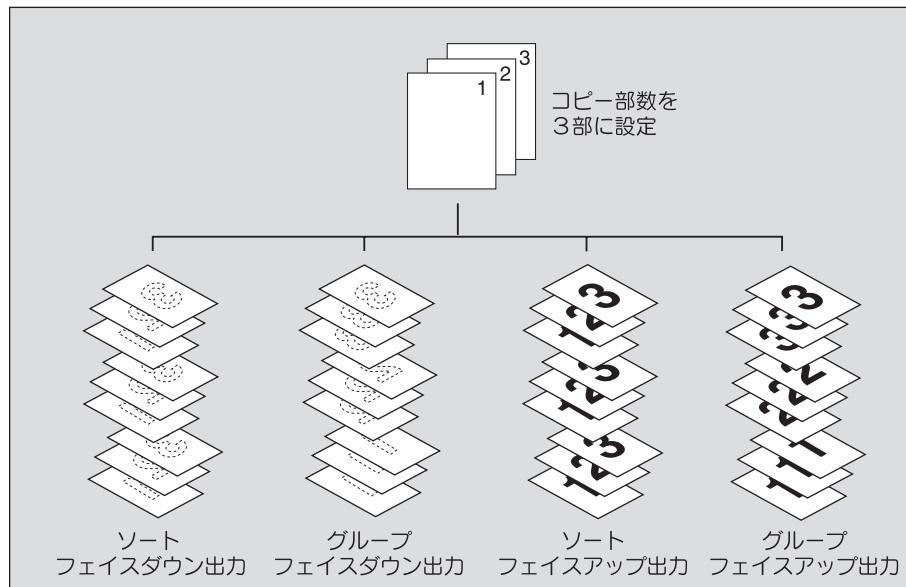
- 両面コピーの
とじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中とじ機
- 折り／パンチ穴
- カバー紙をつくる
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙
をスタッカ
- 併用できない
コピー条件

サブトレイへの出力

ソート： 原稿と同じページ揃えのコピーを出力します。オフセット出力はしません。

グループ： 原稿1枚に設定部数分のコピーをし、原稿ごとに出力します。オフセット出力はしません。

上記の出力に対してフェイスアップ/フェイスタップの選択と排紙順の順方向/逆方向の選択ができます。



ここでは下記の出力方法を説明します。

- メイントレイへのソート/グループ/仕分けソート/仕分けグループ出力
- メイントレイへのステープル出力
- サブトレイへのソート/グループ出力

■ メイントレイへのソート/グループ/仕分けソート/仕分けグループ出力

ステープルフィニッシャー FS-521 が装着されている機械は、そのほかのオプションが装着されていてもメイントレイへのソート出力が初期設定になっています。下記の手順に従って出力モードを選択してください。



設定メニューで出力設定の初期設定を変更できます。詳細は、POD 管理者編をごらんください。



ステープルフィニッシャー FS-521 の仕様は、p. 3-2 および p. 7-9 をごらんください。

1 原稿をセットします。

2 コピー画面を表示させて、[出力設定] を押します。

出力設定画面が表示されます。

出力設定画面の機械正面図には、排紙トレイが四角反転で表示されています。メイントレイが排紙トレイに選択されていない場合は、[排紙トレイ変更] を押してメイントレイを選択します。

3 出力モードを選択します。

[ソート] [グループ] [仕分けソート] [仕分けグループ] のボタンのうち1つを押して反転させます。

必要に応じて排紙面（フェイスダウン/フェイスアップ）、排紙順（順方向/逆方向）の選択をします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。



排紙トレイ変更に関しては別に説明しています。p. 11-4 をごらんください。



必ず守ってください

メイントレイは用紙が積載するにつれ徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いているとぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。



排紙順を〔逆方向〕にすると、排紙面は自動的に〔フェイスアップ〕になります。

両面コピーの
どじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中どじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつくる

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタック

併用できない
コピー条件

出力設定

4 出力設定画面の【OK】を押します。

コピー画面の【出力設定】下には、設定された出力設定アイコンが表示されます。



フィニッシャーのメイントレイには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようご注意ください。



【一時停止】ボタンを押して出力を一時的に停止し、メイントレイから用紙を取り出すことができます。詳細は、p. 4-60をごらんください。

■ メイントレイへのステープル出力

用紙に平とじステープルをします。下記の5つのステープル種類から1つを選択します。

- 左コーナー1点ステープル
- 右コーナー1点ステープル
- 左2点ステープル
- 上2点ステープル
- 右2点ステープル



ステープルフィニッシャーFS-521の仕様は、p. 3-2およびp. 7-9をごらんください。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、【出力設定】を押します。

出力設定画面が表示されます。

出力設定画面の機械正面図には、排紙トレイが四角反転で表示されています。メイントレイが排紙トレイに選択されていない場合は、【排紙トレイ変更】を押してメイントレイを選択します。

3 [ステープル] を押します。



ステープル選択画面が表示されます。

4 任意のステープル位置ボタンを押して選択します。



メイントレイは用紙が積載するにつれ徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いているとぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

5 [OK] を押します。

[キャンセル] を押すと、元の設定にもどります。[機能オフ] を押すと、ステープル出力をオフにして選択したステープル位置を記憶します。
出力設定画面にもどります。

6 出力設定画面の [OK] を押します。

コピー画面の【出力設定】下には設定された出力設定アイコンが表示されます。



フィニッシャーには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。



ステープル出力中は【一時停止】ボタンを押しても出力を一時停止させることはできません。

- 両面コピーの
どじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中とじ機
- 折り／パンチ穴
- カバー紙をつくる
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙
をスタッカ
- 併用できない
コピー条件

■ サブトレイへのソート/グループ出力

ステープルフィニッシャー FS-521 が装着されている機械は、そのほかのオプションが装着されていてもメイントレイへのソート出力が初期設定になっています。下記の手順に従って、排紙トレイを変更し、出力モードを選択してください。



ステープルフィニッシャー FS-521 の仕様は、p. 3-2 および p. 7-9 をごらんください。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔出力設定〕を押します。

出力設定画面が表示されます。

3 サブトレイを排紙トレイとして選択します。

〔排紙トレイ変更〕を押して排紙トレイ選択画面を表示させます。



サブトレイの排紙トレイ位置ボタン〔〕を押して反転させます。〔OK〕を押します。



4 出力モードを選択します。

ソート出力を選択する場合は、[ソート] を押して反転させます。

グループ出力を選択する場合は、[グループ] を押して反転させます。

必要に応じて排紙面（フェイスダウン/フェイスアップ）、排紙順（順方向/逆方向）の選択をします。



排紙順を〔逆方向〕にすると、排紙面は自動的に〔フェイスアップ〕になります。

5 出力設定画面の【OK】を押します。

コピー画面の【出力設定】下には設定された出力設定アイコンが表示されます。



フィニッシャのサブトレイには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようご注意ください。



サブトレイに出力されている場合は【一時停止】ボタンを押しても一時停止しません。

両面コピーの
どじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつくる

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタック

併用できない
コピー条件

出力
第1
章
設定

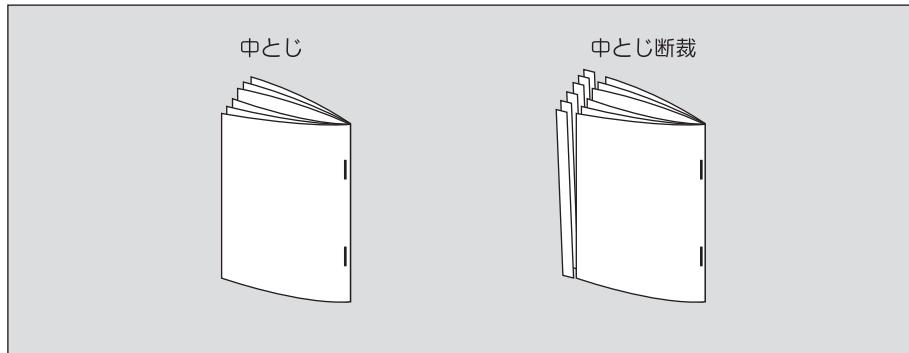
中とじ機 SD-506 を使用する

■ 2つ折り小冊子をつくる

オプションの中とじ機SD-506が装着されている機械は、小冊子機能と併用して、用紙を2つ折りにしセンター2カ所にステープル止めをした中とじ本をつくることができます。このとき前小口の化粧断裁の出力を設定することができます。



仕様は、p. 3-2およびp. 7-12をごらんください。



1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについて
は、p. 8-6「原稿をセットする」
をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔出力設定〕を押します。

出力設定画面が表示されます。

3 〔中とじ〕を押します。



断裁の有無を選択する画面が表示されます。

4 [断裁する] または [断裁しない] を押して、断裁の有無を選択します。



5 [OK] を押します。

[キャンセル] を押すと、もとの設定にもどります。[機能オフ] を押すと、中とじ/中とじ断裁出力をオフにして設定を記憶します。
出力設定画面にもどります。

6 出力設定画面の [OK] を押します。

コピー画面の [出力設定] 下には設定された出力設定アイコンが表示されます。応用設定の小冊子が自動的に選択されます。

7 折り/とじトレイを引き出します。

いっぱいに引き出したときは、トレイ下のスタンドを立てます。

 詳しく説明します

中とじ/中とじ断裁された用紙は、折り/とじトレイに排紙されます。いっぱいに引き出さなければ、スペックより少ない部数で満タン検知が機能します。

 必ず立ってください

スタンドを立てたまま、トレイをもとの位置に押しこまないでください。

- 両面コピーの
とじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中とじ機
- 折り/パンチ穴
- カバー紙をつける
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙
をスタッツ
- 併用できない
コピー条件

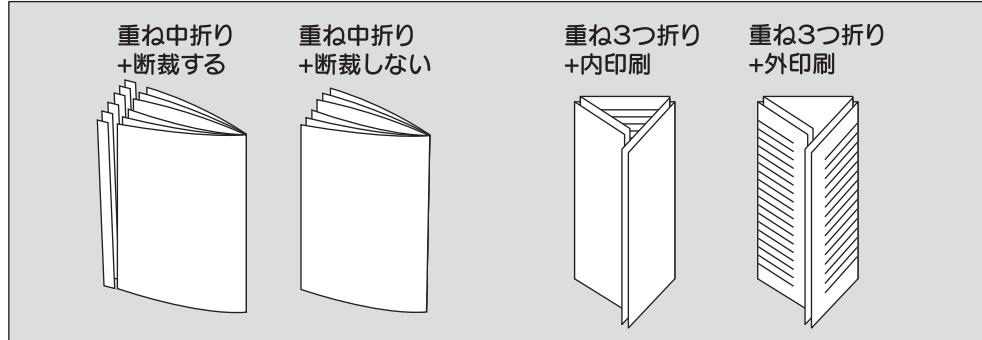
出力
設定
第1章

■ コピーを重ね折りにする

オプションの中とじ機SD-506を装着した機械は、用紙を最大5枚まで重ねて、2つ折りにしたり、内側に3つに折ったりすることができます。重ね3つ折りの場合、印刷面の設定ができます。



仕様は、p. 3-2およびp. 7-12をごらんください。



重ね中折りは折り/とじトレイに排紙されます。
重ね3つ折りは3つ折りトレイに排紙されます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面を表示させ、【出力設定】を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 3 【重ね中折り】または【重ね3つ折り】を押して選択します。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。



〔重ね中折り〕を選択したとき：
断裁するしないを選択する画面が表示されます。
〔断裁する〕または〔断裁しない〕を押します。



〔重ね3つ折り〕を選択したとき：
印刷面を選択する画面が表示されます。
〔外印刷〕または〔内印刷〕押します。



- 両面コピーの
とじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中とじ機
- 折り／パンチ穴
- カバー紙をつくる
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙
をスタック
- 併用できない
コピー条件

出力設定 第1章

4 [OK] を押します。

〔キャンセル〕を押すと、もとの設定にもどります。〔機能オフ〕を押すと、設定を記憶してその出力をオフにします。

5 出力設定画面の [OK] を押します。

コピー画面の〔出力設定〕下には、設定された出力設定アイコンが表示されます。
重ね中折りを選択したとき、応用設定の小冊子が自動的に選択されます。

6 重ね中折りを選択したときは、折り/とじトレイを引き出します。

いっぱいに引き出したときは、トレイ下のスタンドを立てます。



- 重ね中折りの用紙は、折り / とじトレイに排紙されます。いっぱいに引き出さなければスペックより少ない部数で満タン検知が機能します。
- 重ね3つ折りの用紙は3つ折りトレイに排紙されます。



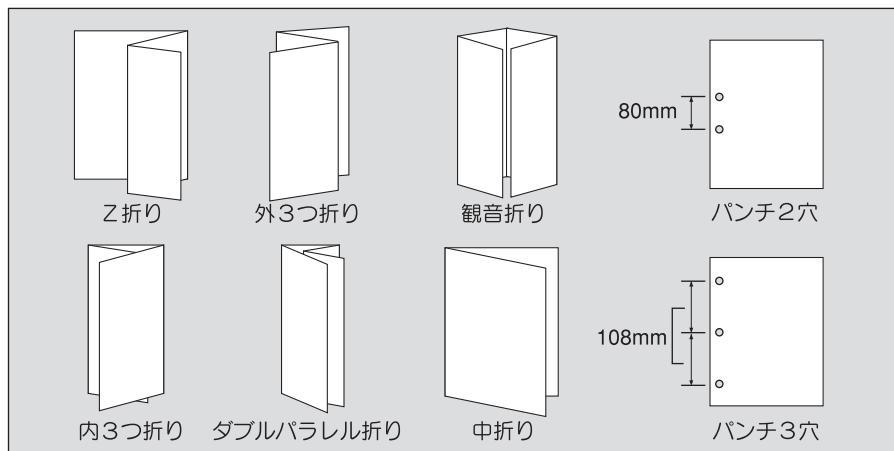
スタンドを立てたまま、トレイをもとの位置に押しこまないでください。

用紙に折りをつける/パンチ穴をあける：折り機FD-503

下記のようなパンチ/折りができます。

折り： Z折り/内3つ折り/外3つ折り/ダブルパラレル折り/観音折り/中折りの6種類の折りを付けられます。折りに対して印刷面を外側（外印刷）にするか、内側（内印刷）にするかの設定をします。（Z折りの印刷面の設定は不可）

パンチ：用紙にファイリング用の2穴/3穴の穴を開けます。原稿セット方向に対して左/右/上の位置を設定します。



両面コピーの
とじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り/パンチ穴

カバー紙をつくる

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタッツ

併用できない
コピー条件

出力
第1章
力設定

折り機FD-503を単体で使用する場合、メイントレイと折りトレイに排紙処理される用紙は下記のようになります。

メイントレイ：

中折り、Z折り、パンチ処理、処理なし（ストレート排紙）
折りトレイ：

内3つ折り、外3つ折り、ダブルパラレル折り、観音折り

詳しく説明します

サブトレイを折りトレイの代わりに使用することもできます。
サービス実施店にお問い合わせください。

■ 用紙に折りをつける

用紙に折りをつけます。

下記の手順に従って、6種類の折りから任意の折りを選択します。



仕様は、p. 3-2およびp. 7-10をごらんください。



- 折り種類：Z折り/内3つ折り/外3つ折り/ダブルパラレル折り/観音折り/中折りの6種類
- ポストインスターにセットした用紙の折りが可能

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[出力設定] を押します。

出力設定画面が表示されます。

3 [折り] を押します。



折り設定画面が表示されます。

4 任意の折りボタンを押して、折りの種類を選択します。

〔外印刷〕または〔内印刷〕を押して、選択した折りの印刷面を選択します。



詳しく説明します

□ 折りの印刷面の選択はできません。

5 [OK] を押します。

〔キャンセル〕を押すと、もとの設定にもどります。〔機能オフ〕を押すと、折り出力をオフにして選択した折り設定を記憶します
出力設定画面にもどります

6 出力設定画面の〔OK〕を押します。

コピー画面の〔出力設定〕下には設定された出力設定アイコンが表示されます。

必ず守ってください

フニックスには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

両面コピーの
どじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中どじ機

折り/パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタッツ

併用できない
コピー条件

出力 第1 章
設定

■ 用紙にパンチ穴をあける

用紙にパンチ穴を開けます。下記の手順に従って、2穴/3穴の選択およびパンチ位置選択をします。



仕様は、p. 3-2およびp. 7-10をごらんください。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[出力設定] を押します。

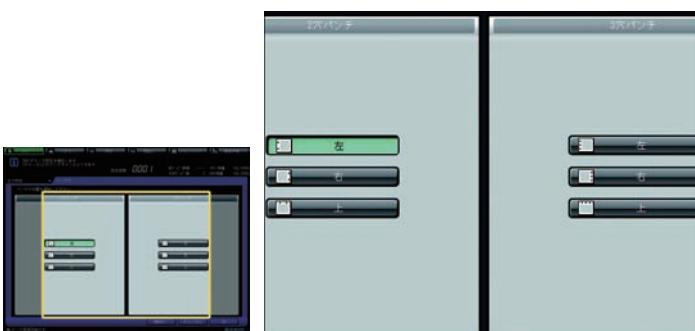
出力設定画面が表示されます。

3 [パンチ穴] を押します。



パンチ選択画面が表示されます。

4 任意のボタンを押して、パンチの種類と位置を選択します。



5 [OK] を押します。

[キャンセル] を押すと、もとの設定にもどります。[機能オフ] を押すと、パンチ出力をオフにして選択したパンチ設定を記憶します。
出力設定画面にもどります。

6 出力設定画面の [OK] を押します。

コピー画面の [出力設定] 下には設定された出力設定アイコンが表示されます。



フィニッシャーには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

両面コピーの
とじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り/パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタッツ

併用できない
コピー条件

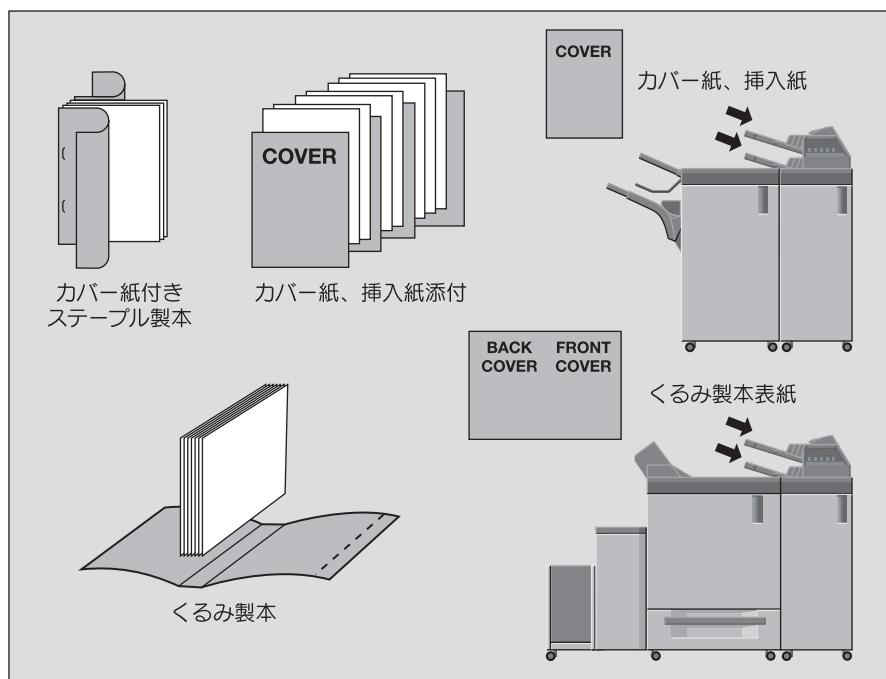
出力設定

カバー紙をつけて出力する：折り機FD-503

これは折り機FD-503のポストインサーターの機能です。インターフォードシートの機能を使って、ポストインサーターの上段/下段トレイにセットしたカバー紙をオモテ表紙/ウラ表紙/挿入紙（中扉）として出力紙に添付します。表紙や中扉を付けてステープル製本ができます。セットする用紙のためのポストインサートトレイの用紙設定が必要です。詳細は、p. 4-27をごらんください。

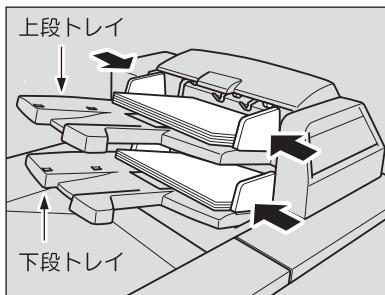
くるみ製本の表紙をセットしてくるみ製本機PB-502でくるみ製本をつくることができます。

表紙用紙のセット方法はp. 4-28、くるみ製本の設定についてはp. 11-37をごらんください。



■ カバー紙をセットする

- 1 ポストインサー^タの上段/下段トレイにカバー紙をセットします。



- 2 インターシートと小冊子の機能を使ってカバー紙をつきます。

必ず守ってください

上段/下段トレイとも、500枚(80 g/m^2 紙)以上セットしないでください。また、ガイド板に表示されている積載制限ラインを超えてカバー紙をセットしないでください。

必ず守ってください

フィニッシャーには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

- 両面コピーの
どじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中どじ機
- 折り／パンチ穴
- カバー紙をつくる
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙
をスタッ^K
- 併用できない
コピー条件

出力設定 第1章

■ カバー紙送りの曲がりを補正する

小さいサイズのカバー紙をポストインサーターの上段/下段トレイにセットしたとき、曲がって給紙されることがあります。

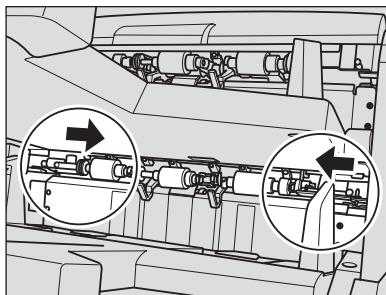
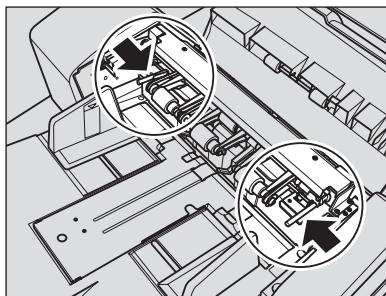
上段/下段トレイにセットされたカバー紙は、3つの給紙ローラーによって給紙されます。小さいサイズのカバー紙は、3つの給紙ローラーのうち、両側のローラーをロックして真ん中のローラーだけを使うことで、曲がりを補正できることがあります。

下記の給紙ローラーロックレバーをそれぞれ内側に押し込み、両側のローラーをロックします。



給紙ローラーをロックする場合は、必ず両側のローラーをロックしてください。

通常の場合は、給紙ローラーロックレバーは必ずもとの位置にもどしてください。



手動で折り機FD-503/ステープルフィニッシャーFS-521/中とじ機SD-506を使う

折り機FD-503のポストインサー上段に用紙をセットし、手動で下記の処理ができます。



仕様は、p. 7-9およびp. 7-12をごらんください。

折り機単体：

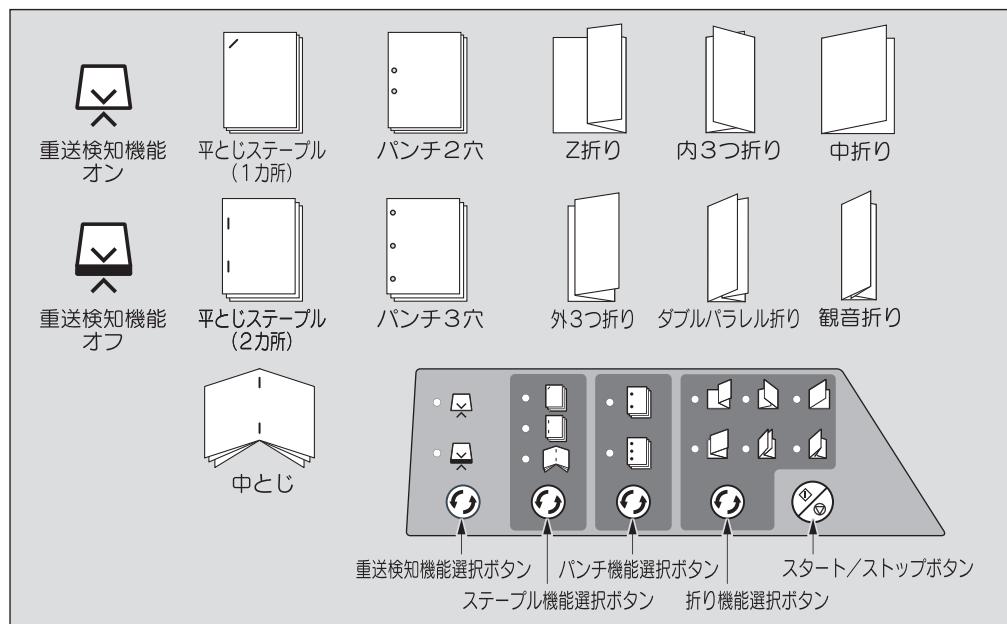
Z折り/内3つ折り/外3つ折り/ダブルパラレル折り/
観音折り/中折り/パンチ2穴/パンチ3穴

折り機+ステープルフィニッシャー FS-521：

単体の処理+平とじステープル（1カ所）/
平とじステープル（2カ所）

折り機+中とじ機：単体の処理+中とじ

折り機+ステープルフィニッシャーFS-521+中とじ機：
全処理可能



- 手動で折り機/ステープルフィニッシャー/中とじ機の機能を使用する場合、用紙をセットできるのはポストインサーの上段トレイのみです。
- 重送検知機能は、用紙の重送があった場合自動的に機械を停止させる機能です。ポストインサーはこの機能が働くように設定されています。紙種によっては重送しなくても重送したと検知して機械を停止することがあります。このような現象が頻発する場合には、重送検知機能選択ボタンを押して、下側のランプを点灯させ、オフにしてください。

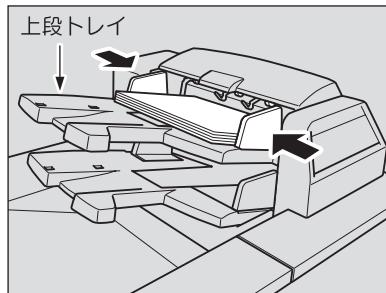
1 ポストインサーダの上段トレイに用紙をセットします。

1力所/2力所平とじステープルの場合：
オモテ面を上にしてセットします。

パンチ穴の場合：
オモテ面を上にしてセットします。

折りの場合：
折られて内側になる面を上にしてセットします。

中とじの場合：
とじられて内側になる面を上にしてセットします。



ガイド板を用紙に沿わせます。

2 任意のモードを選択します。

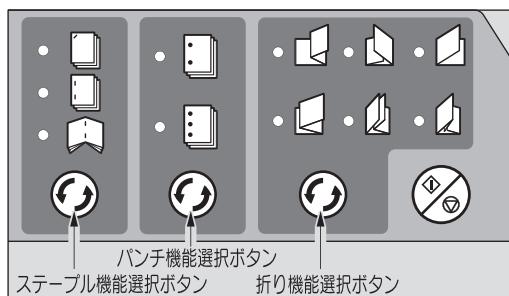
平とじ1力所/2力所ステープル/中とじを選択するときは、ステープル切替ボタンを押して希望するモードのランプを点灯させます。
パンチの2穴/3穴を選択するときは、パンチ穴切替ボタンを押して希望するモードのランプを点灯させます。
折り(6種)を選択するときは、折り切替ボタンを押して希望するモードのランプを点灯させます。

詳しく説明します

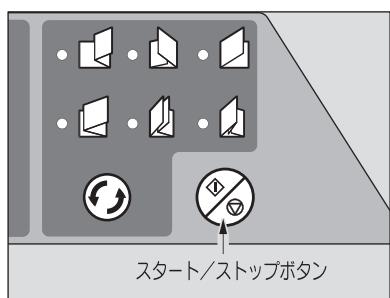
パンチ穴と平とじステープルは併用できます。併用するときは、両方のランプを点灯させます。

必ず守ってください

中とじの出力は中とじ機の折り/とじトレイに収納されます。折り/とじトレイを引き出し、トレイ下のスタンドを立てて出力の準備をしてください。詳細は、p. 11-5をごらんください。



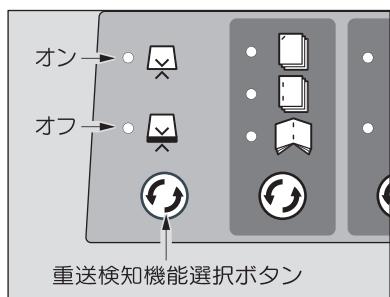
3 スタート/ストップボタンを押します。



詳しく説明します

処理動作を停止するときは、スタート/ストップボタンをもう一度押します。

重送していないても重送していると検知して機械が停止する場合は、重送検知機能選択ボタンを押して下側のランプを点灯させます。



必ず守ってください

ステープルフィニッシャー FS-521には、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

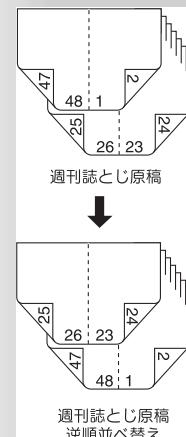
詳しく説明します

ステープルフィニッシャー FS-521には【一時停止】ボタンがありますが、手動で使用しているときは機能しません。

詳しく説明します

小冊子原稿のセット

小冊子（週刊誌とじ）の原稿を手動で中とじ／中折りする場合、下図を参照して原稿を並べ替え、セットします。



- 両面コピーの
とじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中とじ機
- 折り／パンチ穴
- カバー紙をつくる
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙をスタッツ
- 併用できない
コピー条件

**第1章
出力設定**

くるみ製本機PB-502を使用する

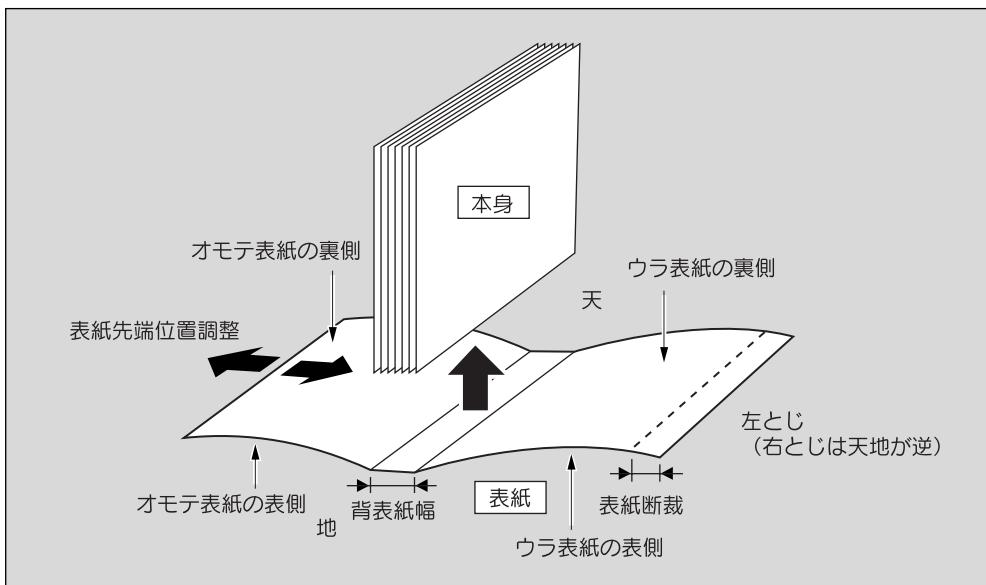
オプションのくるみ製本機PB-502を装着した機械は、自動的にコピーした用紙を束ね、背に糊を付け表紙をくるんで製本します。

本身は片面／両面コピーすることができます。

表紙も印刷なし、片面／両面印刷の選択ができます。

束ねた本身の厚みに合わせて表紙を断裁することができます。

左とじ／右とじの選択ができます。

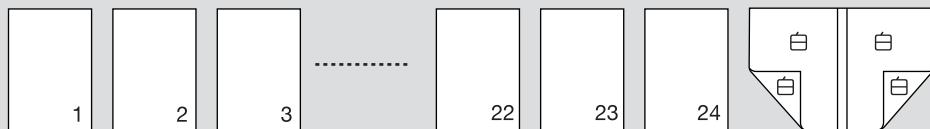


<原稿偶数枚>

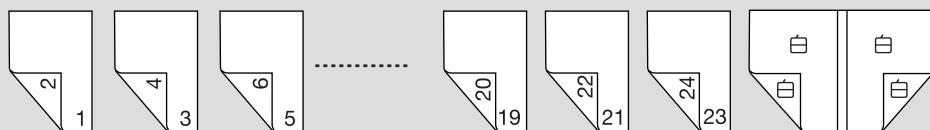
原稿



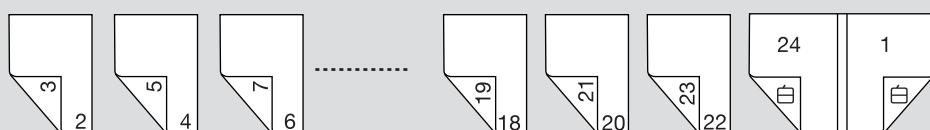
本身片面コピー、表紙印刷 [なし]



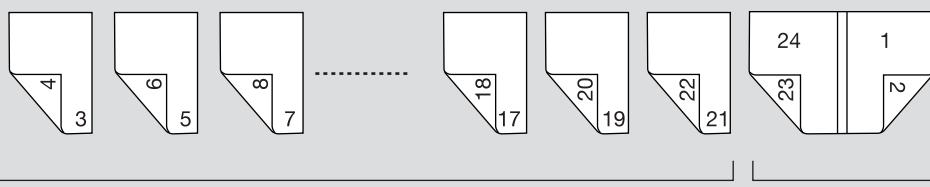
本身両面コピー、表紙印刷 [なし]



本身両面コピー、表紙印刷 [あり] 、表紙印刷面 (片面)



本身両面コピー、表紙印刷 [あり] 、表紙印刷面 (両面)



本 身

表 紙

両面コピーの
どじ方向排紙トレイ
を選択する用紙を仕分ける
ステープルする

中どじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

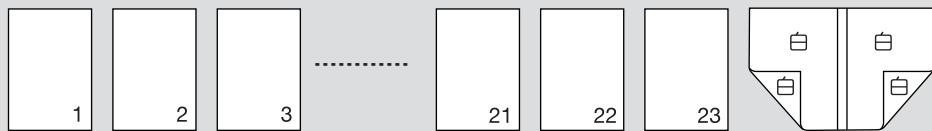
大量の用紙
をスタック併用できない
コピー条件出力設定
第1章

<原稿奇数枚>

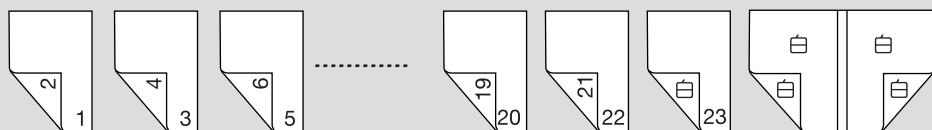
原稿



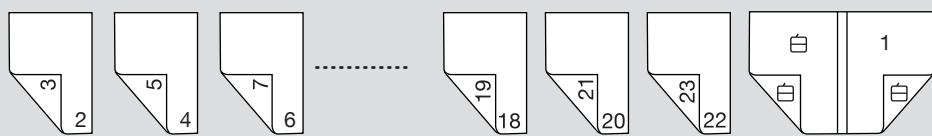
本身片面コピー、表紙印刷 [なし]



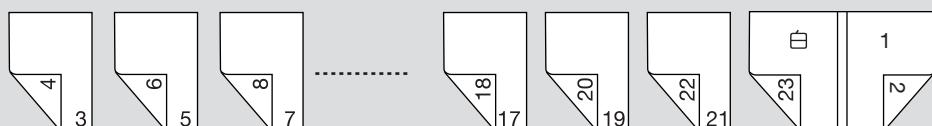
本身両面コピー、表紙印刷 [なし]



本身両面コピー、表紙印刷 [あり] 、表紙印刷面 [片面]



本身両面コピー、表紙印刷 [あり] 、表紙印刷面 [両面]



本 身

表 紙

■ くるみ製本機ヒーターをオン/オフ

くるみ製本機は糊付け製本をするため、くるみ製本機ヒーターで糊ペレットを加熱溶解します。加熱溶解するまでにウォームアップとして約20分かかります。

くるみ製本機を使用していない状態で、糊ペレットを長時間溶解し続けていると、糊の劣化を招きます。

糊の劣化を抑えるため、本機では、下記のようなくるみ製本機ヒーターのオン/オフ機能が働きります。

- ジョブ終了後約1分でオフします。
- ヒーターのウォームアップ完了後、くるみ製本を使用せずに1分経過するとオフします。

くるみ製本機ヒーターのオン

くるみ製本機ヒーターは本体の副電源スイッチをオンにしても自動でウォームアップを開始しません。



本体の副電源スイッチをオンにしたとき、くるみ製本機ヒーターのウォームアップを自動で開始するよう設定できます。

サービス実施店にお申し出ください。

両面コピーの
両面方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中じ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタッカ

併用できない
コピー条件

出力設定

機械状態画面のPBスイッチ〔ON〕を押すと、くるみ製本機ヒーターはウォームアップを開始し、「PBウォームアップ中」と表示されます。



出力設定画面の「くるみ製本」を押したり、くるみ製本のプリントジョブを受信したとき、くるみ製本機ヒーターは自動的にウォームアップを開始します。



くるみ製本機を使用する時間があらかじめわかっているときは、ヒーターのウォームアップタイムを逆算し、機械状態画面のPBスイッチの〔ON〕を押して手動でオンすることをおすすめします。

くるみ製本機ヒーターのウォームアップが完了するとPBスイッチ横の「PBウォームアップ中」という表示が消えます。



くるみ製本機ヒーターのウォームアップ中に本体のパワーセーブ機能が働いてもウォームアップは中断しません。



出力設定画面の【くるみ製本】を押した後、【機能オフ】を押したり、操作パネルの【リセット】を押してくるみ製本の設定を解除しても、くるみ製本機ヒーターは、ウォームアップを続けます。くるみ製本機を使用しない場合は、【PBヒーター】を押してオフにしてください。

くるみ製本機ヒーターのオフ

くるみ製本のジョブ終了後、約1分で自動的にくるみ製本機ヒーターをオフにします。また、くるみ製本機ヒーターのウォームアップ完了後、くるみ製本機を使用せずに約1分経過するとヒーターを自動的にオフします。

くるみ製本機ヒーターがウォームアップ中またはオン状態に、機械状態画面PBスイッチの【OFF】を押すとオフになります。



約1分で自動的にくるみ製本機ヒーターをオフにしないように設定することができます。サービス実施店にお申し出ください。その場合、本体のオートローパワー／オートシャットオフが機能するまでヒーターはオフになりません。糊の劣化にご注意ください。



くるみ製本のジョブが設定されている場合、PBスイッチの【OFF】を押しても手動でオフにすることはできません。



- ローパワー／シャットオフ
本体の設定時間がくるみ製本機のローパワー／シャットオフ設定時間となります。
- 収納トレイ
本身：トレイ1～8
表紙：トレイ1～8（表紙印刷可）
くるみ製本機表紙給紙トレイ（表紙印刷不可）
大容量ポストインサーー PI-PFU（表紙印刷不可）
折り機ポストインサー上段／下段トレイ（表紙印刷不可）
- 用紙サイズ
本身：定形 A4□、B5□、A5□/□、8.5" x 11"□、5.5" x 8.5"□（Z折り時はA3□、B4□、A4□、11" x 17"□、8.5" x 11"□）
ワイド紙 A4W□、B5W□、A5W□/□、8.5" x 11"W□/□、5.5" x 8.5"W□/□
不定形^{*1} 最小タテ150 mm x ヨコ140 mm～最大タテ307 mm x ヨコ221 mm
表紙：不定形^{*1}
タテは本身の用紙サイズと同じ（5 mm以内）
ヨコは本身サイズ×2+本身厚み（1 mm以上）+（断裁ありの場合は切り量3 mm以上）の用紙をセットします。
各トレイの収納可能最大サイズは下記の通りです。
トレイ1～8^{*2}：
最小タテ150 mm x ヨコ281 mm～最大タテ324 mm x ヨコ460 mm
くるみ製本機表紙給紙トレイ：
最小タテ150 mm x ヨコ281 mm～最大タテ330 mm x ヨコ472 mm
折り機ポストインサートレイ：
最小タテ182 mm x ヨコ281 mm～最大タテ330 mm x ヨコ483 mm
- 用紙坪量
本身：64g/m²～91g/m²（62～71g/m²、72～91g/m²で使用可能坪量を制限できます。^{*3}）
表紙：82g/m²～161g/m²（72～91g/m²、92～130g/m²、131～161g/m²で使用可能坪量を制限できます。^{*3}）
- 紙種
本身：上質紙、普通紙
表紙：上質紙、普通紙、塗工紙
- 製本枚数 最小10枚～最大300枚または厚さ30 mm以内^{*4}
上質紙、普通紙
最小10枚～最大150枚または厚さ15mm以内^{*2}
Z折り挿入時の枚数
上質紙、普通紙のZ折り挿入枚数は4枚以下、片面コピーの場合は2枚以下
上質紙、普通紙のZ折り挿入枚数は2枚以下
Z折りと通常の本身の最大枚数

Z折り挿入枚数	本身枚数	最大合計枚数
1枚	200枚	201枚
2枚	150枚	152枚
3枚	100枚	103枚
4枚	50枚	54枚
- トレイ1～8のいずれかから表紙を給紙する場合、表紙の片面／両面印刷が可能です。
くるみ製本機表紙給紙トレイ、折り機ポストインサー上段／下段トレイから給紙する場合は表紙印刷はできません。
- 表紙断裁 断裁ありに設定すると下記入力値から機械が切り量を計算して3 mm～40 mmの範囲を0.1mm刻みで断裁します。
(表紙横長さ) - (本身ヨコ長さの2倍) - (背表紙幅)
機械が計算した切り量が10mm以上ある場合、表紙断裁の設定にかかわらず、機械が自動的に断裁を行います。
- 微調整
表紙先端位置調整： オモテ表紙と本身のヨコ方向の位置を-12.8mm～+12.8mmの範囲を0.1mm刻みで調整します。
表紙断裁切り量調整： 切り量を-5.0 mm～+5.0 mmの範囲を0.1 mm刻みで調整します。
表紙画像シフト量調整： 表紙印刷ありに設定したとき、表紙にコピーされる画像の位置を調整します。

両面コピーの
どじ方向
排紙トレイ
を選択する
用紙を仕分ける
ステープルする
中じ機
折り／パンチ穴
カバー紙をつける
手動で使う
くるみ製本機
大量の用紙
をスタック
併用できない
コピー条件

出力
第1
章
設定

*1： 表紙の不定形サイズはくるみ製本の設定画面から設定できます。詳細はp. 11-37をごらんください。

*2： 本身のサイズが8.5"×11"の用紙はトレイ1～8から給紙された表紙で製本する場合、最大厚さは30 mmより少なくなります。

断裁なしの場合：460 mm – (216 × 2) = 28mm

断裁ありの場合：460 mm – (216 × 2) – (切り量3mm) = 25mm

本身のサイズが8.5"×11"で上記以上の厚さの製本をする場合は、くるみ製本機の表紙給紙トレイまたは折り機ポストインサーのトレイをご使用ください。

*3： くるみ製本機で使用できる本身、表紙の用紙坪量を選択することができます。
詳細はPOD管理者編をごらんください。

*4： 本身の用紙坪量によって、くるみの最小／最大枚数を変更することができます。

詳細はPOD管理者編をごらんください。

本身の厚みを検知し、セットされている表紙のヨコ長さが不適切なとき、製本を一時停止するように設定できます。詳細はPOD管理者編をごらんください。

■ くるみ製本する

1 原稿をセットします。

原稿とくるみ製本の関係についてはp. 11-31～p. 11-32

2 トレイに本身の用紙、表紙の用紙をセットします。

本身/表紙を下記のトレイにセットします。

本身の用紙：トレイ1～8

表紙にコピーする場合：トレイ1～8

表紙にコピーしない場合：くるみ製本紙の表紙トレイ

大容量ポストインサーー PI-PFU

折り機ポストインサーー



- 表紙として使用する用紙は不定形です。タテ、ヨコのサイズを入力する必要がありますので正確な数値をご確認ください。

- 表紙断裁するときは切り量が3 mm～40mmを確保できる表紙をセットしてください。



くるみ製本機ヒーターがウォームアップの状態のとき、機械状態画面にウォームアップ状態を表示します。

3 コピー画面を表示させ、本身の用紙をセットしたトレイボタンを押し、必要に応じてトレイ設定または用紙予約設定で用紙設定を変更します。



サイズは自動検知します。

本身の用紙をセットしたトレイに設定されている坪量が適正でない場合、製本できません。

[62–71 g/m²]、[72–91 g/m²] のどちらか1つを選択します。



- 左記の坪量を選択しても製本できないことがあります。詳細はPOD管理者編をごらんください。
- 選択した坪量によって、製本枚数が制限されることがあります。詳細はPOD管理者編をごらんください。

両面コピーの
どじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中どじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタック

併用できない
コピー条件

出力設定

4 [出力設定]、[くるみ製本] を順に押します。



くるみ製本画面が表示されます。



[くるみ製本]を押したとき、ヒーターのウォームアップが始まります。ウォームアップまで約20分かかります。

くるみ製本機を使用する時間があらかじめわかっているときは、事前に機械状態画面のPBスイッチの[ON]を押して手動でウォームアップをしておくことをおすすめします。



このとき、出力設定画面の【標準復帰】を押しても、また操作パネルの【リセット】を押しても、くるみ製本機のウォームアップは停止しません。

くるみ製本機の使用を中止するときは機械状態画面にもどし、PBスイッチの[OFF]を押してくるみ製本機ヒーターをオフにして、糊ペレットの劣化を抑えてください。

5 表紙用紙をセットしたトレイを選択し、表紙の不定形サイズを設定します。

(1)「表紙トレイ」表示右の【設定変更】を押します。



表紙トレイ画面が表示されます。

- (2) 手順3で表紙の用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させ、〔用紙設定変更〕を押します。



詳しく説明します

トレイ1～8以外のトレイを選択すると、手順7の表紙印刷の設定は、表紙印刷なし以外は選択できなくなります。

- (3) 「用紙サイズ」表示右の〔設定変更〕を押します。



両面コピーの
どじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタック

併用できない
コピー条件

出力
第1
章

不定形サイズ設定画面を表示させます。

- (4) 手順3でセットした表紙のタテ／ヨコのサイズ数値を〔▲〕〔▼〕またはテンキーで入力します。〔OK〕を押して手順6に進みます。不定形サイズ登録している場合は〔サイズ読み出し〕を押します。



不定形サイズ読み出し画面が表示されます。

必ず守ってください

セットした表紙のサイズは正確に入力してください。不適切なサイズが設定されているというメッセージが表示されたり、表紙断裁したときに正確に断裁できないことがあります。また、紙づまりの原因にもなります。

- (5) [▲] [▼] を押して、希望する不定形の登録サイズを表示させ、ナンバー ボタンを押して反転させます。[OK] ボタンを2回押します。



詳しく説明します

不定形サイズの登録は機械状態画面の〔不定形サイズ登録/削除〕で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。

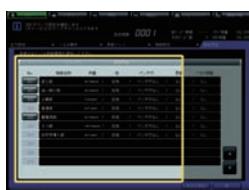
6 表紙用紙をセットしたトレイのトレイ設定を変更します。

- (1) 「トレイ設定」下の〔設定呼出〕を押します。



設定呼出画面が表示されます。

- (2) [▲] [▼] を押して希望する用紙条件を表示させ、ナンバー ボタンを押して反転させます。[OK] を押します。



詳しく説明します

用紙設定の登録は機械状態画面の〔トレイ設定〕で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。

(3) 呼出した用紙条件を変更したいときは、「トレイ設定」下の〔設定変更〕を押します。



設定変更画面が表示されます。

(4) 〔用紙種類〕を押して任意の用紙種類を選択します。



(5) 〔坪量〕を押して任意の坪量を選択します。

坪量が適正でない場合、製本できません。

〔72 – 91 g/m²〕、〔92 – 130 g/m²〕、〔131 – 161 g/m²〕の中から1つを選択します。



(6) 〔OK〕を押します。



左記の坪量を選択しても製本できないことがあります。詳細はPOD管理者編をごらんください。

- 両面コピーの
どじ方向
- 排紙トレイ
を選択する
- 用紙を仕分ける
ステープルする
- 中とじ機
- 折り／パンチ穴
- カバー紙をつける
- 手動で使う
- くるみ製本機
- 大量の用紙
をスタッカ
- 併用できない
コピー条件

(7) トレイ設定のチャートで表紙の用紙設定内容を確認します。



詳しく説明します

用紙サイズ、用紙種類、坪量以外の設定を変更したいときは、機械状態画面の〔トレイ設定〕を変更してください。コピー画面の〔用紙予約設定〕では変更できません。

(8) [閉じる] を押し、[OK] を押します。

7 表紙印刷の設定をします。

表紙トレイをトレイ1～8のいずれかを選択すると表紙印刷の設定ができます。

表紙印刷をする/しないは、「表紙印刷」表示右の〔あり〕〔なし〕を選択します。

表紙のオモテ側だけをコピーする場合は「表紙印刷面」表示右の〔片面〕、ウラ側もコピーする場合は〔両面〕を選択します。



それぞれの設定をしたときの製本の仕上がりの詳細はp. 11-32～p. 11-32をごらんください。原稿枚数が偶数枚、奇数枚で表紙印刷のされ方が変わります。

8 とじ方向を設定します。

製本のとじ方向を「とじ方向」表示右の〔左とじ〕〔右とじ〕で選択します。



9 背表紙幅を設定します。

「背表紙幅（1～30mm）」表示右の〔設定変更〕を押して、背表紙幅画面を表示させます。

画面のテンキー、〔▲〕〔▼〕または操作パネルのテンキーを押して、任意の数値を入力します。

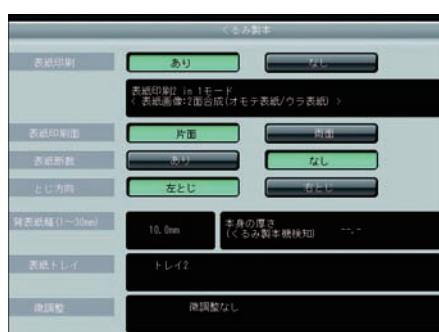
〔OK〕を押します。



背表紙幅の設定値は、表紙印刷〔あり〕の場合に有効となります。

10 表紙断裁をする／しないを選択します。

表紙断裁をする／しないは、「表紙断裁」表示右の〔あり〕〔なし〕で選択します。



機械が計算した切り量が3mm～40mmの範囲にない場合、不適切メッセージが表示されます。
表紙を調整してください。
機械が計算した切り量が10mm以上ある場合、表紙断裁の設定にかかわらず、機械が自動的に断裁を行います。

両面コピーの
どじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタッカ

併用できない
コピー条件

出力設定

11 表紙位置、断裁切り量、表紙画像位置を微調整します。

「微調整」表示右の〔設定変更〕を押して、微調整画面を表示させます。



- 表紙位置を微調整するときは、〔表紙先端位置調整〕を押します。
画面のテンキー、〔▲〕〔▼〕または操作パネルのテンキーを押して任意の数値を入力し、〔+↔-〕を押して調整値の+/-を選択します。
- 断裁切り量を微調整するときは、〔表紙断裁切り量調整〕を押します。
画面のテンキー、〔▲〕〔▼〕または操作パネルのテンキーを押して任意の数値を入力し、〔+↔-〕を押して調整値の+/-を選択します。
- 表紙の画像位置を微調整するときは、〔表紙画像シフト量調整〕を押します。
〔オモテ〕〔ウラ〕を押して調整するプリント面、〔上下〕〔左右〕を押して調整方向を選択します。
画面のテンキー、〔▲〕〔▼〕または操作パネルのテンキーを押して任意の数値を入力し、〔+↔-〕を押して調整値の+/-を選択します。
〔OK〕を押します。

12 [OK] を3回押してコピー画面を表示させます。

コピー画面の〔出力設定〕下には、くるみ製本のアイコンが表示されます。

13 必要に応じて任意のコピー条件を設定します。

両面コピーするときは、〔片面→両面〕または〔両面→両面〕を選択します。
原稿枚数が100枚を超える場合は、連続読み込みモードを選択します。

14 コピー部数をテンキーで入力します。

初めから複数部数を製本せずに、確認コピーをすることをおすすめします。

確認コピーをすると、くるみ製本画面に本身の厚さを表示します。

設定した背表紙幅と異なる場合は、背表紙幅を再度設定してください。



確認コピーの詳細は、p. 13-2をごらんください。

15 操作パネルの【スタート】を押します。

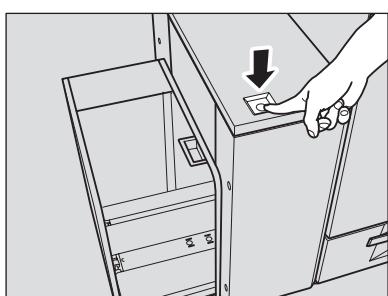
くるみ製本機がウォームアップの状態のときは【スタート】を押しても、動作しませんが、ウォームアップが完了すると自動的に動作を開始します。



機械動作中にくるみ製本機の前扉を開かないでください。動作を停止し、紙づまりを起こします。

16 製本を製本トレイから取り出します。

製本か製本トレイの奥側にある場合は、送り出しボタンを押して手前に移動させます。



表紙のヨコ長さに不適切な設定があると、動作を一時的に停止して中止または継続の選択画面が表示されます。

設定メニューでこの画面を表示させるかどうか選択できます。詳細は、POD管理者編をごらんください。



機械動作中は製本トレイカバーを開けることはできません。また送り出しボタンも機能しません。

両面コピーの
どじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中どじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

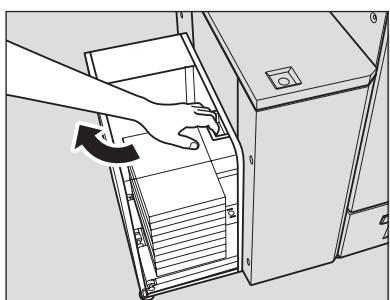
くるみ製本機

大量の用紙
をスタッカ

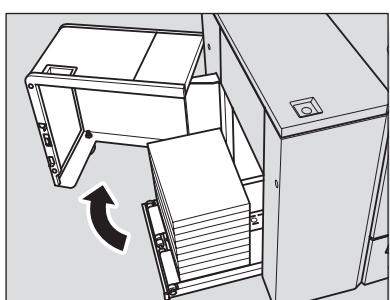
併用できない
コピー条件

**第1章
出力設定**

製本トレイカバーを開きます。



製本を取り出し、製本トレイカバーを閉じます。



大量の用紙をスタッカする：大容量スタッカ LS-505

大容量スタッカ LS-505 にはスタッカ部（搬送用台車付き）とサブトレイがあり、それぞれ下記の出力ができます。



仕様は、p. 3-2 および p. 7-14 をご覧ください。

スタッカ部への出力

- ソート： 原稿と同じページ揃えのコピーをします。オフセット出力はしません。
グループ： 原稿 1 枚に設定部数分のコピーをします。オフセット出力はしません。
仕分けソート： 原稿と同じページ揃えのコピーを設定部数分出力します。スタッカ部上で 1 部ごとに 20 mm 搬送方向オフセット出力します。
仕分けグループ： 原稿 1 枚に設定部数分のコピーをし、原稿ごとにオフセット出力します。
上記出力に対して排紙面（フェイスダウン/フェイスアップ）、排紙順（順方向/逆方向）の選択ができます。

サブトレイへの出力

- ソート： 原稿と同じページ揃えのコピーを出力します。オフセット出力はしません。
グループ： 原稿 1 枚に設定部数分のコピーをし、原稿ごとに出力します。オフセット出力はしません。

上記の出力に対して排紙面（フェイスダウン/フェイスアップ）、排紙順（順方向/逆方向）の選択ができます。



スタッカ部の用紙の取り出しは、用紙取り出しボタンを押してから前扉を開き搬送用台車を引き出してください。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させて、[出力設定] を押します。

出力設定画面が表示されます。

出力設定画面の機械正面図には、排紙トレイが四角反転で表示されています。メイントレイが排紙トレイに選択されていない場合は、[排紙トレイ変更] を押して排紙トレイ変更画面を表示させ、メイントレイまたはサブトレイを選択します。



- 排紙トレイ変更に関しては別に説明しています。詳細は、p. 11-4 をご覧ください。
- 排紙トレイ変更画面に [上積み設定] が表示されています。また、大容量スタッカが 2 連装着されている場合は、[スタッカ自動] が表示されています。詳細は、p. 11-6 をご覧ください。

両面コピーの
同じ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつくる

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙
をスタッカ

併用できない
コピー条件

第
1
章
出
力
設
定

3 出力モードを選択します。



排紙順を〔逆方向〕にすると、排紙面は自動的に〔フェイスアップ〕になります。

手順2でメイントレイを選択した場合は、〔ソート〕〔グループ〕〔仕分けソート〕〔仕分けグループ〕のボタンのうちから1つを押して反転させます。

手順2でサブトレイを選択した場合は、〔ソート〕〔グループ〕のボタンのうちから1つを押して反転させます。必要に応じて排紙面（フェイスクロウ/フェイスアップ）、排紙順（順方向/逆方向）の選択をします。

4 出力設定画面の〔OK〕を押します。

コピー画面には設定された出力設定アイコンが表示されます。



スタッカーパートやサブトレイには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようご注意ください。



スタッカーパートに積載された用紙の取り出し方については、p. 4-56をごらんください。

出力設定と併用できないコピー条件

機能組み合せ表	基本設定										画質設定			
	原稿設定										原稿画質	下地調整		
	片面->片面	片面->両面	両面->片面	両面->両面	両面->両面	両面->両面	固定倍率	自動画像回転禁止	*34	混載原稿	Z折れ原稿	1枚送り	全面以外	不定形原稿
ソート										△	△	△	△	△
仕分けソート*19										△	△	△	△	△
グループ										△	△	△	△	△
仕分けグループ*19										△	△	△	△	△
回転ソート														
回転グループ														
コーナーステープル(左)														
コーナーステープル(右)														
2点ステープル(上)														
2点ステープル(左)														
2点ステープル(右)														
中とじ								△						
重ね中折り								△						
重ね3つ折り(内印字)								△						
重ね3つ折り(外印字)								△						
中とじ/重ね中折り断裁*7								△						
Z折り														
中折り(内印字)														
中折り(外印字)														
内3つ折り(内印字)														
内3つ折り(外印字)														
外3つ折り(内印字)														
外3つ折り(外印字)														
ダブルバラレル折り(内印字)														
ダブルバラレル折り(外印字)														
観音折り(内印字)														
観音折り(外印字)														
2穴パンチ(右)														
2穴パンチ(左)														
2穴パンチ(上)														
3穴パンチ(右)														
3穴パンチ(左)														
3穴パンチ(上)														
フェイスアップ														
フェイスクロップ														
順方向														
逆方向														
左右とじ														
上とじ														
HDD保存*3														
くるみ製本									*18					

両面コピーの
とじ方向

排紙トレイ
を選択する

用紙を仕分ける
ステープルする

中とじ機

折り／パンチ穴

カバー紙をつける

手動で使う

くるみ製本機

大量の用紙を
をスタック

併用できない
コピー条件

第1章
出力設定

出力設定と併用できないコピー条件(つづき)

		機能組み合せ表		出力設定	
		ソート	仕分けソート*19	グループ	仕分けグループ*19
		回転ソート	回転グループ	コーナーステーブル (左)	コーナーステーブル (右)
		2点ステーブル (上)	2点ステーブル (左)	2点ステーブル (右)	中とじ
		中とじ	重ね中折り	重ね3つ折り (内印字)	重ね3つ折り (外印字)
		重ね中折り	重ね3つ折り (内印字)	重ね3つ折り (外印字)	重ね3つ折り (内印字)
		重ね3つ折り (外印字)	中とじ/重ね中折り断裁*7	中とじ/重ね3つ折り (内印字)	中とじ/重ね3つ折り (外印字)
		Z折り	Z折り	Z折り	Z折り
		中折り (内印字)	中折り (内印字)	中折り (外印字)	中折り (外印字)
		中折り (外印字)	中折り (外印字)	内3つ折り (内印字)	内3つ折り (内印字)
出力設定	内3つ折り (内印字)	内3つ折り (内印字)	内3つ折り (外印字)	内3つ折り (外印字)	内3つ折り (外印字)
	内3つ折り (外印字)	外3つ折り (内印字)	外3つ折り (内印字)	外3つ折り (外印字)	外3つ折り (外印字)
	外3つ折り (内印字)	外3つ折り (外印字)	ダブルパラレル折り (内印字)	ダブルパラレル折り (内印字)	ダブルパラレル折り (外印字)
	ダブルパラレル折り (外印字)	観音折り (内印字)	ダブルパラレル折り (外印字)	観音折り (内印字)	ダブルパラレル折り (外印字)
	観音折り (外印字)	観音折り (外印字)	観音折り (内印字)	観音折り (外印字)	観音折り (外印字)
	2穴パンチ (右)	▲	▲	▲	▲
	2穴パンチ (左)	▲	▲	▲	▲
	2穴パンチ (上)	▲	▲	▲	▲
	3穴パンチ (右)	□	□	□	□
	3穴パンチ (左)	□	□	□	□
	3穴パンチ (上)	□	□	□	□
フェイスアップ		× × × × ×	×	*13*13 × ×	
フェイスタウン				*13*13	
順方向				*13*13	
逆方向		×	×	×	×
左右とじ		▲			
上とじ		▲	▲		
HDD保存*3		×	×	×	×
くるみ製本		×	×	×	×

機能組み合せ表	出力設定												応用設定																			
	ページ編集						複数枚複数面						複数枚複数面						複数枚複数面													
	2穴パンチ(右)	2穴パンチ(左)	2穴パンチ(上)	3穴パンチ(右)	3穴パンチ(左)	3穴パンチ(上)	3穴パンチ(右)	3穴パンチ(左)	3穴パンチ(上)	フェイスタップ	フェイスダウ	順方向	逆方向	左右どじ	上とじ	HDD保存*3	くるみ製本	プログラムジョブ	インターフェース	IP挿入	表カバー(トレイ)	裏カバー(トレイ)	表カバー(上段/下段)	裏カバー(上段/下段)	書分け	複数枚コピー挿入	集約	小冊子	無線どじ	差込みページ	ワープリ連写	
ソート																	x															
仕分けソート*19																		*23	△ *23													
グループ																			*23	△ *24												
仕分けグループ*19																			*25	*25												
回転ソート																																
回転グループ																			*25	*25												
コーナーステープル(左)	▲			□	□	□	×		×																							
コーナーステープル(右)		▲		□	□	□	×		×																							
2点ステープル(上)	▲	▲		□	□	□	×		×	▲																						
2点ステープル(左)	▲	▲		□	□	□	×		×	▲																						
2点ステープル(右)	▲	▲		□	□	□	×		×	▲																						
中どじ	□	□	□	□	□	□	×		×									△										x	*6			
重ね中折り	□	□	□	□	□	□	×		×									△										x	*6			
重ね3つ折り(内印字)	□	□	□	□	□	□	*13	*13	*13	*13								△										△	△	△		
重ね3つ折り(外印字)	□	□	□	□	□	□	*13	*13	*13	*13								△										△	△	△		
中どじ/重ね中折り断裁*7	□	□	□	□	□	□	×		×									×	×												*6	
Z折り				□	□	□	×		×																							
中折り(内印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
中折り(外印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
内3つ折り(内印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
内3つ折り(外印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
外3つ折り(内印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
外3つ折り(外印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
ダブルパラレル折り(内印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
ダブルパラレル折り(外印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
観音折り(内印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
観音折り(外印字)	□	□	□	□	□	□			×																							
2穴パンチ(右)	□	□	□	□	□	□	×		×	▲																			x	x		
2穴パンチ(左)	□	□	□	□	□	□	×		×	▲																			x	x		
2穴パンチ(上)	□	□	□	□	□	□	×		×	▲																			x	x		
3穴パンチ(右)	□	□	□	□	□	□	×		×	▲																			x	x		
3穴パンチ(左)	□	□	□	□	□	□	×		×	▲																			x	x		
3穴パンチ(上)	□	□	□	□	□	□	×		×	▲																			x	x		
フェイスタップ	x	x	x	x	x	x																										
フェイスダウ																																
順方向																																
逆方向	x	x	x	x	x	x			x									x		x		x	x									
左右どじ		▲			▲																											
上とじ	▲	▲		▲	▲																											
HDD保存*3	x	x	x	x	x	x			x									*16		*17	*17	*17	*17			x	x	x	*16			
くるみ製本	x	x	x	x	x	x			x																							

両面コピーの
同じ方向
排紙トレイ
を選択する
用紙を仕分ける
ステープルする
中じ機
折り/パンチ穴
カバー紙をつける
手動で使う
くるみ製本機
大量の用紙を
スタッカ
併用できない
コピー条件

機能組み合せ表	応用設定							
	画像応用							
ソート		ネガがシ反転						
仕分けソート*19		リピート						
グループ		自動リピート*8						
仕分けグループ*19		定形リピート						
回転ソート	*25	*25	*25		*26	*26	*26	
回転グループ	*25	*25	*25		*27	*27	*27	
コーナーステープル(左)				センターリンク				
コーナーステープル(右)				シフト				
2点ステープル(上)				縮小シフト				
2点ステープル(左)				原稿外消去				
2点ステープル(右)				全面画像				
中とじ	△			スタンプ(定形スタンプ)				
重ね中折り	△			スタンプ(ページ)				
重ね3つ折り(内印字)	×	△	△	スタンプ(ナンバリング)				
重ね3つ折り(外印字)	×	△	△	スタンプ(日付時刻)				
中とじ/重ね中折り断裁*7	△			ウォーターマーク				
Z折り				ウォーターマーク(ナンバリング)				
中折り(内印字)				ウォーターマーク(ロゴマーク)				
中折り(外印字)				任意スタンプ				
内3つ折り(内印字)								
内3つ折り(外印字)								
外3つ折り(内印字)								
外3つ折り(外印字)								
ダブルバラレル折り(内印字)								
ダブルバラレル折り(外印字)								
観音折り(内印字)								
観音折り(外印字)								
2穴パンチ(右)		*14						
2穴パンチ(左)		*14						
2穴パンチ(上)		*14						
3穴パンチ(右)		*14						
3穴パンチ(左)		*14						
3穴パンチ(上)		*14						
フェイスアップ								
フェイスダウン								
順方向								
逆方向								
左右とじ								
上とじ								
HDD保存*3				×	×	×		
くるみ製本								
							オーバーレイ*4	

無印：排他なし（選択可能）

×：網掛け（強制解除含む）

□：後優先（行の項目が解除される）

▲：メッセージ警告

△：本来は禁止だが、排他未実施。後優先、列の方が優先

-：設定なし

*1：カバーシート紙の裏カバーは選択禁止。禁止時にはメッセージ表示

*2：2 in 1、スタンプ「ページ」の4 in 1、2リピートは可。禁止時には網掛け

*3：コピーモードからのJOB保存に関して記す

*4：プログラムジョブではオーバーレイ選択禁止

*5：文字1 bit、写真1 bit/2 bit切替え可。1 bit、2 bitの混在は不可。メモリーモード時は1 bit固定

*6：小冊子選択時の組み合わせ可能

*7：サブトレイ排紙選択時は断裁強制解除

*8：自動リピート選択時は原稿外消去も自動強制選択される。（原稿外消去のみの解除は不可）

*9：混載のとき、自動倍率以外での自動画像回転禁止。（混載優先の後優先扱いとする）

*10：ステープルまたはパンチ選択時、ステープルまたはパンチが所定の位置に行えないときは、自動画像回転禁止

*11：連続読み込みモード強制選択

*12：下地調整マイナス設定時に薄文字が選択された場合、強制的に下地調整を0にする

*13：重ね3つ折りは「N to 1」「フェイスダウン」に無条件に選択可能。（重ね3つ折りが後優先）
内印字選択時：1 to N、フェイスアップ（両面出力時はフェイスダウン）を強制選択
外印字選択時：N to 1、フェイスダウンを強制選択

*14：2リピート（反転含む）のみ禁則

*15：定形2リピート（反転含む）のみ禁則緩和

*16：表紙トレイが本体の場合は不可

*17：表紙トレイがPBの場合のみ可

*18：自動用紙+Z折り非選択時は不可

*19：排紙先が大容量スタッカーメイントレイまたはステープルフィニッシャーメイントレイの場合は選択可能。（それ以外は網掛け）

*20：ソートを選択し、仕分けソート、グループ、仕分けグループは網掛け

*21：ソートを選択し、仕分けソート、仕分けグループは網掛け

*22：グループを選択し、仕分けソート、仕分けグループは網掛け

*23：ソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け

*24：仕分けソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け

*25：ソートを選択し、回転ソート、グループ、回転グループは網掛け

*26：ソートを選択し、回転ソート、回転グループは網掛け

*27：グループを選択し、回転ソート、回転グループは網掛け

*28：下地調整のマイナス側には設定できない

*29：等倍が選択される

*30：連続読み込みモードでない場合は、「ADFを閉じてください」のメッセージが表示される

*31：ブック連写「表/裏表紙あり」選択時、任意スタンプは網掛け。また任意スタンプ選択時、ブック連写「表/裏表紙あり」は網掛け

*32：2 in 1、スタンプ「ページ」の4 in 1、2リピートは可能。（禁則時は網掛け）

*33：2リピート以外選択時、登録オーバーレイは網掛け。また登録オーバーレイ選択時、2リピート以外は網掛け

*34：自動画像回転禁止選択時でも画像回転アイコン表示時は画像回転する

ジョブリスト

第12章

動作中、保留中、展開中のジョブを操作したり、ジョブ履歴を確認する方法を説明します。

ジョブリスト画面の概要	12-2
ジョブリスト画面の操作	12-3
■ 動作中／保留中のジョブを確認／操作する	12-3
■ 出力履歴を確認する	12-5
■ 送信履歴を確認する	12-6
■ 未出力履歴を確認する	12-7
■ 展開中ジョブを操作する	12-8

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

ジョブリスト
第12章

ジョブリスト画面の概要

ジョブリスト画面を表示させて、下記の項目を確認／操作できます。

- ジョブ（動作中／保留中）
- 出力履歴
- 送信履歴
- 未出力履歴
- 展開状況



ここで確認／操作できるジョブは、コピーのほかに、プリント、スキャナー関連のジョブも含まれます。

ジョブリスト画面の表示は、下記の手順に従ってください。

1 画面の【ジョブリスト】タブを押します。

ジョブリスト画面が表示されます。



2 ジョブ画面下の任意のボタンを押します。

各画面の詳細や操作方法はそれぞれの画面説明ページをごらんください。

3 ジョブリストモードから出るときはそのほかのタブを押します。

ジョブリスト画面の操作

ジョブリスト画面のジョブの確認および操作方法について説明します。

■ 動作中／保留中のジョブを確認／操作する

動作中および保留中のジョブの状態をリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピージョブ／プリントジョブの共通連番
- モード : コピー／プリントなど（2つのモードの区別）
- 状 態 : 出力中／予約など（ジョブの現在の状態）
- ページ数 : ページ数を最大5ヶタ表示
- 部 数 : 部数を最大4ヶタ表示
- 残枚数 : ページ数×部数=出力残枚数を最大4ヶタ表示
- 時間（分）: 各ジョブの出力に要する時間（分）
- ユーザー名 : ジョブにユーザー名情報があるとき表示
- ファイル名 : ジョブにファイル名情報があるとき表示

動作中ジョブは各ジョブの設定内容の確認と、優先出力／優先／保留／削除／詳細／一括削除の操作ができます。

保留中ジョブは各ジョブのジョブ設定内容の確認、チケット編集／保留解除／一括解除の操作ができます。

下記の手順に従ってください。

1 画面の【ジョブリスト】タブを押し、【ジョブ】を押します。



画面上で動作中／保留中ジョブの状態を確認します。
動作中ジョブが11以上設定されている場合は【▲】【▼】を押して表示させます。

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

第2章
ジョブリスト

2 操作したい動作中ジョブ項目を押して反転させ、 ジョブ操作ボタンを押します。

「動作中」リストのジョブ項目を操作します。

ジョブの詳細を確認する：

詳細を確認したいジョブ項目を押して反転させ、〔詳細〕を押します。選択したジョブの設定内容画面が表示されます。確認後、〔閉じる〕を押します。



出力中のジョブ項目に対しては機能しません。

先に出力したいジョブを指定する：

次に出力したいジョブ項目を押して反転させ、〔優先出力〕を押します。現在出力中のジョブ項目の下に移動します。



入れ替えできない場合は、「このジョブは入れ替えできません」と表示されます。

ジョブの出力順を変更する：

順番を先にしたいジョブ項目を押して反転させ、〔優先〕を押します。ボタンを押すごとに選択したジョブ項目が上にスライドしていきます。

動作中ジョブを保留にする：

保留にしたいジョブ項目を押して反転させ、〔保留〕を押します。出力されずにジョブ項目は保留中リストに移動します。



削除したジョブのデータはすべて消去されます。

動作中ジョブを削除する：

削除したいジョブ項目を押して反転させ、〔削除〕を押します。全ての動作中ジョブを削除する場合は〔一括削除〕を押します。削除確認画面が表示されます。(はい)を押します。

3 操作したい保留中ジョブ項目を押して反転させ、 ジョブ操作ボタンを押します。

「保留中」リストのジョブ項目を操作します。

チケット編集をする：

チケット編集したいジョブ項目を押して反転させ、〔チケット編集〕を押します。編集後、〔閉じる〕を押します。

保留ジョブを出力する：

保留を解除してから出力したいジョブ項目を押して反転させ、〔保留解除〕を押します。

保留ジョブを一括解除する：

〔一括解除〕を押します。

■ 出力履歴を確認する

出力履歴をリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo.: コピー・ジョブ／プリントジョブの共通連番
- モード: コピー／プリントなど(2つのモードの区別)
- ページ数: ページ数を最大5ヶタ表示
- 部数: 部数を最大4ヶタ表示
- 結果: 完了／キャンセルなど
- 時刻: 出力をした時間
- ユーザー名: ジョブにユーザー名情報があるとき表示
- ファイル名: ジョブにファイル名情報があるとき表示

出力した各ジョブの設定内容を確認できます。

下記の手順に従ってください。

1 画面の【ジョブリスト】タブを押し、【出力履歴】を押します。



画面上で出力したジョブの状態を確認します。

出力したジョブが17以上ある場合は【▲】【▼】を押し
て表示させます。

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

第2章
ジョブリスト

2 確認したいジョブ項目を押して反転させ、【詳細】を押します。

設定内容画面が表示されます。内容確認後、【閉じる】を押します。

■ 送信履歴を確認する

送信履歴をリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピージョブ／プリントジョブの共通連番
- モード : E-Mail／FTP／SMB／HDDなど(4つのモードの区別)
- 送信先 : 送信した宛先 (24文字)
- 結果 : 完了／キャンセル／エラー内容
- 時刻 : 送信した時間
- ユーザー名: ジョブにユーザー名情報があるとき表示
- ファイル名: ジョブにファイル名情報があるとき表示

送信した各ジョブの設定内容を確認できます。

下記の手順に従ってください。

1 画面の【ジョブリスト】タブを押し、【送信履歴】を押します。



画面上で送信したジョブの状態を確認します。

送信したジョブが17以上ある場合は〔▲〕〔▼〕を押して表示させます。

2 確認したいジョブ項目を押して反転させ、【詳細】を押します。

設定内容画面が表示されます。内容確認後、【閉じる】を押します。

■ 未出力履歴を確認する

未出力ジョブをリスト表示します。

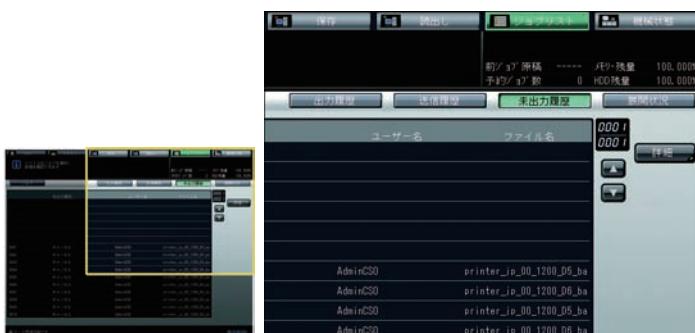
リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo.: コピージョブ／プリントジョブの共通連番
- 未出力要因: メモリーオーバーフロー／キャンセルなど
(出力できなかった要因)
- ユーザー名: ジョブにユーザー名情報があるとき表示
- ファイル名: ジョブにファイル名情報があるとき表示

各未出力ジョブの設定内容を確認できます。

下記の手順に従ってください。

- 1 画面の〔ジョブリスト〕タブを押し、〔未出力履歴〕を押します。



画面上で未出力ジョブの状態を確認します。

未出力ジョブが17以上ある場合は〔▲〕〔▼〕を押して表示させます。

- 2 確認したいジョブ項目を押して反転させ、〔詳細〕を押します。

設定内容画面が表示されます。内容確認後、〔閉じる〕を押します。

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

第2章
ジョブリスト

■ 展開中ジョブを操作する

展開中ジョブをリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピージョブ／プリントジョブの共通連番
- 状態 : RIP 待ち／受信中（現在プリントジョブを行っている項目）
- ユーザー名 : ジョブにユーザー名情報があるとき表示
- ファイル名 : ジョブにファイル名情報があるとき表示

展開中ジョブの優先出力／優先／削除の操作ができます。

下記の手順に従ってください。

1 画面の【ジョブリスト】タブを押し、【展開状況】を押します。



画面上で展開中ジョブの状態を確認します。

展開中ジョブが17以上設定されている場合は〔▲〕〔▼〕を押して表示させます。

2 操作したい展開中ジョブ項目を押して反転させ、ジョブ操作キーを押します。

先に出力したいジョブを指定する :

次に出力したいジョブ項目を押して反転させ、【優先出力】を押します。現在出力中のジョブ項目の下に移動します。

ジョブの出力順を変更する :

順番を先にしたいジョブ項目を押して反転させ、【優先】を押します。ボタンを押すごとに選択したジョブ項目が上にスライドしていきます。

展開中ジョブを削除する :

削除したいジョブ項目を押して反転させ、【削除】を押します。削除確認画面が表示されます。〔はい〕を押します。

詳しく述べ
説明します

出力中のジョブ項目に対しては機能しません。

詳しく述べ
説明します

入れ替えできない場合は、「このジョブは入れ替えできません」と表示されます。

詳しく述べ
説明します

選択したジョブのデータはすべて消去されます。

コピー操作補助機能

第13章

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

1部出力して設定条件を確認する：確認コピー	13-2
コピーする前に設定内容を確認する：設定内容	13-6
割り込んでコピーする：割込み	13-10
設定を登録し、呼び出す：プログラム	13-12
■ 設定を登録する	13-12
■ 設定を呼び出す	13-14
ワンタッチでコピー条件を呼び出す：ファンクションキー	13-16
最後に出力したコピー条件でコピーする	13-18
操作方法解説の画面を表示させる：ヘルプ	13-20
キーやボタンの応答時間を調整する：キー応答	13-22
ブラウザで本機を操作・監視する	13-23
■ ブラウザで本機を操作する：リモートパネル	13-24
■ ブラウザで本機の状態を監視する：リモートモニター	13-25
■ ブラウザで本機の状態を監視する：マルチモニター	13-26

確認コピー

設定内容

割込み

プログラム

ファンクションキー

最後のコピー条件でコピー

ヘルプ

キー応答

ブラウザで操作・監視

第13章
コピー操作補助機能

1 部出力して設定条件を確認する：確認コピー

複数部数のコピーを出力するとき、原稿をスキャンし1部だけ出力して仕上がりを確認します。大量コピーの失敗を未然に防ぎます。



- 確認コピーは、最初に原稿をスキャンし、1部だけ出力します。原稿が100枚以上ある場合や原稿ガラスで原稿をスキャンする場合は、最初に連続読み込みモードを使用して全原稿をスキャンします。
- 確認したジョブは、出力せずに保留ジョブとして保存することができます。

1 原稿をセットし、コピー画面を表示させて任意のコピー条件を設定します。

〔連続読み込み〕が設定されているときは、手順**2**に進む前に、操作パネルの【スタート】を押して全原稿をスキャンし、〔読み込み完了〕を押します。

2 操作パネルの【確認コピー】を押します。

原稿をスキャンし、1部出力します。

〔連続読み込み〕で原稿をスキャンしている場合は、すぐ に1部出力されます。



設定確認画面が表示されます。

3 設定内容を確認します。

応用設定の設定によっては、〔応用設定〕表示下に〔◀〕〔▶〕が表示されます。押して内容を確認します。



変更がない場合は、手順5に進みます。

4 必要に応じてコピー条件を変更します。

給紙トレイ：

変更可能な給紙トレイボタンを押すと切替わります。ここでトレイ設定の変更はできません。

部数/印刷面：

部数変更するときは、〔設定部数〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーで入力します。

片面/両面は、原稿をスキャンしているので、原稿側の変更はできません。そのほかのコピー条件によっては、片面/両面コピーの変更ができます。



確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

1部出力して設定条件を確認する:確認コピー(つづき)

原稿設定、画質設定、倍率設定、応用設定：
すでに原稿をスキャンしているので、変更できません。



詳しく説明します

出力設定：
変更可能なコピー条件のボタンは縁取りされていて押すと、それぞれの階層画面に切替わります。
〔出力設定〕を押すと、出力設定画面から変更ができます。



- 設定を削除する場合は、階層画面の〔機能OFF〕を押します。
- 変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。
- 出力設定画面の〔標準復帰〕を押すと、初期状態にもどります。

コピー条件を変更したあとに、再度確認コピーをして変更結果を確認することができます。

〔確認コピー〕を押します。1部出力して再度設定確認画面が表示されます。

確認したジョブを保留ジョブとして保存することができます。

〔保留ジョブへ〕を押します。出力せずにコピー画面にもどります。



保留ジョブにしたジョブはジョブリスト画面で出力することができます。詳細は、p. 12-3をごらんください。

5 [閉じる] を押します。 コピー画面にもどります。



確認コピーしたジョブを出力しない場合は【ストップ】を押し、画面の〔中止〕を押します。画像データは消去されます。

6 操作パネルの【スタート】を押します。 設定部数を一括出力します。

- 確認コピー
- 設定内容
- 割込み
- プログラム
- ファンクションキー
- 最後のコピー条件でコピー
- ヘルプ
- キー応答
- ブラウザで操作・監視

コピーする前に設定内容を確認する：設定内容

原稿をスキャンする前に設定確認画面を表示させて設定したコピー条件を確認し、必要に応じて変更します。また、変更の過程で原稿をスキャンし、確認コピーを出力して仕上がりを確認することができます。

これにより、大量コピーの失敗を未然に防ぎます。



- ここで設定内容の確認は、原稿をスキャンする前の確認/変更なので、設定確認画面でトレイ設定を除く全ての設定内容を変更することができます。
- 原稿をセットしたり、〔連続読み込み〕で原稿をスキャンすると、確認コピーで確認することができます。

1 コピー画面を表示させて任意のコピー条件を設定します。

2 操作パネルの【設定内容】を押します。

詳しく説明します



最初に【設定内容】を押して設定確認画面からコピー条件を設定することもできます。

設定内容画面が表示されます。



3 設定内容を確認します。

応用設定の設定によっては〔応用設定〕表示下に〔◀〕〔▶〕が表示されます。押して内容を確認します。



変更がない場合は、手順6に進みます。

4 必要に応じてコピー条件を変更します。

給紙トレイ :

変更可能な給紙ボタンを押すと、切替わります。自動用紙、画像回転の設定ができます。ここではトレイ設定の変更はできません。

部数/印刷面 :

部数変更するときは〔設定部数〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーで入力します。

〔印刷面〕を押すと、片面/両面の設定ができます。



設定されているコピー条件の組み合わせで、設定できないコピー条件があります。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

原稿設定、画質設定、倍率設定 :

それぞれのタイトルボタンを押すと、設定画面が表示され変更できます。



- 設定を削除する場合は、階層画面の〔機能OFF〕を押します。
- 変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。
- 設定画面の〔標準復帰〕を押すと、その設定画面の初期状態にもどります。
- 応用設定画面の〔全機能OFF〕を押すと、応用設定がすべてオフになります。

出力設定 :

変更可能なコピー条件のボタンは縁取りされていて、押すとそれ各自的階層画面に切替わります。

〔出力設定〕を押すと出力設定画面から変更できます。

応用設定 :

設定されている機能が表示されています。縁取りされているボタンを押すと、その階層画面に切替わります。

階層画面のない機能の場合は、設定を解除するかどうかを選択する画面が表示されます。

〔応用設定〕を押すと、応用設定画面が表示され変更できます。



そのままコピーを開始する場合は、手順6に進みます。

5 確認コピーを出力します。

原稿をセットし、【確認コピー】または操作パネルの【確認コピー】を押します。

【連続読み込み】が設定されているときは、操作パネルの【スタート】を押して全原稿をスキャンし、【読み完了】を押してから【確認コピー】 / 【確認コピー】を押します。



設定確認画面が表示されます。
ここでコピー条件を変更する場合は、確認コピーの手順4に進みます。p. 13-6をごらんください。

6 [閉じる] を押します。

コピー画面にもどります。

7 操作パネルの【スタート】を押します。

設定部数を一括出力します。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

割り込んでコピーする：割込み

機械が動作中に一時的に違う設定でコピーするのを割込みといいます。

操作パネルの【割込み】を押すと、動作中の機械が割込み可能なタイミングになったときに動作を一時的に停止し、異なる設定のコピーができます。

割込み終了後は、割込み前の状態で動作を再開します。



- 下記の条件のときは【割込み】を押しても割込みモードになりません。
一括出力または原稿スキャンしていないとき
登録オーバーレイモードのとき
サービスコール中／紙つまりなどトラブルの発生中
割込みモードでコピー中
- 割込みモードでのコピー予約は使用できません。
- 割込みモード中は、オートローパワー／オートシャットオフは機能しません。

1 操作パネルの【割込み】を押します。



割込み可能になるまで割込みランプが点滅し、割込みが可能になると点灯に変わります。

割込みモードのコピー画面が表示されます。



2 任意のコピー条件を設定します。

コピー予約以外のコピー条件の設定が可能です。

3 原稿をセットし、【スタート】を押します。

割込みコピーを出力します。

4 割込みコピーが完了したら、【割込み】を押します。

割込みランプが消灯し、機械状態画面が表示され、機械は割込み前の設定にもどります。

5 【スタート】を押します。

割込み前の動作を再開します。

確認コピー

設定内容

割込み

プログラム

ファンクションキー

最後のコピー
条件でコピー

ヘルプ

キー応答

ブラウザで
操作・監視第
三
章
コ
ピ
ー
操
作
補
助
機
能

設定を登録し、呼び出す：プログラム

使用頻度の高い設定を登録します。登録された設定は、簡単な操作で呼び出すことができます。

■ 設定を登録する

コピー条件の設定を登録する方法を説明します。



- 登録できる設定は、部数/印刷面、原稿設定、画質設定、倍率設定、出力設定、応用設定です。
- 登録した設定には、ジョブNo. (01～30) が割り当てられます。(必ず名前をつける必要があります)。
- 30まで登録できます。

1 コピー画面を表示させ、任意のコピー条件を設定します。

2 【プログラム】を押します。



登録したコピー条件をファンクションキーに設定することができます。

設定メモリー画面が表示されます。

3 【登録】を押します。



設定確認画面が表示されます。

4 登録する設定内容を確認し、[OK] を押します。



詳しく説明します

- 設定内容に間違いがあった場合は、設定内容画面の [キャンセル] を押します。コピー画面にもどりますので、正しいコピー条件を設定し直してください。

- 応用設定の設定によっては [応用設定] 表示下に [◀] [▶] が表示されます。押して内容を確認します。

設定メモリー画面にもどります。

5 任意のジョブボタンを押して、[OK] を押します。



ロックマーク [?] と名前がないボタンは未登録です。
登録可能です。

名前が表示されているボタンは登録済みですが、ロックマーク [?] がなければ上書きできます。

ロックマーク [?] のあるボタンへの登録はできません。

[OK] を押すと、文字入力画面が表示されます。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー
条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

6 ジョブ名を入力して、【OK】を押します。



- 文字入力に関しては、「付録：文字の入力のしかた」で説明しています。
- 必ず名前をつける必要はありません。名前をつけずに【OK】を押すと、ジョブボタンに「*」（アスタリスク）が16文字分表示されます。

名前は半角16文字、全角8文字まで入力できます。
【OK】を押すと、設定メモリー画面にもどります。ジョブボタンには、入力した名前が表示されます。

7 設定メモリー画面の【OK】を押します。 コピー画面にもどります。

■ 設定を呼び出す

登録した設定を呼び出す方法を説明します。



設定メモリー画面を表示させるときは、コピー画面を表示させてから【プログラム】を押します。機械状態画面等が表示されているときは、設定メモリー画面は表示されません。

1 原稿をセットします。

2 コピー画面を表示させて、操作パネルの【プログラム】を押します。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。



設定メモリー画面が表示されます。

3呼び出すジョブボタンを押します。



4 [ジョブチェック] を押します。

設定確認画面が表示されます。



応用設定の設定によっては〔応用設定〕表示下に〔◀〕〔▶〕が表示されます。押して内容を確認します。



設定内容を確認します。

5 設定確認画面の〔OK〕を押します。

登録されていたコピー条件が呼び出され、コピー画面が表示されます。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

ワンタッチでコピー条件を呼び出す：ファンクションキー

あらかじめ登録したプログラムのうち5つまでをファンクションキーに割り当てることができます。

ここでは、ファンクションキーのワンタッチで任意のコピー条件設定（設定メモリー）を呼び出してコピーする方法を説明します。



- プログラムの設定登録のしかたの詳細は、p. 13-7をごらんください。
- ファンクションキーへの割り当ては、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。



- ファンクションキーに割り当てるコピー条件は、プログラムに登録したコピー条件のみです。
- ファンクションキーとして、割り当てる個数は最大5個です。
- ファンクションキーに割り当てるプログラムのワンタッチ呼び出しは、コピー画面を表示させたときのみ可能で、それ以外のモード（スキャン、保存、読み出し、ジョブリスト、機械状態）での使用はできません。
- ファンクションキーに割り当てるコピー条件と併用できないコピー条件を設定すると、そのファンクションキーは網掛けされ機能しなくなります。
- ファンクションキーに割り当てるプログラムを削除すると、ファンクションキーも機能しなくなります。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、任意のファンクションキーを押します。

ファンクションキーに割り当てる設定メモリーのコピー条件が設定されます。



3 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

最後に出力したコピー条件でコピーする

最後に出力したコピー条件で、もう一度コピーする方法を説明します。



- 前ジョブを読み出すときは、コピー画面を表示させてから【プログラム】を押します。
機械状態画面等が表示されているときは、読み出しきできません。
- 呼び出せるコピー条件は、最後に出力したジョブの1件だけです。未出力ジョブ、予約ジョブのコピー条件は、最後に出力したジョブでも呼び出しきできません。
- 電源をオフにしても最後に出力したコピー条件は呼び出せます。

1 コピー画面を表示させて、操作パネルの【プログラム】を押します。



読み出し画面が表示されます。

2 【前ジョブ読み出し】を押します。



【ジョブチェック】が表示されます。

3 【ジョブチェック】を押して、設定内容を確認します。

設定確認画面が表示されます。
最後に出力したコピー条件が表示されています。

4 設定確認画面の【OK】を押します。

最後に出力したコピー条件が呼び出され、コピー画面が表示されます。

5 原稿をセットし、【スタート】を押します。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

操作方法解説の画面を表示させる：ヘルプ

コピーのとり方、トナー、用紙などの補給方法、操作パネルやタッチパネルのボタンの操作方法などについて、タッチパネル上に表示させて確認することができます。

ヘルプ画面は下記の構成で説明しています。

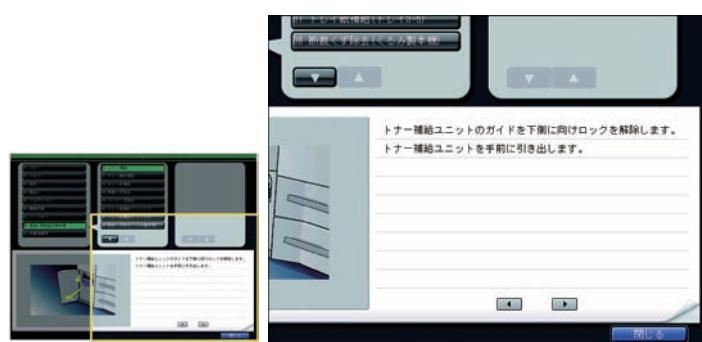
- 01 コピー : コピー画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明しています。
- 02 スキャン : スキャン画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明しています。
- 03 保 存 : 保存画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明しています。
- 04 読出し : 読出し画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明します。
- 05 ジョブリスト : ジョブリスト画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明します。
- 06 機械状態 : 機械状態画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明します。
- 07 ハードキー : 操作パネルボタンの機能や操作方法について説明します。
- 08 部品/消耗品交換手順 : トナー、針、用紙補給やパンチくず処理の方法について説明しています。
- 09 坪量換算表 : 用紙の坪量 (g/m^2) をポンド (lb) やキログラム (kg) に換算しています。

01～06の各画面の説明は、その画面を表示させて【ヘルプ】を押すと直接その画面の説明が表示されます。



説明タイトルが階層表示されています。表示させたい説明タイトルを押します。下に説明文や図が表示されます。

(◀) (▶) が表示されている場合は、押して画面を展開させます。



確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

キーやボタンの応答時間を調整する：キー応答

タッチパネルのボタンを押してから機械が反応するまでの時間をあらかじめ設定しています。操作パネルの【キー応答】を押すと、タッチパネルのボタンを一定時間押し続けなければ機械が反応しなくなります。

手の不自由な方が押したいボタンの周りにあるボタンに触ってうまく操作できないときにご利用ください。



キー応答の時間設定は、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD 管理者編をごらんください。



設定時間は、通常／0.5秒／1秒／2秒／3秒のいずれかが設定されています。

1 操作パネルの【キー応答】を押します。



【キー応答】のグリーンのランプが点灯し、タッチパネルのボタンが設定されている応答時間で反応するようになります。

キー応答の設定時間が【通常】に設定されていると、【キー応答】のランプが点灯していても通常に操作できます。

2 オフにするときは【キー応答】を1秒以上押します。

【キー応答】のランプが消え、通常のボタン操作にもどります。

ブラウザで本機を操作・監視する

ネットワークで本機とPCが繋がっているとき、ブラウザを使ってPCから本機を操作することができます。また、ブラウザで機械の状態を監視することもできます。PCのキーボードやマウスを使って効率よく操作したいときにご利用ください。

リモートパネルの機能

- タッチパネルの画面をブラウザに表示し、マウスを使って操作できます。
- 本機の操作パネルのボタンをブラウザに表示し、マウスを使って操作できます。
- キーボードを使ってパスワード等の入力ができます。
- リモートパネル上での操作手順を記録して再生できます。
- 本機のタッチパネルおよび操作パネルでの操作を禁止することができます。(リモートパネルのみ操作可能)

リモートモニターの機能

- ブラウザの自動リロードを使って、本機のタッチパネルの画面、ジョブの状況、本機の状態を監視することができます。
- リモートパネルを別ウインドウで表示します。

マルチモニターの機能

- 1つのブラウザ上に最大10台の機械のリモートモニターを並べて表示し、監視することができます。
- リモートモニターとリモートパネルを同じブラウザ上に表示します。

以下の機能はありません。

- 補助システムなどによる画面の読み上げ
- 電源スイッチの管理(主電源/副電源、パワーセーブ、ウィークリータイマー)
- 紙づまり、カウンター表示などを同時に表示すること



-
- 本体のセキュリティ強化モードをオフに設定します。
 - PCと本体は、ネットワークで繋がれTCP/IPで通信できる環境にします。
 - 本体のIPアドレスを設定します。
 - PCからWeb Utilities設定を使って本体にリモートパネルを使用するPCのIPアドレスを設定します。
 - PCには下記のブラウザのいずれか1つが必要です。それ以外に必要なハードやアプリケーションはありません。
Microsoft Internet Explorer 6.02以上
Netscape Navigator 7.1以上
FireFox 1.0以上
 - ブラウザの設定でJavaScriptを有効にします。
リモートパネルを使用時、紙づまりなどのポップアップ画面表示は、自動的に更新されません。長時間リモートパネルを使用していないときは、画面右上の「リロード」をクリックしてください。最新状態が表示されます。
-



-
- 本体のIPアドレスの設定はPOD管理者編で説明しています。詳細は、POD管理者編をごらんください。
 - リモートパネルを利用するPCは、そのIPアドレスを本体に設定する必要があります。リモートパネルの設定は、Web Utilities設定で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。
 - マルチモニターを利用する場合、監視する機械すべてのIPアドレスを登録する必要があります。登録は、Web Utilities設定で行います。詳細は、POD管理者編をごらんください。
-

確認コピー

設定内容

割込み

プログラム

ファンクションキー

最後のコピー

条件でコピー

ヘルプ

キー応答

ブラウザで操作・監視

コピーハンドブック

操作補助機能

■ ブラウザで本機を操作する：リモートパネル

- 1 PC のブラウザを立ち上げ、URL に本体のIP アドレスを入力します。

Web Utilities 画面が表示されます。

- 2 Web Utilities 画面の「リモートパネル」をクリックします。



現在本機に表示されているタッチパネルの画面および操作パネルがブラウザに表示されます。

- 3 マウスとキーボードを使って、本機の操作パネルと同じように操作します。



リモートパネル上の操作手順を記録して再生できます。

【操作記録On】をクリックし、操作を行ってください。操作手順を保存する場合は、「本体に保存」の数字ボタンをクリックします。

記録した操作手順を呼び出す場合は、「本体から読み込み」の数字ボタンをクリックします。

操作手順を再生する場合は、【実行】をクリックします。【本体パネルをロック】をクリックすると、操作部ロック機能が働きます。本機のタッチパネルおよび操作パネルでの操作ができません。リモートパネルのみ操作可能となります。

■ ブラウザで本機の状態を監視する：リモートモニター

- 1** PC のブラウザを立ち上げ、URL に本体のIP アドレスを入力します。

Web Utilities 画面が表示されます。

- 2** Web Utilities 画面の「リモートモニター」をクリックします。



本機の状態、タッチパネルの画面、ジョブの状況が表示されます。



リモートモニターに表示されているタッチパネルの画面をクリックすると、リモートパネルを別ウインドウで表示し、PCから操作できます。



- 本機の状態により、リモートモニターの背景色が異なります。
緑色：アイドリング中、
ウォームアップ中、
補正中
青色：動作中
黄色：JAM 中
赤色：SC 中
- 操作部ロック機能が働いている場合、リモートモニターにはタッチパネルのロック画面が表示されます。ロック画面をクリックすると、リモートパネルでの操作が可能となります。
- リモートパネルの詳細は、p. 13-24をごらんください。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

■ ブラウザで本機の状態を監視する：マルチモニター

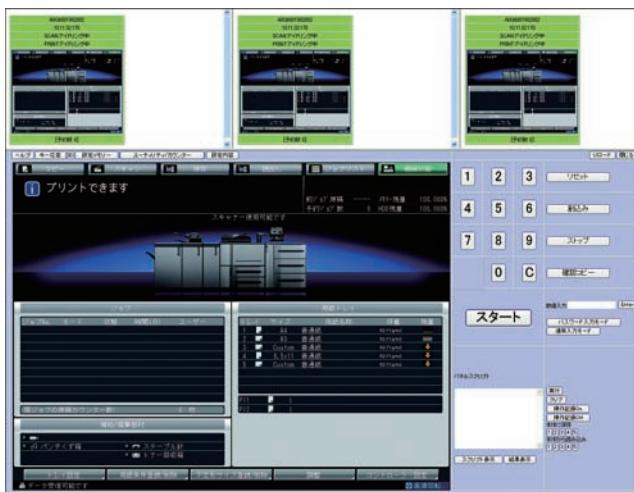
- 1 PCのブラウザを立ち上げ、URLに本体のIPアドレスを入力します。

Web Utilities 画面が表示されます。

- 2 Web Utilities 画面の「マルチモニター」をクリックします。



最大 10 台の機械の状態、タッチパネルの画面、ジョブの状況が並べて表示されます。また、同じブラウザ上にリモートパネルが表示されます。



詳しく述べます

- 本機の状態により、リモートモニターの背景色が異なります。
 - 緑色：アイドリング中、ウォームアップ中、補正中
 - 青色：動作中
 - 黄色：JAM 中
 - 赤色：SC 中
- 操作部ロック機能が働いている場合、リモートモニターにはタッチパネルのロック画面が表示されます。ロック画面をクリックすると、リモートパネルでの操作が可能となります。
- リモートパネルの詳細は、p. 13-24をごらんください。

表示されているリモートモニターのタッチパネルの画面をクリックすると、その機械のリモートパネルに切り替わり、PCから操作できます。

付録：文字入力のしかた

文字入力のしかた

文字を入力できる項目のキーに軽く触れると文字入力画面が開きます。

文字入力画面には、英記号、ローマ字、かな漢字、カタカナの4種類の画面があります。どの文字入力画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字種によります。



それぞれの文字入力画面については次のページを参照してください。

- ・「文字入力画面（英記号）」(p. 付録-2)
- ・「文字入力画面（ローマ字）」(p. 付録-3)
- ・「文字入力画面（かな漢字）」(p. 付録-4)
- ・「文字入力画面（カタカナ）」(p. 付録-5)

文字入力画面のキーについて

英記号、かな漢字、カタカナの文字入力画面に共通のキーについて説明します。



英記号

文字入力画面（英記号）に切り替わります。

かな漢字

文字入力画面（かな漢字）に切り替わります。

ローマ字

文字入力画面（ローマ字）に切り替わります。

カタカナ

文字入力画面（カタカナ）に切り替わります。



カーソル位置が移動します。

削除

カーソルのひとつ前の文字を削除します。

OK

入力した文字を確定し、文字入力画面が閉じます。

キャンセル

入力した文字を解除し、文字入力画面が閉じます。

文字入力について

文字入力画面が表示されてからの基本的な文字入力手順について説明します。

1 該当の文字、記号のキーを押して、文字を入力します。

- 英記号は、**Shift**キーで大文字、小文字を切り替えます。
- かな漢字は、**変換** / **無変換**でひらがな、漢字の入力を切り替えます。
- カタカナは、**全角** / **半角**で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。

2 **OK**を押します。

文字入力画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

■ 文字入力画面（英記号）

アルファベット、記号を入力できます。コンピューターのキーボードの配列と同じ文字の並びです。



Shift

大文字、小文字を切り替えます。

■ 文字入力画面（ローマ字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで反転表示されます。



Shift

大文字、小文字を切り替えます。

変換

漢字変換画面が表示されます。

無変換

ローマ字入力で入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、[OK] を押します。変換候補が 6 以上ある場合は、漢字変換画面を切り替えて全ての候補が表示できます。

先頭

複数ページの変換候補があった場合、先頭ページの変換候補に切り替わります。

前候補

複数ページの変換候補があった場合、前のページの変換候補に切り替わります。

次候補

複数ページの変換候補があった場合、次のページの変換候補に切り替わります。

最後

複数ページの変換候補があった場合、最後ページの変換候補に切り替わります。



■ 文字入力画面（かな漢字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで反転表示されます。



変換

漢字変換画面が表示されます。

無変換

ひらがなのまま入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、[OK]を押します。変換候補が 6 以上ある場合は、漢字変換画面を切り替えて全ての候補が表示できます。

先頭

複数ページの変換候補があった場合、先頭ページの変換候補に切り替わります。

前候補

複数ページの変換候補があった場合、前のページの変換候補に切り替わります。

次候補

複数ページの変換候補があった場合、次のページの変換候補に切り替わります。

最後

複数ページの変換候補があった場合、最後ページの変換候補に切り替わります。



■ 文字入力画面（カタカナ）

カタカナを入力できます。[全角] / [半角]で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。



全角

文字入力画面が半角カタカナの場合、表示されます。全角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

半角

文字入力画面が全角カタカナの場合、表示されます。半角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

索引

索引

アルファベット

ADF	3-17, 8-6
ID	2-52
PBスイッチ	11-33
Z折り	11-19
Z折れ原稿	3-18, 9-8

数字・記号

1枚送り	3-18
1枚送り	9-10
2 in 1	10-18
4 in 1	10-18
8 in 1	10-19

あ行

アース接続	1-5
安全にご使用いただくために	1-2
インターシート	10-5
インデックス紙	4-31
インデックス紙サイズ	9-18
インデックス紙をセット	4-31, 4-33
ウェーブクリータイマー	2-49
ウォーターマーク	10-75
ウォームアップ	8-12
内3つ折り	11-19
応用設定	10-2
オートシャットオフ	2-47
オートリセット	2-44
オートローパワー	2-46
オーバーレイ	10-91
オプション構成	2-12
折り	11-20
折り機 FD-503	2-32
折り機扉	4-50

か行

確認コピー	13-2
各部の名称とはたらき	2-2
重ね3つ折り	11-16
重ね中折り	11-16
片面コピー	9-42
片面/両面	9-36
観音折り	11-19
機械状態画面	2-10
〔機械状態〕タブ	5-11
輝度調整つまみ	2-7
グループ	11-12
くるみ製本機	1-9
くるみ製本機ヒーター	11-33
警告	1-2
原稿外消去	10-38
原稿画質	9-27
原稿ガラス	3-16, 9-39
原稿設定	9-2
原稿セット方向	9-2

国際エネルギースタープログラム	i
固定倍率	9-32
コピー画面	2-8
コピー禁止事項	vii
コピー部数	8-10
コピー枚数カウント	6-3
コピー予約	9-58
混載原稿	3-17, 9-6

さ行

サービスコール	5-2
差込みページ	10-27
時間外使用/パスワード	2-49
自動画像回転	9-56
自動検出	10-42
自動トレイ切換機能	3-15
自動倍率	9-35
自動用紙	9-54
シフト	10-56
集約	10-18
縮小シフト	10-61
主電源スイッチ	2-41
小冊子	10-22
章分け	10-14
ジョブリスト画面	12-2
スタート/ストップボタン	11-29
スタンプ/オーバーレイ	10-65
スタンプモード	10-81
ステーブル	11-10
ステーブル針	4-42
ステーブル針を補給	4-42, 4-46
ステーブルフィニッシャー FS-521	2-30, 11-7
清掃	6-2, 6-5
製本トレイ	11-45
設置スペース	1-14
設定内容	13-6
センタリング	10-52
全面画像	10-54
操作パネル	2-6
【C】	8-11
【スタート】	8-4
【ストップ】	8-15
【パワーセーブ】	2-48, 2-49
【リセット】	2-44
ソート	11-12
外3つ折り	11-19

た行

大容量スタッカー	4-56
大容量スタッカー LS-505	2-38, 11-47
大容量スタッカー扉	4-56
タテズーム/ヨコズーム	9-32
タテ/ヨコズーム	9-32
ダブルパラレル折り	11-19
断裁	11-15
断裁くずを処理	4-52, 4-54

注意	1-2
注意表記・注意ラベル	1-11
定期点検	6-7
定型スタンプ	10-67
定形リピート	10-45
データランプ	2-6
テンキー	8-10
電源コード	1-3
電源プラグ	1-5
等倍	9-31
登録オーバーレイ	10-93
登録倍率	9-32
とじしろ	10-56、10-61
トナー補給扉	4-36
トナーボトル	4-35
トナーを補給	4-35
トラブルの処置	5-18

な行

中折り	11-19
中とじ	11-14
中とじ機 SD-506	2-34、11-14
ナンバリング	10-69、10-77
ネガポジ反転	10-40
糊ペレット	1-8
糊ペレットを補給	4-48

は行

排紙トレイ	11-4
倍率設定	9-31
パスワード	2-52
パワーセーブ	2-45
搬送用台車	4-56
パンチ	11-19
パンチくず	4-50
パンチくず箱	4-50
日付 / 時刻	10-73
表紙断裁	11-43
平とじユニット	4-43
フィニッシャー扉	4-42
副電源スイッチ	2-41
ブック連写	10-30
不定形サイズ	9-14
部門認証	2-51
部門パスワード	2-52
部門名	2-52
プリントデータ予約不一致停止	5-14
プログラム	13-12
プログラムジョブ	10-34
ページ	10-71
ヘルプ	13-20
本体外部	2-2
本体内部	2-4

ま行

メモリーオーバーフロー	5-15
-------------	------

や行

ユーザー認証 / 部門認証	2-51
ユーザー名	2-52
用紙	3-15
用紙設定	9-44
用紙取出しボタン	4-56
用紙なし停止	5-12
用紙不一致停止	5-14
用紙を補給	4-2

ら行

リピート	10-42
リピート範囲手動入力	10-42
両面コピー	9-36、9-39
両面コピーのとじ方向	11-2
両面とじ方向	9-4
レバー A	2-5
連続読み込み	9-20

わ行

枠 / 折り目消し	10-48
割込み	13-10

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/>

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル:0120-805039 (受付時間:土、日、祝日を除く9:00~12:00 / 13:00~17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング